

—— 町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事 ——

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
D-01	表紙・図面リスト	—	D-26	改修前・後 平面詳細図【1-2】	1/30	E-01	電気設備特記仕様書	—	M-01	機械設備特記仕様書	—
D-02	建築改修工事特記仕様書-1	—	D-27	改修前 展開図【1-2】	1/50	E-02	引込開閉器盤 結線図	—	M-02	機器仕様一覧表・衛生器具一覧表・立面図(撤去)	1/100
D-03	建築改修工事特記仕様書-2	—	D-28	改修後 展開図【1-2】	1/50	E-03	改修後 1階 2階電気設備平面図	1/100	M-03	改修後 機械設備平面図	1/100
D-04	建築改修工事特記仕様書-3	—	D-29	改修前・後 平面詳細図【2-1】	1/30	E-04	改修前 1階 2階電気設備平面図	1/100	M-04	改修前 機械設備平面図	1/100
D-05	建築改修工事特記仕様書-4	—	D-30	改修前 展開図【2-1】	1/50				M-05	改修前・後 1階平面詳細図(1-1) (給排水設備)	1/50
D-06	建築改修工事特記仕様書-5	—	D-31	改修後 展開図【2-1】	1/50				M-06	改修前・後 1階平面詳細図(1-2) (給排水設備)	1/50
D-07	建築改修工事特記仕様書-6	—	D-32	改修前・後 平面詳細図【2-2】	1/30				M-07	改修前・後 2階平面詳細図(2-1) (給排水設備)	1/50
D-08	建築改修工事特記仕様書-7	—	D-33	改修前 展開図【2-2】	1/50				M-08	改修前・後 2階平面詳細図(2-2) (給排水設備)	1/50
D-09	建築改修工事特記仕様書-8	—	D-34	改修後 展開図【2-2】	1/50				M-09	換気設備機器仕様一覧表・詳細図	1/50
D-10	建築改修工事特記仕様書-9	—	D-35	改修後 天井伏図	1/100				M-10	改修前・後 1階平面詳細図(1-1) (換気設備)	1/50
D-11	設計概要、附近見取図、配置図	1/100	D-36	改修後 建具符号図	1/100				M-11	改修前・後 1階平面詳細図(1-2) (換気設備)	1/50
D-12	仕上表、内部改修一覧表	—	D-37	改修後 建具表-1	1/50				M-12	改修前・後 2階平面詳細図(2-1) (換気設備)	1/50
D-13	敷地・建物 求積図・求積表	1/100, 1/200	D-38	改修後 建具表-2	1/50				M-13	改修前・後 2階平面詳細図(2-2) (換気設備)	1/50
D-14	改修前 平面図・屋根伏図	1/100	D-39	外壁改修仕様書	—						
D-15	改修後 平面図・屋根伏図	1/100	D-40	外壁等調査図-1 (立面図・数量表)	1/100						
D-16	改修後 立面図	1/100	D-41	外壁等調査図-2 (天井伏図・数量表)	1/100						
D-17	改修後 断面図	1/100	D-42	外壁等調査図-3 (屋根伏図・数量表)	1/100						
D-18	改修前 矩計図【1-1】【2-1】	1/30									
D-19	改修後 矩計図【1-1】【2-1】	1/30									
D-20	改修前 矩計図【1-2】【2-2】	1/30									
D-21	改修後 矩計図【1-2】【2-2】	1/30									
D-22	改修後 階段詳細図	1/30									
D-23	改修前・後 平面詳細図【1-1】	1/30									
D-24	改修前 展開図【1-1】	1/50									
D-25	改修後 展開図【1-1】	1/50									

				一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信				管理技術者	主任技術者	製図	補助	設計年月日 R7.09	工事名 町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事	図面番号 D-01
												縮尺	図面種類 表紙・図面リスト	

4 防水改修工事	1 共通事項	施工標準 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標準を取り付ける 改修用ドレン (POAS、POAS1、POD、POD1、POS、POS1、POXの場合) 取付方法等は、ルーフィング類製造所の仕様による					
	2 降雨等に対する養生方法(とい共)	※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)~(9)による ()				[3.1.3]	
	3 既存防水の処理	既存保護層の除去 ・行う (範囲・図示) ・行わない 既存防水層の除去 ・行う (範囲・図示) ・行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う (・M4S・M4S1・M4C・M4D1・L4X) ・行わない					[3.2.3、4、6]
	4 既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量 ※図示 POS工法及びPOAS1工法 (機械式固定工法) の既存保護層を除去し防水層を非除去とした立上り部等の処理 ※改修標準仕様書3.2.6(4)(9)(a)①~③による ・補修 設備機器架台、配管束部、バラベツト、貫通パイプ廻り、手すり・丸環の取付け部、増量出入口等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ・図示 ※監督職員と協議する					[3.2.6]
	5 アスファルト防水	屋根保護防水 [3.3.2~5] 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 [G] 絶縁用シート 立上り部の保護 ・P2A ・A-1 ※A-2 ・A-3 ・P1B ・B-1 ※B-2 ・B-3 ・P2A1 ・A1-1 ※A1-2 ・A1-3 ・P1B1 ・B1-1 ※B1-2 ・B1-3 ・T1B1 ※B1-2 ・B1-3 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 用途による区分 ※R種 厚さ mm以上 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床タイル張り ※水下 60mm以上 ・乾式保護材 高業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したものの金属複合板 ※金属板と樹脂を積層一体化したものの (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による					
	屋根露出防水 高日射反射率防水の適用 [G] ・有 ※無 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 [G] 仕上塗料 高日射反射率防水の適用 [G] 備考 ・M4C ・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4 ・M3D ・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4 ・POD1 ・D1-1 (種類) ・M3D1 ※D1-2 (厚さ) ・M4D1 ・25mm 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 設置数量 ※アスファルトルーフィング類製造所の指定による 脱気装置 個 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドリ及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 屋内防水 工法 種別 施工箇所 保護層 ・P1E ・E-1 ・設ける ・P2E ※E-2 ・設けない ・E-1の工程3を行う部位 (※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位) 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋根排水溝 ※図示						

4 防水改修工事(続き)	6 改質アスファルトシート防水 [3.4.2、3]	高日射反射率防水の適用 [G] ・有 ※無 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 [G] 仕上材料 高日射反射率防水の適用 [G] 備考 ・M4S ・AS-T1 ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・AS-T2 ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・AS-J2 ・M3AS ・AS-T3 ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・AS-T4 ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・AS-J1 ・AS-J3 ・POAS ・AS-T3 ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・AS-T4 ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・AS-J1 ・AS-J3 改質アスファルトシートの種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※改質アスファルトシート類の製造所の指定 脱気装置 個 ※改質アスファルトシート類の製造所の指定 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿シート (設置する ・設置しない) 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度					
	7 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2~4、表3.5.1~3]	高日射反射率防水の適用 [G] ・有 ※無 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 [G] 仕上材料 高日射反射率防水の適用 [G] 備考 ・POS ・S-F1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S4S ・S-F2 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3 ・S3S ・S-F1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-F2 ・M4S ・S-M1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M2 ・S-M3 ・POS1 ・S1-F1 改修標準仕様書3.5.2(3)(x)(b)による (種類) (厚さ) ※25mm・50mm ・S1-M1 改修標準仕様書3.5.2(3)(t)(a)による (種類) (厚さ) ※25mm・50mm ・S1-M2 ・S-M2またはS1-M2の立上り部の工法 ・接着工法 (立上り面のシート厚さ 1.5mm) ・機械式固定工法 ・S1-M1及びS1-M2の場合の防湿用フィルム (設置する ・設置しない) ・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 非歩行用 ・軽歩行用					
		改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※改質アスファルトシート類の製造所の指定 脱気装置 個 ※改質アスファルトシート類の製造所の指定 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿シート (設置する ・設置しない) 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度					
		高日射反射率防水の適用 [G] ・有 ※無 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 [G] 仕上材料 高日射反射率防水の適用 [G] 備考 ・POS ・S-F1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S4S ・S-F2 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3 ・S3S ・S-F1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-F2 ・M4S ・S-M1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M2 ・S-M3 ・POS1 ・S1-F1 改修標準仕様書3.5.2(3)(x)(b)による (種類) (厚さ) ※25mm・50mm ・S1-M1 改修標準仕様書3.5.2(3)(t)(a)による (種類) (厚さ) ※25mm・50mm ・S1-M2 ・S-M2またはS1-M2の立上り部の工法 ・接着工法 (立上り面のシート厚さ 1.5mm) ・機械式固定工法 ・S1-M1及びS1-M2の場合の防湿用フィルム (設置する ・設置しない) ・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 非歩行用 ・軽歩行用					
		高日射反射率防水の適用 [G] ・有 ※無 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 [G] 仕上材料 高日射反射率防水の適用 [G] 備考 ・POS ・S-F1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S4S ・S-F2 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3 ・S3S ・S-F1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-F2 ・M4S ・S-M1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M2 ・S-M3 ・POS1 ・S1-F1 改修標準仕様書3.5.2(3)(x)(b)による (種類) (厚さ) ※25mm・50mm ・S1-M1 改修標準仕様書3.5.2(3)(t)(a)による (種類) (厚さ) ※25mm・50mm ・S1-M2 ・S-M2またはS1-M2の立上り部の工法 ・接着工法 (立上り面のシート厚さ 1.5mm) ・機械式固定工法 ・S1-M1及びS1-M2の場合の防湿用フィルム (設置する ・設置しない) ・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 非歩行用 ・軽歩行用					

4 防水改修工事(続き)	8 塗膜防水 [3.6.2、3]	屋内防水 種別 施工箇所 保護層 平場のモルタル塗り 立上り部の保護 塗り厚さ 床塗り工法 下地モルタル塗り モルタル塗り厚さ ※改修標準仕様書 6.15.6(b)(2)及び 6.15.6(a)(1)に準ずる 6.15.6(a)(1)に準ずる 床塗り場合の床の目地及び種類 目地割り (・2m程度 最大目地間隔3m程度) 目地の種類 (※押し目地) 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ・種類 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書3.5.1から表3.5.3による 絶縁シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質、形状及び寸法 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシート製造所の仕様 設置数量 個 ※ルーフィングシート製造所の仕様 接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ・行う (図示) ・行わない プレキャストコンクリート部材の隅部の増張り (種別 S-F1、SI-F1の場合) ・行う (図示) ・行わない 機械式固定工法の場合の一部のルーフィングシートの張付け 1章 適用区分による風圧力 (・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法					
	9 シーリング [3.1.4] [3.7.2~3.7.8]	シーリング改修工法の種類 ・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ボンドブレード張り C適用する ・適用しない エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書3.7.1による 施工箇所 シーリング材の種類 (記号) 防水部処理 PS-2 サッシ廻り MS-2 シーリング材の目地寸法 [3.7.8] ○図示 シーリング材の接着性試験 [3.8.2、3] ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 種別 材種 径 施工箇所 備考 たてどい ○硬質ポリ塩化ビニル管 φ100 図示による ・配管用鋼管 ・ステンレス鋼管 SUS304、厚2 ・硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) 軒どい ルーフトレンドリ 種別 呼び 施工箇所 材種 ○ろく屋根用 (○縦型・横型) ・ねじ込み式 -80 ○100 -125 図示による ○改修用 -150 ○バルコニー用 ・ねじ込み式 -50・80・100 ○改修用 -50・75 ○100 図示による ・バルコニー中継用 ・ねじ込み式 -50・80・100 ・差し込み式 -50・75・100 とい受金物 材種 鋼製 (亜鉛めっき) ※ステンレス製 形状 ※市販品 (とい径100以下) ※25×4.5以上 (とい径100を超えるもの) 足金物 材種 鋼製 (亜鉛めっき) ※ステンレス製 形状 ※市販品 ロックウール保温筒及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 たてどい金物の取付け ※図示 ルーフトレンドリの取付け ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する					
	10 とい	シーリング改修工法の種類 ・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ボンドブレード張り C適用する ・適用しない エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書3.7.1による 施工箇所 シーリング材の種類 (記号) 防水部処理 PS-2 サッシ廻り MS-2 シーリング材の目地寸法 [3.7.8] ○図示 シーリング材の接着性試験 [3.8.2、3] ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 種別 材種 径 施工箇所 備考 たてどい ○硬質ポリ塩化ビニル管 φ100 図示による ・配管用鋼管 ・ステンレス鋼管 SUS304、厚2 ・硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) 軒どい ルーフトレンドリ 種別 呼び 施工箇所 材種 ○ろく屋根用 (○縦型・横型) ・ねじ込み式 -80 ○100 -125 図示による ○改修用 -150 ○バルコニー用 ・ねじ込み式 -50・80・100 ○改修用 -50・75 ○100 図示による ・バルコニー中継用 ・ねじ込み式 -50・80・100 ・差し込み式 -50・75・100 とい受金物 材種 鋼製 (亜鉛めっき) ※ステンレス製 形状 ※市販品 (とい径100以下) ※25×4.5以上 (とい径100を超えるもの) 足金物 材種 鋼製 (亜鉛めっき) ※ステンレス製 形状 ※市販品 ロックウール保温筒及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 たてどい金物の取付け ※図示 ルーフトレンドリの取付け ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する					
		シーリング改修工法の種類 ・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ボンドブレード張り C適用する ・適用しない エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書3.7.1による 施工箇所 シーリング材の種類 (記号) 防水部処理 PS-2 サッシ廻り MS-2 シーリング材の目地寸法 [3.7.8] ○図示 シーリング材の接着性試験 [3.8.2、3] ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 種別 材種 径 施工箇所 備考 たてどい ○硬質ポリ塩化ビニル管 φ100 図示による ・配管用鋼管 ・ステンレス鋼管 SUS304、厚2 ・硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) 軒どい ルーフトレンドリ 種別 呼び 施工箇所 材種 ○ろく屋根用 (○縦型・横型) ・ねじ込み式 -80 ○100 -125 図示による ○改修用 -150 ○バルコニー用 ・ねじ込み式 -50・80・100 ○改修用 -50・75 ○100 図示による ・バルコニー中継用 ・ねじ込み式 -50・80・100 ・差し込み式 -50・75・100 とい受金物 材種 鋼製 (亜鉛めっき) ※ステンレス製 形状 ※市販品 (とい径100以下) ※25×4.5以上 (とい径100を超えるもの) 足金物 材種 鋼製 (亜鉛めっき) ※ステンレス製 形状 ※市販品 ロックウール保温筒及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 たてどい金物の取付け ※図示 ルーフトレンドリの取付け ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する					
		シーリング改修工法の種類 ・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ボンドブレード張り C適用する ・適用しない エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書3.7.1による 施工箇所 シーリング材の種類 (記号) 防水部処理 PS-2 サッシ廻り MS-2 シーリング材の目地寸法 [3.7.8] ○図示 シーリング材の接着性試験 [3.8.2、3] ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 種別 材種 径 施工箇所 備考 たてどい ○硬質ポリ塩化ビニル管 φ100 図示による ・配管用鋼管 ・ステンレス鋼管 SUS304、厚2 ・硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) 軒どい ルーフトレンドリ 種別 呼び 施工箇所 材種 ○ろく屋根用 (○縦型・横型) ・ねじ込み式 -80 ○100 -125 図示による ○改修用 -150 ○バルコニー用 ・ねじ込み式 -50・80・100 ○改修用 -50・75 ○100 図示による ・バルコニー中継用 ・ねじ込み式 -50・80・100 ・差し込み式 -50・75・100 とい受金物 材種 鋼製 (亜鉛めっき) ※ステンレス製 形状 ※市販品 (とい径100以下) ※25×4.5以上 (とい径100を超えるもの) 足金物 材種 鋼製 (亜鉛めっき) ※ステンレス製 形状 ※市販品 ロックウール保温筒及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 たてどい金物の取付け ※図示 ルーフトレンドリの取付け ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する					

4 防水改修工事(続き)	11 アルミニウム製窓木 [3.9.2、3]	種類 本体幅 (mm) 板厚 (mm) 表面処理 着色 ・オープン形式 ・押出250形 ・押出300形 ・押出350形 ・板材折曲げ形 ・シール形式 ・板材折曲げ形 既存在木の撤去 ・行う (範囲・図示) ・行わない 下地補修の工法 ※図示 板材折曲げ形の窓木の取付方法 ※図示 板材折曲げ形の窓木の取付方法 ※図示 構上遮断体システム ・無 ・有 窓木の固定金具の構造等 1章 適用区分による風圧力 (・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 防水工事の施工について、10年保証を提出すること。なお、保証書は元請業者と施工業者の連帯とする。 (シーリングを除く)				
	12 保証書及び期間	(性能) 建築材料等品質性能表による [4.2.2] 広がり速度 (cm/s) 長さ変化率 (収縮) (%) 引張強さ (材齢28日) (N/mm ²) 曲げ性能 (材齢28日) (N/mm) 吸水率 (72時間) (%) 耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²) 3以上 3以下 0.50以上 5.0以上 15以上 5.0以上 保水係数 0.35~0.55 粘弾係数 0.50~1.00				
	5 外壁改修工事	1 ポリマーセメントモルタル [4.2.2] 2 ポリマーセメントスラリー [4.2.2] 3 既製適合モルタル [4.2.2] モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による 調査項目 ※外壁改修 ・防水改修 ・内壁改修 () [1.6.2] 調査範囲 ※図示 () [1.6.2] 調査方法 ※打診及び目視による () [1.6.2] 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示 () [1.6.3] 調査内容 外壁調査は工事に先立ち全外壁面のひび割れ、浮き、欠損部の位置及び数量 (幅、長さ、面積) の調査を行う。報告書は、結果を立面図等に記載し監督職員に提出する。(必要に応じ写真等を添付する。) 調査報告書の部数 ※2部 () 部				
	5-1 外壁改修工事	1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.2.4~7] 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (ml/m ²) ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0以下 ・ ※130 ・ ※200~300 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上~0.3未満 ・ 50~100 ・ ※40 注入工法 0.3以上~0.5未満 ・ 100~200 ・ ※70 ・ 0.5以上~1.0以下 ・ 150~250 ・ ※130 エポキシ樹脂 ○低粘度形 ・ 中粘度形 注入状況の確認方法 ※コア抜きを行う 抜き取り部数 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個 抜き取り部の補修方法 ・図示 ・エポキシ樹脂モルタル又は無収縮モルタル等で埋め戻す ・ウカットシール材充填工法 材料 ・シーリング材 充填材料 ※1成分又は2成分ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 材料 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ○充填工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.7] 材料 ・エポキシ樹脂モルタル ○ポリマーセメントモルタル				
		設計年月日 R7.09 工 事 名 町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事 面 積 図 面 種 類 建築改修工事特記仕様書-2 図面番号 D-03				

6	1 改修工事	<p>性能等級 [5.1.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かたせき工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>○鋼製建具</td> <td>○外部</td> <td>○</td> <td>○建具表による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・内部</td> <td>-</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・鋼製軽量建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>○木製建具</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○建具表による</td> </tr> </table> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の明け方 ※図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 建具廻りシーリング 改修標準仕様書3章防水改修工事による</p>	建具の種類	かたせき工法	撤去工法	適用箇所	・アルミニウム製建具	-	-	・建具表による	・樹脂製建具	-	-	・建具表による	○鋼製建具	○外部	○	○建具表による		・内部	-	・建具表による	・鋼製軽量建具	-	-	・建具表による	・ステンレス製建具	-	-	・建具表による	○木製建具	-	○	○建具表による	6	9 ステンレス製建具	<p>性能等級 [5.2.2] [5.4.2] [5.6.2~5]</p> <p>簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号・建具表による)</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4(建具符号:・建具表による) ・S-5(建具符号:・建具表による) ・S-6(建具符号:・建具表による)</p> <p>防音ドア、防音サッシ ・遮音性の等級(・建具表による) (建具符号:・建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [G] ・断熱材の等級(・建具表による) (建具符号:・建具表による)</p> <p>耐震性能 ・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>鋼板(屋外) ※SUS304 ・SUS430JIL・SUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS430 ・SUS430JIL・SUS443J1・SUS304 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ○フラッシュ戸</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">表面材の合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td colspan="2">合板の種類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※普通適合板 [G]</td> <td>表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン程度) 不透明塗料塗り (※しな程度)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木 化粧合板 [G]</td> <td>板面の品質 (接着の程度・1類・2類)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○特殊加工 化粧合板 [G]</td> <td>化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装) 表面性能()タイプ 接着の程度(・1類・2類)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>表面板の厚さ ※標準仕様書表16.7.6による ・かまち戸 かまち樹種() 鏡板樹種() 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・ふすま 張りの種類(・I型 ・II型) 上張り ・鳥の子 ※新鳥の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は雲花紙程度 緑仕上 ・塗り縁 ※生地縁(素地) ・生地縁(ウレタンリキヤア塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による</p> <p>○戸ふすま 見込み寸法 ※30mm ○建具表による ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による 枠、くつずりの材料 ・建具表による</p> <p>・マスターキー ※製作する(・新規 ・既存にあわせる) ※スリッパ箱錠 ※レバーハンドル 材質 ※アルミニウム合金 ・ステンレス ・黄銅 産金 ※丸産 ・長産 ○握り玉 材質 ※ステンレス ・本錠(性能) ・建築材料等品質性能表による ・空錠 ※レバーハンドル 材質 ※アルミニウム合金 ・ステンレス ・黄銅 産金 ※丸産 ・長産 ・握り玉 材質 ※ステンレス</p> <p>・グレンダ錠 レバーハンドルの材質 ※亜鉛合金 ・ステンレス 製造所 ※図示</p> <p>・ビボットヒンジ カバー部の材質 ※ステンレス ・亜鉛合金</p> <p>・フロアヒンジ ・Grade1 ※Grade2 カバー部の材質 ※ステンレス</p> <p>・ヒンジクローザー(丁番型) 材質 ・鋼(焼付け塗装)</p> <p>・ヒンジクローザー(ビボット型) 材質 ・鋼(焼付け塗装)</p> <p>○ドアクローザー ・Grade1 ※Grade2 材質 ※アルミニウム合金</p> <p>・押棒、押板 材質 ・ステンレス ・黄銅 ・合成樹脂</p> <p>・アームストッパー 材質 ・鋼(クロームめっき) ※ステンレス</p> <p>○クレセント 材質 ※建具製造所の仕様による ・挿煙オペレーター(※埋込 ・露出)</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書表5.8.11により適用は建具表による 金属建具用丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.2による 樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.3による</p>	表面材の合板の種類		規格等	備考	合板の種類				※普通適合板 [G]	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン程度) 不透明塗料塗り (※しな程度)			・天然木 化粧合板 [G]	板面の品質 (接着の程度・1類・2類)			○特殊加工 化粧合板 [G]	化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装) 表面性能()タイプ 接着の程度(・1類・2類)			6	12 自動ドア開閉装置	<p>[5.9.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>性能</th> <th>防錆</th> <th>センサーの種類</th> <th>凍結防止</th> </tr> <tr> <td>※改修標準仕様書表5.9.11による</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>※光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ ・車椅子使用者便房スイッチ</td> <td>・行う(適用箇所は建具表による) ※行わない</td> </tr> </table> <p>駆動力 ※電気式または電動油圧式 () 電源 ※AC100V(過電流保護装置付) () 補助センサー ※安全光線スイッチ1組 () 各開閉装置毎に補助センサーを設ける</p> <p>性能 ※改修標準仕様書表5.10.11による</p>	性能	防錆	センサーの種類	凍結防止	※改修標準仕様書表5.9.11による	・適用する ・適用しない	※光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ ・車椅子使用者便房スイッチ	・行う(適用箇所は建具表による) ※行わない	6	17 ガラス(続き)	<p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ(mm)</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※シーリング材(SR-1) ガasket ・グレイジングチャンネル形 ○シーリング材(SA-2)</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・図示</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>※シーリング材(SR-1)</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・図示</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>※シーリング材(SR-1)</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・図示</td> </tr> </table> <p>形式 ・30本入()個 ・60本入()個 ・120本入()個 鋼製市販品とし、監督職員承認による</p>	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)	アルミニウム製	※シーリング材(SR-1) ガasket ・グレイジングチャンネル形 ○シーリング材(SA-2)	※建具の製造所の仕様による ・図示	鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材(SR-1)	※建具の製造所の仕様による ・図示	ステンレス製	※シーリング材(SR-1)	※建具の製造所の仕様による ・図示																			
			建具の種類	かたせき工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																
・アルミニウム製建具	-	-	・建具表による																																																																																																			
・樹脂製建具	-	-	・建具表による																																																																																																			
○鋼製建具	○外部	○	○建具表による																																																																																																			
	・内部	-	・建具表による																																																																																																			
・鋼製軽量建具	-	-	・建具表による																																																																																																			
・ステンレス製建具	-	-	・建具表による																																																																																																			
○木製建具	-	○	○建具表による																																																																																																			
表面材の合板の種類		規格等	備考																																																																																																			
合板の種類																																																																																																						
※普通適合板 [G]	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン程度) 不透明塗料塗り (※しな程度)																																																																																																					
・天然木 化粧合板 [G]	板面の品質 (接着の程度・1類・2類)																																																																																																					
○特殊加工 化粧合板 [G]	化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装) 表面性能()タイプ 接着の程度(・1類・2類)																																																																																																					
性能	防錆	センサーの種類	凍結防止																																																																																																			
※改修標準仕様書表5.9.11による	・適用する ・適用しない	※光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ ・車椅子使用者便房スイッチ	・行う(適用箇所は建具表による) ※行わない																																																																																																			
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)																																																																																																				
アルミニウム製	※シーリング材(SR-1) ガasket ・グレイジングチャンネル形 ○シーリング材(SA-2)	※建具の製造所の仕様による ・図示																																																																																																				
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材(SR-1)	※建具の製造所の仕様による ・図示																																																																																																				
ステンレス製	※シーリング材(SR-1)	※建具の製造所の仕様による ・図示																																																																																																				
2 防火戸	<p>[5.1.4]</p> <p>・適用する 適用箇所(・建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・連動させる 適用箇所(・建具表による)</p> <p>・連動させない</p>	10	木製建具	<p>[5.7.2~4]</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ○フラッシュ戸</p>	6	13 自閉式上り引り戸装置	<p>[5.10.3]</p> <p>性能 ※改修標準仕様書表5.10.11による</p>	7	内装改修工事(続き)	<p>18 錠箱</p>	<p>7</p>	1 改修範囲	<p>[6.1.3]</p> <p>既存開仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁面より両側100mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取部地の壁面の改修 ※既存のまま ・図示</p>																																																																																									
3 防犯建物部品	<p>[5.1.7]</p> <p>・適用する() 適用箇所(・建具表による)</p> <p>※適用しない</p>													11	建具用金物	<p>[5.8.2~4] [表5.8.1]</p> <p>・マスターキー ※製作する(・新規 ・既存にあわせる) ※スリッパ箱錠 ※レバーハンドル 材質 ※アルミニウム合金 ・ステンレス ・黄銅 産金 ※丸産 ・長産 ○握り玉 材質 ※ステンレス ・本錠(性能) ・建築材料等品質性能表による ・空錠 ※レバーハンドル 材質 ※アルミニウム合金 ・ステンレス ・黄銅 産金 ※丸産 ・長産 ・握り玉 材質 ※ステンレス</p>	6	14 重量シャッター	<p>[5.11.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">シャッターの種類</th> <th>耐風圧強度</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・管理用シャッター</td> <td>耐風圧強度()Pa</td> <td>※障害物感知装置(自動閉鎖型)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・外壁用防水シャッター</td> <td>耐風圧強度()Pa</td> <td>※危害防止機構</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・屋内用防火シャッター</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・屋内用防煙シャッター</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>閉開方式による種類 ※電動式(手動併用) ・上部手動式 屋内用防火シャッター若しくは防炎シャッターの危害防止機構 ※改修標準仕様書5.11.2(4)(エ)かつ(ロ) ・改修標準仕様書5.11.2(4)(エ)かつ(ロ) リモコンの有無 ※無 ・有(リモコン個数 個) 電動式の場合の電源 ※三相200V 0.75kW以下(過電流保護装置付) 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)</p> <p>めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板カバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ・ステンレス鋼板 SUS304, SUS430JIL又はSUS443J1</p>	シャッターの種類		耐風圧強度	備考	・管理用シャッター	耐風圧強度()Pa	※障害物感知装置(自動閉鎖型)		・外壁用防水シャッター	耐風圧強度()Pa	※危害防止機構		・屋内用防火シャッター				・屋内用防煙シャッター				5	2 既存床の撤去及び下地補修	<p>[6.2.2]</p> <p>ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材の(接着剤とも) ・下地モルタルとも(・図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去方法 ・機械的除去方法 ・自費工法 既存コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による</p>																																																												
シャッターの種類		耐風圧強度	備考																																																																																																			
・管理用シャッター	耐風圧強度()Pa	※障害物感知装置(自動閉鎖型)																																																																																																				
・外壁用防水シャッター	耐風圧強度()Pa	※危害防止機構																																																																																																				
・屋内用防火シャッター																																																																																																						
・屋内用防煙シャッター																																																																																																						
4 アルミニウム製建具	<p>[5.2.2~5] [表5.2.1, 2]</p> <p>性能等級 外部に面する建具 ・A種(建具符号:・建具表による) ※B種(建具符号:○建具表による) ・C種(建具符号:・建具表による)</p> <p>防音ドア、防音サッシ ・遮音性の等級(・建具表による) (建具符号:・建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [G] ・断熱材の等級(・建具表による) (建具符号:・建具表による)</p> <p>耐震ドア ・面内変形追随性の等級(・建具表による) (建具符号:・建具表による)</p> <p>枠の見込み寸法 ○建具表による 表面処理の種類 外部に面する建具 ※B0-1種 ・B0-2種 ※ガラス継ぎ入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製</p> <p>屋内の建具 ※B0-1種 ・B0-2種 皮膜等の種類(※改修標準仕様書表5.2.2による)</p> <p>結露水の処理工法 処理方式 ・水貯め式 ・排水式 設置箇所 ・建具表による ・図示</p> <p>水切り板、ぜん板 ※建具表による ・図示</p>	5	網戸等	<p>[5.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>網径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>・防虫網</td> <td>合成樹脂製 ※ガラス継ぎ入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table>	種類	材種	網径	網目	・防虫網	合成樹脂製 ※ガラス継ぎ入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm	5	3 既存壁の撤去及び下地補修	<p>[6.3.2]</p> <p>開仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4.4.8によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の処理 ・行う ・行わない) ○図示</p>																																																																																			
種類	材種				網径	網目																																																																																																
・防虫網	合成樹脂製 ※ガラス継ぎ入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																			
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																			
5 網戸等	<p>[5.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>網径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>・防虫網</td> <td>合成樹脂製 ※ガラス継ぎ入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table>	種類	材種	網径	網目	・防虫網	合成樹脂製 ※ガラス継ぎ入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm	5	4 製材 [G]	<p>[6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>根太・大引</td> <td>スギ</td> <td>図示</td> <td>※2級</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○JAS1083-5に基づく下地用針葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>見え掛り面</td> <td>スギ・ヒノキ・米ツガ</td> <td></td> <td>・上小節 ○小節以上</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td></td> <td>※小節以上</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・JAS1083-6に基づく広葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 ・A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・JAS1083以外の製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>発菌処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>() 造作材の場合 (・A種 ・B種)</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> </tr> </table> <p>・代用樹種を使用できない箇所()</p>	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用	根太・大引	スギ	図示	※2級	※A種・B種			施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用	見え掛り面	スギ・ヒノキ・米ツガ		・上小節 ○小節以上	※A種・B種			見え掛り面以外			※小節以上	※A種・B種			施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用				※1等	※10%以下 ・A種・B種			施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	発菌処理	含水率	間伐材等の適用				() 造作材の場合 (・A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種・B種																						
種類	材種	網径	網目																																																																																																			
・防虫網	合成樹脂製 ※ガラス継ぎ入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																			
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																			
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																
根太・大引	スギ	図示	※2級	※A種・B種																																																																																																		
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																
見え掛り面	スギ・ヒノキ・米ツガ		・上小節 ○小節以上	※A種・B種																																																																																																		
見え掛り面以外			※小節以上	※A種・B種																																																																																																		
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																
			※1等	※10%以下 ・A種・B種																																																																																																		
施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	発菌処理	含水率	間伐材等の適用																																																																																															
			() 造作材の場合 (・A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種・B種																																																																																																
6 樹脂製建具	<p>[5.2.2] [5.3.2~5] [表5.3.1]</p> <p>性能等級 外部に面する建具 ・A種(建具符号:・建具表による) ・B種(建具符号:・建具表による) ・C種(建具符号:・建具表による)</p> <p>防音ドア、防音サッシ ・遮音性の等級(・T-1 ・T-2) (建具符号:・建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [G] ・断熱材の等級(・H-4 ・H-5 ・H-6) (建具符号:・建具表による)</p> <p>枠の見込み寸法 ・建具表による 表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ガラス ※複層ガラス</p>	5	造作用集成材 [G]	<p>[6.5.2]</p> <p>ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・「集成材の日本農林規格」に基づく造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面積</th> <th>見付け材面積の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」に基づく化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面積</th> <th>見付け材面積の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1等 ・2等</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面積の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・15%以下 ・ ・15%以下 ・</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面積の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・15%以下 ・</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面積	見付け材面積の品質	間伐材等の適用						※1等 ・2等							※1等 ・2等		施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面積	見付け材面積の品質	間伐材等の適用		化粧薄板: 芯材:					・1等 ・2等		施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面積の品質	含水率	間伐材等の適用					・15%以下 ・ ・15%以下 ・		施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面積の品質	含水率	間伐材等の適用		化粧薄板: 芯材:					・15%以下 ・		5	4 製材 [G]	<p>[6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 ・A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・JAS1083以外の製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>発菌処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>() 造作材の場合 (・A種 ・B種)</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> </tr> </table> <p>・代用樹種を使用できない箇所()</p>	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用				※1等	※10%以下 ・A種・B種			施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	発菌処理	含水率	間伐材等の適用				() 造作材の場合 (・A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種・B種	
施工箇所	品名				樹種	寸法(mm)	見付け材面積	見付け材面積の品質	間伐材等の適用																																																																																													
					※1等 ・2等																																																																																																	
					※1等 ・2等																																																																																																	
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面積	見付け材面積の品質	間伐材等の適用																																																																																															
	化粧薄板: 芯材:					・1等 ・2等																																																																																																
施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面積の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																	
				・15%以下 ・ ・15%以下 ・																																																																																																		
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面積の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																															
	化粧薄板: 芯材:					・15%以下 ・																																																																																																
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																
			※1等	※10%以下 ・A種・B種																																																																																																		
施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	発菌処理	含水率	間伐材等の適用																																																																																															
			() 造作材の場合 (・A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種・B種																																																																																																
7 鋼製建具	<p>[5.2.2] [5.4.2~5] [表5.4.2]</p> <p>性能等級 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4(建具符号:・建具表による) ・S-5(建具符号:・建具表による) ・S-6(建具符号:・建具表による)</p> <p>JIS A 4102(ドアセット)、JIS A 4706(サッシ)による 防音ドア、防音サッシ ・遮音性の等級(・建具表による) (建具符号:・建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [G] ・断熱材の等級(・H-4 ・H-5 ・H-6) (建具符号:・建具表による)</p> <p>耐震性能 ・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>鋼板(JIS G 4305に基づく)</p> <table border="1"> <tr> <th>材 料</th> <th>めっき付着量</th> <th>厚 さ</th> </tr> <tr> <td>※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板)</td> <td>※Z12又はF12</td> <td>※改修標準仕様書5.4.4による</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼板 ・SUS304、SUS430JIL、又はSUS443J1</td> <td>※Z12又はF12</td> <td></td> </tr> </table>	材 料	めっき付着量	厚 さ	※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板)	※Z12又はF12	※改修標準仕様書5.4.4による	・ステンレス鋼板 ・SUS304、SUS430JIL、又はSUS443J1	※Z12又はF12		5	5 造作用集成材 [G]	<p>[6.5.2]</p> <p>ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・「集成材の日本農林規格」に基づく造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面積</th> <th>見付け材面積の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」に基づく化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面積</th> <th>見付け材面積の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1等 ・2等</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面積の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・15%以下 ・ ・15%以下 ・</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面積の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・15%以下 ・</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面積	見付け材面積の品質	間伐材等の適用						※1等 ・2等							※1等 ・2等		施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面積	見付け材面積の品質	間伐材等の適用		化粧薄板: 芯材:					・1等 ・2等		施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面積の品質	含水率	間伐材等の適用					・15%以下 ・ ・15%以下 ・		施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面積の品質	含水率	間伐材等の適用		化粧薄板: 芯材:					・15%以下 ・																									
材 料	めっき付着量	厚 さ																																																																																																				
※JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板)	※Z12又はF12	※改修標準仕様書5.4.4による																																																																																																				
・ステンレス鋼板 ・SUS304、SUS430JIL、又はSUS443J1	※Z12又はF12																																																																																																					
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面積	見付け材面積の品質	間伐材等の適用																																																																																																
					※1等 ・2等																																																																																																	
					※1等 ・2等																																																																																																	
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面積	見付け材面積の品質	間伐材等の適用																																																																																															
	化粧薄板: 芯材:					・1等 ・2等																																																																																																
施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面積の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																	
				・15%以下 ・ ・15%以下 ・																																																																																																		
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面積の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																															
	化粧薄板: 芯材:					・15%以下 ・																																																																																																
8 鋼製軽量建具	<p>[5.2.2] [5.5.2~4]</p> <p>性能等級 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号 ・建具表による) ・適用しない</p> <p>防音ドア、防音サッシ ・遮音性の等級(・建具表による) (建具符号:・建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [G] ・断熱材の等級(・建具表による) (建具符号:・建具表による)</p> <p>耐震性能 ・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 鋼板の厚さ ・改修標準仕様書表5.5.1による 召合せ、縦小口包み板の材質 ※ステンレス鋼板 ・鋼板 ・アルミニウム合金押出形材</p>	5	5 造作用集成材 [G]	<p>[6.5.2]</p> <p>ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・「集成材の日本農林規格」に基づく造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面積</th> <th>見付け材面積の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」に基づく化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面積</th> <th>見付け材面積の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1等 ・2等</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面積の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・15%以下 ・ ・15%以下 ・</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面積の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・15%以下 ・</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面積	見付け材面積の品質	間伐材等の適用						※1等 ・2等							※1等 ・2等		施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面積	見付け材面積の品質	間伐材等の適用		化粧薄板: 芯材:					・1等 ・2等		施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面積の品質	含水率	間伐材等の適用					・15%以下 ・ ・15%以下 ・		施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面積の品質	含水率	間伐材等の適用		化粧薄板: 芯材:					・15%以下 ・																																		
施工箇所	品名				樹種	寸法(mm)	見付け材面積	見付け材面積の品質	間伐材等の適用																																																																																													
					※1等 ・2等																																																																																																	
					※1等 ・2等																																																																																																	
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面積	見付け材面積の品質	間伐材等の適用																																																																																															
	化粧薄板: 芯材:					・1等 ・2等																																																																																																
施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面積の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																	
				・15%以下 ・ ・15%以下 ・																																																																																																		
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面積の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																															
	化粧薄板: 芯材:					・15%以下 ・																																																																																																
				<p>1級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 1級建築士 第123948号 小原正信</p>		<p>管理技術者 主任技術者 製 図 補 助</p>		<p>設計年月日 R7.09 工 事 名 町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事 縮 尺 図面種類 建築改修工事特記仕様書-4</p>		<p>図面番号 D-05</p>																																																																																												

7 内装改修工事(続き)	6 造作用単板積層材 G	・JAS 0701に基づく造作用単板積層材	施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用		
	・JAS 0701以外の造作用単板積層材	施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用			
	・JAS 3079に基づく直交集成板 (CLT)	施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)	間伐材等の適用	
	・「合板の日本農林規格」による普通合板 G	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用		
	・「合板の日本農林規格」による構造用合板 G	施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	・「合板の日本農林規格」による化粧張り構造用合板 G	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用			
	・「合板の日本農林規格」による天然化粧合板 G	施工箇所	厚さ (mm)	化粧合板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				
	○「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G F☆☆☆☆	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面の品質	化粧板加工の方法	防虫処理			
	・パーティクルボード G JAS A 5908	施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分			
	・JAS 0360に基づく構造用パネル	施工箇所	寸法 (mm)							
7 内装改修工事(続き)	7 合板等 G	・「合板の日本農林規格」による普通合板 G	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用		
	・「合板の日本農林規格」による構造用合板 G	施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	・「合板の日本農林規格」による化粧張り構造用合板 G	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用			
	・「合板の日本農林規格」による天然化粧合板 G	施工箇所	厚さ (mm)	化粧合板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				
	○「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G F☆☆☆☆	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面の品質	化粧板加工の方法	防虫処理			
	・パーティクルボード G JAS A 5908	施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分			
	・JAS 0360に基づく構造用パネル	施工箇所	寸法 (mm)							
	・MDF G	施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分			
	○接着剤	○接着剤 [6.5.3, 4][6.8.2][6.9.3][6.11.4.5] 接着剤は可塑剤 (難燃性の可塑剤を除く) が添加されていないものとする ホルムアルデヒドの放放量 ※規制対象外 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類								

7 内装改修工事(続き)	10 防塵・防蟻処理 [6.5.5]	・防塵、防蟻処理が必要な樹種による製材 適用部位：() ○薬剤の加圧注入による防塵・防蟻処理 適用部位 大引 ・K 2 ○K 3 ・K 4 ○薬剤の塗布等による防塵・防蟻処理 適用部位 処理の方法 薬剤の種類 根太 ※薬剤の製造所の仕様による ・ JIS K5171に適合又は同等品 ※薬剤の製造所の仕様による ・ JIS K5171に適合又は同等品 ※薬剤の製造所の仕様による ・ JIS K5171に適合又は同等品 ・ボード原料接着剤への薬剤混入による防塵、防蟻処理 適用部位：() ・合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位：()
	11 軽量鉄骨天井下地 [6.6.2~4]	野縁等の種類 屋外 (※25形 ・19形) 屋内 (※19形 ・25形) ・屋外の軒天等、ピロティ天井等 野縁受・吊りボルト及びインサートの間隔 ・900程度 ・() ・屋縁部の端からの間隔 ・図示 野縁の間隔 ・300程度 ・() 既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う 試験箇所数 (・ 箇所 ※屋内の場合、当該階において3箇所) 確認強度 (・ N ※屋内の場合、当該階において3箇所) ※吊りボルトの受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m ² 以内の天井の場合は400mm程度 ・行わない ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示 ・天井のふところから1.5m以上の場合 補強方法 ※図示 ・屋内外への耐震補強 ・行う ・行わない 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示 ・耐風圧性を考慮した補強 ・行う (1. 各章共通事項 3. 品質計画による) ・行わない 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示
	12 軽量鉄骨壁下地 [6.7.3] [表6.7.1]	スタッド、ランナーの種類 ※改修標準仕様書6.7.3によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示 スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示
	13 ビニル床シート G [6.8.2.3]	種類 種類の記号 施工箇所 色柄 特殊機能 厚さ (mm) 備考 ○滑溜層の ※FS (模層ビニル床シート) WC・洗面 他(図示) ・無地 ・帯電防止 ○2.0 ないもの ・ マーブル柄 ・耐動荷重性 2.5 ・免染層の ・ビニル系床材 図示 ・無地 ・防汚性 ・1.8 あるもの 床シート ○汚物 ・耐薬品性
	14 ビニル床タイル G [6.8.2.3]	種類 色柄 寸法 厚さ (mm) 備考 ・TT (単層ビニル床タイル (接着型)) ・FT (模層ビニル床タイル (接着型)) ・KT (コンポジションビニル床タイル) ・FOA (置敷きビニル床タイル (置敷き型)) ・FOB (置敷きビニル床タイル (置敷き型))
	15 特殊機能床材 [6.8.2]	種類 厚さ (mm) 寸法 性能 備考 ・帯電防止床シート () ・帯電防止床タイル () ・耐動荷重性床シート () ・防汚性床シート () ・防汚性床シート ()
	16 ビニル床材 [6.8.2]	ソフトラム (定尺915mm) 材質 ※軟質 ・硬質 高さ (mm) ※60 ・75 ・100 厚さ (mm) ※1.5以上
	17 カーペット敷き G	・タイルカーペット パイル形状 種類 施工箇所 寸法 総厚さ (mm) 備考 ※ループパイル ※第一種 ・500×500 ※6.5 ・第二種 ・ ・カットパイル ・第一種 ・500×500 ※6.5 ・第二種 ・ ・カット・ループ併用 ・第一種 ・500×500 ※6.5 ・第二種 ・
	色柄 ※無地 ・柄物 タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・階段部分 ※模様流し ・市松敷き 見切り、押え金物 材質 () 種類 () 形状等 ・図示	

7 内装改修工事(続き)	18 合成樹脂塗床 [6.10.2~3]	種別 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ ※厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床 ※薄膜流し膜べ工法 ・平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・厚膜流し膜べ工法 ・樹脂モルタル工法 ・薄膜型塗床材 ・平滑仕上げ 塗料のホルムアルデヒド放放量 ※規制対象外
	19 フローリング張り G [6.11.2~6] [表6.11.1~5]	種類 工法 樹種 厚さ (mm) 大きさ 仕上塗装 間伐材の適用 ・フローリングボード 1等 ・釘留め工法 (根太張り) ・なら 15 板幅75 板長さ500以上 ・塗装品 ・あり ・釘留め工法 (直張り) ・なら 12以上 板幅75 板長さ500以上 ・あり ・なし ・接着工法 ・なら 12以上 板幅75 板長さ500以上 ・あり ・なし ・フローリングブロック 1等 ・接着工法 ・なら 15 303×303 ・塗装品 ・あり ・無塗装品 ・なし
	天然化粧合板フローリング G	種類 工法 樹種 厚さ/大きさ (mm) 種別 塗装仕上げ 間伐材の適用 ○天然化粧合板フローリング ・釘留め工法 (根太張り) ・なら A種 ・B種 ・C種 ・塗装品 ・無塗装品 ・釘留め工法 (直張り) ・なら A種 ・B種 ・C種 ・接着工法 ・なら 板厚 ○8以上 板幅 ○75以上 板長さ 400以上
	20 畳敷き [6.12.2]	種別 ・A種 ・B種 ※C種 ・D種 (畳床:KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) 下地の種類 ※ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン G) ・標準仕様書 表12.6.1による床組 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。
	21 セッコウボード、その他のボード及び合板張り [6.13.2, 3]	種類 JIS 記号 厚さ (mm)、規格等 ・硬質木毛セメント板 G HW ・15 ・20 ※25 ・普通木毛セメント板 G NW ・15 ・20 ※25 ○けい酸カルシウム板 0.8FK 1.0FK ・突付け ○目透し タイプ2 (無石綿) ※6 ・8 ・10 ○12 ・ロックウール化粧吸音板 DR ※突付け ・フラットタイプ (・9 (不燃) ※12 (不燃) ・凹凸タイプ (・12 (不燃) ・15 (不燃) ・19 (不燃) ・ ※300×600 ・455×910 ○セッコウボード GB-R ※突付け (ペベルエッジ) ○難目処理 (ペベルエッジ) ○12.5 (不燃) ・15 (不燃) ○910×2730 ・910×1820 ・グラスウール吸音ボード32K GW-B ※25 (厚手ガラスクロス板) ※ 留め付け材 樹脂製プラグ@300程度 ・不燃積層セッコウボード GB-NC ※突付け ※9.5 (不燃) ・化粧無 (下地張り用) ・化粧有 (トラバーチン模様) ※450×910 ・910×910 ・シーキングセッコウボード GB-S ・12.5 (不燃) ・強化セッコウボード GB-F ・12.5 (不燃) ・15 (不燃) ・化粧セッコウボード (木目) GB-D ※目透し ・12.5 (不燃) 幅400mm程度 ※9.5
	・メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による (※1.2) ・普通合板 G 表面の樹種名 板面の品質 厚さ 図示 接着の程度 ・1種 ・2種 防虫処理 ・行う ・行わない ・天然化粧合板 G 化粧板の樹種名 厚さ 図示 接着の程度 ・1種 ・2種 防虫処理 ・行う ・行わない セッコウボード等の下地及びセッコウボードの目地工法は図示による 遮音シール材 ※アクリル系またはウレタン系シール材 ・ジョイントバンド (JIS A 6914) 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放放量 ※規制対象外 合板類の張付け ・B種 ・A種	
	22 壁紙張り [6.14.2, 3]	ホルムアルデヒド放放量 ※規制対象外 施工箇所 壁紙の種類 防火種別 商品名 (程度) 紙 繊維 プラスチック 無機質 その他 壁紙張り ・不燃 ・準不燃 遮音性 モルタル・プaster面の下地調整 ※B種 ・A種 コンクリート・ALCパネル面の下地調整 ※B種 ・A種 せっこうボード面の下地調整 ※B種 ・A種 吸水性調整材は、改修標準仕様書4.3.2による 既設目地材 ・設ける 施工箇所 () 形状 (※図示) ・設けない 床の目地 ・設ける (工法※押し目地) (目地割り ※mf程度) (最大目地間隔 ※3m程度) ・設けない 神隠調整目地の位置 床タイル (※縦、横とも4m以内ごと ・図示) 床タイル以外 (・図示) 神隠目地のシーリング材、目地法は改修特記仕様書第3章による ・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等 ※有機接着剤による陶磁器質タイル (セラミックタイル) 張り タイルの形状、寸法等 施工箇所 形状寸法 (mm) 吸水率による区分 I類 II類 III類 無ゆう 有 無 標準 特注 の適用 G 耐凍害性 耐汚 有 無 無 有 無 備考
	23 モルタル張り [6.15.3, 6]	標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ※行わない 見本焼き ・行う ※行わない 既設既合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和材等を用意工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による
	24 タイル張り [6.16.2~4]	標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ※行わない 見本焼き ・行う ※行わない 内装壁タイル接着材張り使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放放量 ※F☆☆☆☆ 種類及び品質 ・せっこう系 ・セメント系 標準寸法 (mm) 高さ (mm) 所定荷重 (N) 表面仕上げ材 備考 施工箇所 寸法 (mm) 高さ (mm) 所定荷重 (N) 表面仕上げ材 備考 ※450角以上 ・600角以下 ・120 ・5000 ・帯電防止床タイル ※タイルカーペット 適用地震時水平力 1階及び地階 ※0.6G以上 中間階 (~ 階) ※0.6G以上 ・1.0G以上 最上階 (階) ※1.0G 以上 帯電防止床タイル ・置敷きタイプ ・パネル一体タイプ (パネル一体タイプ以外の仕上げ材は別途内装工事とする) 寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2) (a) ~ (c) による 厚さ ±0.5mm 平直度 パネル周辺部 1.0mm以下 図心と各頂点を結ぶ線上部 2.0mm以下 表面仕上材の品質、性能は、標準仕様書19章による
	25 セルフレベリング材 塗り [6.17.2, 3]	種類及び品質 ・せっこう系 ・セメント系 標準寸法 (mm) 高さ (mm) 所定荷重 (N) 表面仕上げ材 備考
26 フリーアクセスフロア [20.2.2]	施工箇所 寸法 (mm) 高さ (mm) 所定荷重 (N) 表面仕上げ材 備考 ※450角以上 ・600角以下 ・120 ・5000 ・帯電防止床タイル ※タイルカーペット	
27 可動間仕切 [20.2.3]	構造形式による種類 構造基材の種類 パネル表面材 遮音性 (dB/500Hz) 防火性能 スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・パネル式 ・スタッドパネル式 ※メラミン樹脂張付 ・36未満 又は樹脂焼付アクリル ・36以上 ・壁紙張り パネル内に取付ける建具 ・あり (※図示) ・なし 表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による パネル材料のホルムアルデヒド放放量 ※規制対象外 ガラス留め材 ・ガスケット ・シーリング	

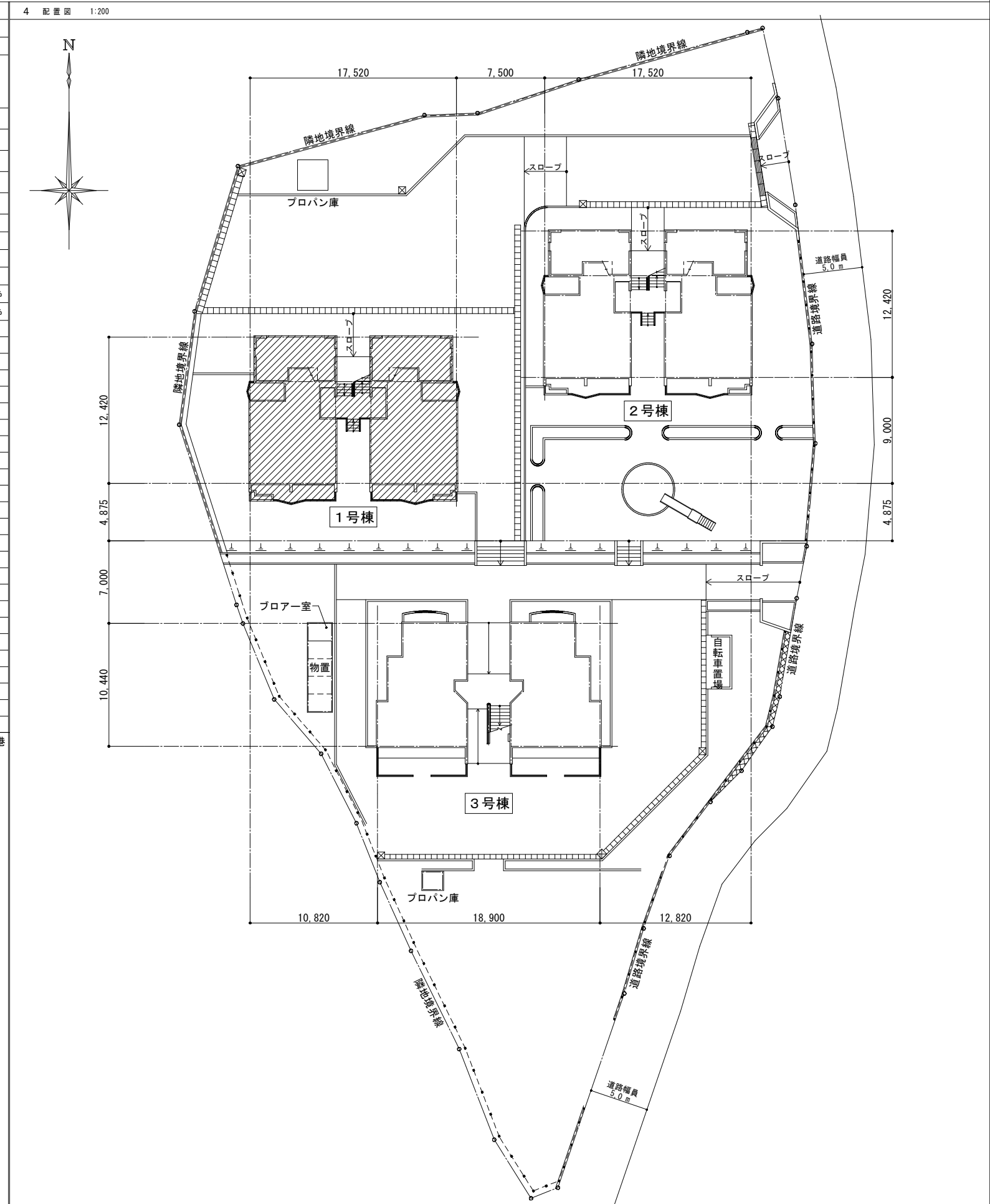
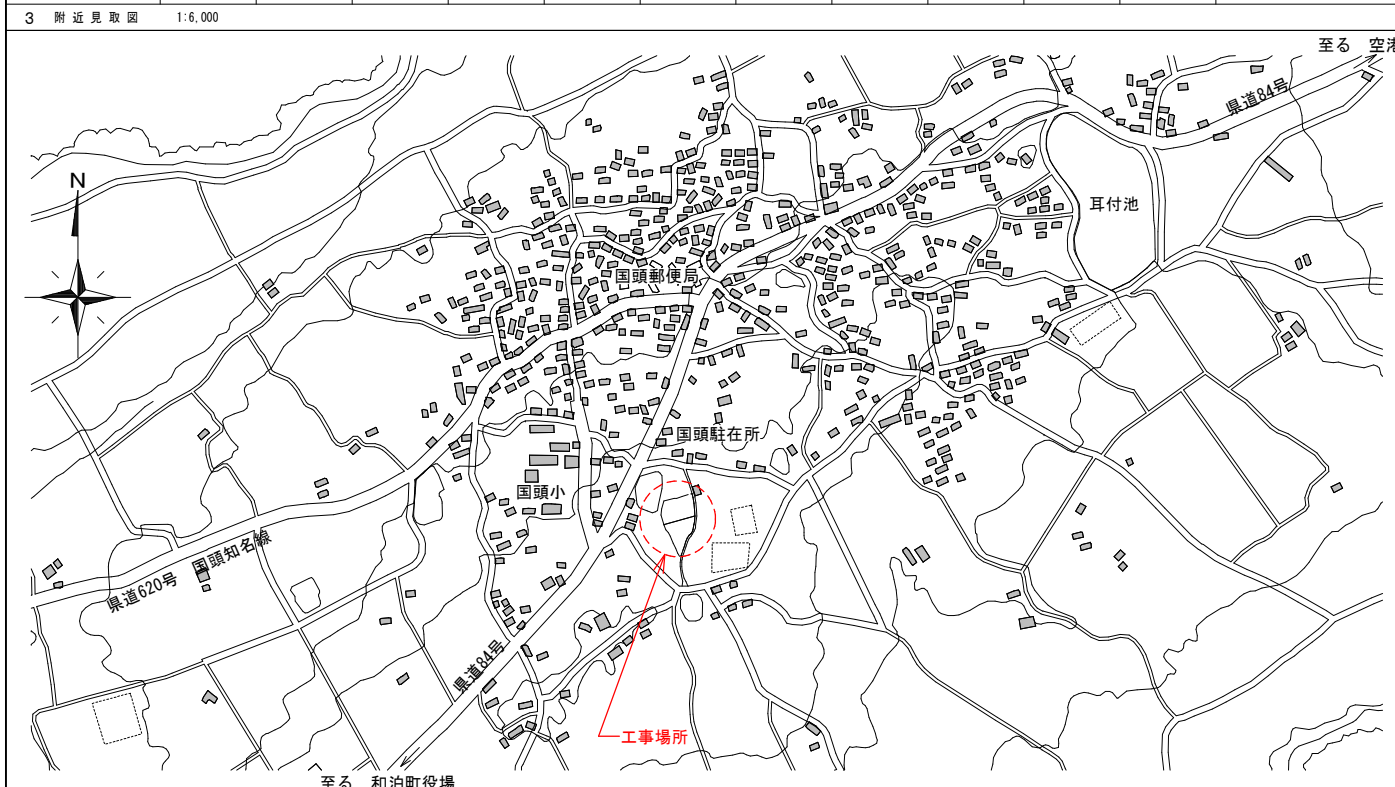
7	28 移動間仕切	<p>[20.2.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>構造形式</th> <th>操作方法</th> <th>パネル圧縮装置の操作方法</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th colspan="2">パネル表面材</th> <th>遮音性 (dB/500Hz)</th> </tr> <tr> <td>・平行方向 移動式</td> <td>・手動式 ・電動式</td> <td>・フッシュ式 ・ハンドル式</td> <td>※60程度 ・100程度</td> <td>材質</td> <td>パネル表面仕上げ</td> <td>・36未満 ・36以上</td> </tr> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。 ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 ・図示 移動間仕切の壁面当たり枠 ※適用する（製造所の仕様による） ランナー パネル重量の5倍の荷重をパネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする</p>	構造形式	操作方法	パネル圧縮装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材		遮音性 (dB/500Hz)	・平行方向 移動式	・手動式 ・電動式	・フッシュ式 ・ハンドル式	※60程度 ・100程度	材質	パネル表面仕上げ	・36未満 ・36以上	7	36 カーテンレール	<p>[20.2.16]</p> <p>・再使用する ・新設する</p> <p>材質 ※アルミニウム製及びアルミニウム合金の押出し成型材 形式 シングル ・ダブル 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形</p>																																															
	構造形式	操作方法	パネル圧縮装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材		遮音性 (dB/500Hz)																																																											
	・平行方向 移動式	・手動式 ・電動式	・フッシュ式 ・ハンドル式	※60程度 ・100程度	材質	パネル表面仕上げ	・36未満 ・36以上																																																											
	29 トイレブース	<p>[20.2.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>表面材の種類</th> <th>色柄</th> <th>脚部</th> <th>形状</th> <th>ドアエッジ</th> <th>材質</th> </tr> <tr> <td>※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※無地 ・柄物</td> <td>※幅木タイプ ・</td> <td>※標準 ・R</td> <td>※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材</td> <td></td> </tr> </table> <p>吊り方式 ※中心吊、戸当たり付 () パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p>	表面材の種類	色柄	脚部	形状	ドアエッジ	材質	※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※無地 ・柄物	※幅木タイプ ・	※標準 ・R	※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材		37 ブラインドボックス及びカーテンボックス	<p>・再使用する ・新設する</p> <p>清型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示</p> <p>材質 ・集成材 (仕上げ:) ※アルミニウム製 押出形材 (市販品) 表面処理 ・C-1 ・C-2 皮膜等の種類 ※標準仕様書 表14.2.1による ・鋼製 (仕上げ:)</p>																																																		
表面材の種類	色柄	脚部	形状	ドアエッジ	材質																																																													
※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※無地 ・柄物	※幅木タイプ ・	※標準 ・R	※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材																																																														
30 視覚障害者用床タイル	<p>[11.2.2] [19.2.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋内</td> <td>・塩化ビニール製</td> <td>※300×300</td> <td>・7.0</td> </tr> <tr> <td>・セラミックタイル</td> <td>※300×300</td> <td>※17程度</td> </tr> <tr> <td>・レジンコンクリート製</td> <td>※300×300</td> <td>・30</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋外</td> <td>・セラミックタイル</td> <td>※300×300</td> <td>※17程度</td> </tr> <tr> <td>・レジンコンクリート製</td> <td>※300×300</td> <td>・30</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>視覚障害者用ブロック等の突起の形状及びその配列はJIS T 9251による ・樹脂系点字版 (タイルカーベット用) 寸法 ・300角 ※500角 色 ※黄色 樹脂系点字版の留付は、両面からの挟込みホック式または接着式</p>	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・塩化ビニール製	※300×300	・7.0	・セラミックタイル	※300×300	※17程度	・レジンコンクリート製	※300×300	・30	屋外	・セラミックタイル	※300×300	※17程度	・レジンコンクリート製	※300×300	・30	・	・	・	38 天井点検口	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム製</td> <td>※450×450 ・600×600</td> <td>・一般型</td> <td>・屋内外用 ・屋内用</td> <td>※縦線タイプ ・目地タイプ</td> </tr> <tr> <td colspan="5">(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による</td> </tr> </table>	材質	寸法	形式	外枠	内枠	※アルミニウム製	※450×450 ・600×600	・一般型	・屋内外用 ・屋内用	※縦線タイプ ・目地タイプ	(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による																												
施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																																															
屋内	・塩化ビニール製	※300×300	・7.0																																																															
	・セラミックタイル	※300×300	※17程度																																																															
	・レジンコンクリート製	※300×300	・30																																																															
屋外	・セラミックタイル	※300×300	※17程度																																																															
	・レジンコンクリート製	※300×300	・30																																																															
	・	・	・																																																															
材質	寸法	形式	外枠	内枠																																																														
※アルミニウム製	※450×450 ・600×600	・一般型	・屋内外用 ・屋内用	※縦線タイプ ・目地タイプ																																																														
(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による																																																																		
31 階段滑り止め	<p>[20.2.7]</p> <p>材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製押出形材</p> <p>滑り止め材 形状 ・ひも型 ・タイヤ型 材質 ゴム又は合成樹脂 取付工法 ・接着工法 ・埋め込み工法 幅 (mm) ・図示 端部フラットエンド ・あり ・なし</p>	39 床点検口	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>(底板) ※鋼製</td> <td>・450×450</td> <td>・一般型</td> <td>・屋内外用 ・壁付き</td> </tr> <tr> <td>(枠) ※アルミニウム製</td> <td>※600×600</td> <td>・密閉型</td> <td>※屋内用 ※壁なし</td> </tr> <tr> <td>(目地) ※ステンレス製</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による</td> </tr> </table>	材質	寸法	形式	備考	(底板) ※鋼製	・450×450	・一般型	・屋内外用 ・壁付き	(枠) ※アルミニウム製	※600×600	・密閉型	※屋内用 ※壁なし	(目地) ※ステンレス製				(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による																																														
材質	寸法	形式	備考																																																															
(底板) ※鋼製	・450×450	・一般型	・屋内外用 ・壁付き																																																															
(枠) ※アルミニウム製	※600×600	・密閉型	※屋内用 ※壁なし																																																															
(目地) ※ステンレス製																																																																		
(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による																																																																		
32 床目地枠	<p>[20.2.8]</p> <p>床仕上げの異なる箇所には目地枠を入れる ※ステンレス製 (幅40程度) (1.5) 標準詳細図 (A-31-1) ・ステンレス製6×12 標準詳細図 (A-31-2) ・黄銅製6×12 標準詳細図 (A-31-3)</p>	39 床点検口																																																																
33 手すり	<p>[20.2.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>径</th> <th>材質</th> <th>仕上</th> </tr> <tr> <td>・1段</td> <td>・35φ ・45φ</td> <td>※タモ</td> <td>※C L</td> </tr> <tr> <td>※2段</td> <td>※35φ</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・既製手すり (樹脂製)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>径</th> <th>ブラケット</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※O型 (1段)</td> <td>※40φ</td> <td>アルミ合金製</td> <td>指づめ防止材共</td> </tr> <tr> <td>※O型 (2段)</td> <td>※34φ</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>点字表示板 () 箇所 JIS T 0921 に基づく点字の表示原則及び点字表示方法による ※ポリカーボネード製 大きさ 120×150程度 厚み 0.1程度 ※塩ビ製 大きさ 100×125程度 厚み 0.1程度</p>	形式	径	材質	仕上	・1段	・35φ ・45φ	※タモ	※C L	※2段	※35φ	・	・	形式	径	ブラケット	備考	※O型 (1段)	※40φ	アルミ合金製	指づめ防止材共	※O型 (2段)	※34φ	・	・	8	① 材料	<p>[7.1.3]</p> <p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 防火材料 ※室内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)</p>																																						
形式	径	材質	仕上																																																															
・1段	・35φ ・45φ	※タモ	※C L																																																															
※2段	※35φ	・	・																																																															
形式	径	ブラケット	備考																																																															
※O型 (1段)	※40φ	アルミ合金製	指づめ防止材共																																																															
※O型 (2段)	※34φ	・	・																																																															
34 ブラインド	<p>[20.2.14]</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>55φ幅 (mm)</th> <th>ボックス・レールの材質</th> <th>幅・高さ 取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・横型</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム 合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・縦型</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>アルミニウム 合金製</td> <td>・図示 ・</td> </tr> </table> <p>スラットの材質 アルミスラット 焼付け塗装仕上げ クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	55φ幅 (mm)	ボックス・レールの材質	幅・高さ 取付箇所	・横型	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム 合金製	※25	※鋼製	・図示 ・	・縦型	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム 合金製	・図示 ・	② 下地調整	<p>[7.2.1~7]</p> <p>差替えRB種の場合の既存差込の除去範囲 ※変化部分は除去し、活版部分は残す 既存禁止塗料の鉛含有調査 ・行う () 箇所 ・行わない</p> <p>下地調整</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">下地面の種類</th> <th colspan="2">下地調整の種類</th> <th rowspan="2">ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <th>差替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>※RB種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※RB種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>※RB種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)</td> <td>※RB種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>モルタル、プaster面</td> <td>※RB種</td> <td>標準仕様書 (18.2.1) 素地ごしらえによる</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外)、 ALCパネル面</td> <td>※RB種</td> <td>・</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・RA種 ※RB種 ・RC種</td> <td>・</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP)</td> <td>※RB種 ・RC種</td> <td>・</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及び その他ボード面</td> <td>※RB種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	下地面の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修	差替え	新規	木部	※RB種	・	・	鉄鋼面	※RB種	・	・	亜鉛めっき鋼面	※RB種	・	・	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※RB種	・	・	モルタル、プaster面	※RB種	標準仕様書 (18.2.1) 素地ごしらえによる	・行う ・行わない	コンクリート面 (DP以外)、 ALCパネル面	※RB種	・	・行う ・行わない	押出成形セメント板面	・RA種 ※RB種 ・RC種	・	・行う ・行わない	コンクリート面 (DP)	※RB種 ・RC種	・	・行う ・行わない	せつこうボード面及び その他ボード面	※RB種	・	・
形式	操作方法	種類	スラットの材質	55φ幅 (mm)	ボックス・レールの材質	幅・高さ 取付箇所																																																												
・横型	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム 合金製	※25	※鋼製	・図示 ・																																																												
・縦型	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム 合金製	・図示 ・																																																												
下地面の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修																																																															
	差替え	新規																																																																
木部	※RB種	・	・																																																															
鉄鋼面	※RB種	・	・																																																															
亜鉛めっき鋼面	※RB種	・	・																																																															
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※RB種	・	・																																																															
モルタル、プaster面	※RB種	標準仕様書 (18.2.1) 素地ごしらえによる	・行う ・行わない																																																															
コンクリート面 (DP以外)、 ALCパネル面	※RB種	・	・行う ・行わない																																																															
押出成形セメント板面	・RA種 ※RB種 ・RC種	・	・行う ・行わない																																																															
コンクリート面 (DP)	※RB種 ・RC種	・	・行う ・行わない																																																															
せつこうボード面及び その他ボード面	※RB種	・	・																																																															
35 カーテン	<p>[20.2.16]</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>商品名 (程度)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・シングル</td> <td>・片引き</td> <td>・フラスンひだ</td> <td></td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ダブル</td> <td>・引分け</td> <td>・箱ひだ、つまひだ ・ブレンヒだ、片ひだ</td> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・シングル</td> <td>・片引き</td> <td>・フラスンひだ</td> <td></td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ダブル</td> <td>・引分け</td> <td>・箱ひだ、つまひだ ・ブレンヒだ、片ひだ</td> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p>	形式	開閉操作	ひだの種類	商品名 (程度)	取付箇所	備考	・シングル	・片引き	・フラスンひだ		・図示		・ダブル	・引分け	・箱ひだ、つまひだ ・ブレンヒだ、片ひだ		・		・シングル	・片引き	・フラスンひだ		・図示		・ダブル	・引分け	・箱ひだ、つまひだ ・ブレンヒだ、片ひだ		・																																				
形式	開閉操作	ひだの種類	商品名 (程度)	取付箇所	備考																																																													
・シングル	・片引き	・フラスンひだ		・図示																																																														
・ダブル	・引分け	・箱ひだ、つまひだ ・ブレンヒだ、片ひだ		・																																																														
・シングル	・片引き	・フラスンひだ		・図示																																																														
・ダブル	・引分け	・箱ひだ、つまひだ ・ブレンヒだ、片ひだ		・																																																														

8	③ 禁止塗料塗り	<p>[7.4.2.3]</p> <p>禁止塗料塗りの種別</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">鉄鋼面</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">塗料</th> <th>工程</th> </tr> <tr> <th>塗料</th> <th>塗料</th> <th>工程</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">E P-G以外</td> <td rowspan="4">塗替え 新規鉄鋼面見え掛り 新規見え隠れ</td> <td>A種</td> <td>※C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>※A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>※C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>※A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">E P-G</td> <td rowspan="4">塗替え 新規鉄鋼面見え掛り 新規見え隠れ</td> <td>B種</td> <td>※A種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>※A種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>※A種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">E P-G以外</td> <td rowspan="2">塗替え 新規鋼製建具等</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>※A種</td> <td>※C種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">E P-G</td> <td rowspan="2">塗替え 新規鋼製建具等</td> <td>C種</td> <td></td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td></td> <td>※A種</td> </tr> </table>	鉄鋼面	塗装面	塗料		工程	塗料	塗料	工程	E P-G以外	塗替え 新規鉄鋼面見え掛り 新規見え隠れ	A種	※C種		A種	※A種		B種	※C種		B種	※A種		E P-G	塗替え 新規鉄鋼面見え掛り 新規見え隠れ	B種	※A種	※A種	B種	※A種	※C種	B種	※A種	※B種	B種	※A種	※C種	E P-G以外	塗替え 新規鋼製建具等	※A種	※B種	※A種	※A種	※C種	※C種	E P-G	塗替え 新規鋼製建具等	C種		※A種	C種		※A種																																															
鉄鋼面	塗装面	塗料			工程																																																																																																
		塗料	塗料	工程																																																																																																	
E P-G以外	塗替え 新規鉄鋼面見え掛り 新規見え隠れ	A種	※C種																																																																																																		
		A種	※A種																																																																																																		
		B種	※C種																																																																																																		
		B種	※A種																																																																																																		
E P-G	塗替え 新規鉄鋼面見え掛り 新規見え隠れ	B種	※A種	※A種																																																																																																	
		B種	※A種	※C種																																																																																																	
		B種	※A種	※B種																																																																																																	
		B種	※A種	※C種																																																																																																	
E P-G以外	塗替え 新規鋼製建具等	※A種	※B種	※A種																																																																																																	
		※A種	※C種	※C種																																																																																																	
E P-G	塗替え 新規鋼製建具等	C種		※A種																																																																																																	
		C種		※A種																																																																																																	
9	④ 塗装	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○合成樹脂塗料 ペイント塗り (SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗料の種類 ※1種・2種</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・クリヤラッカー塗り (QL)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐蝕性塗料塗り (DP)</td> <td>上塗り等級 () 級</td> <td>・</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 上塗り等級 () 級</td> <td>・</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP-G)</td> <td>コンクリート面及び 押出成形 セメント板面</td> <td>※B種</td> <td>・A種 ・B種 ・C-1種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td>屋内の木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)</td> <td>屋内の亜鉛めっき鋼面</td> <td>※A種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・オイルステイン塗り (OS)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・木材保護塗料塗り (WP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> </table> <p>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プaster面、せつこうボード面、その他ボード面) の塗替えの場合のしめ止め ※改修標準仕様書 表7.9.1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする 合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしめ止め ※改修標準仕様書 表7.10.1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする ・高反射反射率塗料塗り [G]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工程</th> <th colspan="4">塗料その他</th> <th rowspan="2">塗付け量 (kg/m2)</th> </tr> <tr> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th>種類</th> <th>等級</th> </tr> <tr> <td>塗料塗り</td> <td>JIS K 5675</td> <td>屋根用高反射率塗料</td> <td>2種</td> <td>・1級 ・2級 ・3級</td> <td>塗料製造所の仕様による</td> </tr> </table> <p>下地調整 (改修標準仕様書7.2.2) ・RB種 ・RB種 ・RC種</p>	塗装の種類	塗装	工程		塗替え	新規	○合成樹脂塗料 ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※B種	※A種	木部屋内	※B種	※B種	塗料の種類 ※1種・2種	鉄鋼面	※B種	※B種・A種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※A種	※B種	・クリヤラッカー塗り (QL)	鉄鋼面	※B種	※B種	鉄鋼面	※B種	※B種	・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	※B種	※B種	鉄鋼面	※B種	A種	・耐蝕性塗料塗り (DP)	上塗り等級 () 級	・	A種	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級 () 級	・	A種	・つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP-G)	コンクリート面及び 押出成形 セメント板面	※B種	・A種 ・B種 ・C-1種	コンクリート面等	※B種	・A種 ・B種	○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	屋内の木部	※B種	※A種	屋内の鉄鋼面	※B種	・A種 ・B種	・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	屋内の亜鉛めっき鋼面	※A種	・A種	鉄鋼面	※B種	・A種 ・B種	・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	鉄鋼面	※B種	・A種 ・B種	鉄鋼面	※B種	・A種	・オイルステイン塗り (OS)	鉄鋼面	※B種	※B種	鉄鋼面	※B種	※B種	・木材保護塗料塗り (WP)	鉄鋼面	※B種	※B種	鉄鋼面	※B種	※B種	工程	塗料その他				塗付け量 (kg/m2)	規格番号	規格名称	種類	等級	塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による
塗装の種類	塗装	工程																																																																																																			
		塗替え	新規																																																																																																		
○合成樹脂塗料 ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※B種	※A種																																																																																																		
	木部屋内	※B種	※B種																																																																																																		
塗料の種類 ※1種・2種	鉄鋼面	※B種	※B種・A種																																																																																																		
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※A種	※B種																																																																																																		
・クリヤラッカー塗り (QL)	鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																																		
	鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																																		
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																																		
	鉄鋼面	※B種	A種																																																																																																		
・耐蝕性塗料塗り (DP)	上塗り等級 () 級	・	A種																																																																																																		
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級 () 級	・	A種																																																																																																		
・つや有合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP-G)	コンクリート面及び 押出成形 セメント板面	※B種	・A種 ・B種 ・C-1種																																																																																																		
	コンクリート面等	※B種	・A種 ・B種																																																																																																		
○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	屋内の木部	※B種	※A種																																																																																																		
	屋内の鉄鋼面	※B種	・A種 ・B種																																																																																																		
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	屋内の亜鉛めっき鋼面	※A種	・A種																																																																																																		
	鉄鋼面	※B種	・A種 ・B種																																																																																																		
・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	鉄鋼面	※B種	・A種 ・B種																																																																																																		
	鉄鋼面	※B種	・A種																																																																																																		
・オイルステイン塗り (OS)	鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																																		
	鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																																		
・木材保護塗料塗り (WP)	鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																																		
	鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																																		
工程	塗料その他				塗付け量 (kg/m2)																																																																																																
	規格番号	規格名称	種類	等級																																																																																																	
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による																																																																																																
5	フッ素樹脂塗装	<p>打散しコンクリート面保護工法 (下塗材) 水性 浸透性吸水防止材 (上塗材) ・水性フッ素樹脂クレーヤー ・水性フッ素樹脂グラウクレーヤー</p>																																																																																																			
6	焼付塗装	<table border="1"> <tr> <th>素材</th> <th>焼付種別</th> <th>仕上げ</th> <th>コート</th> <th>ベーク</th> <th>部位</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・アルミニウム</td> <td>・フッ素樹脂</td> <td>・ソリッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂</td> <td>・メタリック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ステンレス</td> <td>・フッ素樹脂</td> <td>・ソリッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂</td> <td>・メタリック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・亜鉛めっき鋼板</td> <td>・フッ素樹脂</td> <td>・ソリッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂</td> <td>・メタリック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	素材	焼付種別	仕上げ	コート	ベーク	部位	・アルミニウム	・フッ素樹脂	・ソリッド				・ウレタン樹脂	・メタリック				・アクリル樹脂	・				・ステンレス	・フッ素樹脂	・ソリッド				・ウレタン樹脂	・メタリック				・アクリル樹脂	・				・亜鉛めっき鋼板	・フッ素樹脂	・ソリッド				・ウレタン樹脂	・メタリック				・アクリル樹脂	・																																																
素材	焼付種別	仕上げ	コート	ベーク	部位																																																																																																
・アルミニウム	・フッ素樹脂	・ソリッド																																																																																																			
	・ウレタン樹脂	・メタリック																																																																																																			
	・アクリル樹脂	・																																																																																																			
・ステンレス	・フッ素樹脂	・ソリッド																																																																																																			
	・ウレタン樹脂	・メタリック																																																																																																			
	・アクリル樹脂	・																																																																																																			
・亜鉛めっき鋼板	・フッ素樹脂	・ソリッド																																																																																																			
	・ウレタン樹脂	・メタリック																																																																																																			
	・アクリル樹脂	・																																																																																																			

9	① 石綿含有建材の除去工事	<p>[9.1.1.3~5]</p> <p>施工調査 ※石綿含有建材の事前調査 設計にて調査済み (内装部はクリソライト含有) 工事 表示形態の変更</p> <p>工事着手に先立ち、目視及び臭気による設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。 調査範囲 (※改修対象部位 ・図示) 貸与資料 ()</p> <p>○分析による石綿含有建材の調査 ○設計に無い疑わしい部位がある場合 (追加) 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソライト、クロソライト、トレモライト</p> <p>分析方法</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析 (JIS A 1481-1または JIS A 1481-2)</th> <th>定量分析 (JIS A 1481-3または JIS A 1481-4)</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・箇所</td> <td>・箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・箇所</td> <td>・箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・箇所</td> <td>・箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・箇所</td> <td>・箇所</td> </tr> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取場所 ・図示 採取機 測定器 測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・測定2</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・測定4</td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>計点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・測定5</td> <td>負圧、除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>出口吹き出し風速 1m/s以下の位置</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・測定6</td> <td>処理作業室内</td> <td>・施工区画周辺 ・敷地境界</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・測定7</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・測定8</td> <td>処理作業後シート</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・測定9</td> <td>撤去後1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計点</td> </tr> </table> <p>・JIS K 3850-1に基づいた測定 [9.1.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレフィルター 直径 (mm)</th> <th>試料の吸引 流量 (L/min)</th> <th>試料の吸引 時間 (min)</th> </tr> <tr> <td>・測定4</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>・測定5</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・自動測定機による測定</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> <tr> <td>・測定4</td> <td>粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td>・測定5</td> <td></td> </tr> </table>	材料名	定性分析 (JIS A 1481-1または JIS A 1481-2)	定量分析 (JIS A 1481-3または JIS A 1481-4)	・	・箇所	・箇所	・	・箇所	・箇所	・	・箇所	・箇所	・	・箇所	・箇所	測定名称	測定時期	測定場所	備考	・測定1	処理作業前	処理作業室内	計点	・測定2	調査対象室外部の付近	計点		・測定3	処理作業中	処理作業室内	計点	・測定4	セキュリティゾーン入口	計点		・測定5	負圧、除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹き出し風速 1m/s以下の位置	計点	・測定6	処理作業室内	・施工区画周辺 ・敷地境界	計点	・測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計点	・測定8	処理作業後シート	処理作業室内	計点	・測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計点	測定名称	メンブレフィルター 直径 (mm)	試料の吸引 流量 (L/min)	試料の吸引 時間 (min)	・測定4	25	5	30	・測定5	47	10	120	・測定	47	10	240	・測定				・測定				測定名称	測定方法	・測定4	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	・測定5	
材料名	定性分析 (JIS A 1481-1または JIS A 1481-2)	定量分析 (JIS A 1481-3または JIS A 1481-4)																																																																																					
・	・箇所	・箇所																																																																																					
・	・箇所	・箇所																																																																																					
・	・箇所	・箇所																																																																																					
・	・箇所	・箇所																																																																																					
測定名称	測定時期	測定場所	備考																																																																																				
・測定1	処理作業前	処理作業室内	計点																																																																																				
・測定2	調査対象室外部の付近	計点																																																																																					
・測定3	処理作業中	処理作業室内	計点																																																																																				
・測定4	セキュリティゾーン入口	計点																																																																																					
・測定5	負圧、除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹き出し風速 1m/s以下の位置	計点																																																																																				
・測定6	処理作業室内	・施工区画周辺 ・敷地境界	計点																																																																																				
・測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計点																																																																																				
・測定8	処理作業後シート	処理作業室内	計点																																																																																				
・測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計点																																																																																				
測定名称	メンブレフィルター 直径 (mm)	試料の吸引 流量 (L/min)	試料の吸引 時間 (min)																																																																																				
・測定4	25	5	30																																																																																				
・測定5	47	10	120																																																																																				
・測定	47	10	240																																																																																				
・測定																																																																																							
・測定																																																																																							
測定名称	測定方法																																																																																						
・測定4	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																						
・測定5																																																																																							
9	② 石綿含有吹付材の処理	<p>[9.1.3]</p> <p>石綿含有吹付材の処理 ・石綿含有吹付材の除去 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※ [9.1.3] (2) (7)による 除去した石綿含有吹付材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ※固形化 除去した石綿含有吹付材の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有保温材の除去 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ・切断又は破砕して除去 ・手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ※固形化 除去した石綿含有吹付材の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>処理を行う石綿含有保温材等の仕様等</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td>・石綿含有保温材</td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・石綿含有耐火被覆板</td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・石綿含有断熱材</td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> </table> <p>・石綿含有成形板、石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板 (下地調整材) の除去 除去対象範囲 ※図示 除去した石綿形成板等の処分 石綿含有せつこうボード ・埋立処分 (管理型最終処分場) 石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板、石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板 (下地調整材) の除去 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・埋立処分 (安定型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>[9.1.1] 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ・図示</p>	材料名	厚さ (mm)	処理を行う範囲	・石綿含有保温材		※図示	・石綿含有耐火被覆板		※図示	・石綿含有断熱材		※図示																																																																									
材料名	厚さ (mm)	処理を行う範囲																																																																																					
・石綿含有保温材		※図示																																																																																					
・石綿含有耐火被覆板		※図示																																																																																					
・石綿含有断熱材		※図示																																																																																					

設計概要

1 一般事項				4 配置図 1:200					
工事名称	町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事			建築主	(社名) 和泊町長 前 登志朗 (TEL) 0997-92-1111 (住所) 鹿児島県大島郡和泊町和泊10				
敷地位置	鹿児島県大島郡和泊町国頭3088-1			工事種別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 別棟増築 <input type="checkbox"/> 増改築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 用途変更 <input type="checkbox"/> 大規模の修繕 <input type="checkbox"/> 大規模の模様替え ●改修				
	用途地域	<input type="checkbox"/> 第1種低層住専 <input type="checkbox"/> 第2種低層住専 <input type="checkbox"/> 第1種中高層住専 <input type="checkbox"/> 第2種中高層住専 <input type="checkbox"/> 第1種住居 <input type="checkbox"/> 第2種住居 <input type="checkbox"/> 準住居 <input type="checkbox"/> 近隣商業 <input type="checkbox"/> 商業 <input type="checkbox"/> 準工業 <input type="checkbox"/> 工業 <input type="checkbox"/> 工業専用 ●指定なし			主要用途	共同住宅			
	防火地域	<input type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 準防火 <input type="checkbox"/> 法22条の地域 ●指定なし <input type="checkbox"/> 2つの地域にわたる場合(防火 m ² ・準防火 m ²)				駐車場等	申請部分	m ²	台
	その他の指定(都市計画)	<input type="checkbox"/> 農産地区 <input type="checkbox"/> 風致地区(国立公園) <input type="checkbox"/> 駐車場整備地区 <input type="checkbox"/> 土地区画整理事業地区 <input type="checkbox"/> 宅地造成工事規制区域 <input type="checkbox"/> 砂防区域 <input type="checkbox"/> 総合的設計による1団地 <input type="checkbox"/> 特定街区 <input type="checkbox"/> その他()				工作物等	申請以外の部分	m ²	台
道路	道路巾員	前面 5.0m (接道 43.9m)	法42条(1)項(1)号道路	形態規制		高度地区	内容: 高さ規制		
面積	敷地面積	1,841.43 m ²		高度利用地区	内容: 容積率規制 %以上				
	建築面積	1号棟	2号棟	合計	斜率制限	・道路斜線 ・隣地境界斜線 ・北側斜線			
	延べ面積	200.52 m ²	200.52 m ²	401.04 m ²	総合設計	<input type="checkbox"/> 法52条第3項第3号 <input type="checkbox"/> 法55条第1項第3号 <input type="checkbox"/> 法56条第3項			
2 建築物概要(棟別)				建ぺい率	401.04 / 1,841.43 X 100 = 21.78 % ≤ 許容 %				
建物用途	共同住宅			容積率	539.98 / 1,841.43 X 100 = 29.32 % ≤ 許容 %				
工事種別	大規模の修繕								
構造	鉄筋コンクリート造 2階建て								
基礎・杭									
屋根	防水コンクリートタッピングコテ押えの上GP								
外壁	合板型枠コンクリート打放しアクリル系リシン吹付								
軒裏	合板型枠コンクリート打放しアクリル系リシン吹付 ケイ酸カルシウム板目スキャン張り(7) 6.0 EP塗装 一部有孔板								
各階床面積	区分	1号棟	2号棟	合計					
	階	m ²	m ²	m ²					
	2	134.99	134.99						
1	134.99	134.99							
合計		269.99	269.99	539.98					
高さ	建築面積	200.52	200.52	401.04					
	最高の高さ	7.6075 m							
	最高の軒の高さ	6.70 m							
前面道路の中心高と基準GLとの関係	m								
建築設備の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 給水 <input checked="" type="checkbox"/> 排水 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 換気 <input checked="" type="checkbox"/> 空調 <input type="checkbox"/> 避雷針 <input type="checkbox"/> 昇降機 <input type="checkbox"/> 非常用照明 <input type="checkbox"/> 非常用エレベーター <input type="checkbox"/> 機械排煙 <input type="checkbox"/> 浄化槽								
消防設備の種類	<input type="checkbox"/> 火災報知設備 <input type="checkbox"/> 非常警報 <input type="checkbox"/> 誘導灯 <input type="checkbox"/> 漏電警報 <input type="checkbox"/> 屋内消火栓 <input type="checkbox"/> スプリンクラー <input type="checkbox"/> 連結送水管 <input type="checkbox"/> 消防用水利 <input type="checkbox"/> 屋外消火栓 <input type="checkbox"/> 非常用コンセント <input type="checkbox"/> 化学消火 <input type="checkbox"/>								



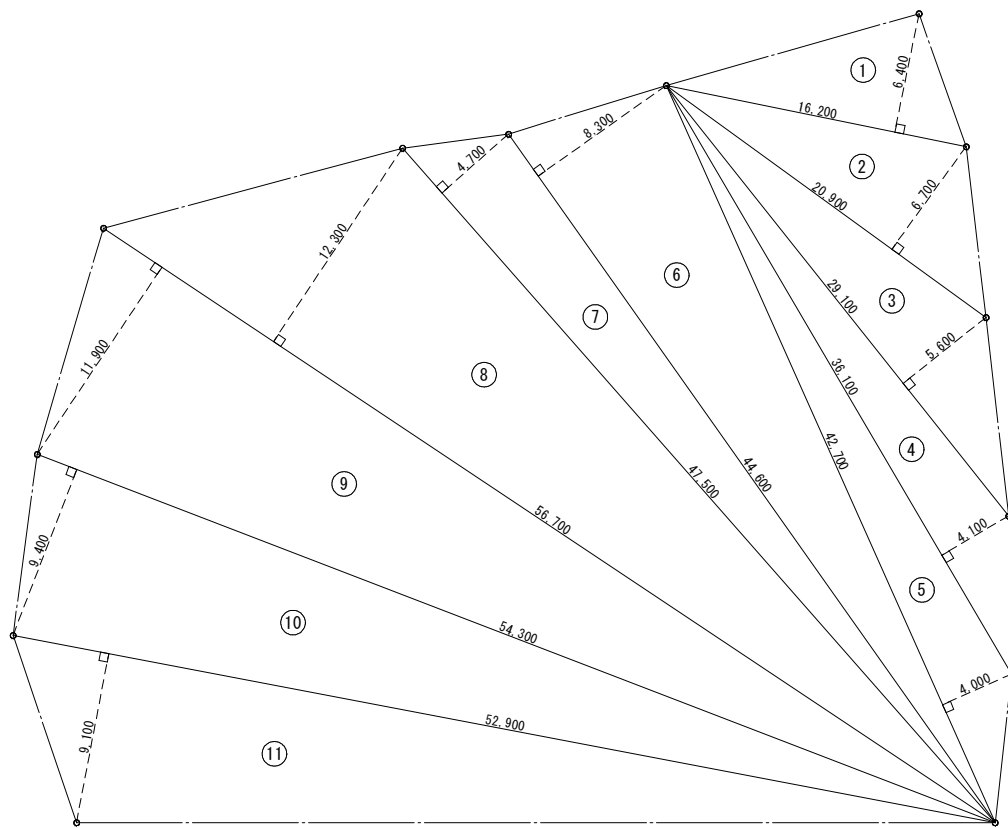
設計年月日	R7.09	工事名	町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事	図面番号	図面種類
縮尺	1:200 (A1) 1:400 (A3)	図面種類	設計概要・附近見取図・配置図	D-11	
管理建築士	一級建築士 第123948号 小原正信	主任技術者		製図	
管理技術者		製図		補助	
一級建築士事務所	鹿児島県知事登録 第1-5-18号	永園設計株式会社			
管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信					

外部仕上表		改修前仕上	改修後仕上	改修前仕上	改修後仕上
屋根	防水コンクリートタンピング金コテ押エ G P	ワイヤメッシュ入φ5 150×150 (1目重ネ)	高圧水洗浄 (15MPa) カチオン系下地処理の上 塗膜防水 (X-2H)	ドレン φ100 鋼鉄製縦型ルーフドレン (屋根) φ100 鋼鉄製横型ドレン (バルコニー、階段)	φ100 改修用縦型ルーフドレン (屋根) φ100 改修用横型ドレン (バルコニー、階段)
外壁	ベニヤ合板コンクリート打放しの上アクリル系リシン吹付		高圧水洗浄 (15MPa) の上 防水形複層塗材 E	縦樋 φ100 硬質塩ビパイプ (V P 塗) つかみ金物: ステンレス滑り止め付 (@1,300以内)	既存塗装 ケレン 再塗装 つかみ金物: 既存のまま
巾木	ベニヤ合板コンクリート打放し		高圧水洗浄 (15MPa) のみ	換気パイプ φ50 硬質塩ビパイプ	既存のまま
軒裏	ベニヤ合板コンクリート打放しの上アクリル系リシン吹付、厚6.0ケイ酸カルシウム板 V P 塗		高圧水洗浄 (15MPa) の上 外装薄塗材 E 既存厚6.0ケイ酸カルシウム板撤去 (木下地共) ~ 天井撤去部の躯体面: 下地調整の上 外装薄塗材 E	床下換気口 G R C 製 420×170	既存のまま
建具	アルミサッシ 見込70 MB扉: スチール製 O P		アルミサッシ: 既存のまま、一部 破損ヶ所部品取替え MB扉: 既存撤去の上 新設 (アルミ製)	その他 面台: 防水モルタルコテ押エ 物干: アルミ自在物干金物 (市販品)	面台: 高圧水洗浄 (15MPa) の上 防水形複層塗材 E 物干金物: 既存のまま

内部仕上表															
改修前仕上							改修後仕上								
室名	床	下地	巾木	壁	天井	天井高	備考	室名	床	巾木	壁	天井	天井高	備考	
玄関	モルタルコテ押エ		モルタルコテ押エ 木製巾木	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 E P (セメントフィラー下地処理) 内装パネル E P	厚9.0化粧石膏ボード貼	CH=2,300+65	幕板 (真鍮フック5本打)	玄関	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
ホール	厚6.2突板合板 厚6.2突板合板+C F シート貼	FF	ソフト巾木	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 E P (セメントフィラー下地処理) 内装パネル E P	厚9.0化粧石膏ボード貼	CH=2,300		ホール	既存のまま	既存のまま	既存のまま 一部【2-2】ケレンの上 EP再塗装	既存のまま	既存のまま		
和室6帖A	厚6.2突板合板 厚55タタミ敷込	1F W 2F FF	タタミ寄せ	厚27塩ビ合板	厚15プリント合板	CH=2,400	手すり: φ45集成材	和室6帖A	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
和室6帖B	厚6.2突板合板 厚55タタミ敷込	1F W 2F FF	タタミ寄せ	厚27塩ビ合板	厚15プリント合板	CH=2,400		和室6帖B	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
押入	厚35 II 類 特殊ラワン合板	1F W 2F FF	雑巾摺	厚27 II 類 特殊ラワン合板	厚27 II 類 特殊ラワン合板			押入	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
台所	厚6.2突板合板 厚6.2突板合板+C F シート貼	1F W 2F FF	ソフト巾木	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 E P (セメントフィラー下地処理) 内装パネル E P	厚9.0化粧石膏ボード貼	CH=2,400	ステンレス流し台コンロ台付 (L=1,800) 吊戸棚 (BL-KA-1型)、ステンレス水切棚 (2段) ステンレス水切 厚0.6 換気扇プレキャスト枠	台所	既存のまま	既存のまま 一部 既存撤去 (流し前) ソフト巾木 (H=60) 新設	既存のまま 一部 (流し前) ケイ酸カルシウム板 t=6の上 E P G	既存のまま	既存のまま	ステンレス流し台 L=1,200 (BL認定品) 取替 ステンレスコンロ台 L=600 (BL認定品) 取替 吊戸棚・水切棚 L=1,200取替 換気扇フード新設 t=0.8ステンレス板新設 ステンレス水切【既存のまま】	
洋室	厚6.2突板合板 厚6.2突板合板+C F シート貼	FF	木製巾木	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 E P (セメントフィラー下地処理) 内装パネル E P	厚9.0化粧石膏ボード貼	CH=2,400	木製階段 手すり: φ45集成材	洋室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
洗面所	厚6.2突板合板 厚6.2突板合板+C F シート貼	FF	ソフト巾木	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 E P (セメントフィラー下地処理) 内装パネル E P 一部: 厚6ケイカル板貼の上 E P	厚9.0化粧石膏ボード貼	CH=2,300	タオル掛 (ステンレス) L=450 φ12.7	洗面所	既存のまま 【1-1】既存厚6.2突板合板の上厚2.0長尺シート貼	既存のまま	既存のまま 一部【2-2】ケレンの上 EP再塗装	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
便所	厚6.2突板合板	FF	ソフト巾木	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 E P (セメントフィラー下地処理) 内装パネル E P	厚9.0化粧石膏ボード貼	CH=2,300	タオル掛 (ステンレス) L=450 φ12.7	便所	既存のまま 【1-1】【2-2】既存厚6.2突板合板の上厚2.0長尺シート貼	既存のまま	既存のまま 一部【2-2】ケレンの上 EP再塗装	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
浴室	B L 認定ユニットバス 1014							浴室	壁パネルサビ部除去ケレンさび止めの上厚1.0 F R P 板貼+浴室用コーティング+コーキング						
バルコニー	防水モルタルコテ押エ 目地切 (排水溝幅 60)		防水モルタルコテ押エ	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 アクリル系リシン吹付	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 アクリル系リシン吹付		アルミ自在物干金物 クーラーインサート (室外用) アルミ手摺、バルコニー (ドレン) 集合郵便受 (ステンレス製 BL-K型) 室名札、ノンスリップタイル、横引ドレン	バルコニー	高圧水洗浄 (15MPa) のみ	高圧水洗浄 (15MPa) のみ	高圧水洗浄 (15MPa) の上 防水形複層塗材 E	高圧水洗浄 (15MPa) の上 外装薄塗材 E	既存のまま 【改修部】 φ100改修用横引きドレン アルミ手摺 B L 認定品取替		
階段	防水モルタルコテ押エ (排水溝幅 60)		防水モルタルコテ押エ H=100	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 アクリル系リシン吹付	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 アクリル系リシン吹付			階 段	高圧水洗浄 (15MPa) のみ	高圧水洗浄 (15MPa) のみ	高圧水洗浄 (15MPa) の上 防水形複層塗材 E	高圧水洗浄 (15MPa) の上 外装薄塗材 E	既存のまま 【改修部】 φ100改修用横引きドレン 集合郵便受取替		
M B	モルタルコテ押エ			ベニヤ型枠コンクリート打放し	ベニヤ型枠コンクリート打放し			M B	既存のまま		既存のまま	既存のまま			

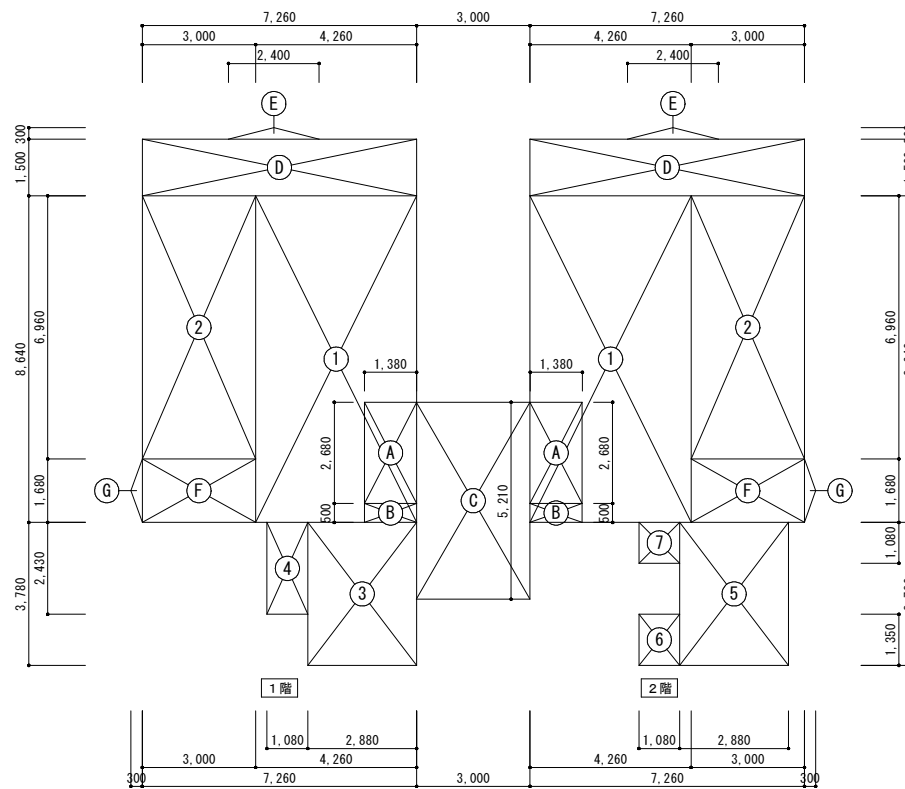
内部改修一覧表															
部屋番号	共用部		玄関・ホール		和室6帖A		和室6帖B		台所				洋室		
	P	S	軒天	壁	建具	床	建具	建具	床	壁	建具	電気設備	備考	建具	備考
1-1	MB扉取替え (既存撤去の上新設)	外装薄塗材 E 改修 一部: 既存仕上材 (下地共) 撤去の上外装薄塗材 E	/	/	玄関ドア取替え (既存撤去の上新設)	/	AD-1: 雨戸新設 AW-1: 雨戸新設	AD-1: 雨戸新設 F-1: 襖紙から化粧板へ張替	/	流し前: ケイカル板貼 コンロ台廻り: ステンレス板貼	AD-2: 雨戸新設 AW-2: 面格子新設	照明器具取替 流し元灯取替	流し台・コンロ台取替 吊戸棚・水切棚取替 換気扇フード新設	AW-7: 雨戸新設	クーラー用スリーブ キャップ付φ75穴明け
1-2	MB扉取替え (既存撤去の上新設)	外装薄塗材 E 改修 一部: 既存仕上材 (下地共) 撤去の上外装薄塗材 E	/	/	玄関ドア取替え (既存撤去の上新設)	/	AD-1: 雨戸新設 AW-1: 雨戸新設	AD-1: 雨戸新設 F-1: 襖紙から化粧板へ張替	/	流し前: ケイカル板貼 コンロ台廻り: ステンレス板貼	AD-2: 雨戸新設 AW-2: 面格子新設	照明器具取替 流し元灯取替	流し台・コンロ台取替 吊戸棚・水切棚取替 換気扇フード新設	AW-7: 雨戸新設 WD-4: 握玉取替	クーラー用スリーブ キャップ付φ75穴明け
2-1	MB扉取替え (既存撤去の上新設)	外装薄塗材 E 改修 一部: 既存仕上材 (下地共) 撤去の上外装薄塗材 E	/	/	玄関ドア取替え (既存撤去の上新設)	/	AD-1: 雨戸新設 AW-1: 雨戸新設	AD-1: 雨戸新設 F-1: 襖紙から化粧板へ張替	/	流し前: ケイカル板貼 コンロ台廻り: ステンレス板貼	AD-2: 雨戸新設 AW-2: 面格子新設	照明器具取替 流し元灯取替	流し台・コンロ台取替 吊戸棚・水切棚取替 換気扇フード新設	AW-7: 雨戸新設	クーラー用スリーブ キャップ付φ75穴明け
2-2	MB扉取替え (既存撤去の上新設)	外装薄塗材 E 改修 一部: 既存仕上材 (下地共) 撤去の上外装薄塗材 E	ケレンの上 E P 再塗装	/	玄関ドア取替え (既存撤去の上新設)	/	AD-1: 雨戸新設 AW-1: 雨戸新設	AD-1: 雨戸新設 F-1: 襖紙から化粧板へ張替	/	流し前: ケイカル板貼 コンロ台廻り: ステンレス板貼	AD-2: 雨戸新設 AW-2: 面格子新設	照明器具取替 流し元灯取替	流し台・コンロ台取替 吊戸棚・水切棚取替 換気扇フード新設	AW-7: 雨戸新設	クーラー用スリーブ キャップ付φ75穴明け
部屋番号	浴室 (ユニットバス)		洗面所				便所				電気設備 (共通)	機械設備 (共通)			
	壁	床	壁	天井	建具	電気設備	機械設備	備考	床	壁	電気設備	機械設備	玄関ホール	3点給湯 台所・洗面・浴室	
1-1	サビ部補修	既存 C F シートのみ撤去 既存厚6.2突板合板の上 厚2.0長尺シート貼	/	/	/	照明器具取替	/	洗面器から 洗面化粧台に取替 洗濯パン取替	既存厚6.2突板合板の上 厚2.0長尺シート貼	/	換気扇 (パイプファン) 新設 φ100用壁スリーブ 洋便器取替	照明器具取替	給湯配管φ20用壁スリーブ 換気扇: ウェザーカバー取替		
1-2	サビ部補修	/	/	/	/	照明器具取替	/	洗面器から 洗面化粧台に取替 洗濯パン取替	/	/	換気扇 (パイプファン) 新設 φ100用壁スリーブ 洋便器取替	照明器具取替	給湯配管φ20用壁スリーブ 換気扇: ウェザーカバー取替		
2-1	サビ部補修	/	/	/	/	照明器具取替	/	洗面器から 洗面化粧台に取替 洗濯パン取替	/	/	換気扇 (パイプファン) 新設 φ100用壁スリーブ 洋便器取替	照明器具取替	給湯配管φ20用壁スリーブ 換気扇: ウェザーカバー取替		
2-2	サビ部補修	/	ケレンの上 E P 再塗装	/	/	照明器具取替	/	洗面器から 洗面化粧台に取替 洗濯パン取替	既存厚6.2突板合板の上 厚2.0長尺シート貼	ケレンの上 E P 再塗装	換気扇 (パイプファン) 新設 φ100用壁スリーブ 洋便器取替	照明器具取替	給湯配管φ20用壁スリーブ 換気扇: ウェザーカバー取替		

設計年月日 R7.09	工事名 町営住宅第3区頭団地 1号棟 改修工事	図面番号 D-12
設計者 永園設計株式会社	主任技術者 製 図	補助 補 助
管理技術者 鹿兒島県知事登録 第1-5-18号	製 図 永園設計株式会社	補 助 永園設計株式会社
管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	製 図 永園設計株式会社	補 助 永園設計株式会社
図面種類 仕上表、内部改修一覧表		



敷地面積 求積図 1:200

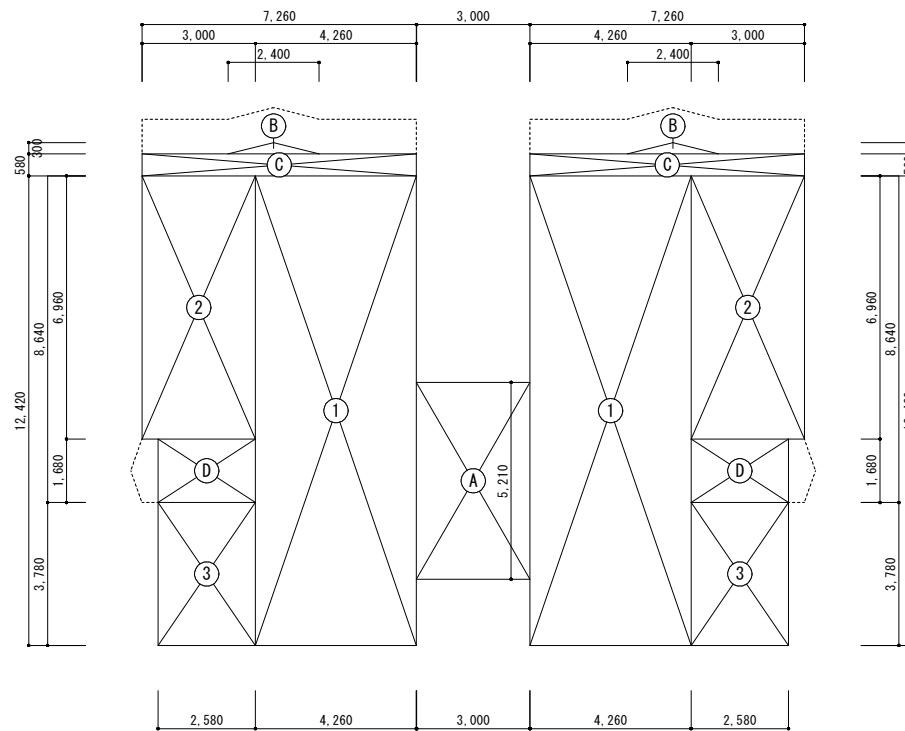
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
①	16.20	6.40	103.68	51.840
②	20.90	6.70	140.03	70.015
③	29.10	5.60	162.96	81.480
④	36.10	4.10	148.01	74.005
⑤	42.70	4.00	170.8	85.400
⑥	44.60	8.30	370.18	185.090
⑦	47.50	4.70	223.25	111.625
⑧	56.70	12.30	697.41	348.705
⑨	56.70	11.90	674.73	337.365
⑩	54.30	9.40	510.42	255.210
⑪	52.90	9.10	481.39	240.695
合計				1,841.43
敷地面積				1,841.43 m ²



床面積 求積図 1:100

住居部分			共用部分			バルコニー部分		
①	$8.64 \times 4.26 = 36.8064$	A	$2.68 \times 1.38 = 3.6984$	D	$7.26 \times 1.50 = 10.8900$			
②	$6.96 \times 3.00 = 20.8800$	B	$0.50 \times 1.38 = 0.6900$	E	$2.40 \times 0.30 \div 2 = 0.3600$			
③	$3.78 \times 2.88 = 10.8864$	C	$\div 2$	F	$1.68 \times 3.00 = 5.0400$			
④	$2.43 \times 1.08 = 2.6244$		$5.21 \times 3.00 \div 2 =$	G	$1.68 \times 0.30 \div 2 = 0.2520$			
階	A	$-2.68 \times 1.38 = -3.6984$						
	B	$-0.50 \times 1.38 = -0.6900$						
					小計 16.5420			
	計 66.8088		計 12.2034		小計 $\div 3$ 5.5140			

延床面積 (建築基準法に依る)	
1階 住居部分面積 $\times 2$	133.6176
2階 住居部分面積 $\times 2$	133.6176
B)(M.B) $\times 2 \times 2$	2.7600
計	269.9952

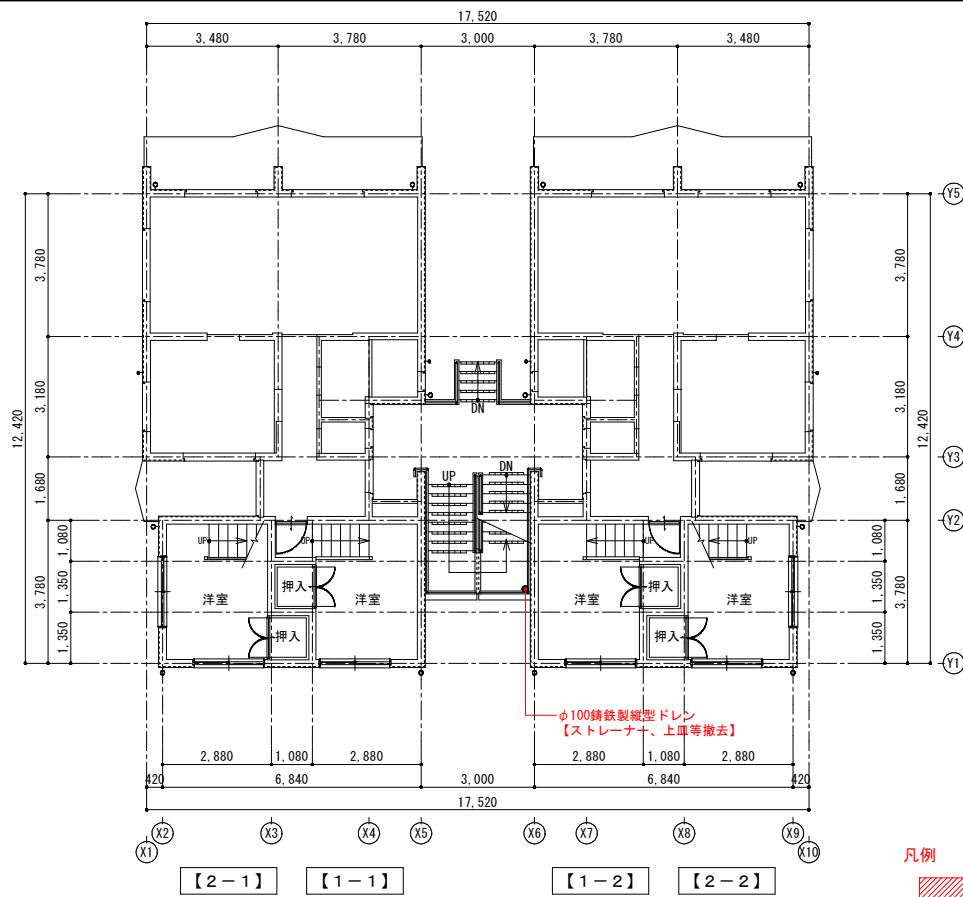


建築面積 求積図 1:100

建築面積求積表	
① $\times 2$	$12.42 \times 4.26 \times 2 = 105.8184$
② $\times 2$	$6.96 \times 3.00 \times 2 = 41.7600$
③ $\times 2$	$3.78 \times 2.58 \times 2 = 19.5048$
A $\times 1$	$5.21 \times 3.00 = 15.6300$
B $\times 2$	$1.20 \times 0.30 \times 2 = 0.7200$
C $\times 2$	$0.58 \times 7.26 \times 2 = 8.4216$
D $\times 2$	$1.68 \times 2.58 \times 2 = 8.6688$
計	200.5236

1 棟 当 り	
建築面積	200.5236 m ²
1階床面積	134.9976 m ²
2階床面積	134.9976 m ²
延床面積	269.9952 m ²

一戸当り床面積	住居部分	共用部分	バルコニー部分	合計
1階	66.8088 m ²	12.2034 m ²	5.5140 m ²	84.5262 m ²
2階	66.8088 m ²	12.2034 m ²	5.5140 m ²	84.5262 m ²



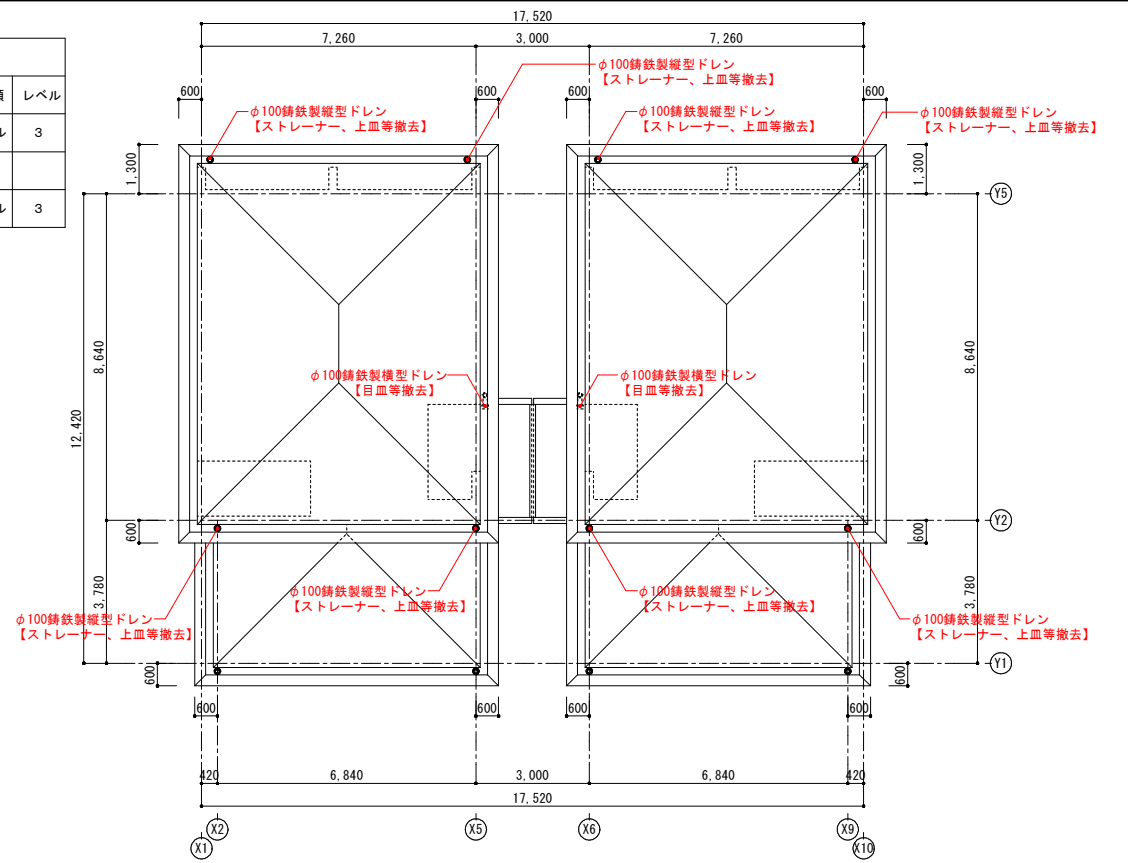
中2階 改修前平面図 1:100

アスベスト含有調査結果				
採取箇所	試料名	石綿の有無	石綿の種類	レベル
外部外壁塗装	アクリル系リシン吹付	有り 下地材に含有	クリソタイト	3
外部軒天ボード	厚6.0ケイ酸カルシウム板 EP塗	無		
内部壁塗装	EP(セメントフィラー下地処理)	有り 塗装及び下地材に含有	クリソタイト	3

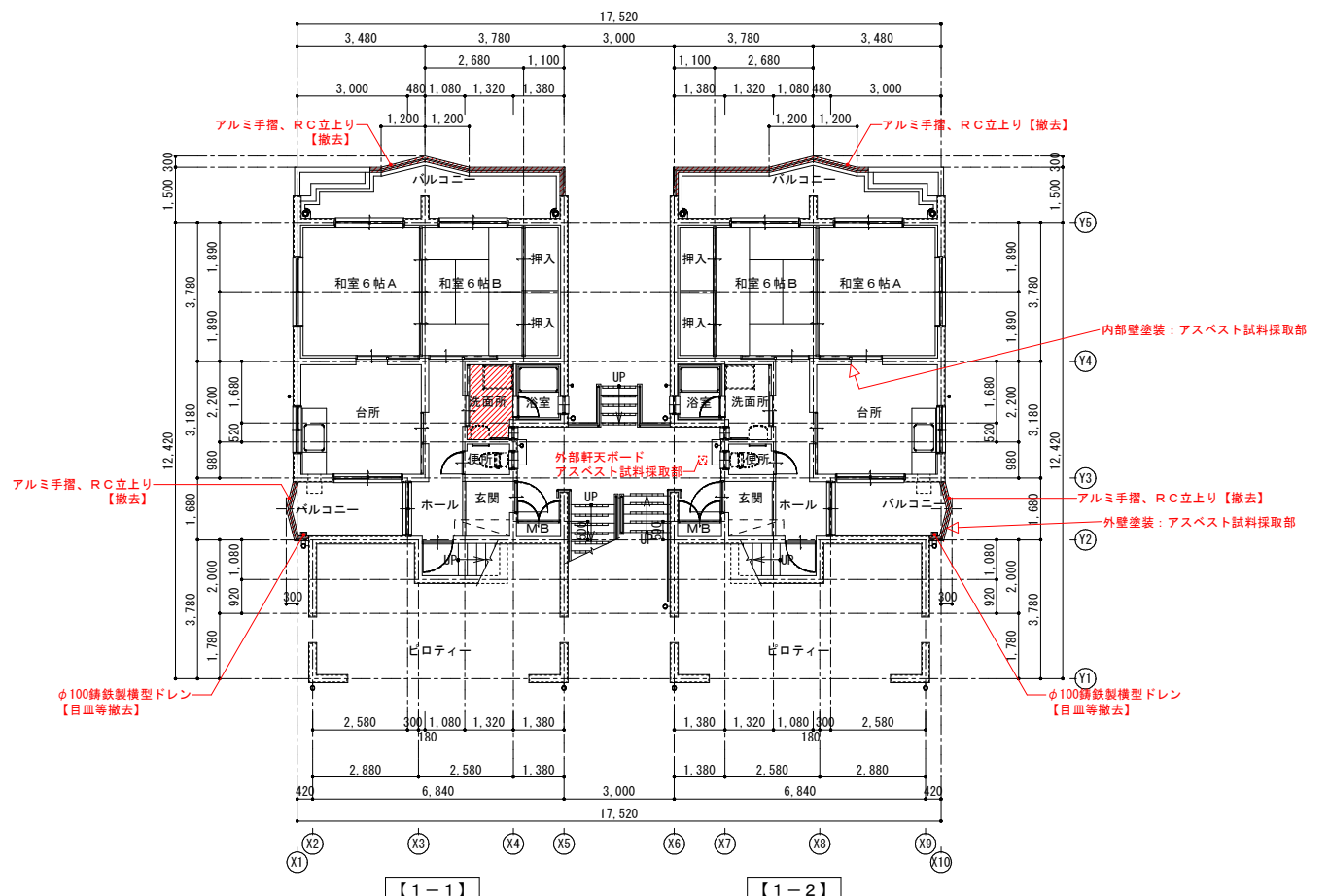
※アスベスト含有材料の除去に当たり、適切な養生・除去・保管・処分を行うこと
 (公共建築改修工事標準仕様書9章環境配慮改修工事1節アスベスト含有材料の除去工事による)
 ※建築基準法ほか労働安全衛生法、石綿障害予防規則、大気汚染防止法、建設リサイクル法、廃棄物処理法などの各法令を遵守すること

凡例

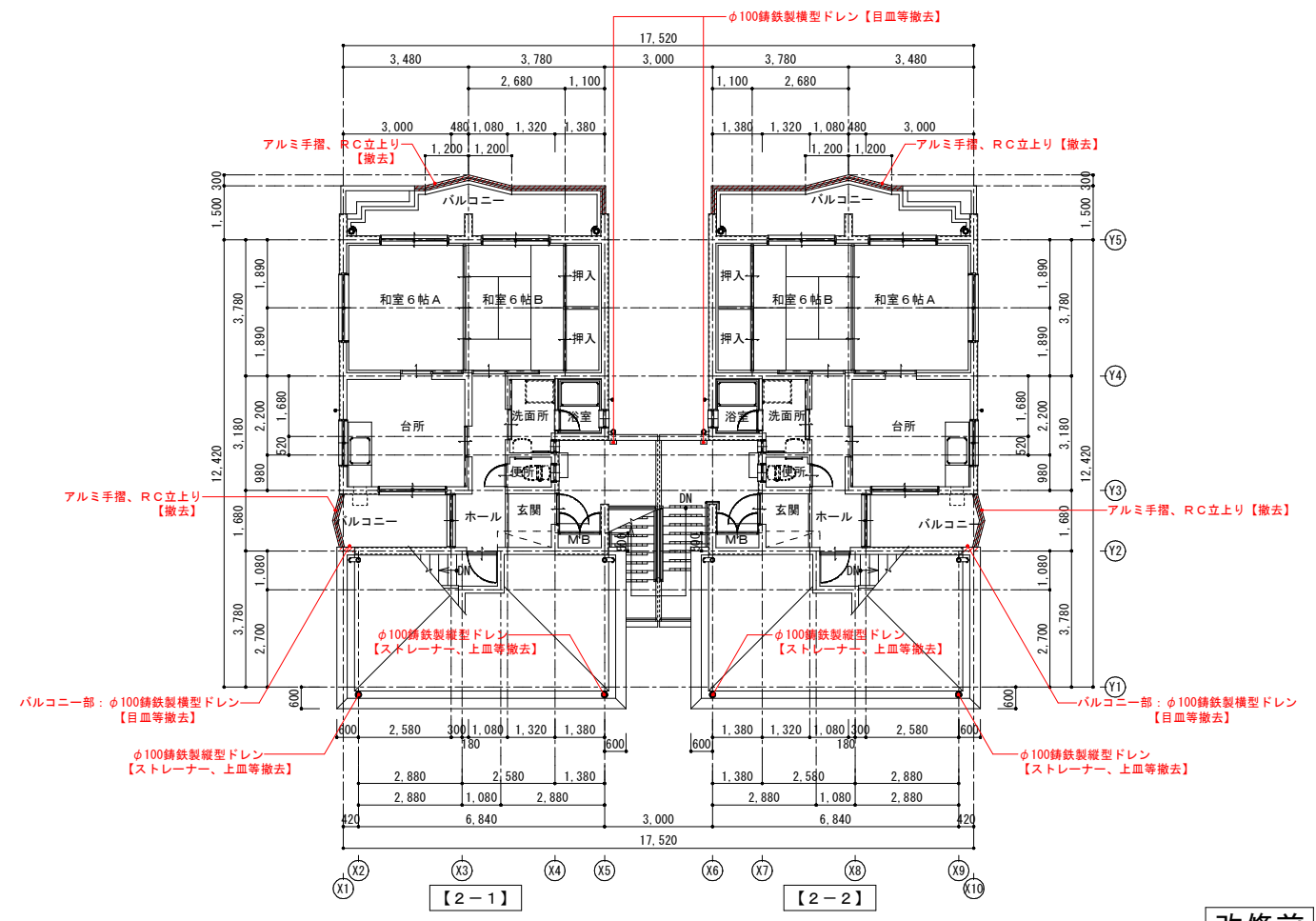
- 床仕上撤去部分を示す
- ・【1-1】洗面所は、既存CFシートのみ撤去



改修前屋根伏図 1:100

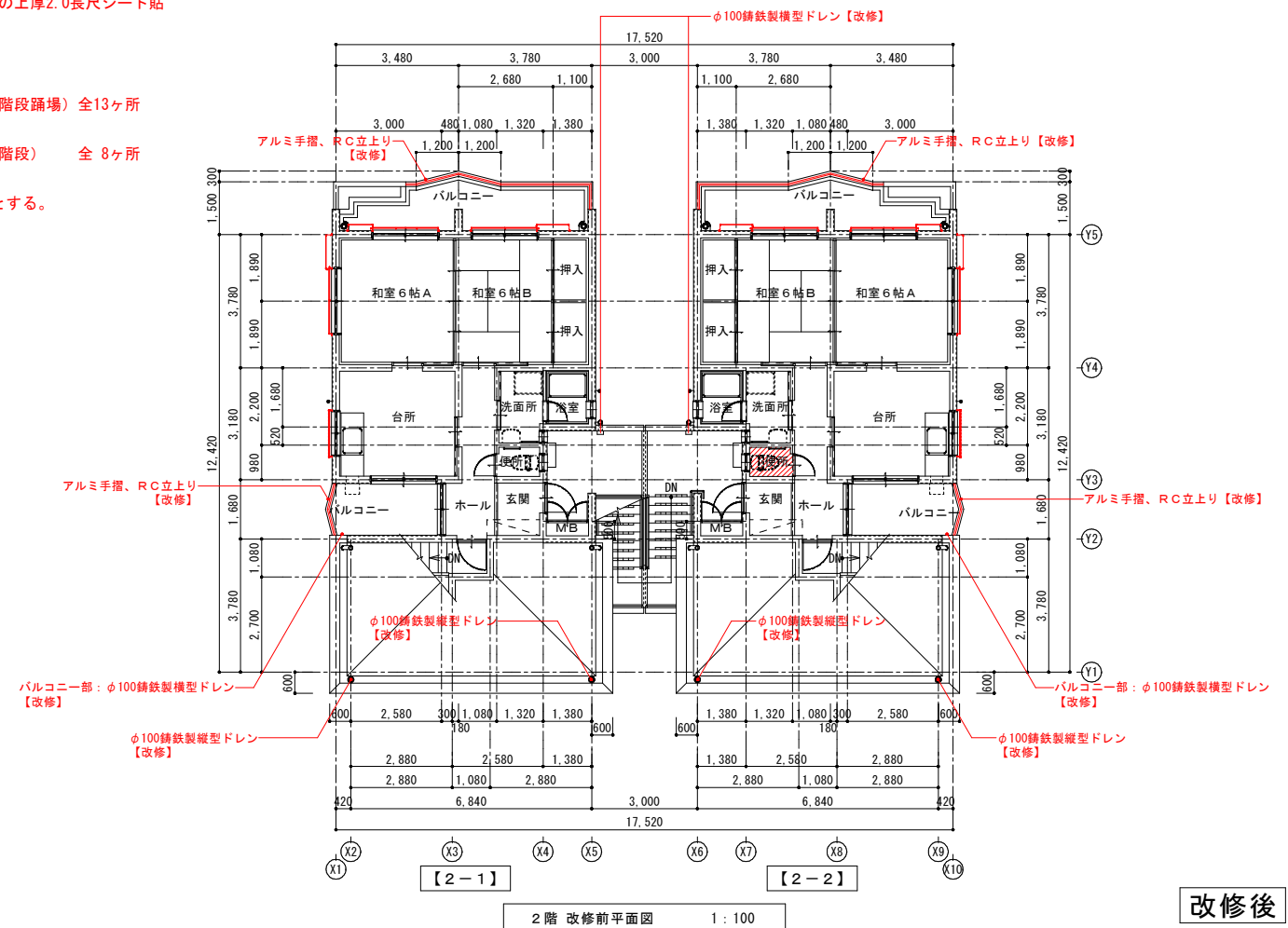
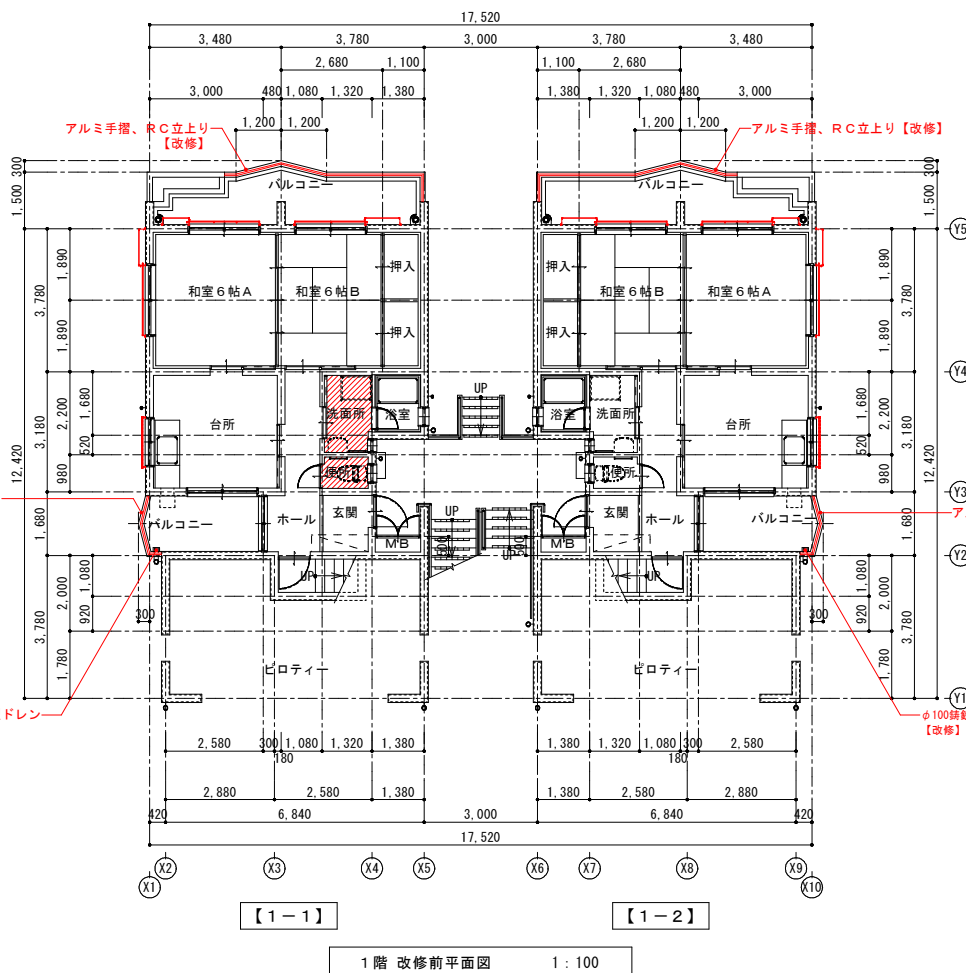
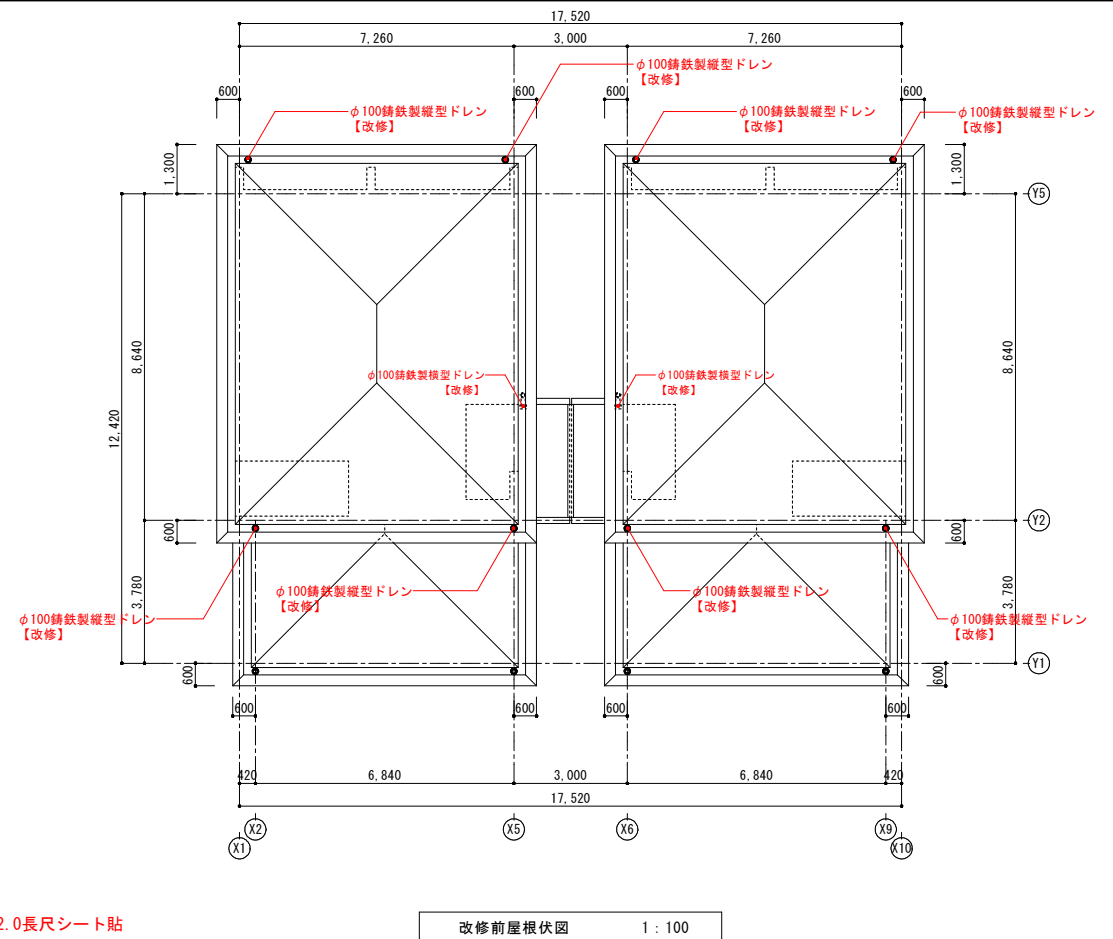
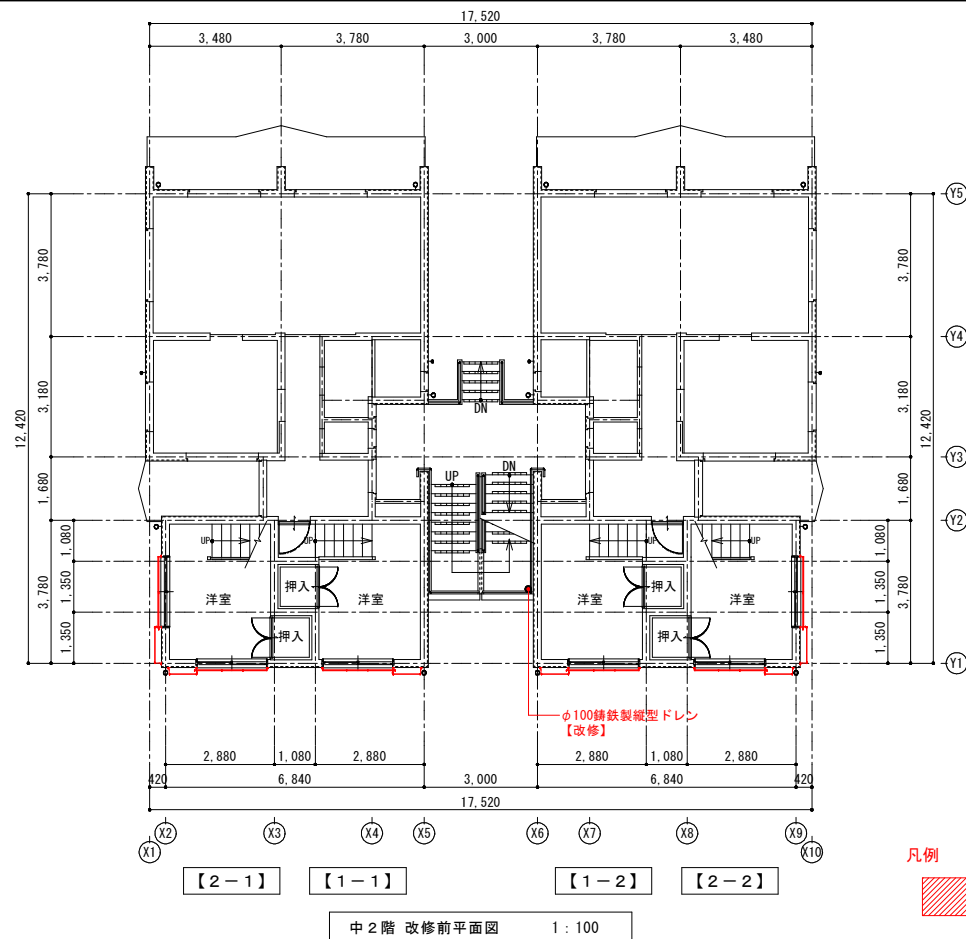


1階 改修前平面図 1:100



2階 改修前平面図 1:100

改修前



凡例



床仕上改修部分を示す

・【1-1】洗面所・便所は、既存厚6.2突板合板の上厚2.0長尺シート貼

・【2-2】便所は、既存厚6.2突板合板の上厚2.0長尺シート貼

ドレン改修

・φ100改修用縦型ルーフトレン（屋根、階段踊場）全13ヶ所

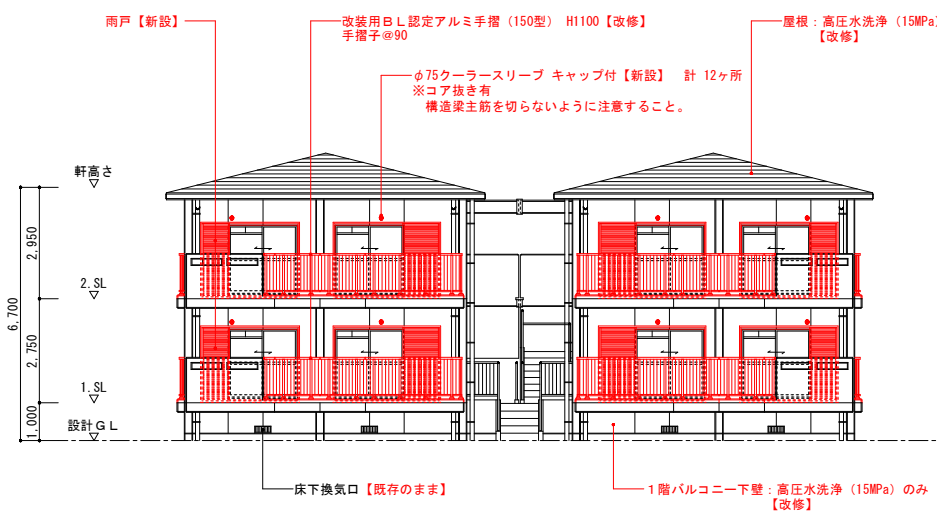
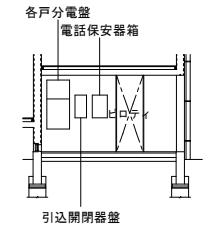
・φ100改修用横型ドレン（バルコニー、階段）全 8ヶ所

※バルコニー中間ドレンは、既存のままとする。

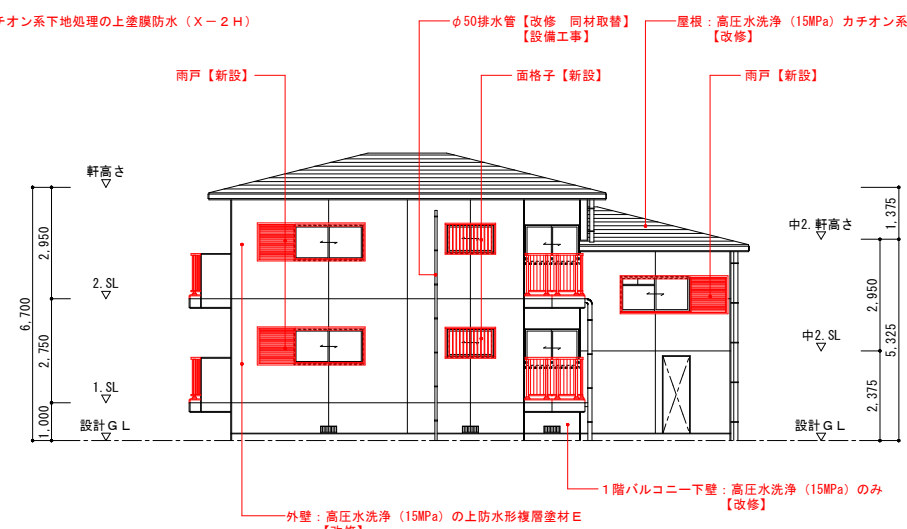
改修後

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日	R7.09	工事名 町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事	図面番号 D-15	
		縮尺	1:100 (A1) 1:200 (A3)			図面種類 改修後 平面図・屋根伏図

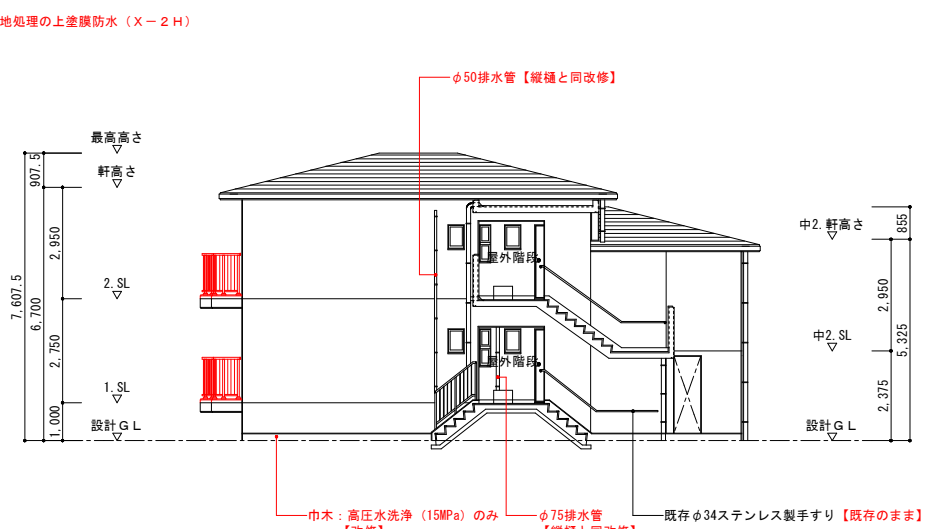
各戸分電盤 W600×H1,000×D150 : 【取替 (設備工事)】
 引込開閉器盤 W300×H600×D120 : 【取替 (設備工事)】
 電話保安器箱 W450×H600×D120 : 【取替 (設備工事)】



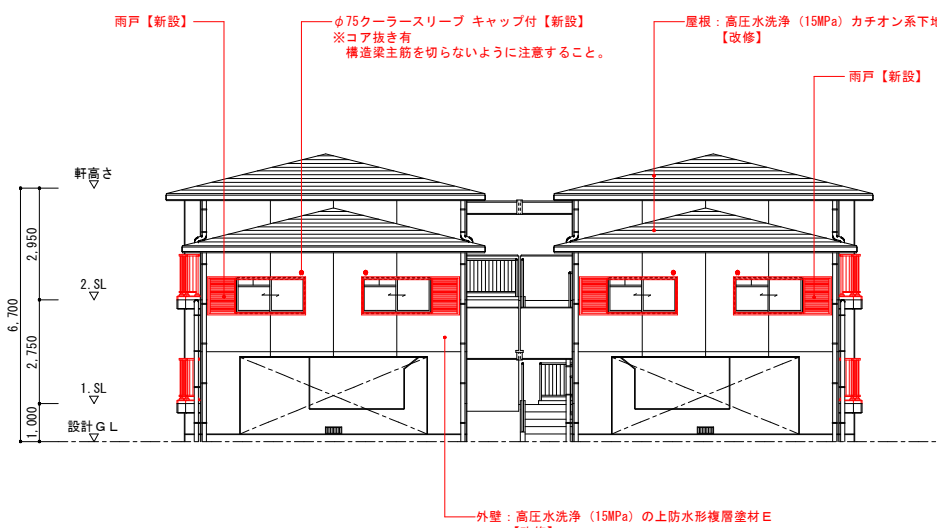
南側 改修後立面図 1: 100



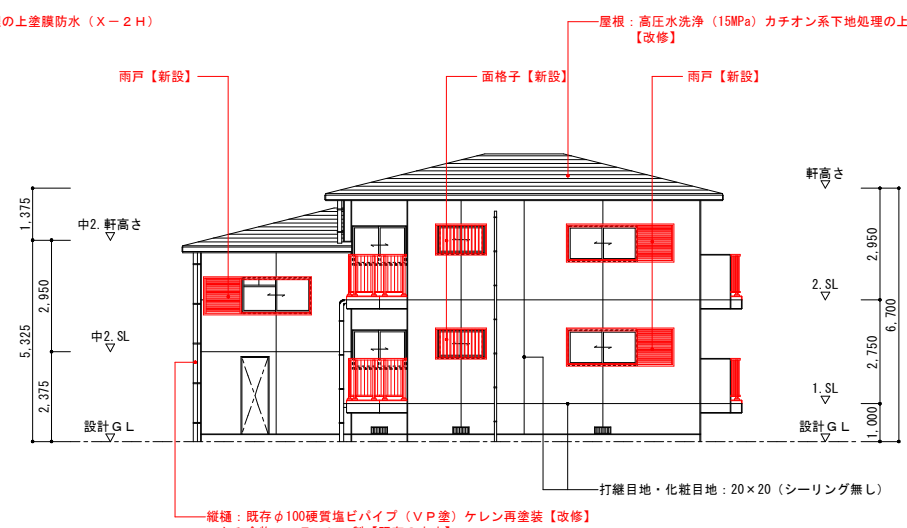
東側-1 改修後立面図 1: 100



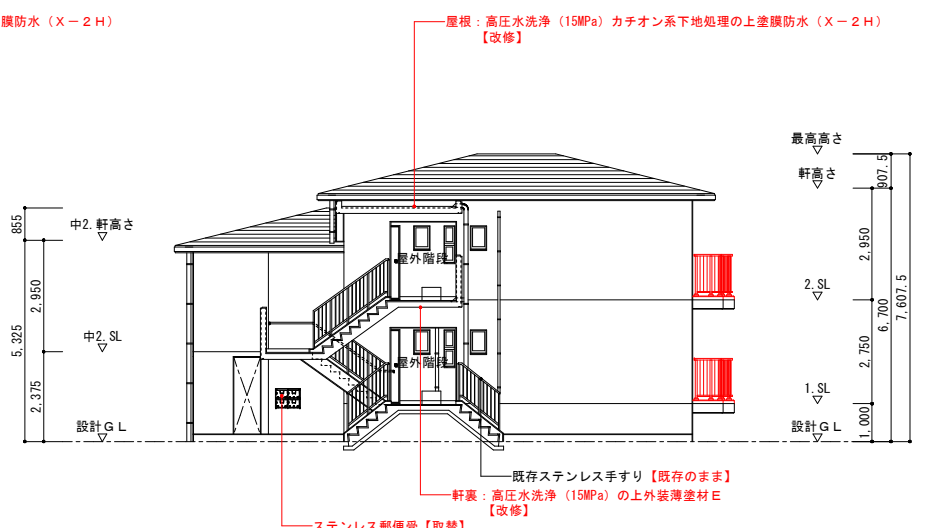
東側-2 改修後立面図 1: 100



北側 改修後立面図 1: 100



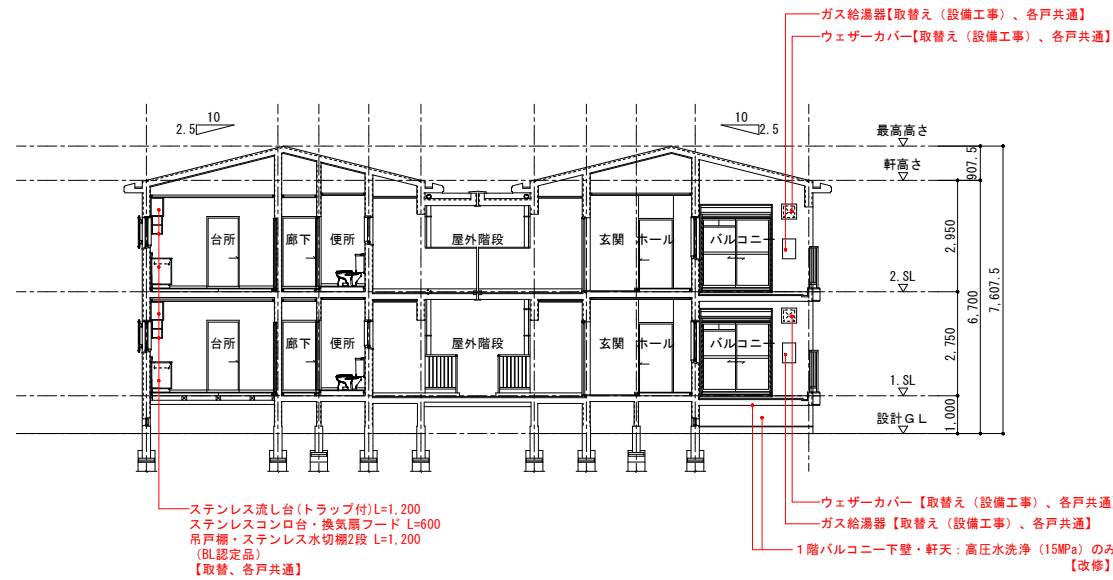
西側-1 改修後立面図 1: 100



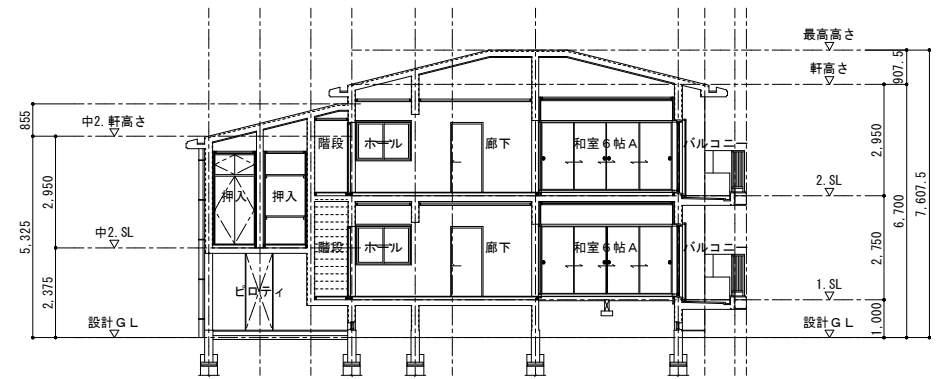
西側-2 改修後立面図 1: 100

改修後

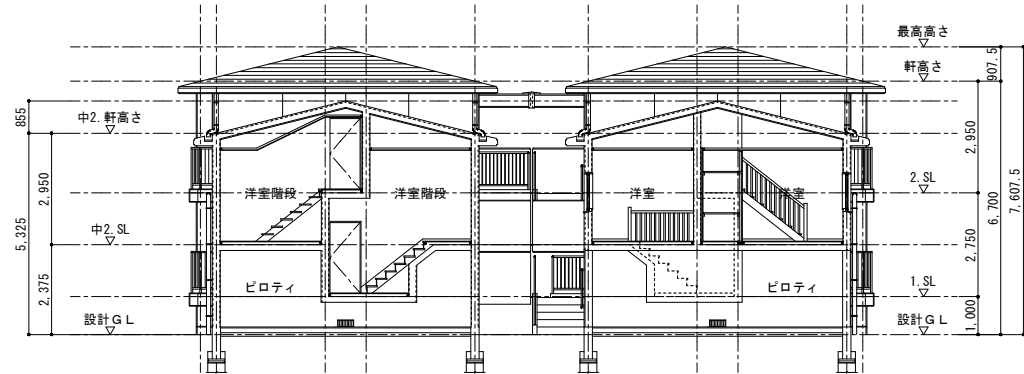
一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信		管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日 R7.09 縮尺 1: 100 (A1) 1: 200 (A3)	工事名 町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事 図面種類 改修後 立面図	図面番号 D-16
--	--	----------------------------	--	---	---------------------



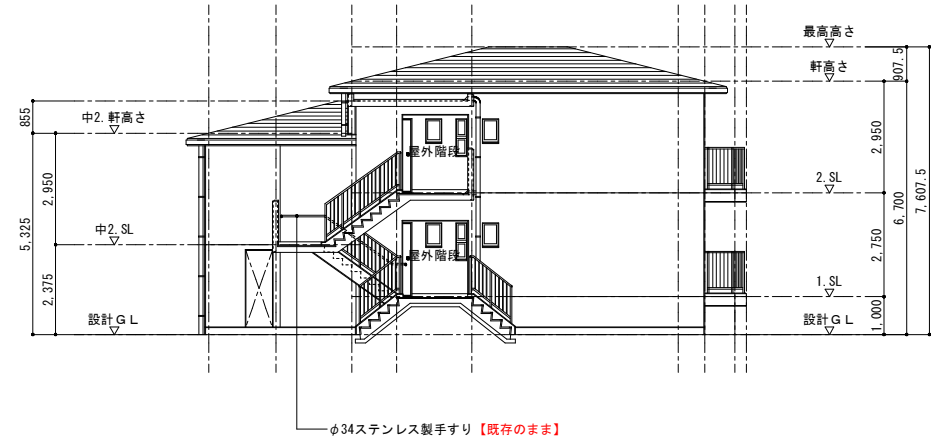
東西 改修後断面図-1 1:100



南北 改修後断面図-1 1:100



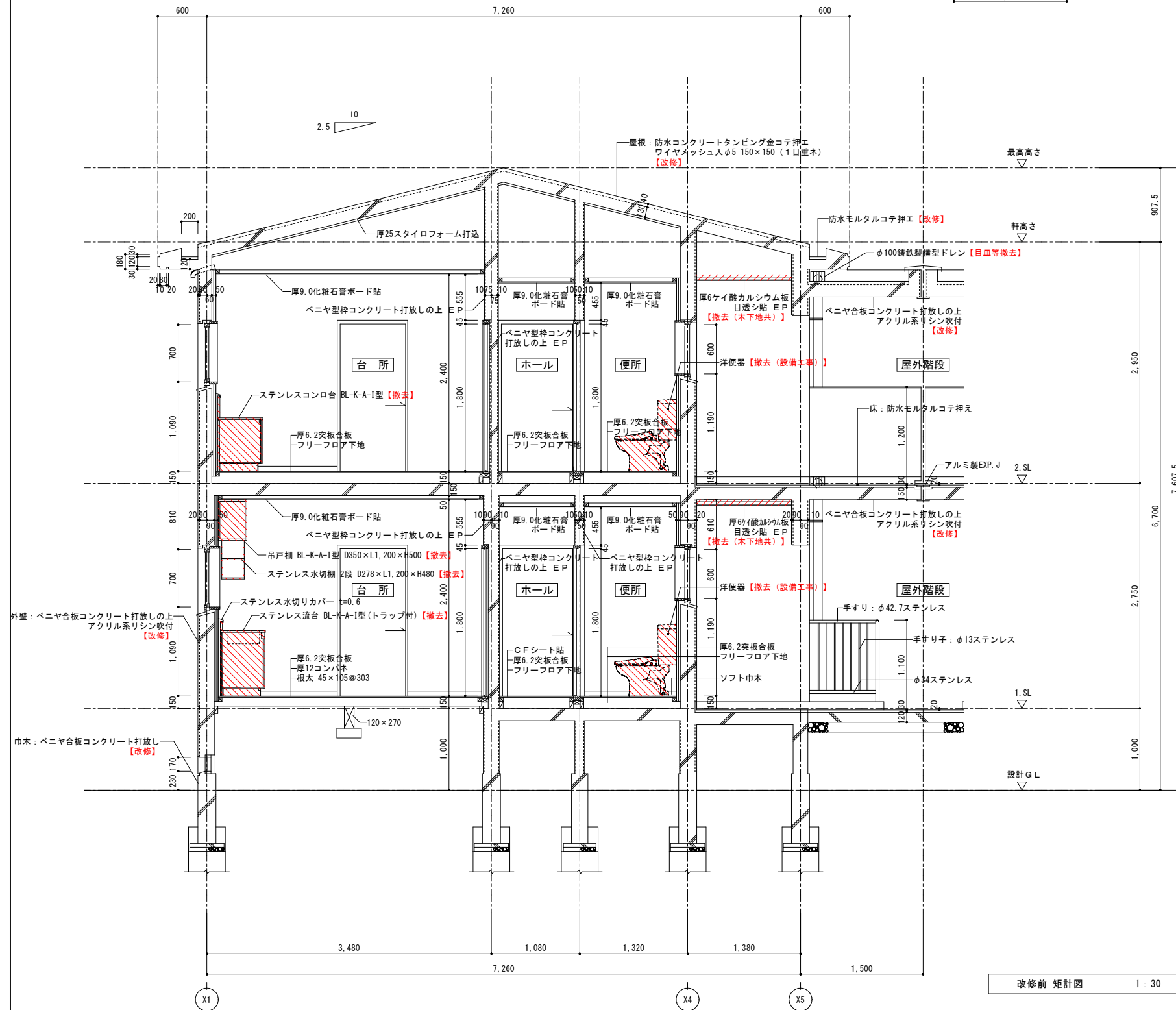
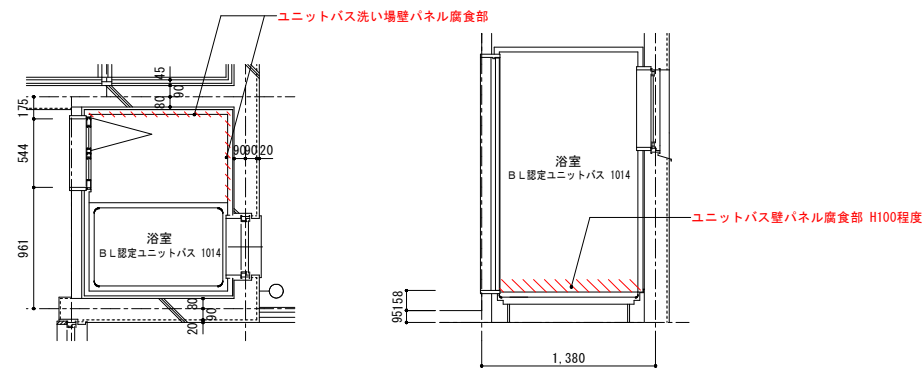
東西 改修後断面図-2 1:100



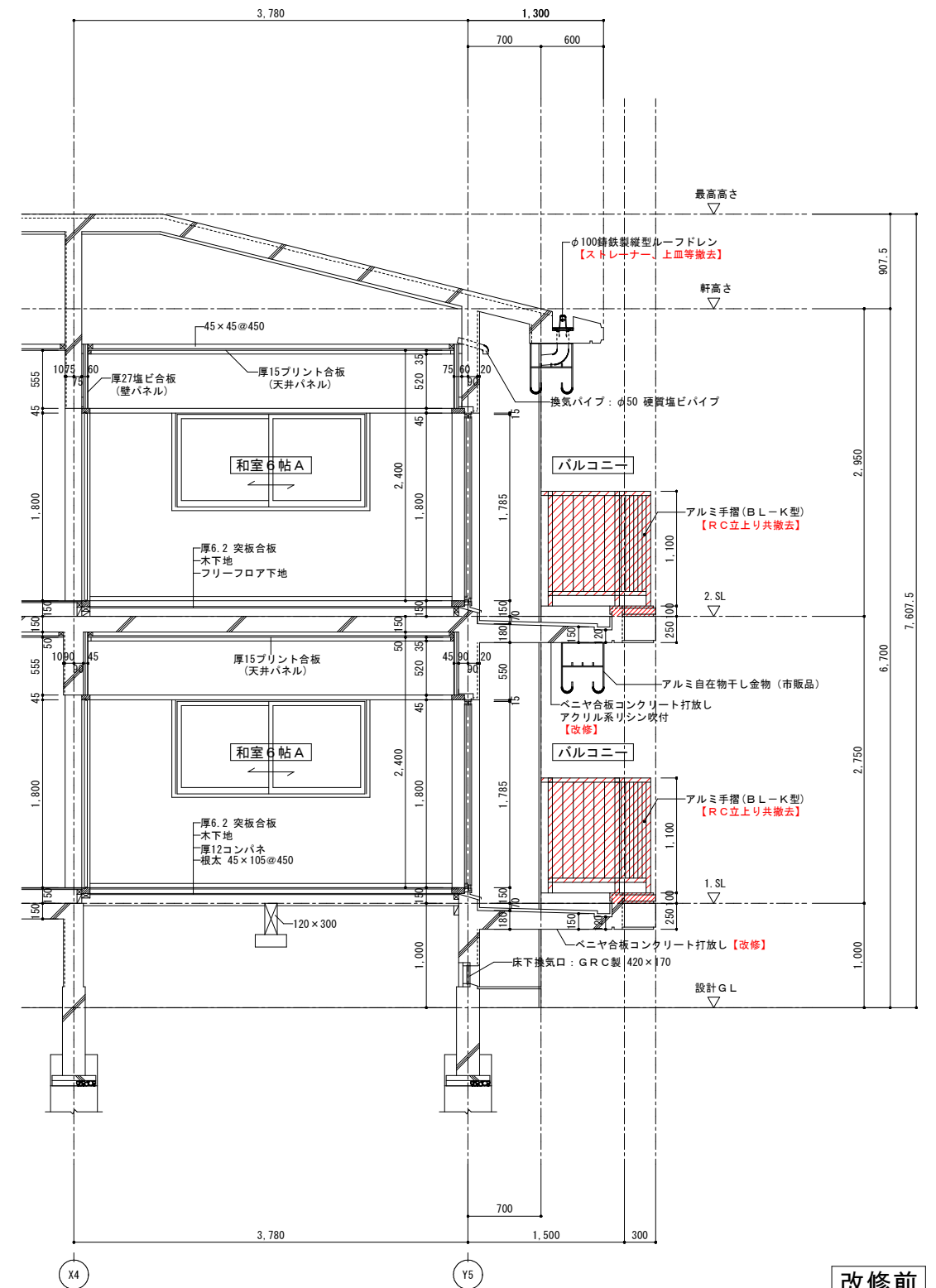
南北 改修後断面図-2 1:100

改修後

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日 R7.09 縮尺 1:100 (A1) 1:200 (A3)	工事名 町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事 図面種類 改修後 断面図	図面番号
				D-17

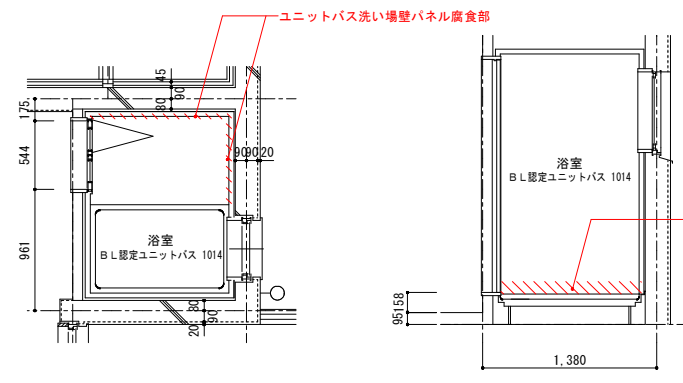


改修前 矩計図 1:30



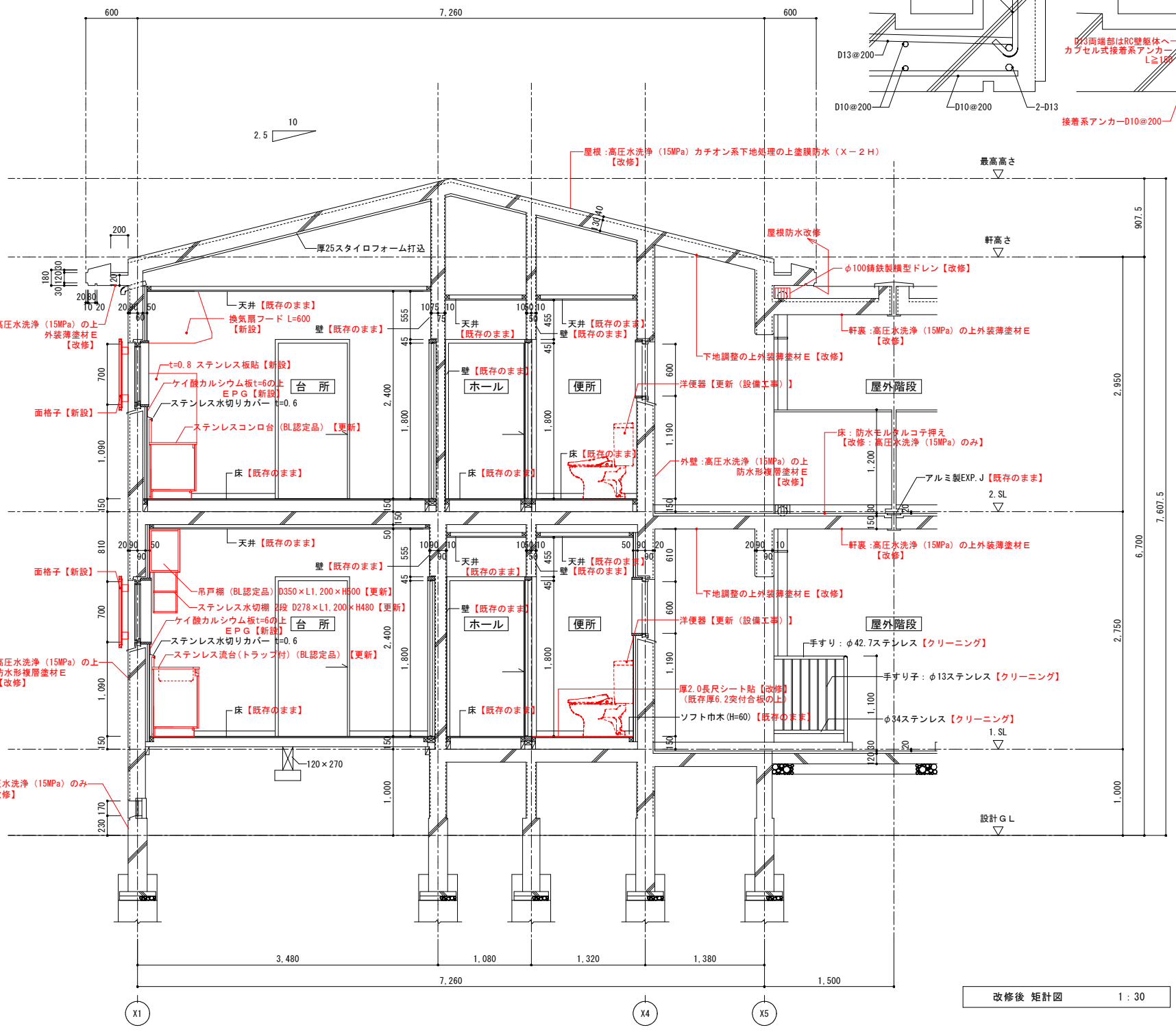
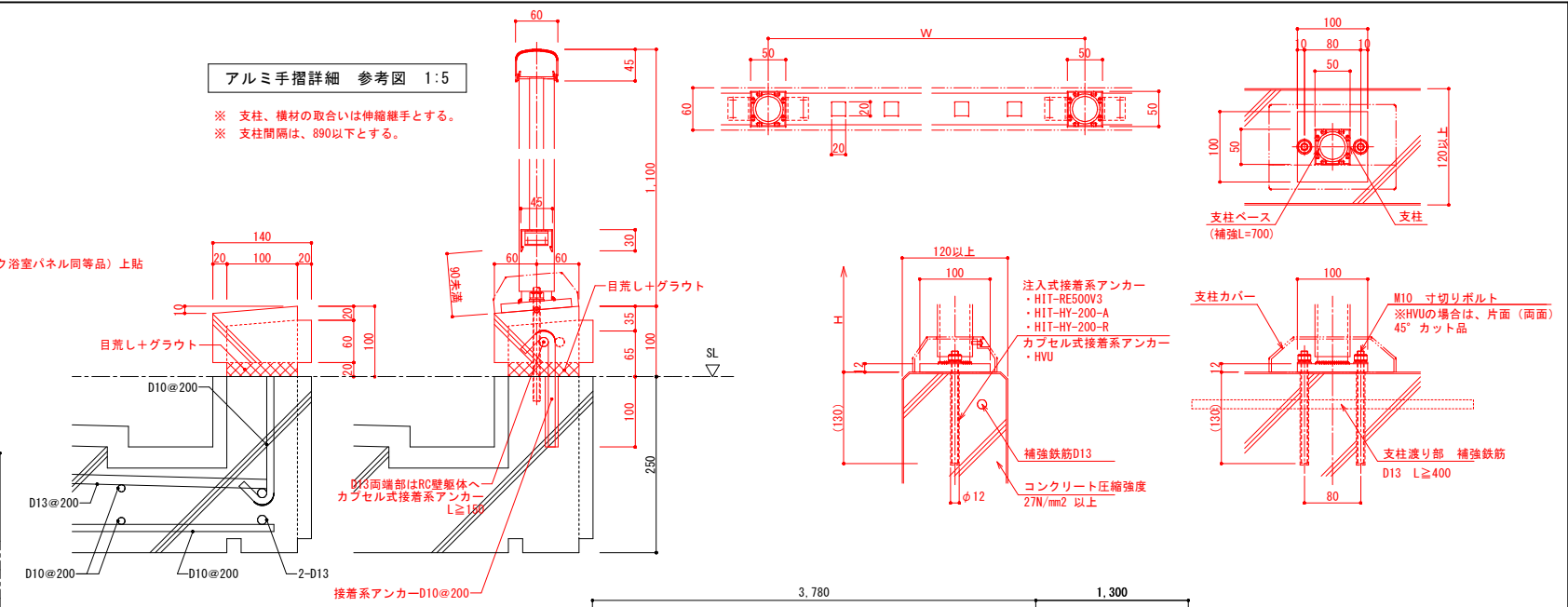
改修前

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正徳	管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日	R7.09	工事名 町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事	図面種類 改修前 矩計図【1-1】【2-1】	図面番号	D-18
		縮尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)				
		設計者	永園設計株式会社				

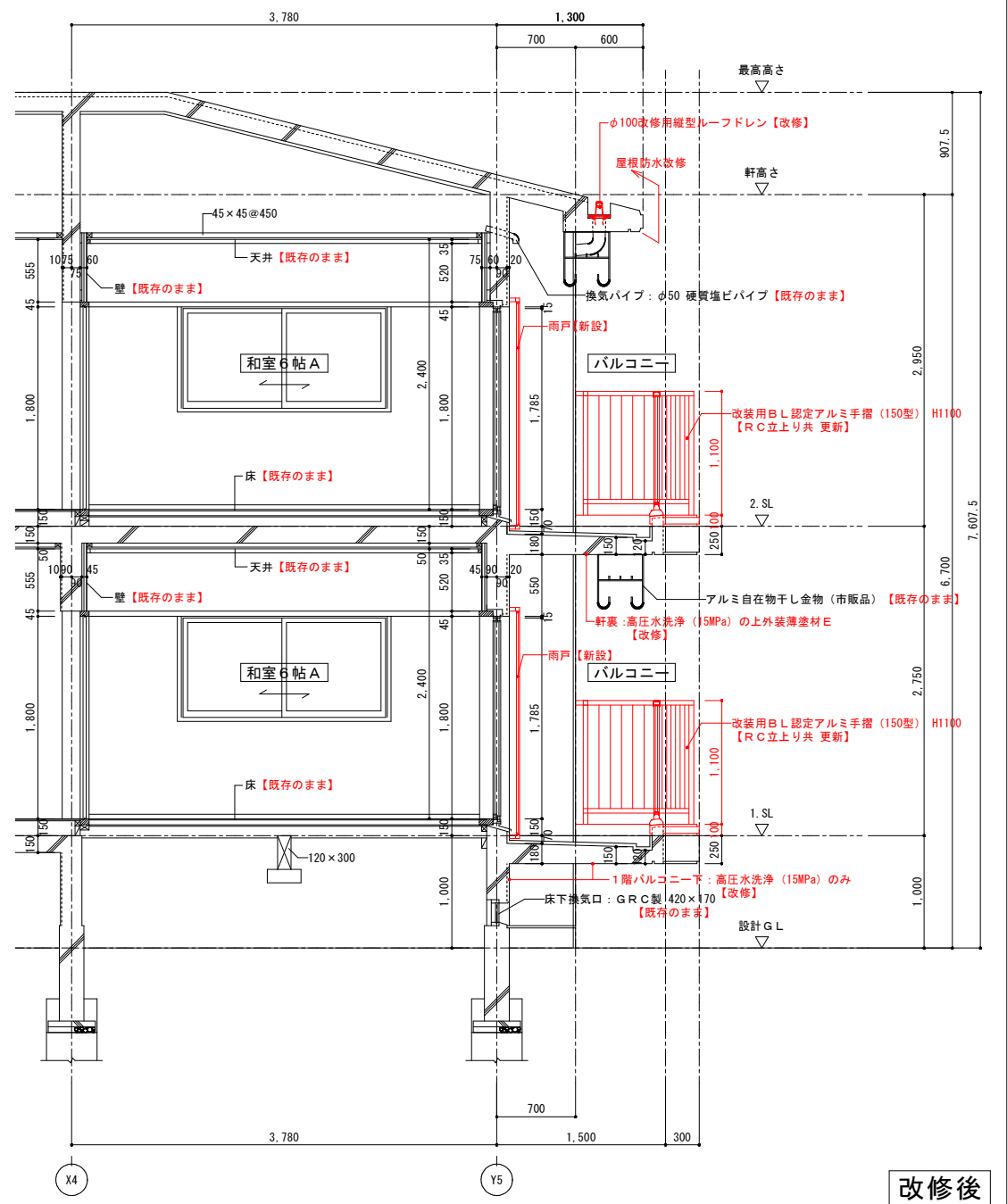


アルミ手摺詳細 参考図 1:5

※ 支柱、横材の取合いは伸縮継手とする。
※ 支柱間隔は、890以下とする。

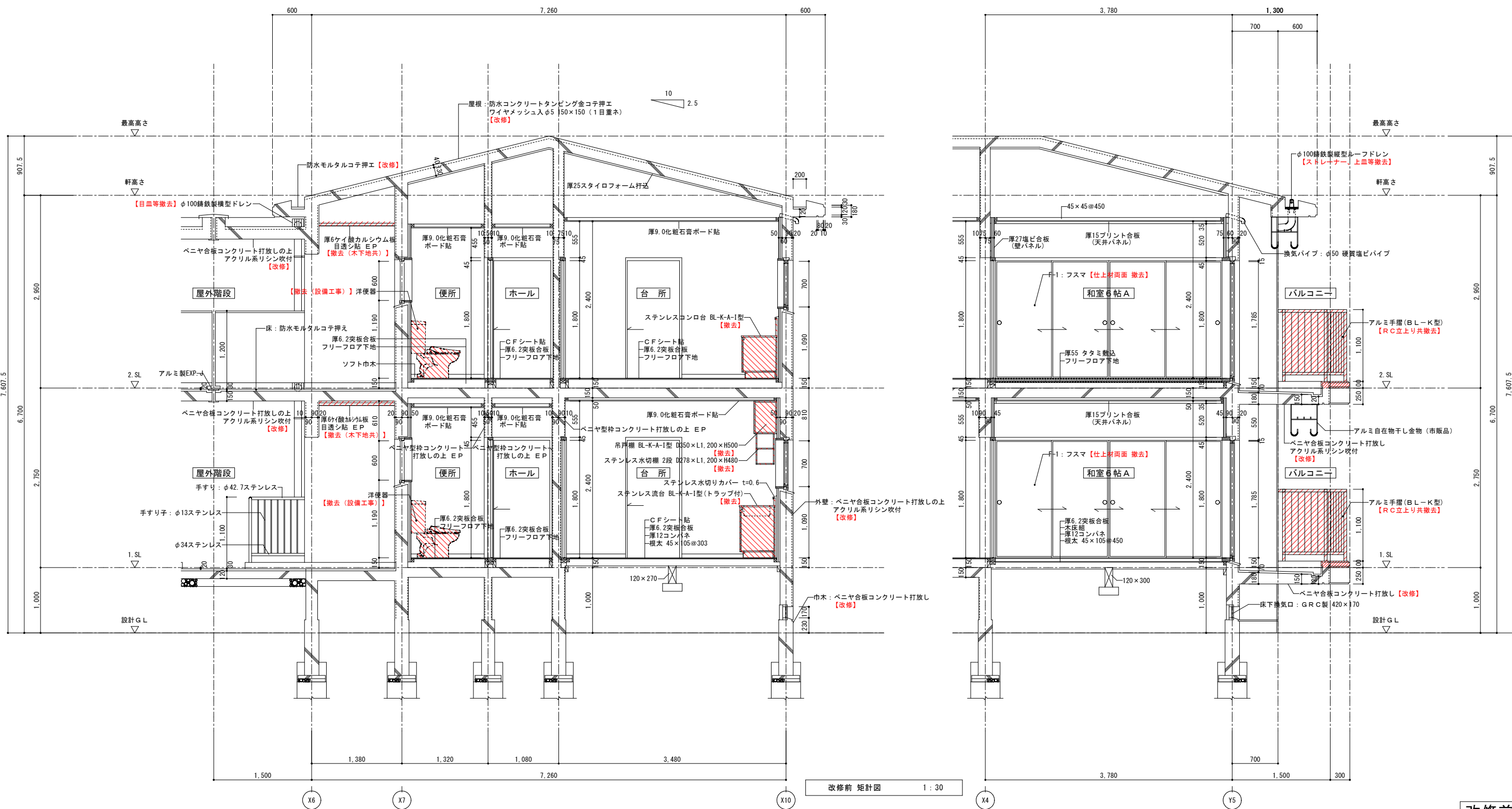
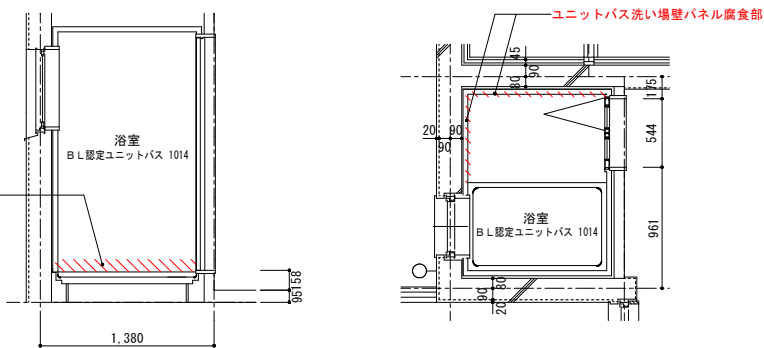


改修後 矩計図 1:30



改修後

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正徳	管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日 R7.09 縮尺 1:30 (A1) 1:60 (A3)	工事名 町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事 図面種類 改修後 矩計図【1-1】【2-1】	図面番号 D-19

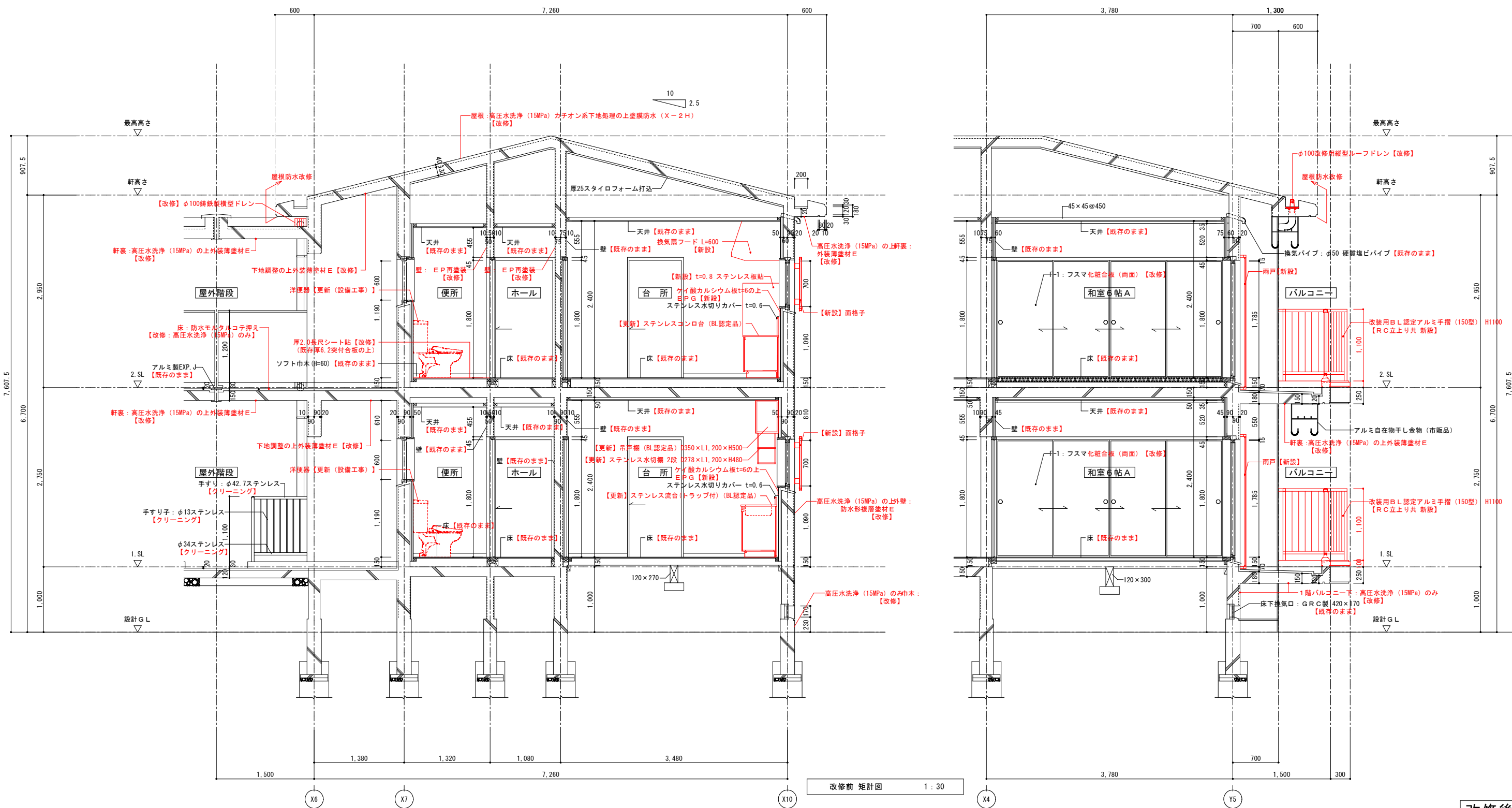
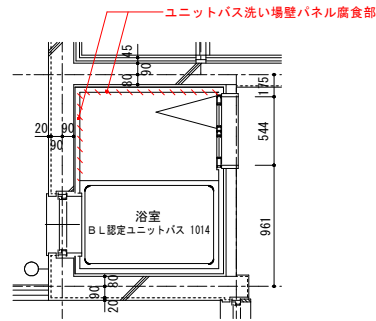
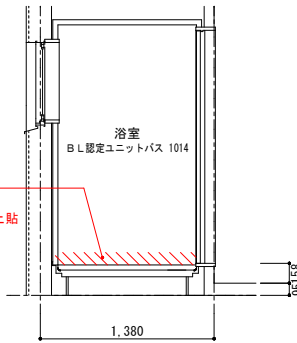


改修前 矩計図 1:30

改修前

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日	R7.09	工事名	町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事	図面番号	D-20
		縮尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)	図面種類	改修前 矩計図【1-2】【2-2】		

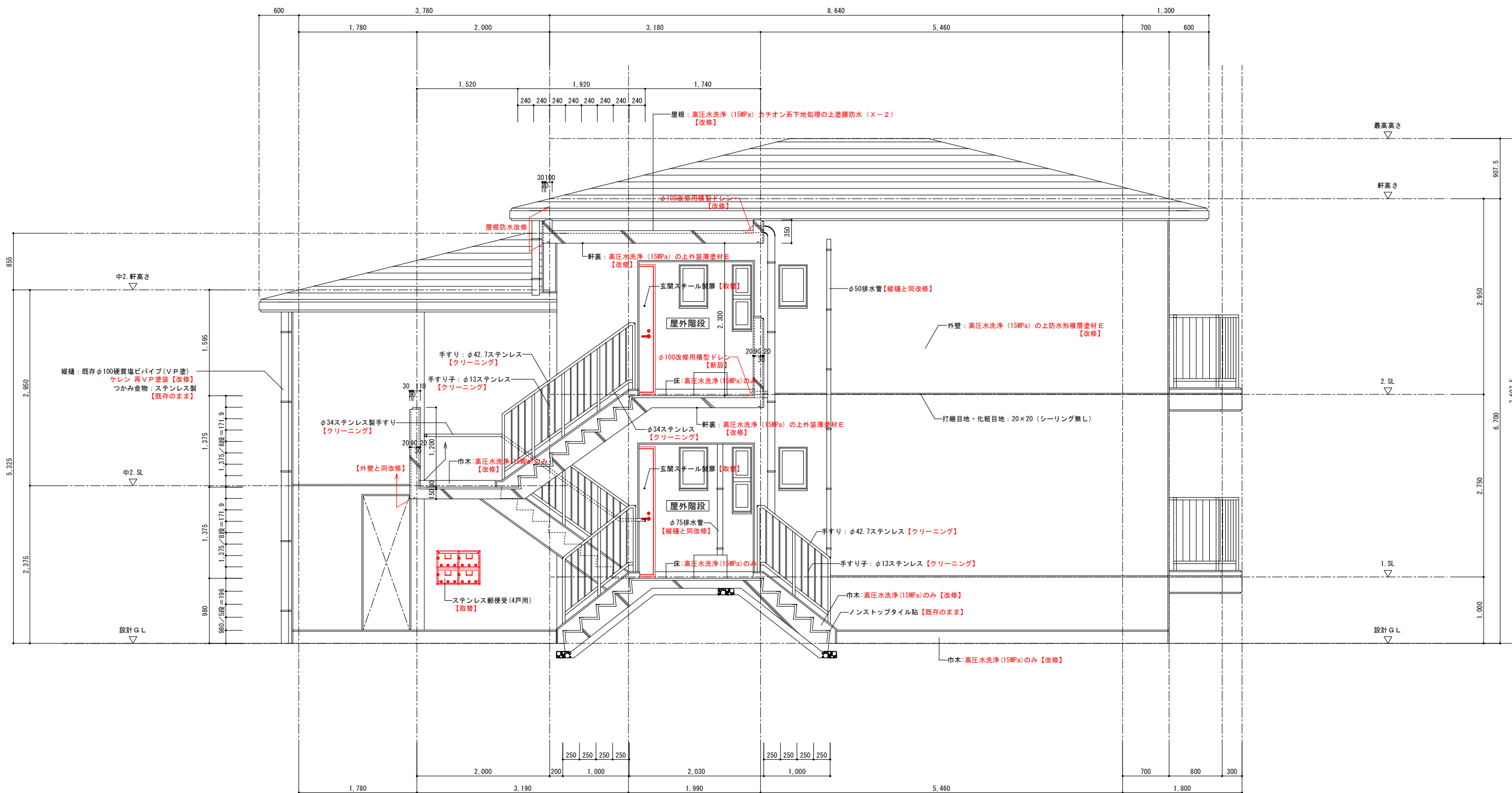
ユニットバス壁パネル腐食部 H100程度
 サビ落とし、ケレンさび止め塗装の上
 厚3.2浴室用パネル（サンゲツ リアテック浴室パネル同等品）上貼
 上下端部シーリング
 【改修、各戸共通】



改修前 矩計図 1:30

改修後

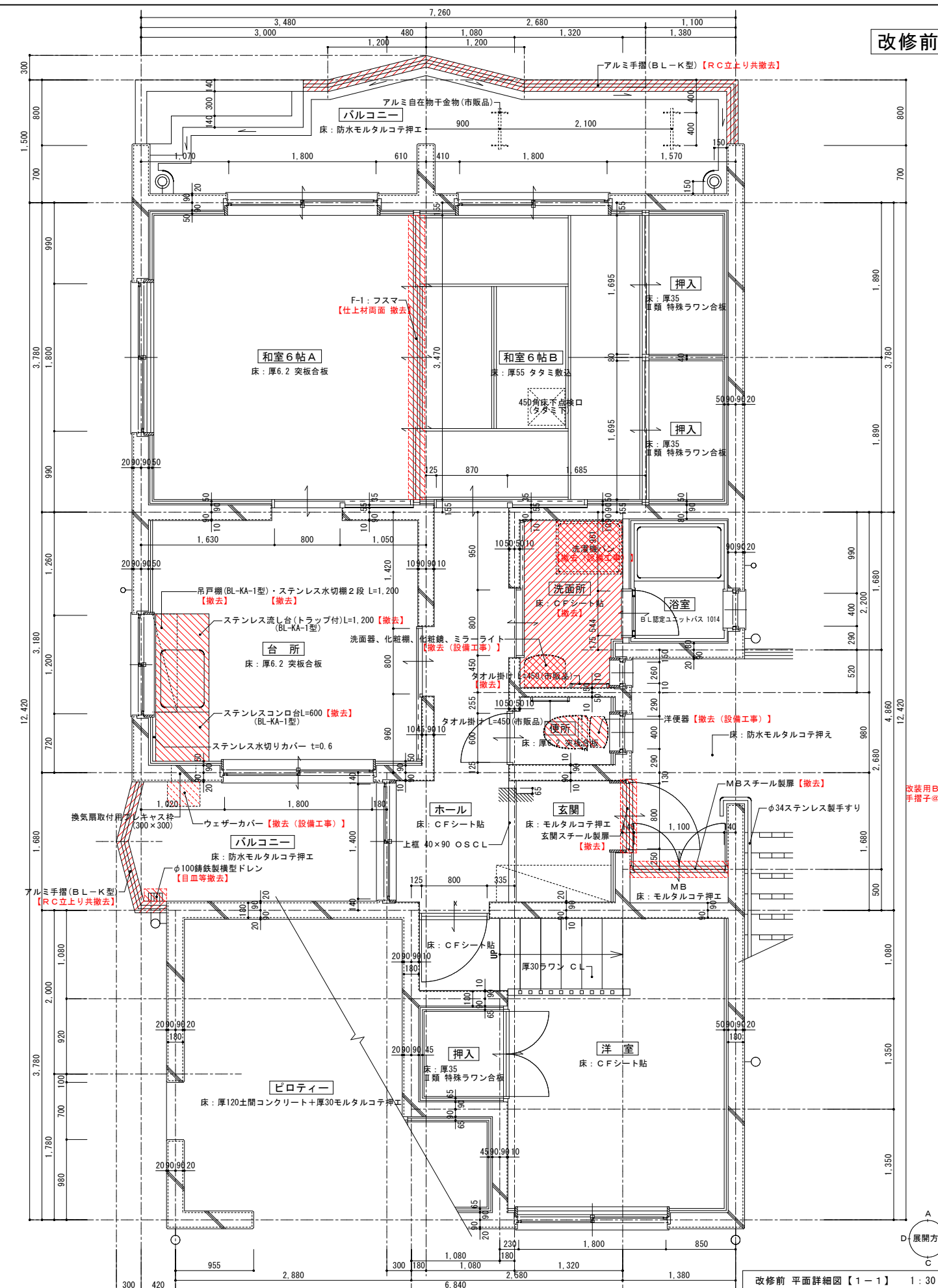
一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日	R7.09	工事名	町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事	図面番号 D-21
		縮尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)	図面種類	改修後 矩計図【1-2】【2-2】	



改修後 階段詳細図 1 : 30

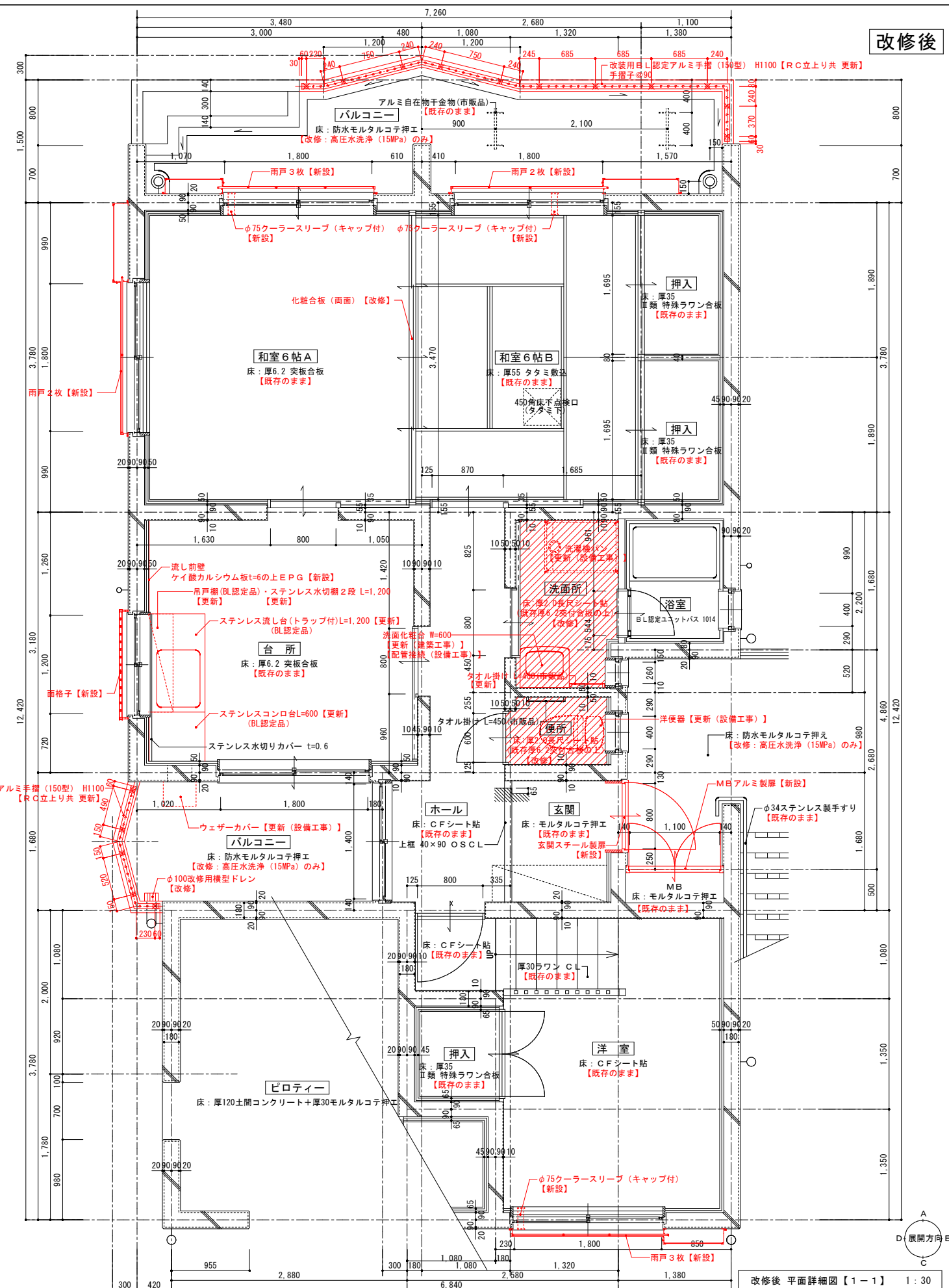
改修後

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日	工事名	図面番号
		R7.09	町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事	D-22
		縮尺 1 : 30 (A1) 1 : 60 (A3)	図面種類	改修後 階段詳細図



改修前

改修前 平面詳細図【1-1】 1:30

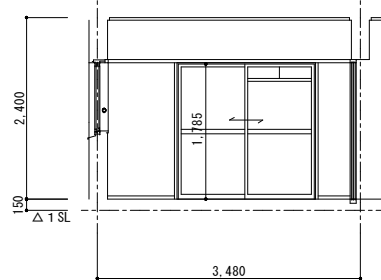


改修後

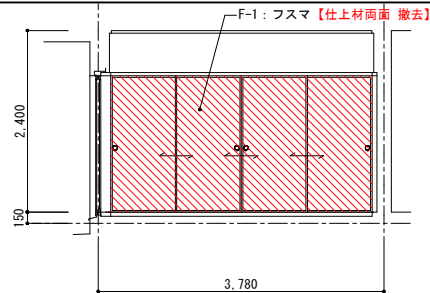
改修後 平面詳細図【1-1】 1:30

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日	R7.09	工事名 町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事 図面種類 改修前・後 平面詳細図【1-1】	図面番号 D-23
		縮尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)		

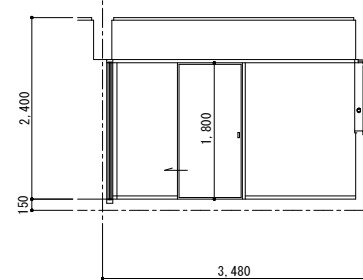
和室6帖A	
床	厚6.2突板合板
巾木	タタミ寄せ H=40
壁	厚27塩ビ合板
天井	厚15プリント合板 CH=2,400
備考	手すり：φ45集成材



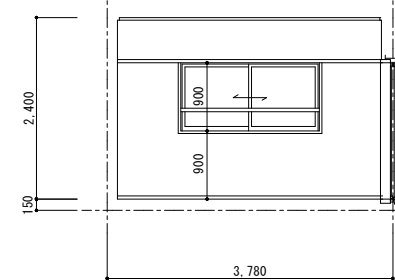
A面



B面



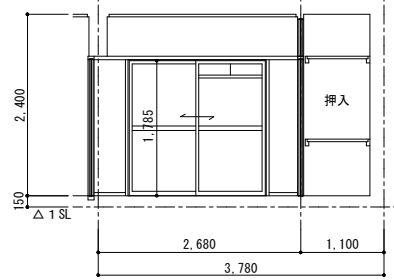
C面



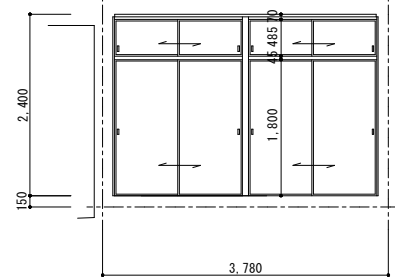
D面

和室6帖B	
床	厚55タタミ敷込
巾木	タタミ寄せ H=40
壁	厚27塩ビ合板
天井	厚15プリント合板 CH=2,400
備考	

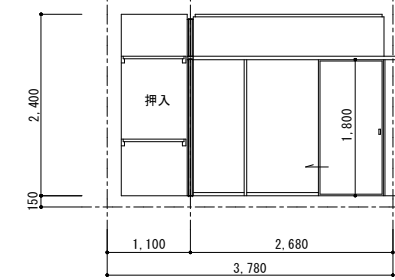
押入	
床	厚35Ⅱ類 特殊ラワン合板
巾木	雑巾摺
壁	厚27Ⅱ類 特殊ラワン合板
天井	厚27Ⅱ類 特殊ラワン合板
備考	



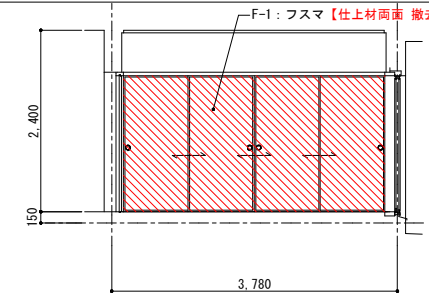
A面



B面

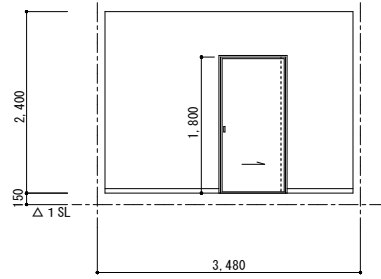


C面

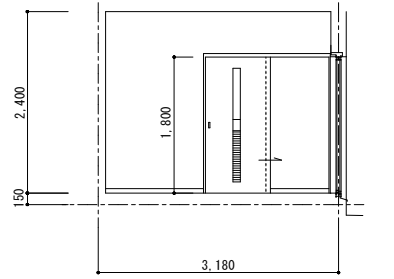


D面

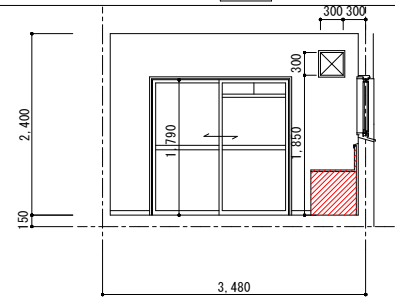
台所	
床	厚6.2突板合板
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 E P (セメントフィラー下地処理)
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 CH=2,400
備考	ステンレス流し台コンロ台付(L=1,800) 吊戸棚(BL-KA-1型)、ステンレス水切棚(2段) ステンレス水切 t=0.6 換気扇プレキャスト枠



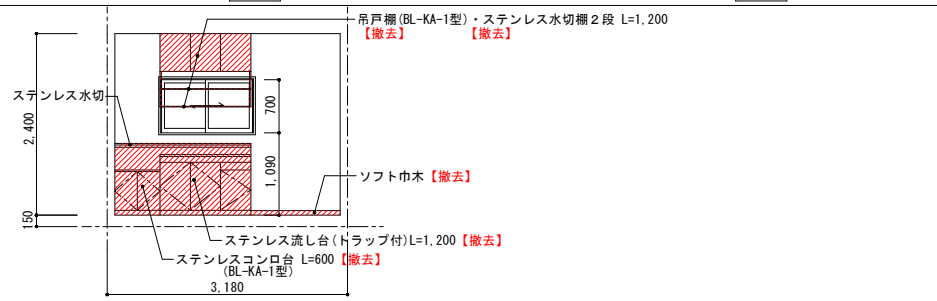
A面



B面

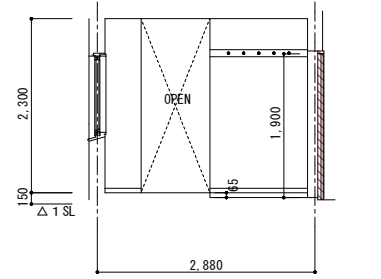


C面

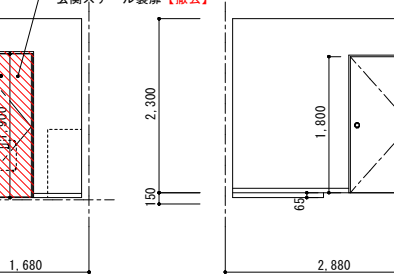


D面

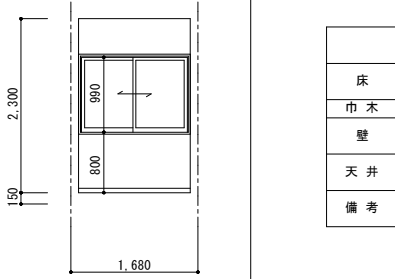
玄関+ホール	
床	玄関：モルタルコテ押エ ホール：厚6.2突板合板の上CFシート貼
巾木	玄関：モルタルコテ押エ+木製巾木 ホール：ソフト巾木 H=60
壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 E P (セメントフィラー下地処理)
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 玄関：CH=2,300+65、ホール：CH=2,300
備考	扉板(真鍮フック5本打)



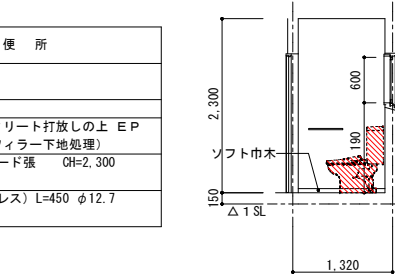
A面



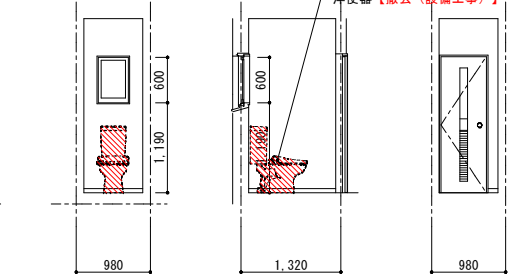
B面



C面



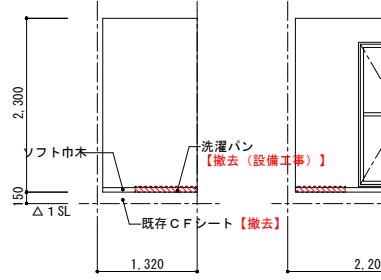
D面



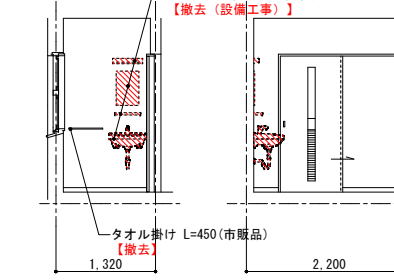
E面

便所	
床	厚6.2突板合板
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 E P (セメントフィラー下地処理)
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 CH=2,300
備考	タオル掛(ステンレス) L=450 φ12.7

洗面所	
床	厚6.2突板合板の上CFシート貼
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 E P (セメントフィラー下地処理) 一部 厚6ケイカル板貼の上 E P
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 CH=2,300
備考	タオル掛(ステンレス) L=450 φ12.7

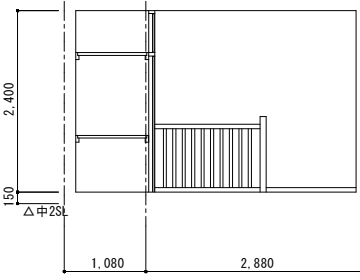


A面

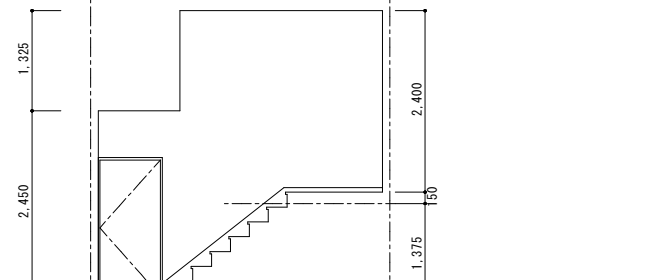


B面

洋室	
床	厚6.2突板合板の上CFシート貼
巾木	木製巾木 H=60
壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 E P (セメントフィラー下地処理)
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 CH=2,400
備考	木製階段 手すり：φ45集成材

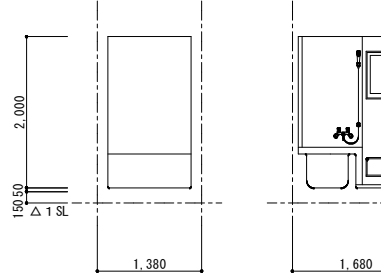


A面

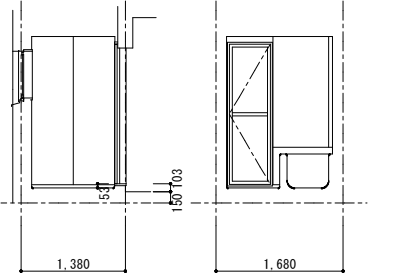


B面

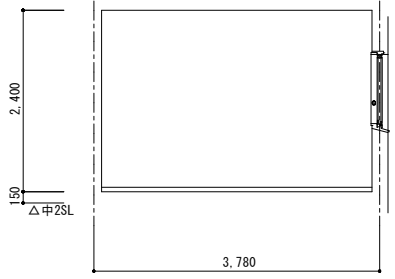
浴室	
床	
巾木	
壁	
天井	
備考	BL認定ユニットバス 1014



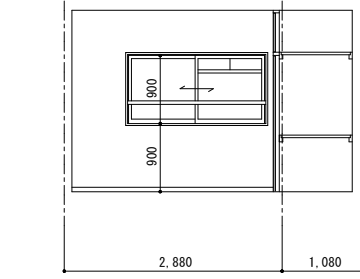
A面



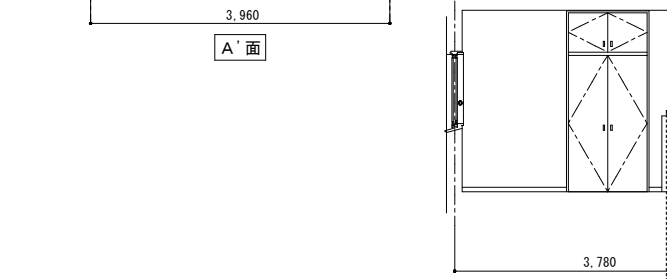
B面



C面

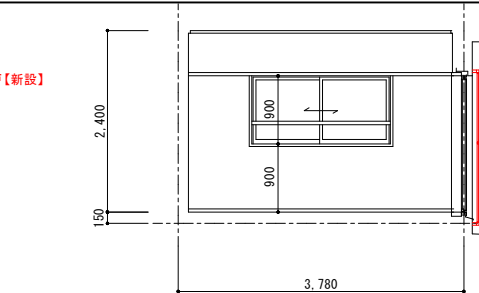
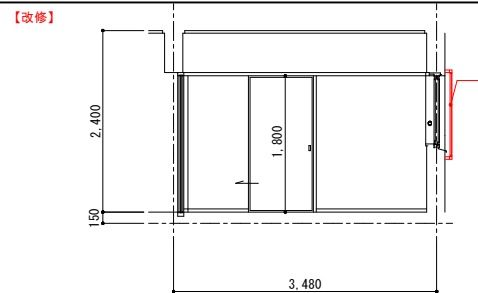
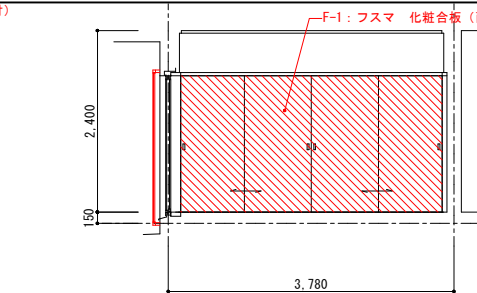
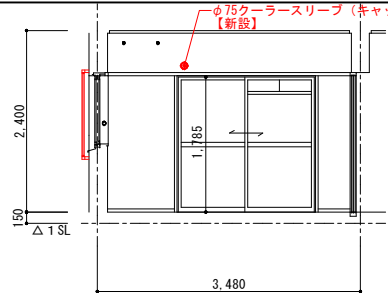


D面



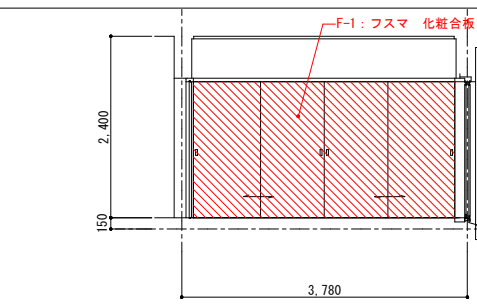
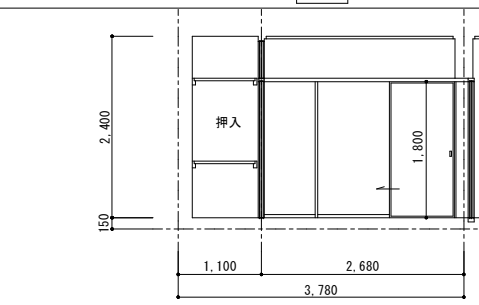
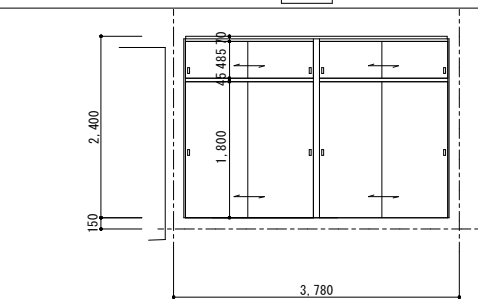
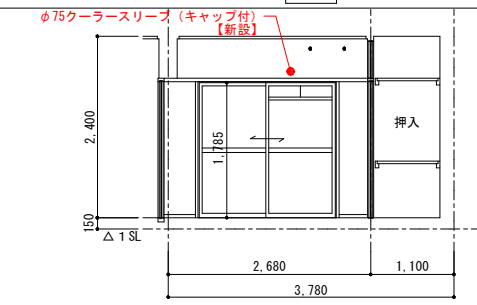
E面

和室6帖A	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

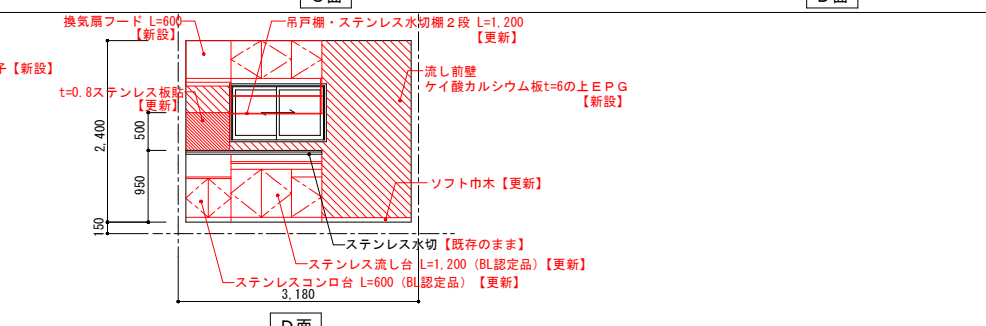
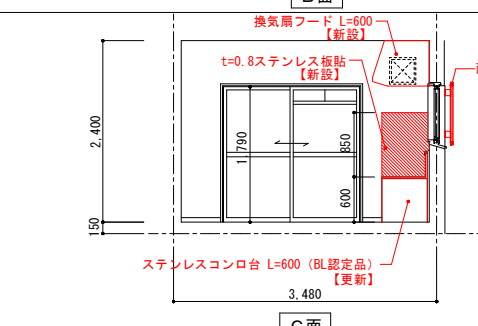
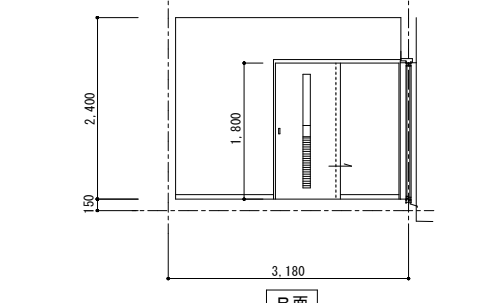
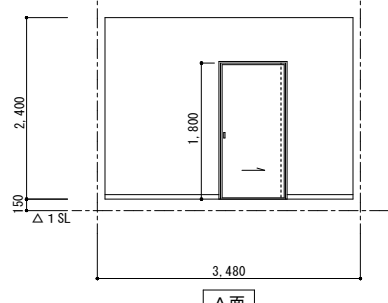


和室6帖B	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	

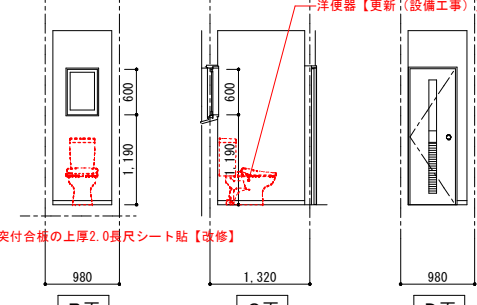
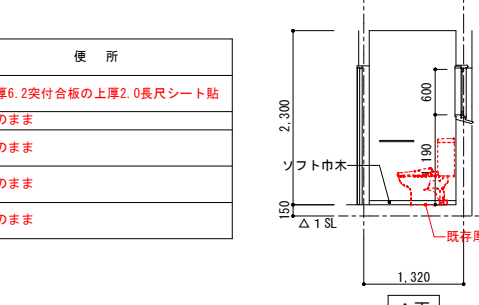
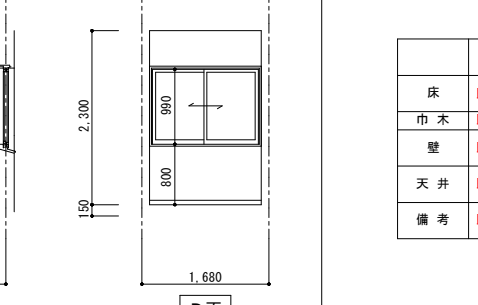
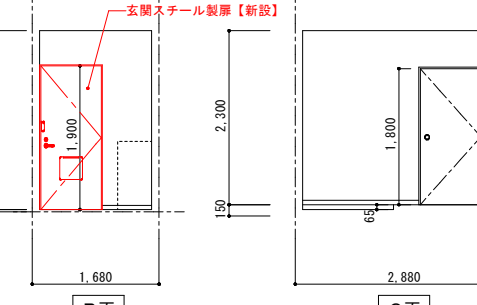
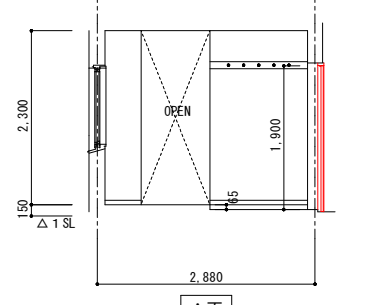
押入	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	



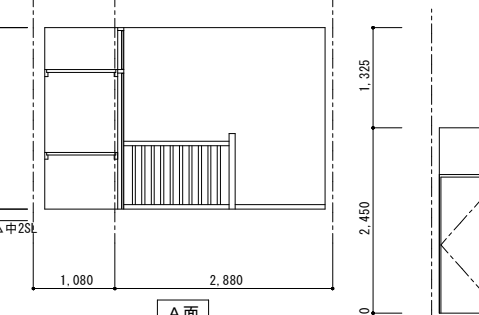
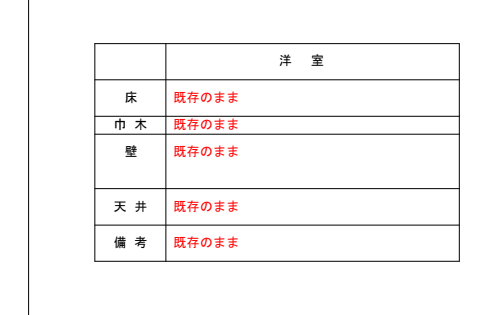
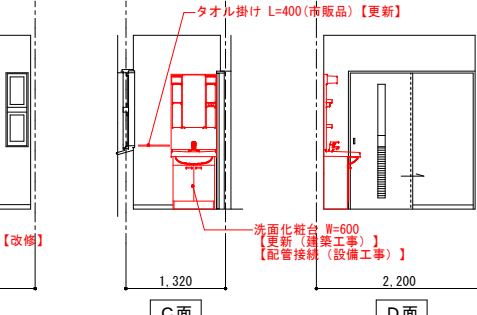
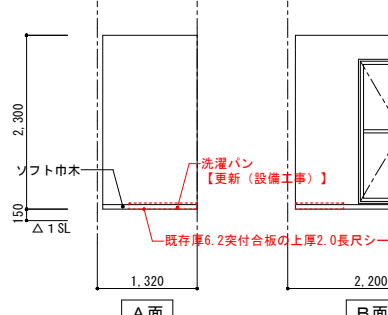
台所	
床	既存のまま
巾木	既存のまま (洗し前) ソフト巾木H60
壁	既存のまま (洗し前) ケイ酸カルシウム板t=25 既存のまま ケイ酸カルシウム板t=6の上EPG
天井	既存のまま
備考	ステンレス流し台(BL認定品)L=1,200 ステンレスコンロ台(BL認定品)L=600 吊戸棚(BL認定品)・ステンレス水切棚2段L=1,200 換気扇フード、t=0.8ステンレス板貼 ステンレス水切【既存のまま】



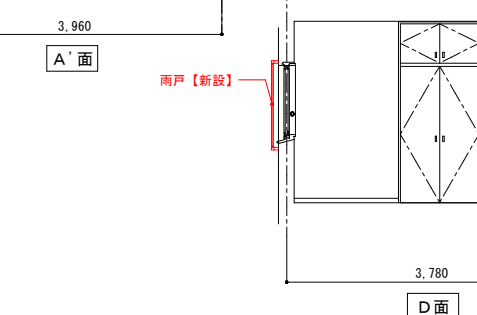
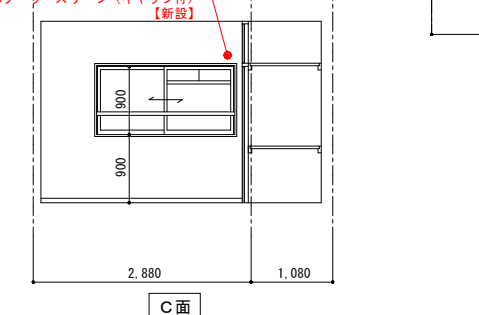
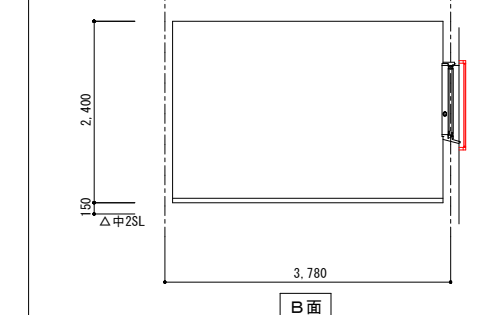
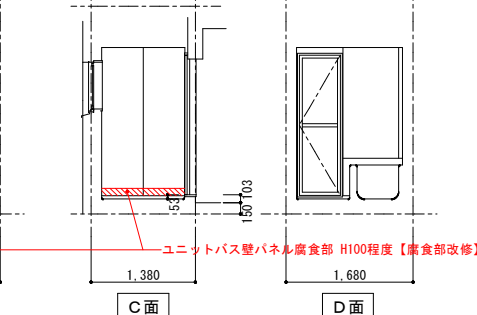
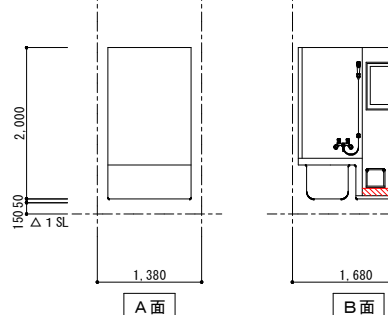
玄関+ホール	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま



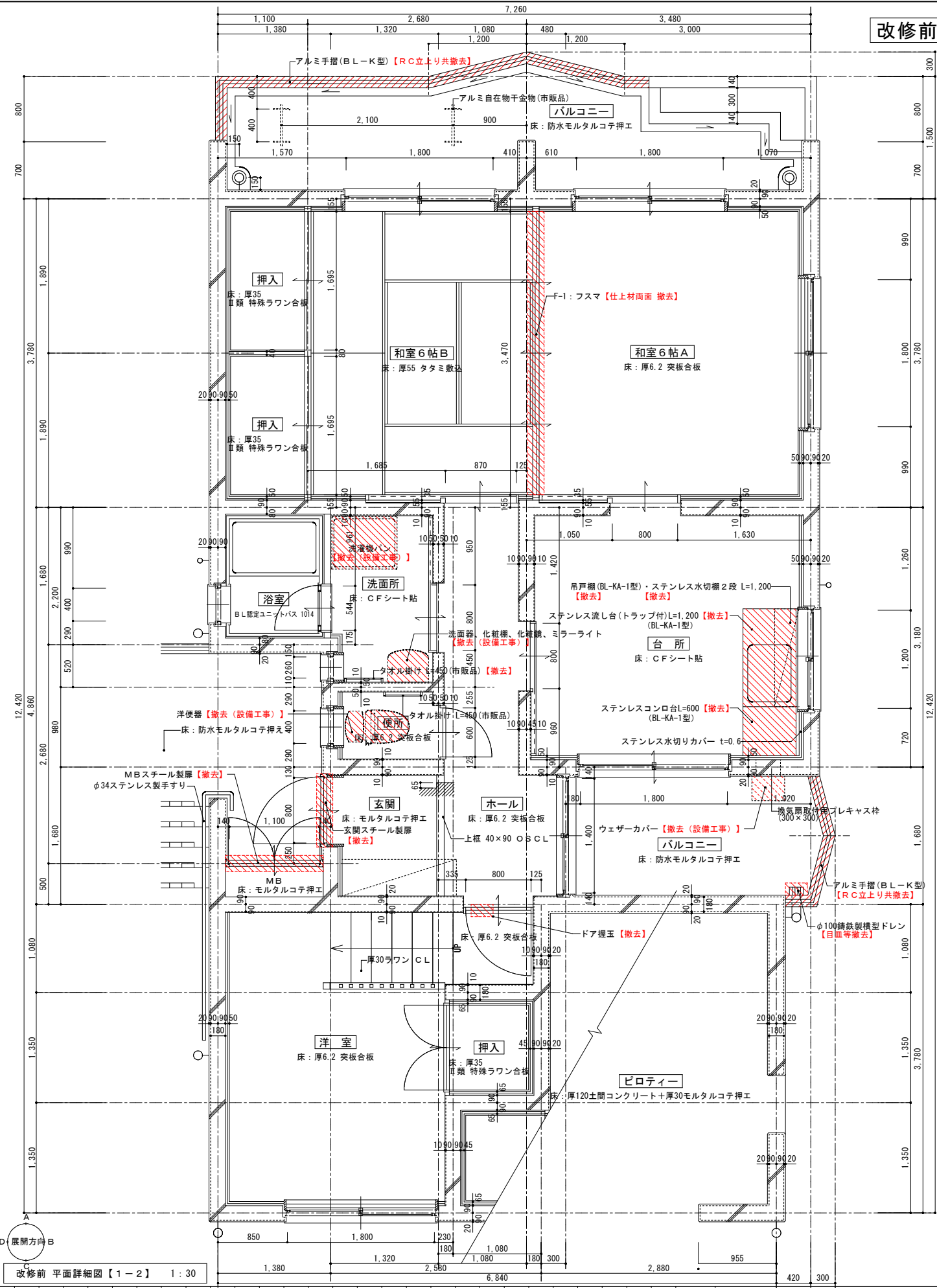
洗面所	
床	既存厚6.2突合板の上厚2.0長尺シート貼
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	タオル掛け【新設】



浴室	
床	
巾木	
壁	
天井	
備考	BL認定ユニットバス 1014 既存のまま

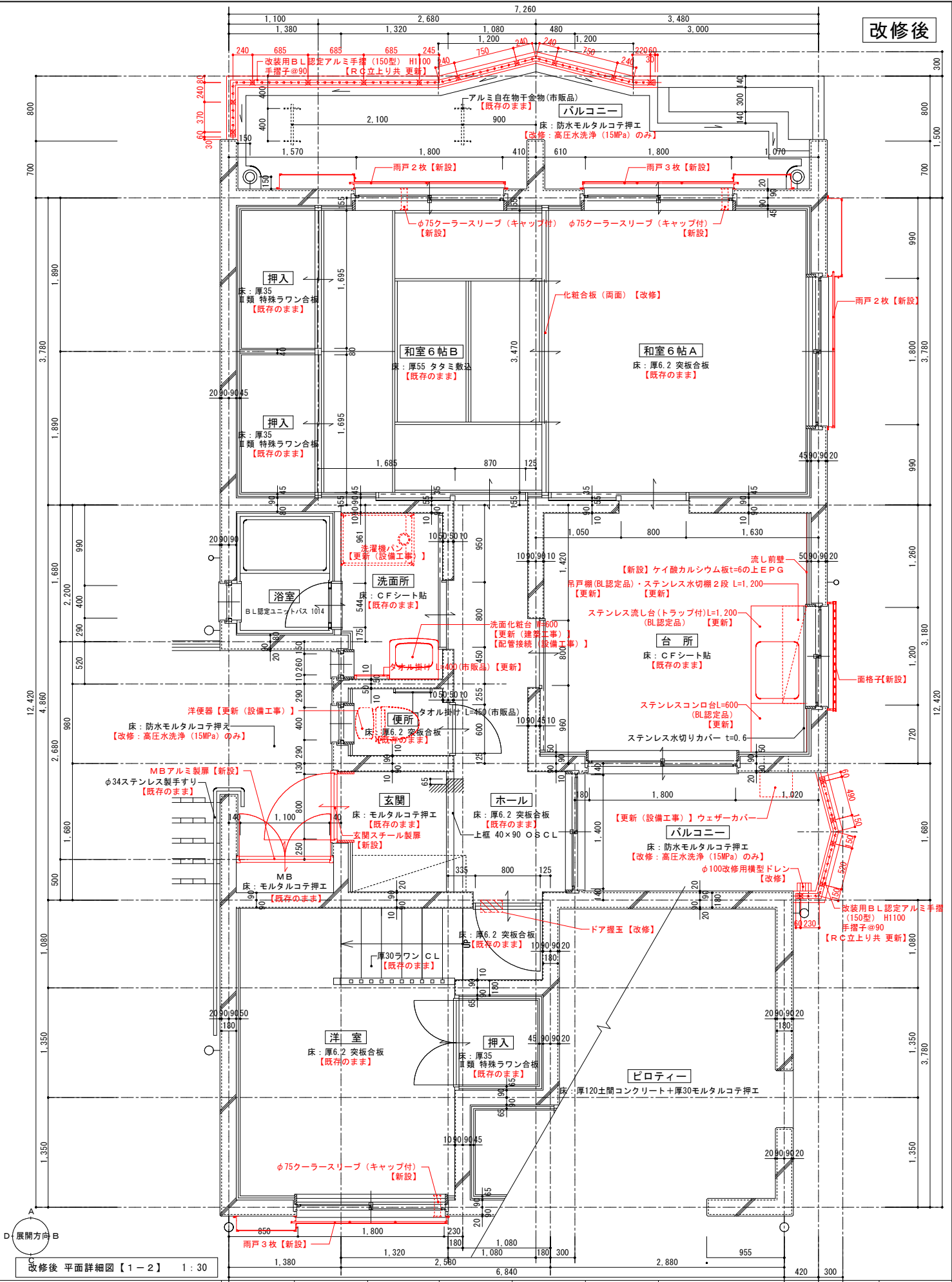


改修前



改修前 平面詳細図【1-2】 1:30

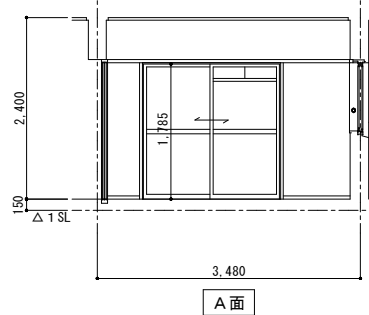
改修後



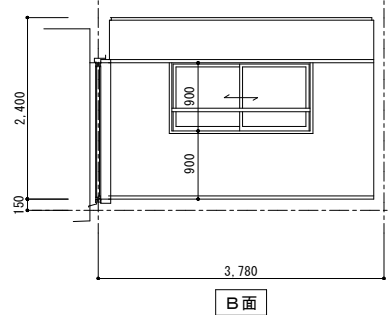
改修後 平面詳細図【1-2】 1:30

設計年月日	R7.09	工事名	町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事	図面番号	D-26
設計者	永園設計株式会社	図面種類	改修前・後 平面詳細図【1-2】		
管理技術者	主任技術者	製図	補助	縮尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)
一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号	永園設計株式会社	管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信			

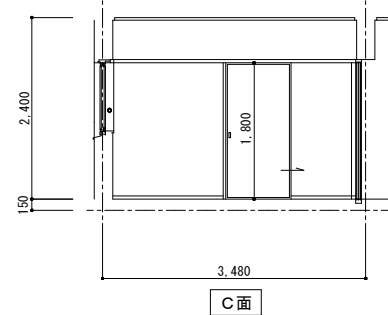
和室6帖A	
床	厚6.2突板合板
巾木	タタミ寄せ H=40
壁	厚27塩ビ合板
天井	厚15プリント合板 CH=2,400
備考	手すり：φ45集成材



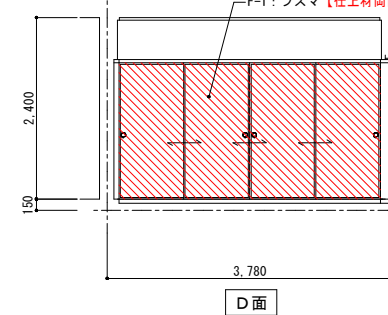
A面



B面



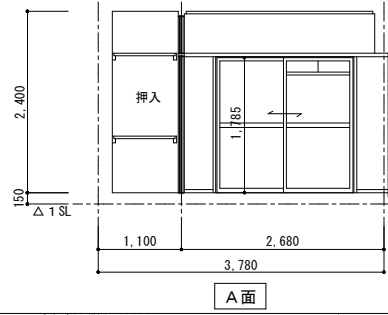
C面



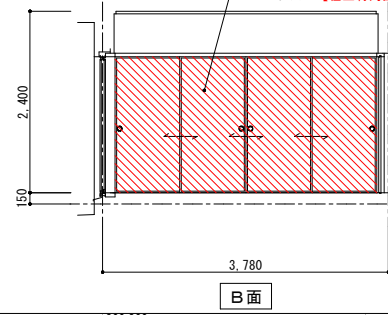
D面

和室6帖B	
床	厚55タタミ敷込
巾木	タタミ寄せ H=40
壁	厚27塩ビ合板
天井	厚15プリント合板 CH=2,400
備考	

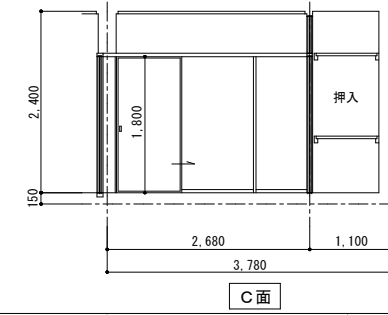
押入	
床	厚35Ⅱ類 特殊ラワン合板
巾木	雑巾摺
壁	厚27Ⅱ類 特殊ラワン合板
天井	厚27Ⅱ類 特殊ラワン合板
備考	



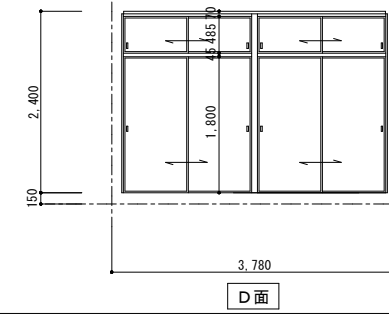
A面



B面

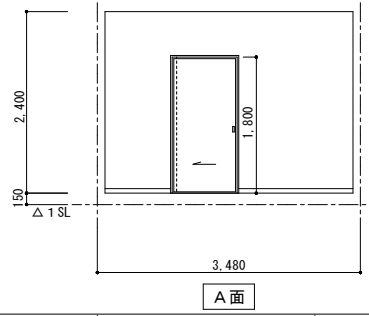


C面

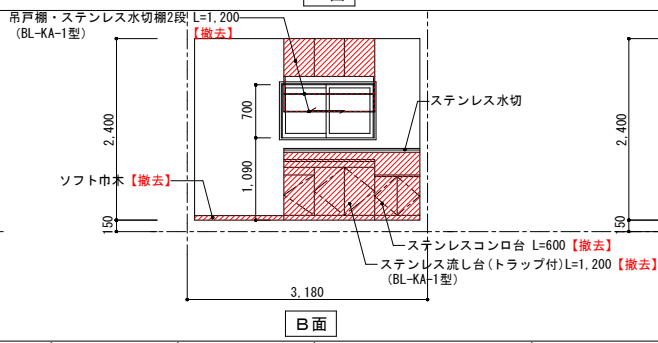


D面

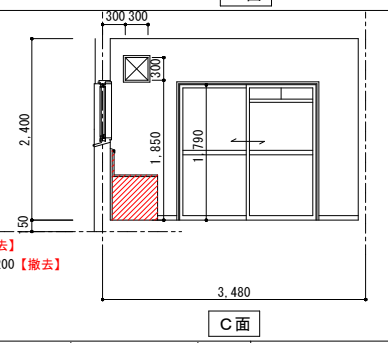
台所	
床	厚6.2突板合板の上CFシート貼
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 EP (セメントフィラー下地処理)
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 CH=2,400
備考	ステンレス流し台コンロ台付(L=1,800) 吊戸棚(BL-KA-1型)、ステンレス水切棚(2段) ステンレス水切 t=0.6 換気扇プレキャスト枠



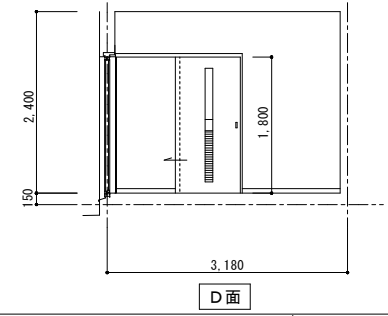
A面



B面

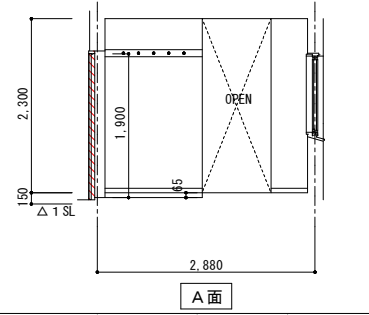


C面

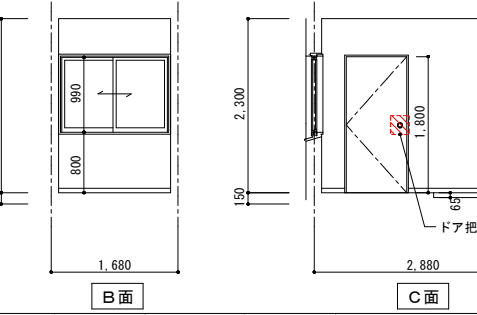


D面

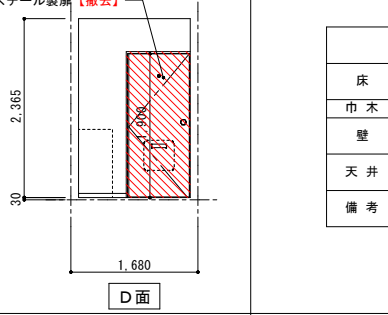
玄関+ホール	
床	玄関：モルタルコシ押エ ホール：厚6.2突板合板
巾木	玄関：モルタルコシ押エ+木製巾木 ホール：ソフト巾木 H=60
壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 EP (セメントフィラー下地処理)
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 玄関：CH=2,300+65、ホール：CH=2,300
備考	扉板(真鍮フック5本打)



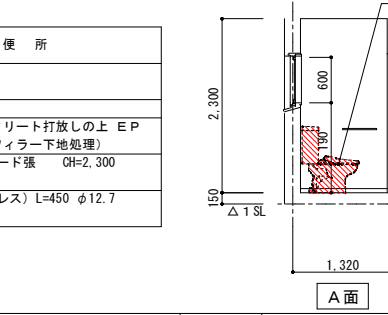
A面



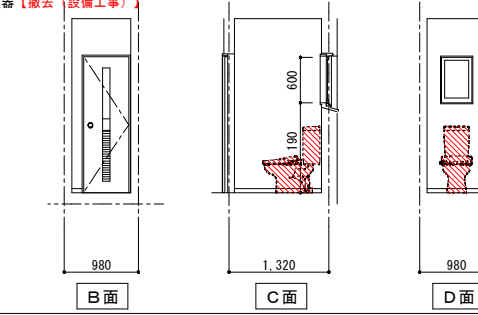
B面



C面



D面



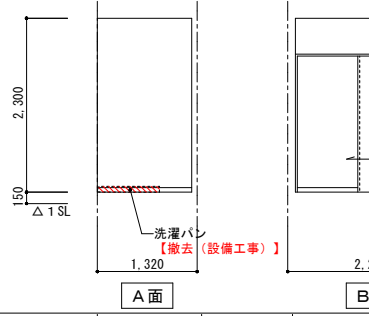
A面

B面

C面

D面

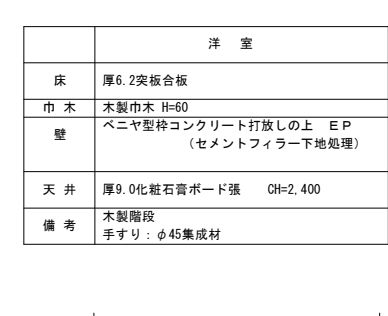
洗面所	
床	厚6.2突板合板の上CFシート貼
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 EP (セメントフィラー下地処理) 一部 厚6ケイカル板貼の上 EP
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 CH=2,300
備考	タオル掛(ステンレス) L=450 φ12.7



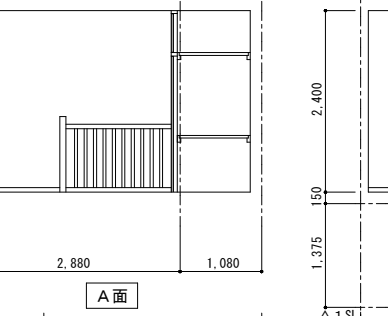
A面



B面

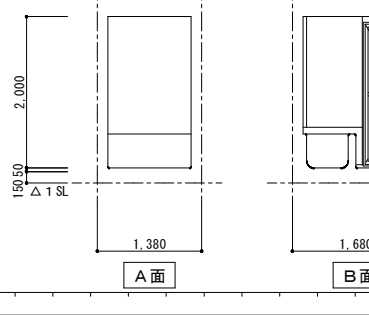


C面

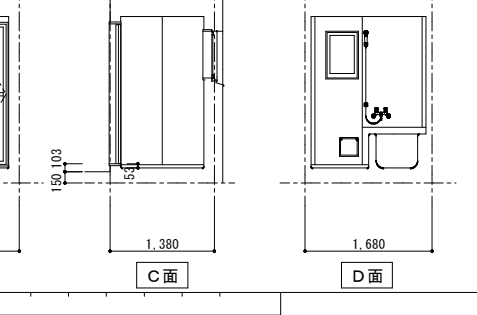


D面

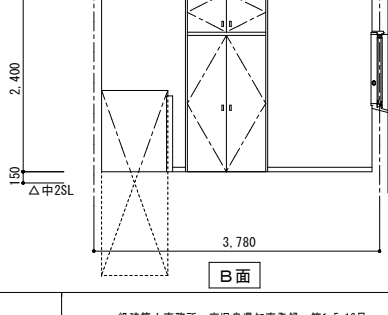
浴室	
床	
巾木	
壁	
天井	
備考	BL認定ユニットバス 1014



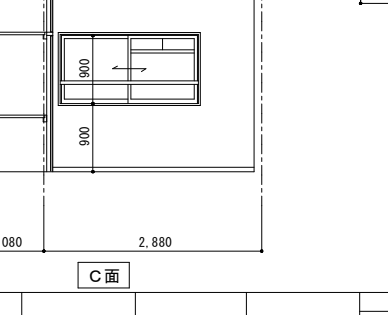
A面



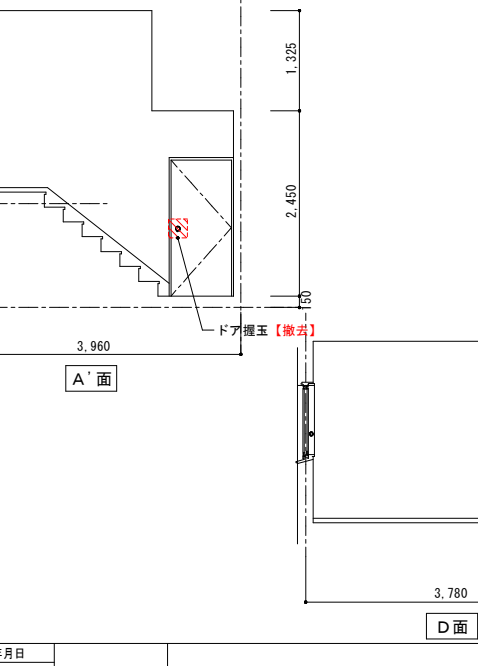
B面



C面



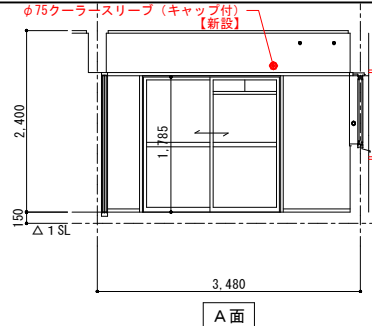
D面



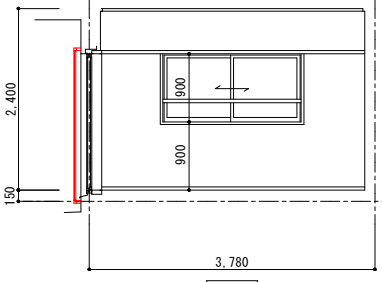
A面

D面

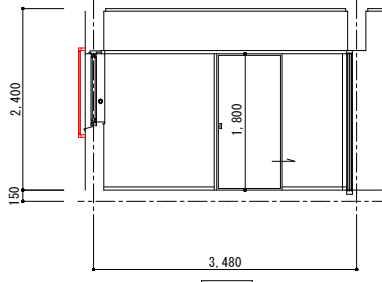
和室6帖A	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま



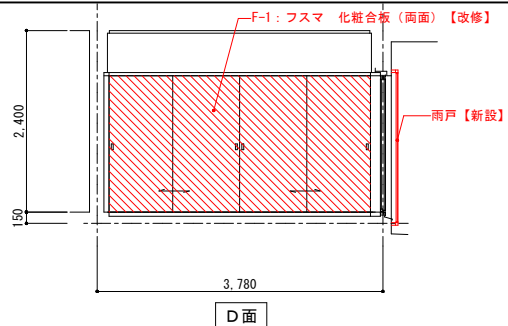
A面



B面



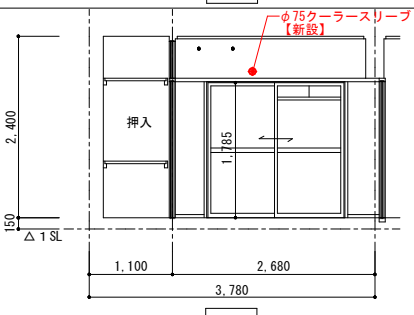
C面



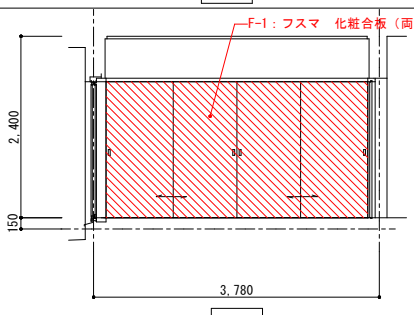
D面

和室6帖B	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	

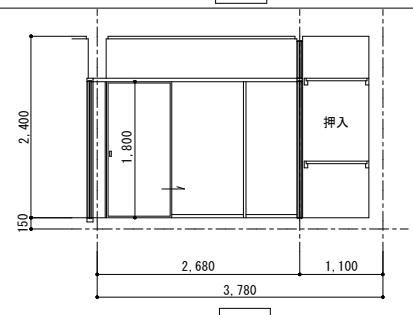
押入	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	



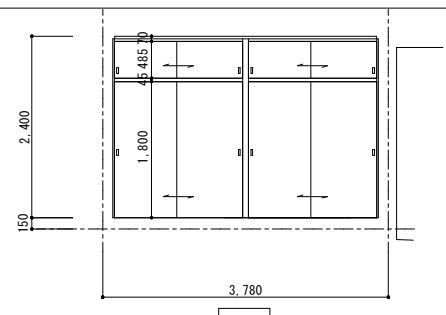
A面



B面

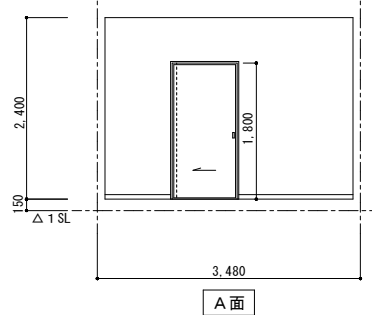


C面

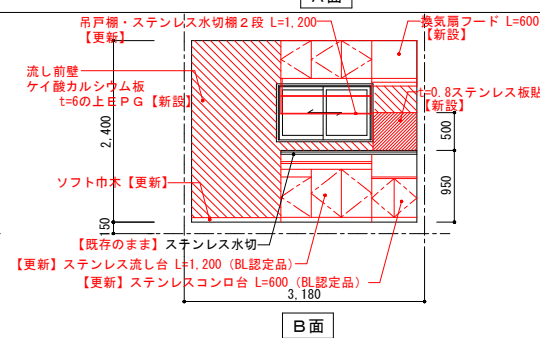


D面

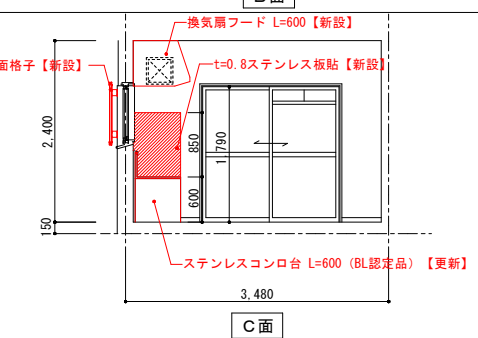
台所	
床	既存のまま
巾木	既存のまま (洗し前) ソフト巾木H60
壁	既存のまま (洗し前) ケイ酸カルシウム板t=25 既存のまま ケイ酸カルシウム板t=6の上EPG
天井	既存のまま
備考	ステンレス流し台 (BL認定品) L=1,200 ステンレスコンロ台 (BL認定品) L=600 吊戸棚 (BL認定品)・ステンレス水切棚2段 L=1,200 換気扇フード・t=0.8ステンレス板貼 ステンレス水切 【既存のまま】



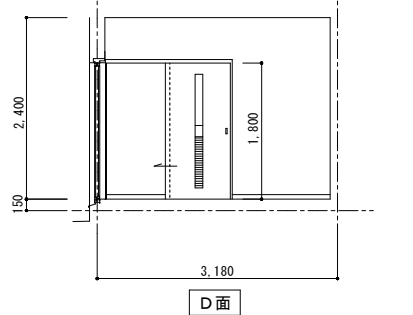
A面



B面

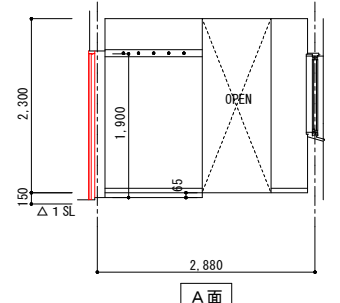


C面

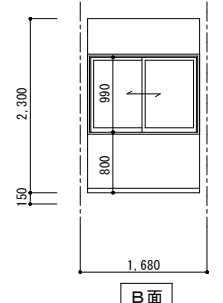


D面

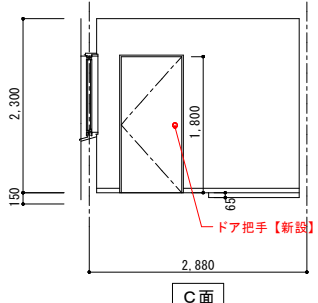
玄関+ホール	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま



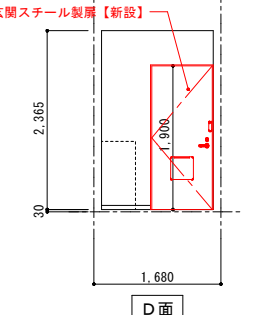
A面



B面

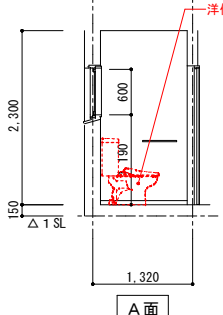


C面

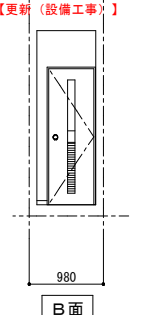


D面

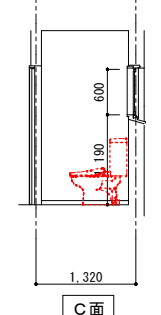
便所	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま



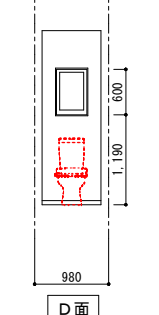
A面



B面

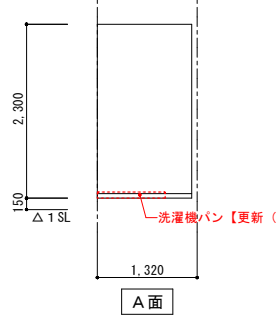


C面

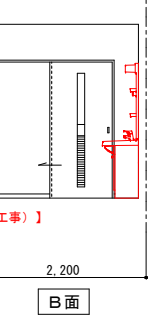


D面

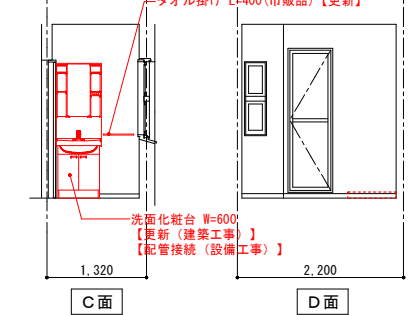
洗面所	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	タオル掛け 【新設】



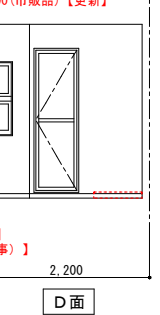
A面



B面

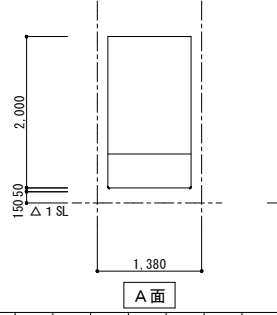


C面

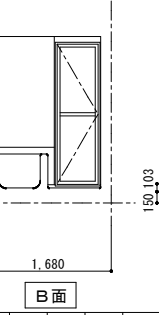


D面

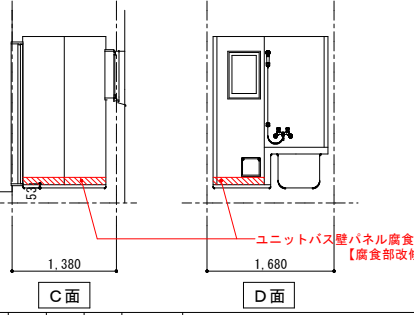
浴室	
床	
巾木	
壁	
天井	
備考	BL認定ユニットバス 1014 既存のまま



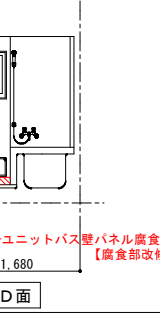
A面



B面

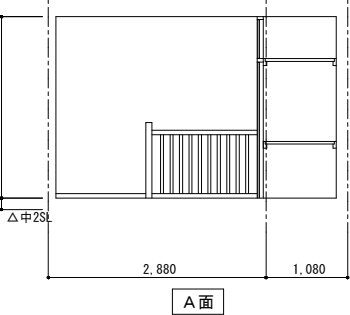


C面

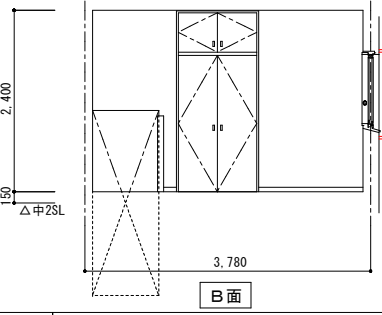


D面

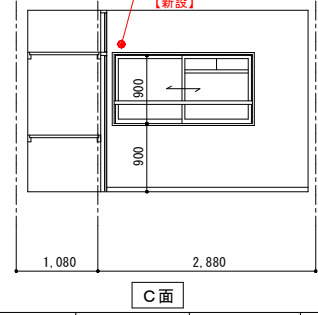
洋室	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま



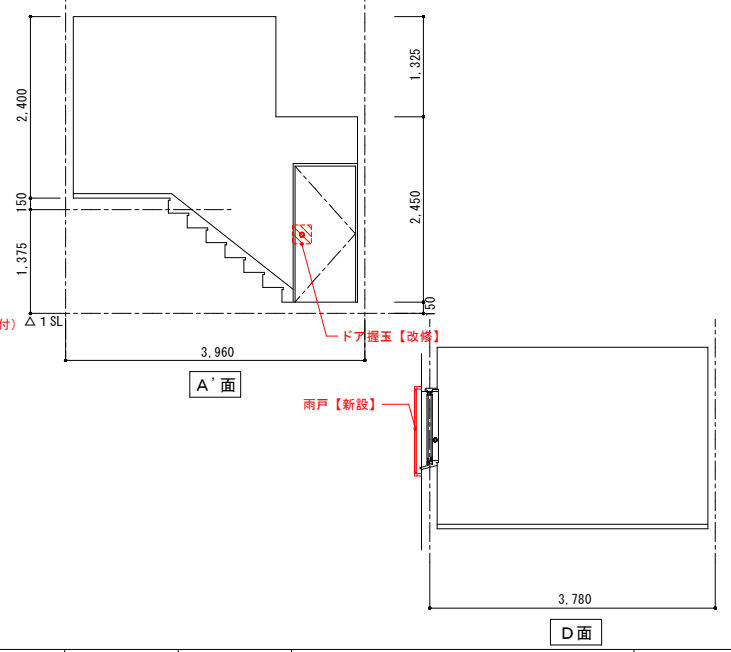
A面



B面



C面

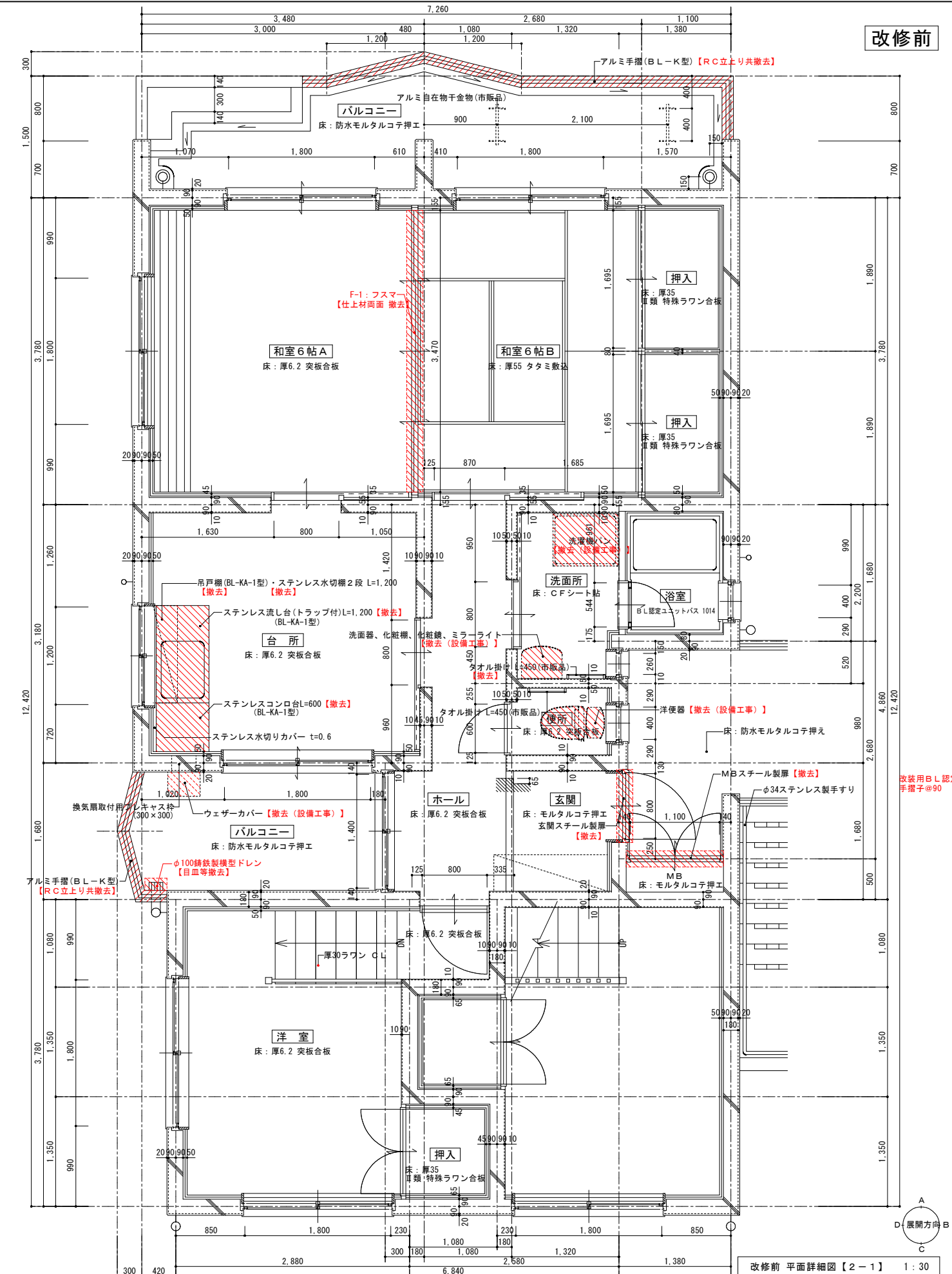


A'面

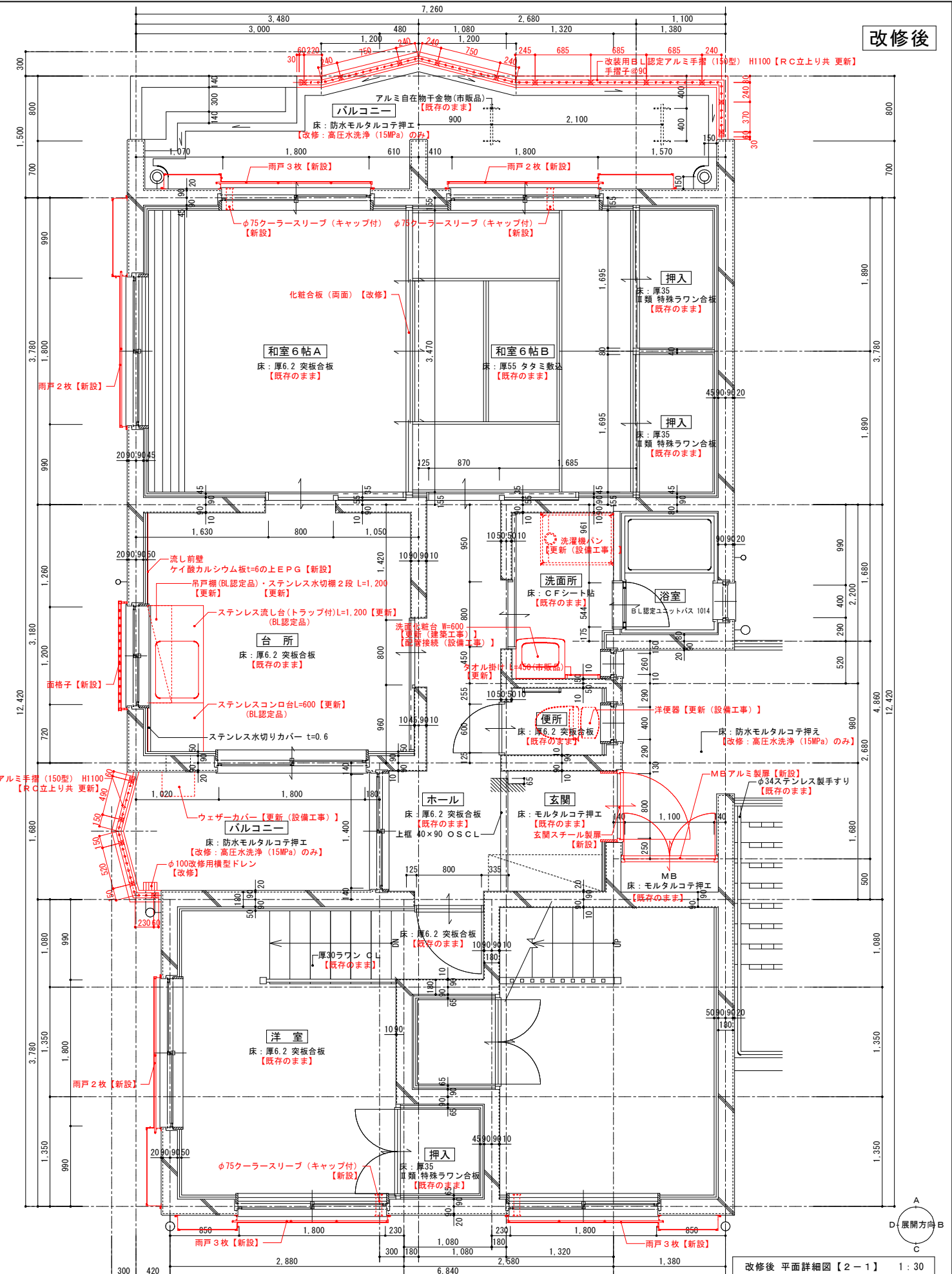
D面

改修前

改修後



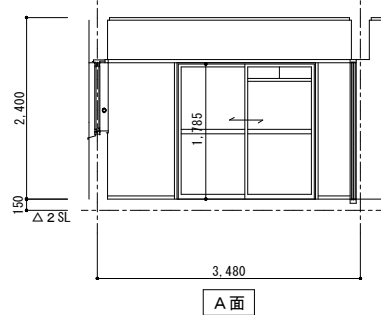
改修前 平面詳細図【2-1】 1:30



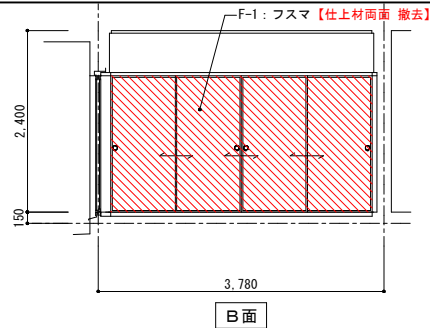
改修後 平面詳細図【2-1】 1:30

設計年月日	R7.09	工事名	町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事	図面番号	D-29
設計者	永園設計株式会社	図面種類	改修前・後 平面詳細図【2-1】		
管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信					

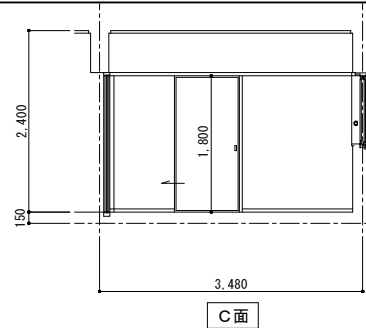
和室6帖A	
床	厚6.2突板合板
巾木	タタミ寄せ H=40
壁	厚27塩ビ合板
天井	厚15プリント合板 CH=2,400
備考	手すり：φ45集成材



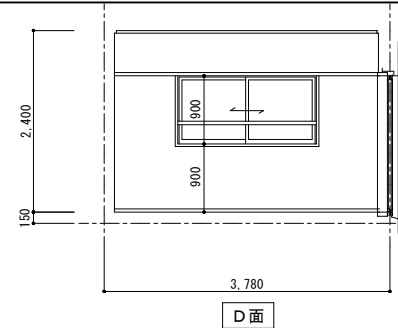
A面



B面



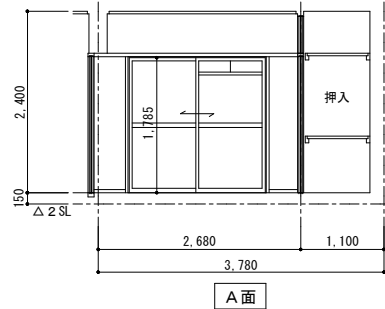
C面



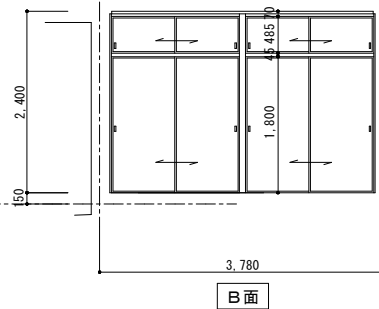
D面

和室6帖B	
床	厚55タタミ敷込
巾木	タタミ寄せ H=40
壁	厚27塩ビ合板
天井	厚15プリント合板 CH=2,400
備考	

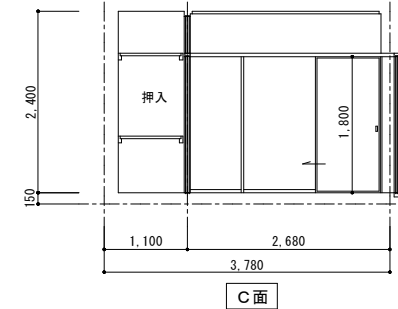
押入	
床	厚35Ⅱ類 特殊ラワン合板
巾木	雑巾摺
壁	厚27Ⅱ類 特殊ラワン合板
天井	厚27Ⅱ類 特殊ラワン合板
備考	



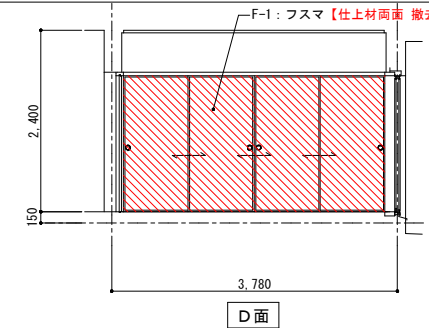
A面



B面

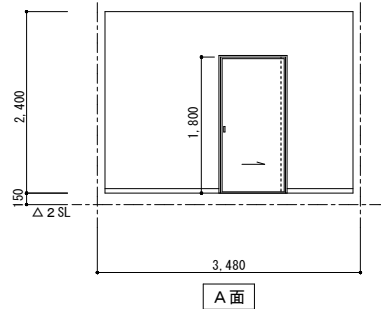


C面

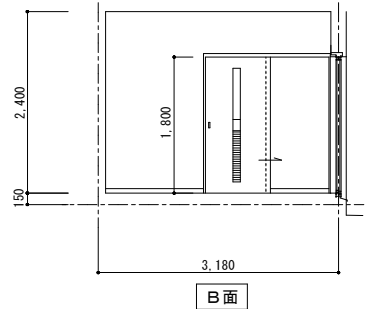


D面

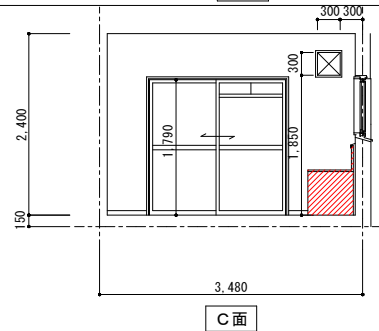
台所	
床	厚6.2突板合板
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 EP (セメントフィラー下地処理)
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 CH=2,400
備考	ステンレス流し台コンロ台付(L=1,800) 吊戸棚(BL-KA-1型)、ステンレス水切棚(2段) ステンレス水切 t=0.6 換気扇プレキャスト枠



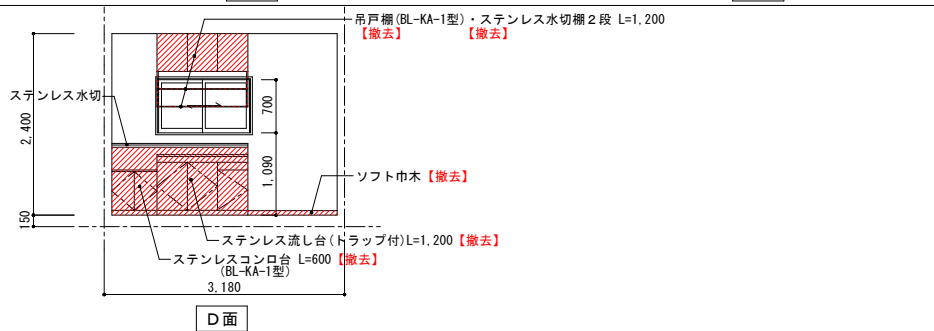
A面



B面

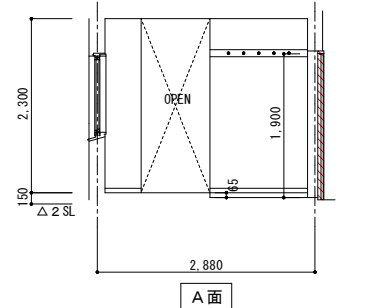


C面

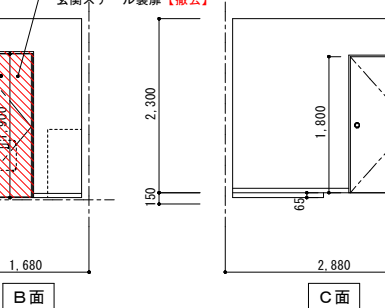


D面

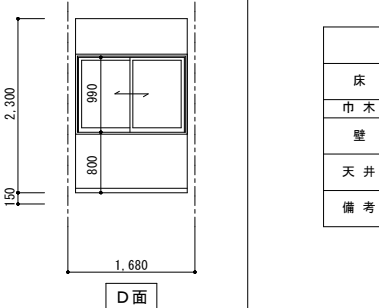
玄関+ホール	
床	玄関：モルタルコテ押エ ホール：厚6.2突板合板
巾木	玄関：モルタルコテ押エ+木製巾木 ホール：ソフト巾木 H=60
壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 EP (セメントフィラー下地処理)
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 玄関：CH=2,300+65、ホール：CH=2,300
備考	扉板(真鍮フック5本打)



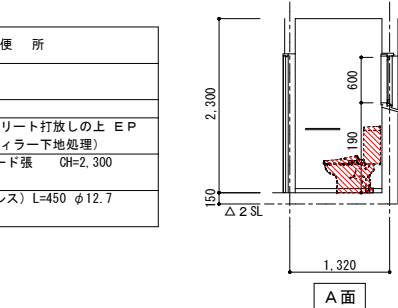
A面



B面

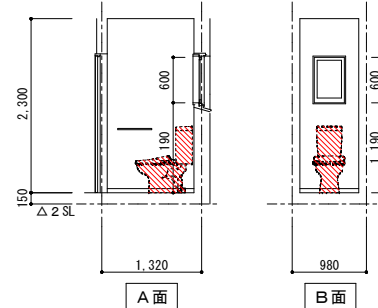


C面

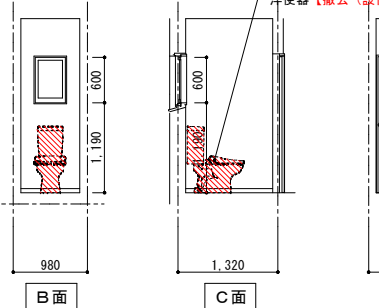


D面

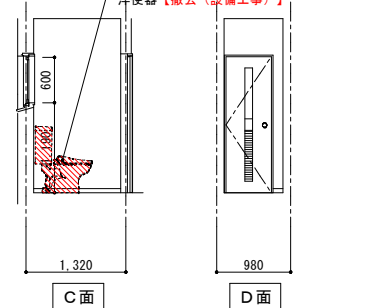
便所	
床	厚6.2突板合板
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 EP (セメントフィラー下地処理)
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 CH=2,300
備考	タオル掛(ステンレス) L=450 φ12.7



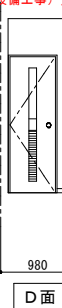
A面



B面

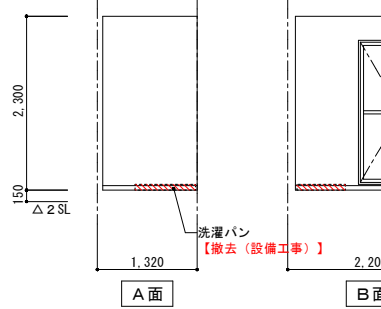


C面

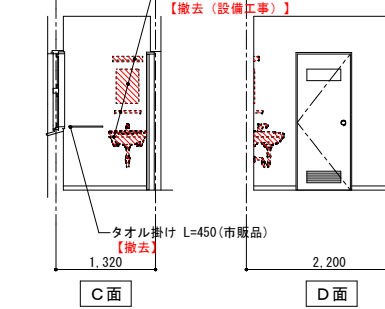


D面

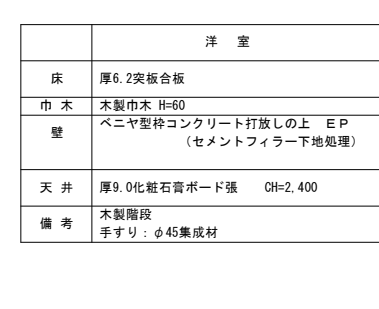
洗面所	
床	厚6.2突板合板の上CFシート貼
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 EP (セメントフィラー下地処理) 一部 厚6ケイカル板貼の上 EP
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 CH=2,300
備考	タオル掛(ステンレス) L=450 φ12.7



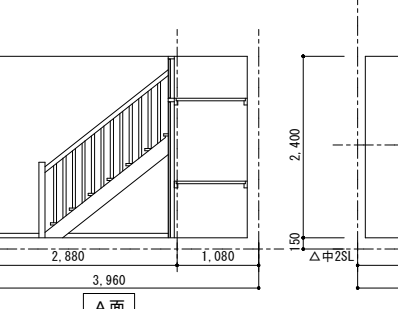
A面



B面

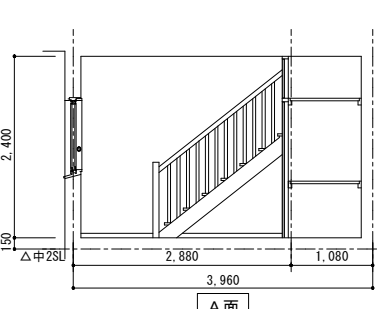


C面

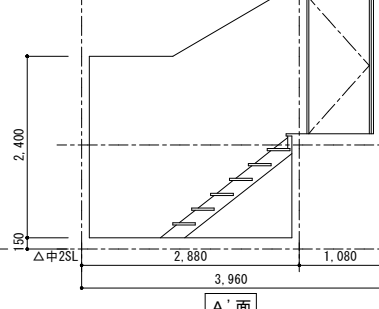


D面

洋室	
床	厚6.2突板合板
巾木	木製巾木 H=60
壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 EP (セメントフィラー下地処理)
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 CH=2,400
備考	木製階段 手すり：φ45集成材

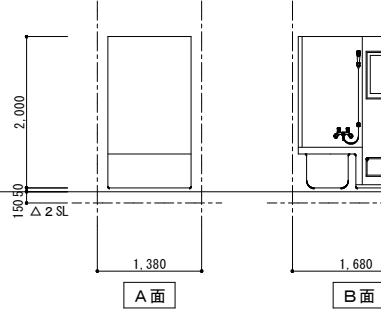


A面

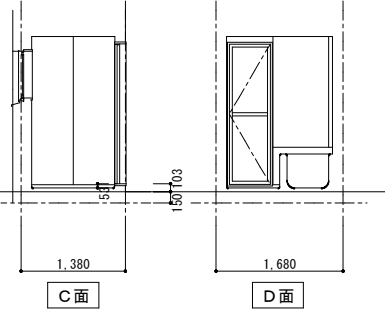


A'面

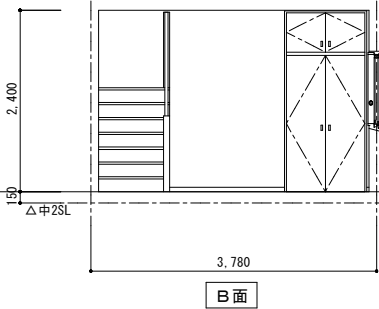
浴室	
床	
巾木	
壁	
天井	
備考	BL認定ユニットバス 1014



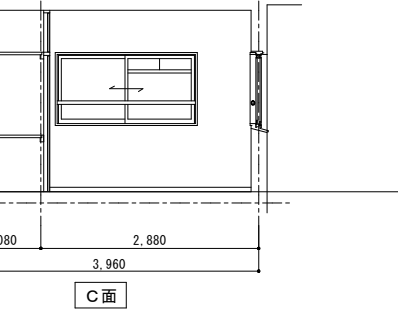
A面



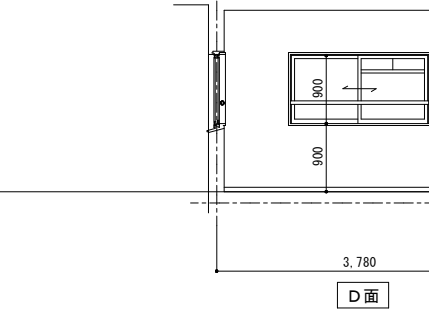
B面



C面

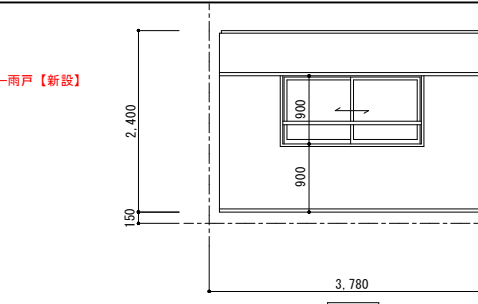
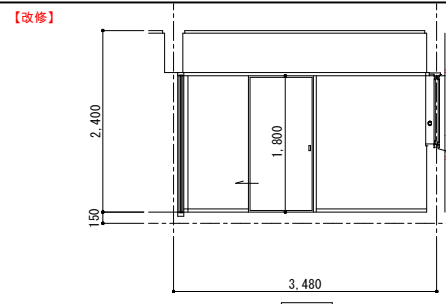
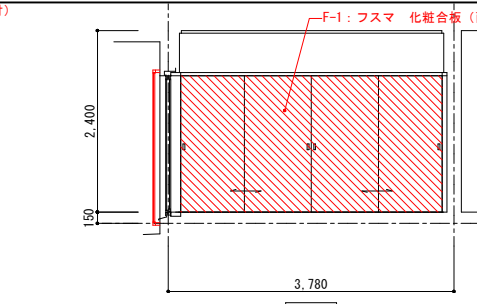
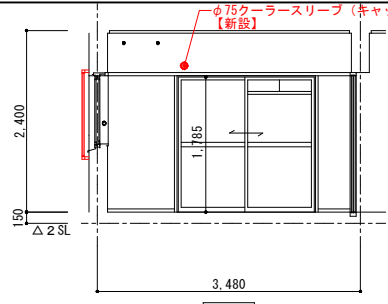


D面



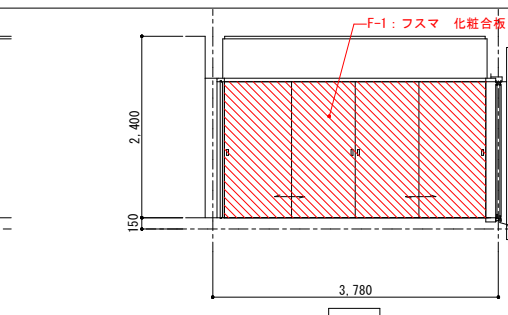
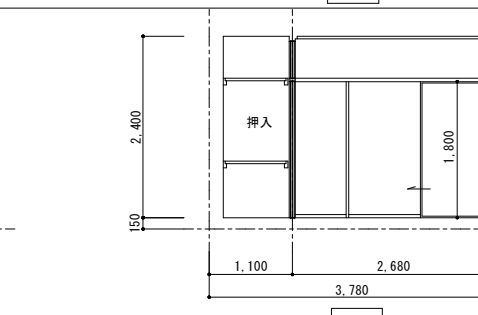
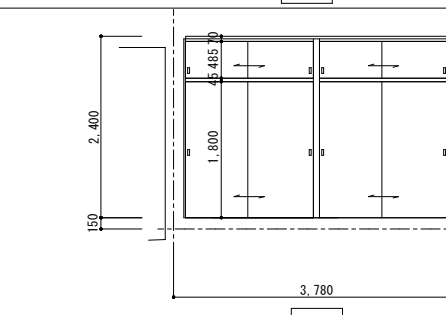
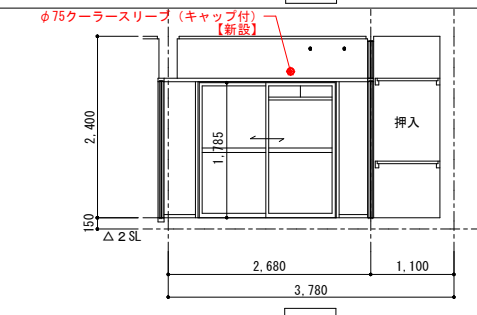
A'面

和室6帖A	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

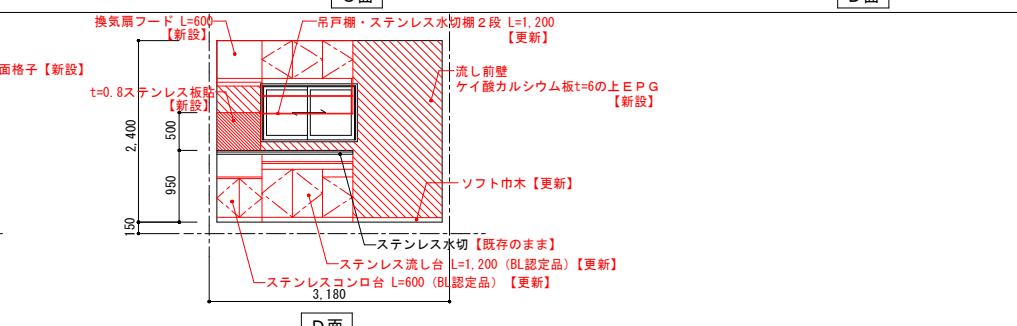
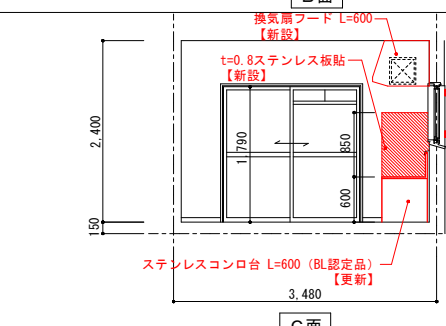
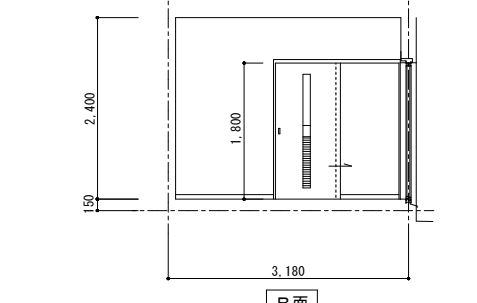
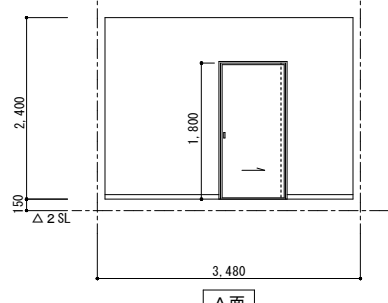


和室6帖B	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	

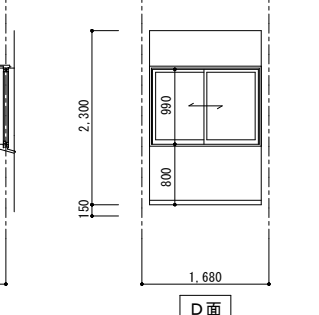
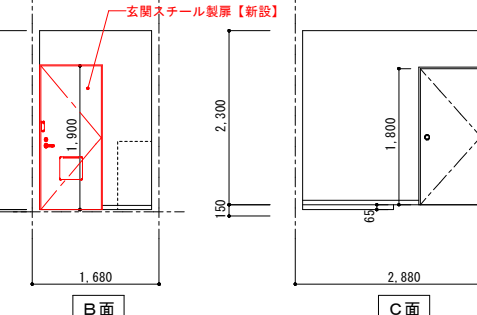
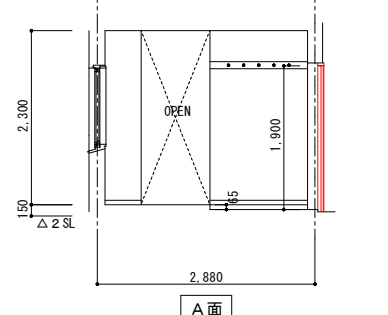
押入	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	



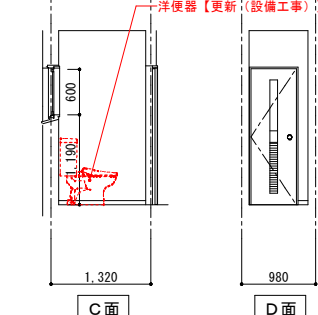
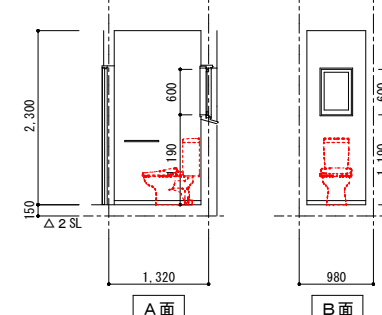
台所	
床	既存のまま
巾木	既存のまま (洗し前) ソフト巾木H60
壁	既存のまま (洗し前) ケイ酸系地パネルt=25 既存のまま ケイ酸カルシウム板t=6の上EPG
天井	既存のまま
備考	ステンレス流し台 (BL認定品) L=1,200 ステンレスコンロ台 (BL認定品) L=600 吊戸棚 (BL認定品)・ステンレス水切棚2段 L=1,200 換気扇フード、t=0.8ステンレス板貼 ステンレス水切【既存のまま】



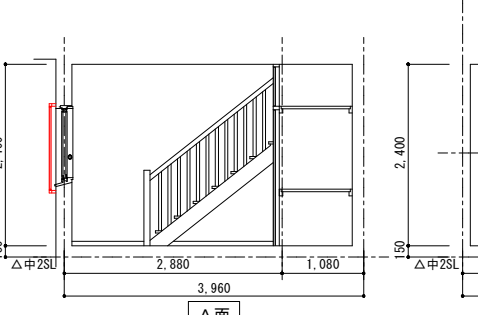
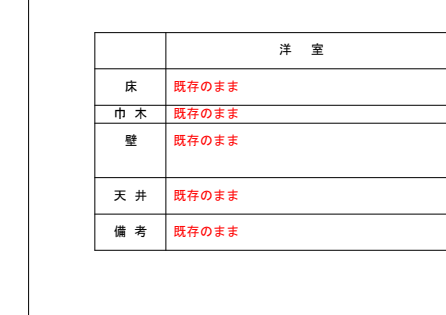
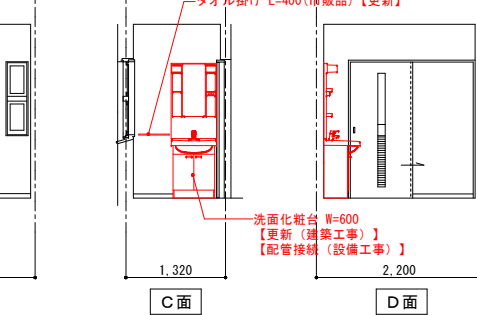
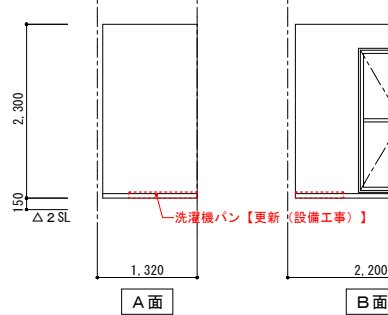
玄関+ホール	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま



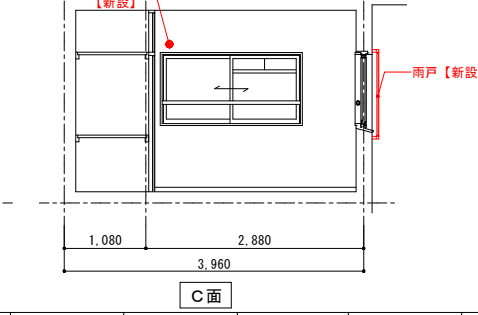
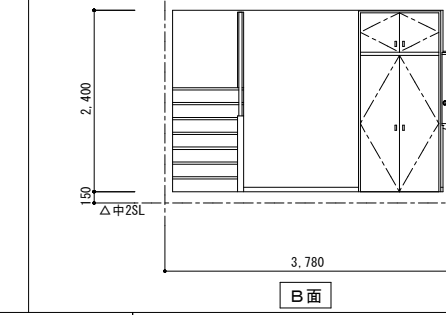
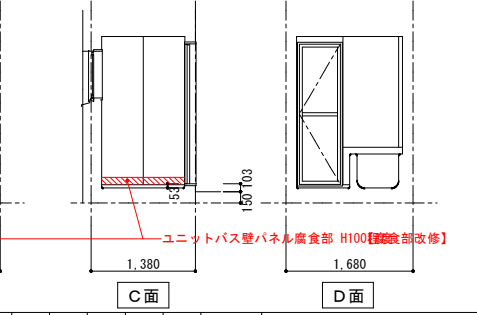
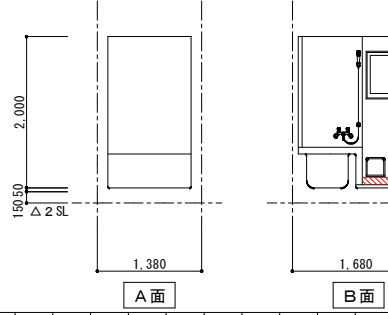
便所	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま



洗面所	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	タオル掛け【新設】

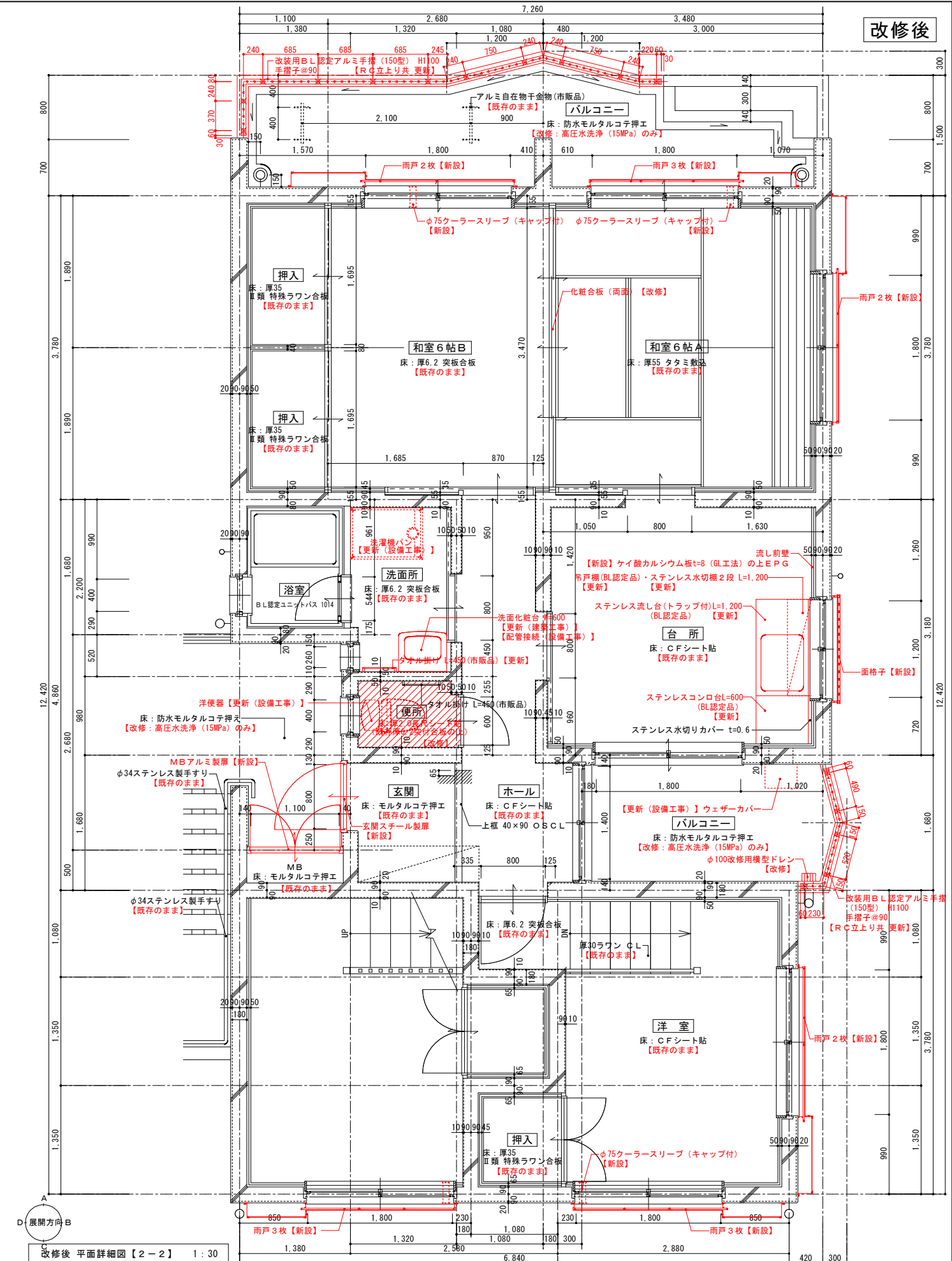
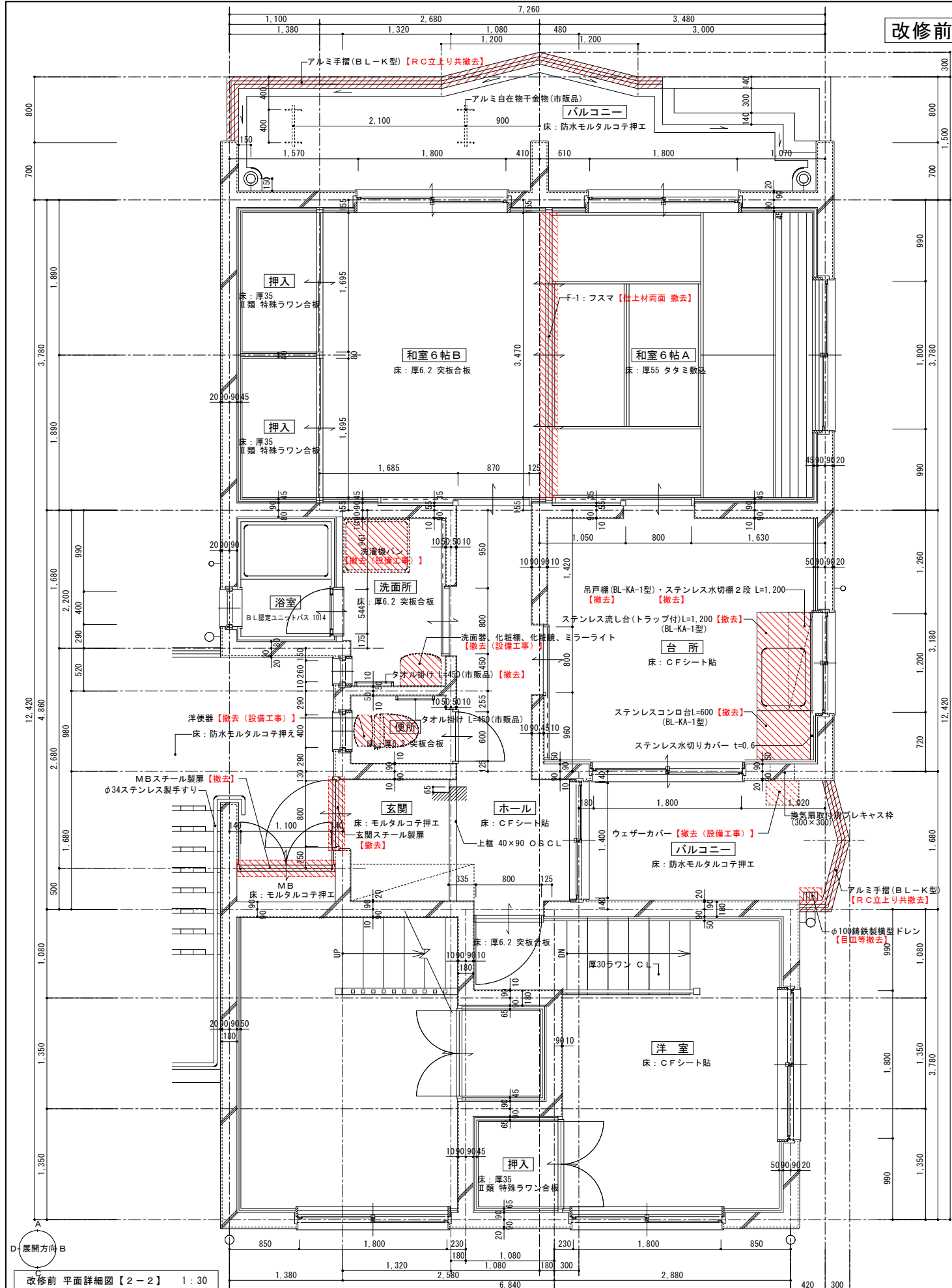


浴室	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	BL認定ユニットバス 1014 既存のまま



改修前

改修後



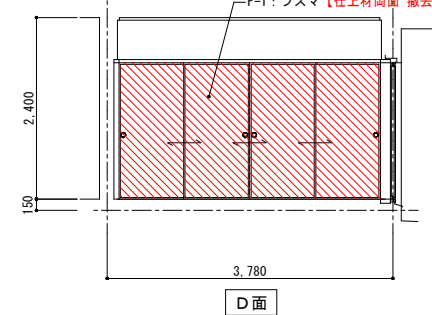
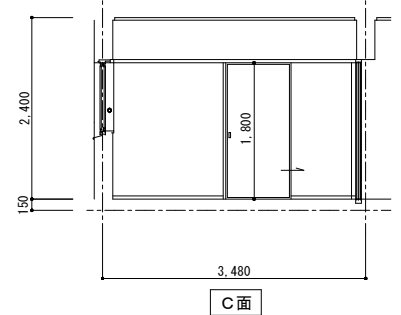
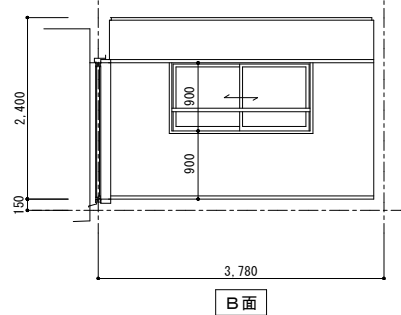
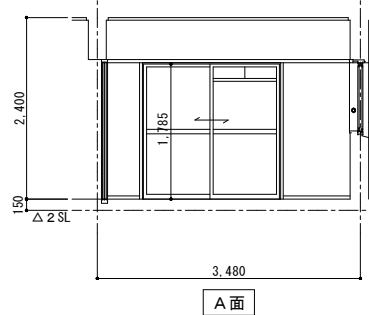
改修前 平面詳細図【2-2】 1:30

改修後 平面詳細図【2-2】 1:30

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日 R7.09 工 事 名 町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事	図面番号 D-32
--	----------------------------	--	--------------

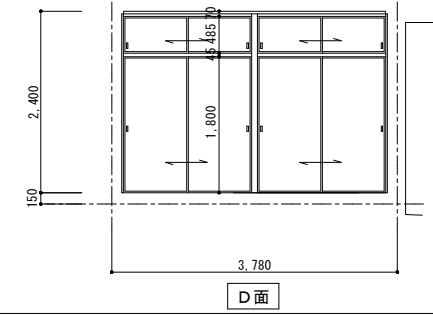
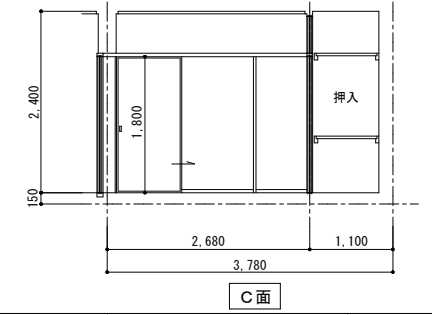
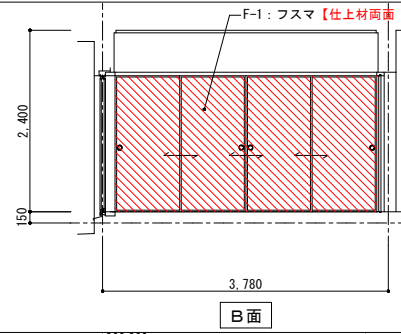
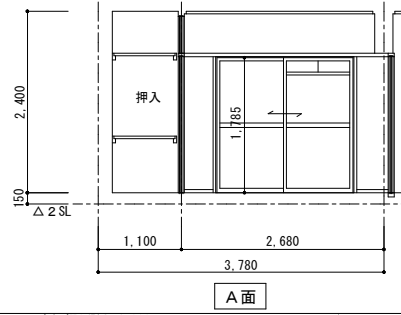
縮 尺 1:30 (A1) 1:60 (A3)	図面種類 改修前・後 平面詳細図【2-2】
-------------------------------	--------------------------

和室6帖A	
床	厚55タタミ敷込 一部厚6.2突板合板
巾木	タタミ寄せ H=40
壁	厚27塩ビ合板
天井	厚15プリント合板 CH=2,400
備考	手すり：φ45集成材

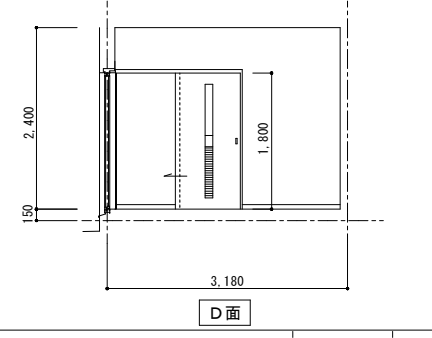
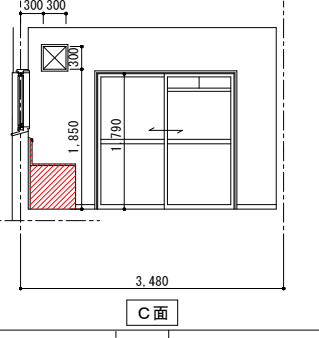
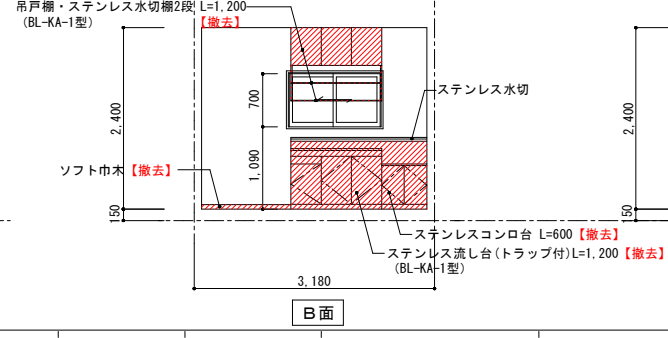
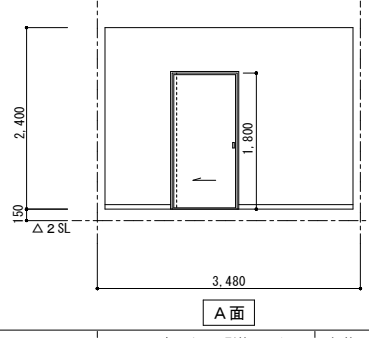


和室6帖B	
床	厚6.2突板合板
巾木	タタミ寄せ H=40
壁	厚27塩ビ合板
天井	厚15プリント合板 CH=2,400
備考	

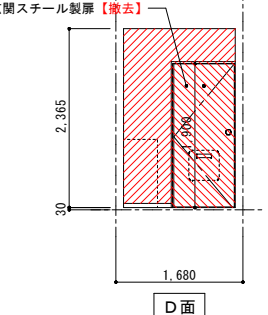
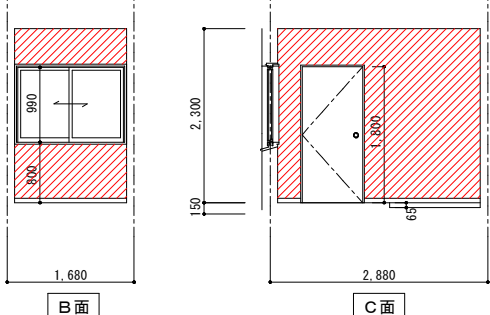
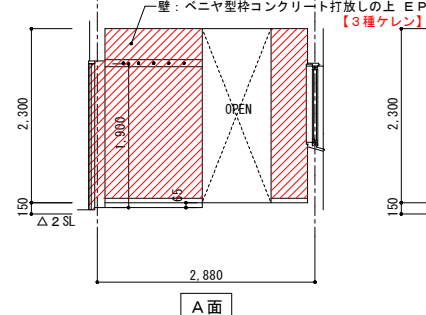
押入	
床	厚35Ⅱ類 特殊ラワン合板
巾木	雑巾摺
壁	厚27Ⅱ類 特殊ラワン合板
天井	厚27Ⅱ類 特殊ラワン合板
備考	



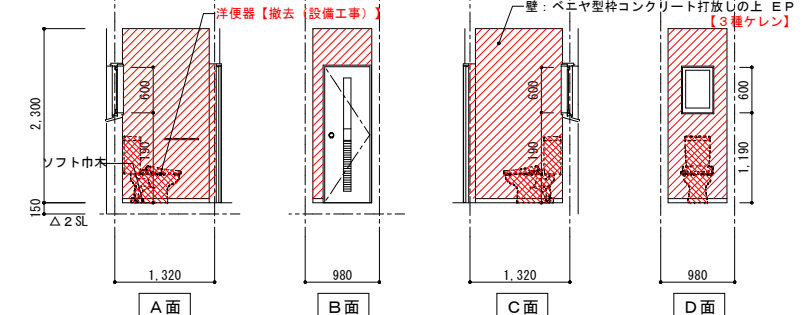
台所	
床	厚6.2突板合板の上CFシート貼
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 EP (セメントフィラー下地処理)
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 CH=2,400
備考	ステンレス流し台コンロ台付(L=1,800) 吊戸棚(BL-KA-1型), ステンレス水切棚(2段) ステンレス水切 t=0.6 換気扇プレキャスト枠



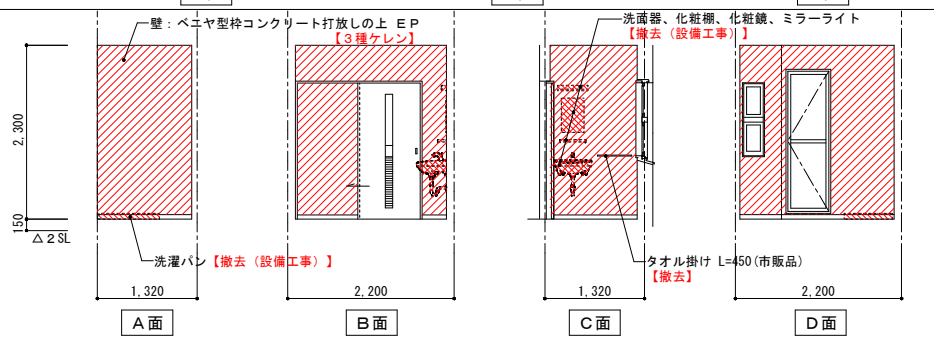
玄関+ホール	
床	玄関：モルタルコシ押エ ホール：厚6.2突板合板の上CFシート貼
巾木	玄関：モルタルコシ押エ+木製巾木 ホール：ソフト巾木 H=60
壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 EP (セメントフィラー下地処理)
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 玄関：CH=2,300+65、ホール：CH=2,300
備考	扉板(真鍮フック5本打)



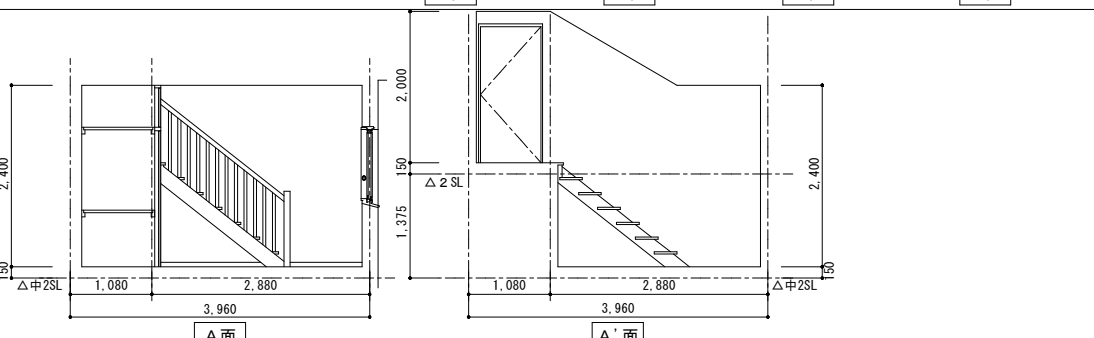
便所	
床	厚6.2突板合板
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 EP (セメントフィラー下地処理)
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 CH=2,300
備考	タオル掛(ステンレス) L=450 φ12.7



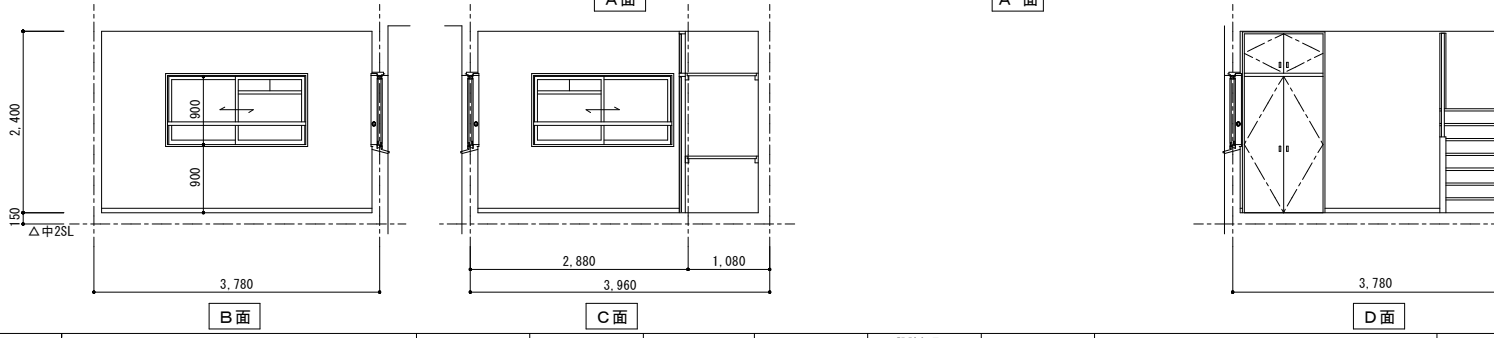
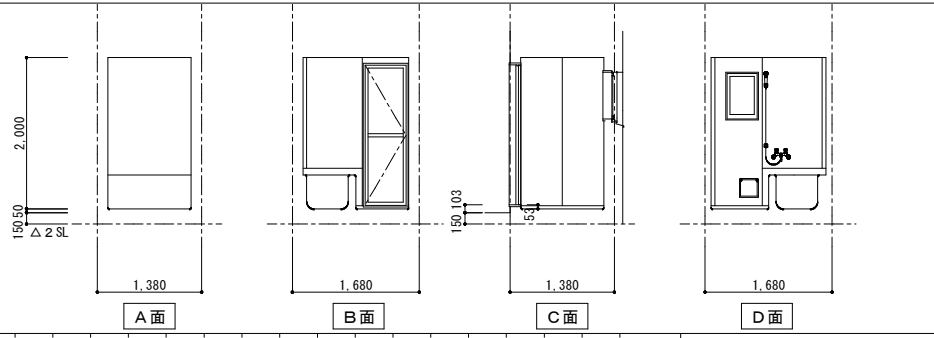
洗面所	
床	厚6.2突板合板
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 EP (セメントフィラー下地処理) 一部 厚6ケイカル板貼の上 EP
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 CH=2,300
備考	タオル掛(ステンレス) L=450 φ12.7



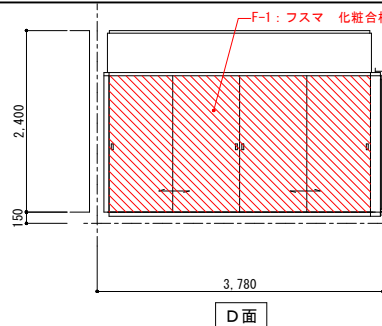
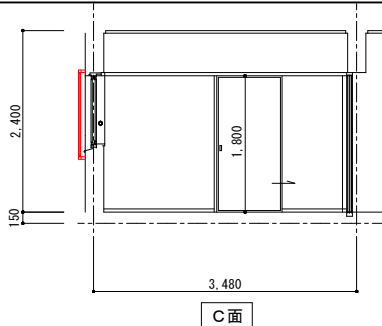
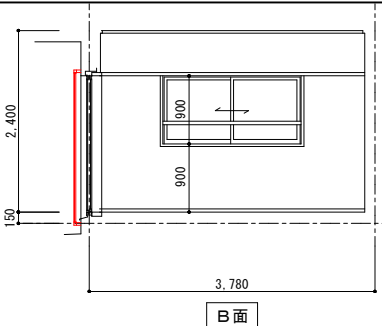
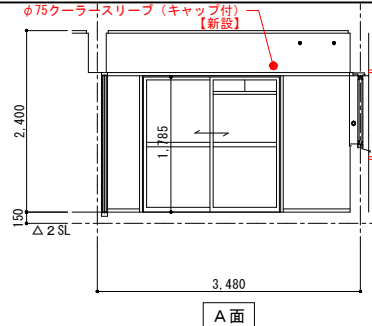
洋室	
床	厚6.2突板合板の上CFシート貼
巾木	木製巾木 H=60
壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 EP (セメントフィラー下地処理)
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 CH=2,400
備考	木製階段 手すり：φ45集成材



浴室	
床	
巾木	
壁	
天井	
備考	BL認定ユニットバス 1014

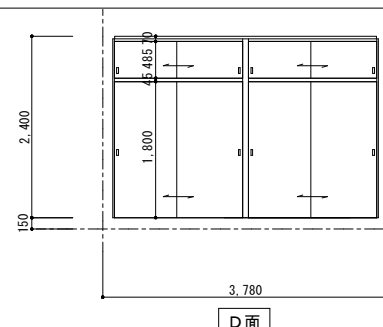
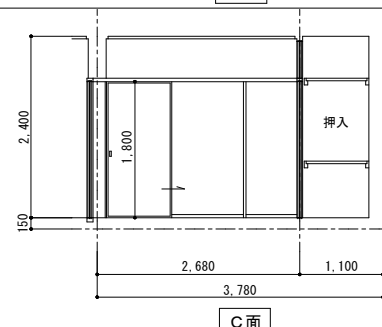
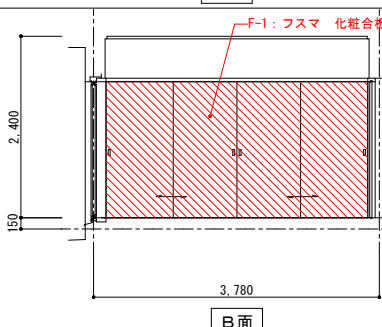
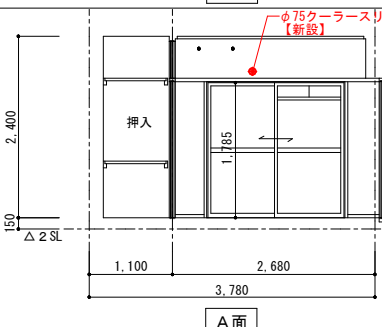


和室6帖A	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

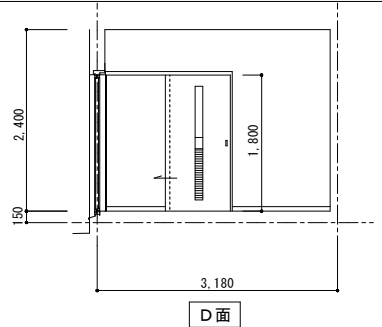
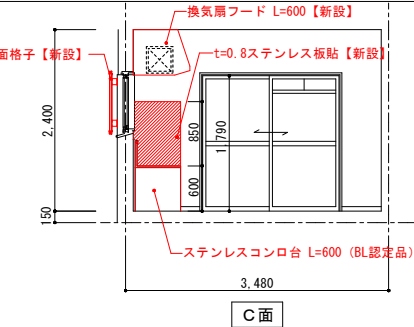
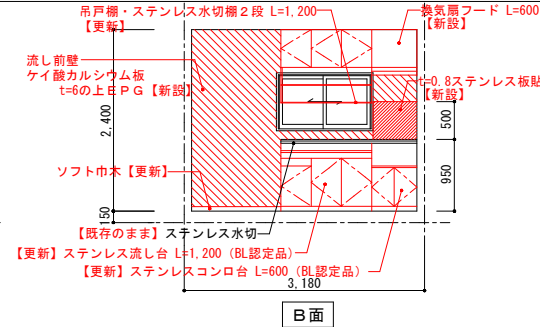
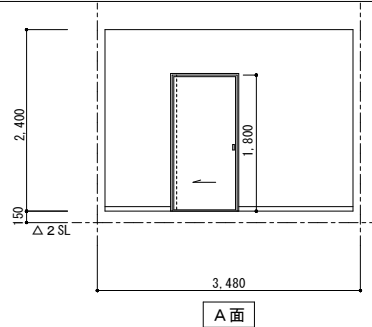


和室6帖B	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	

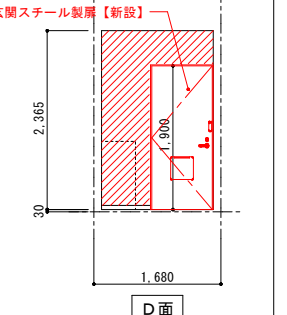
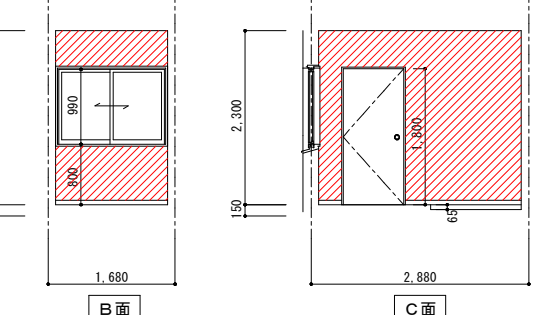
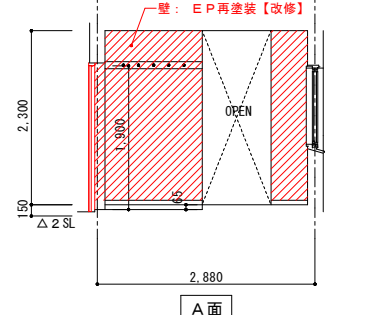
押入	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	



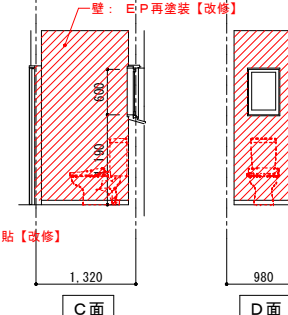
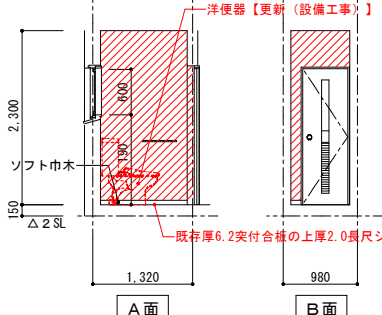
台所	
床	既存のまま
巾木	既存のまま (洗し前) ソフト巾木H60
壁	既存のまま (洗し前) ケイ酸カルシウム板t=25 既存のまま ケイ酸カルシウム板t=6の上EPG
天井	既存のまま
備考	ステンレス流し台 (BL認定品) L=1,200 ステンレスコンロ台 (BL認定品) L=600 吊戸棚 (BL認定品)・ステンレス水切棚2段 L=1,200 換気扇フード、t=0.8ステンレス板貼 ステンレス水切【既存のまま】



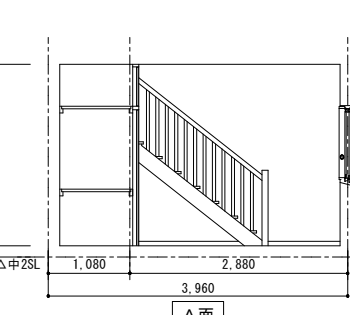
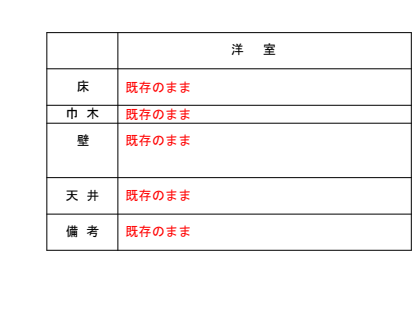
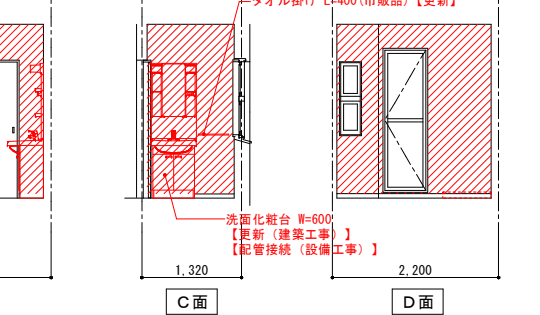
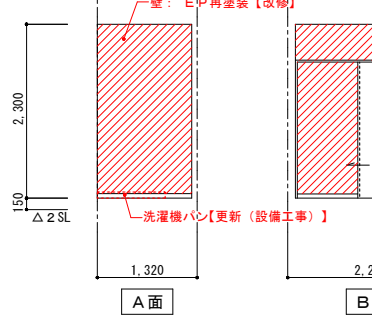
玄関+ホール	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	EP再塗装
天井	既存のまま
備考	既存のまま



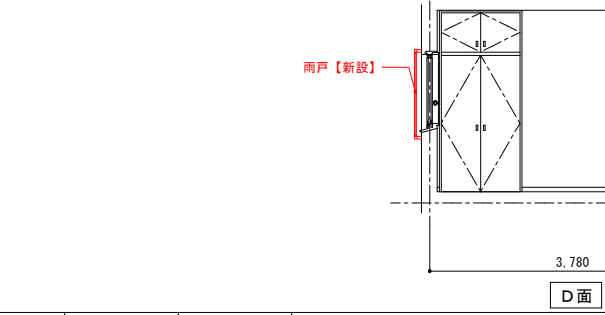
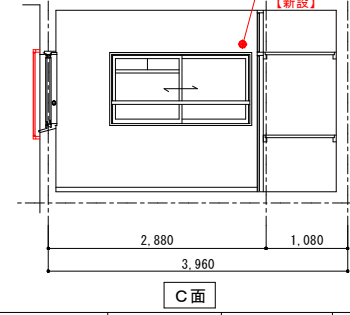
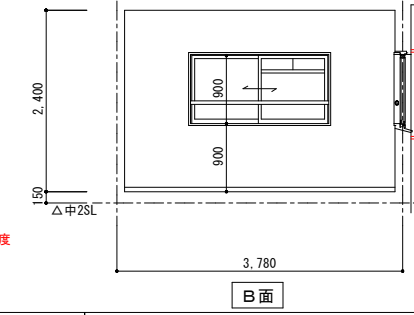
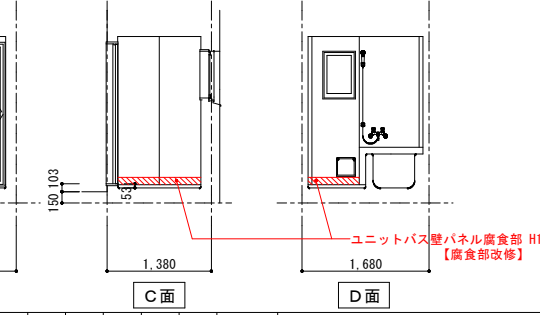
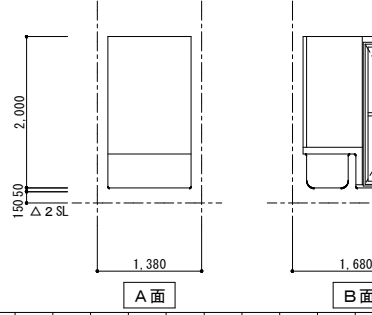
便所	
床	既存厚6.2突付合板の上厚2.0長尺シート貼
巾木	既存のまま
壁	EP再塗装
天井	既存のまま
備考	既存のまま

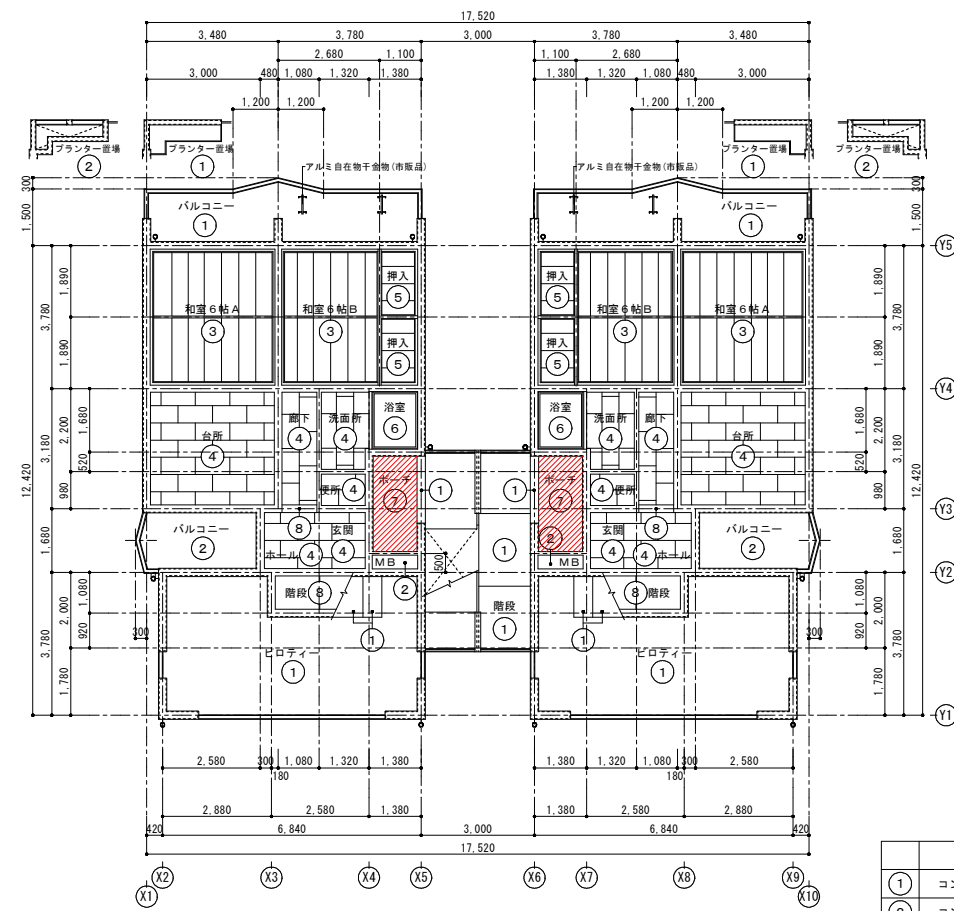


洗面所	
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	EP再塗装
天井	既存のまま
備考	既存のまま

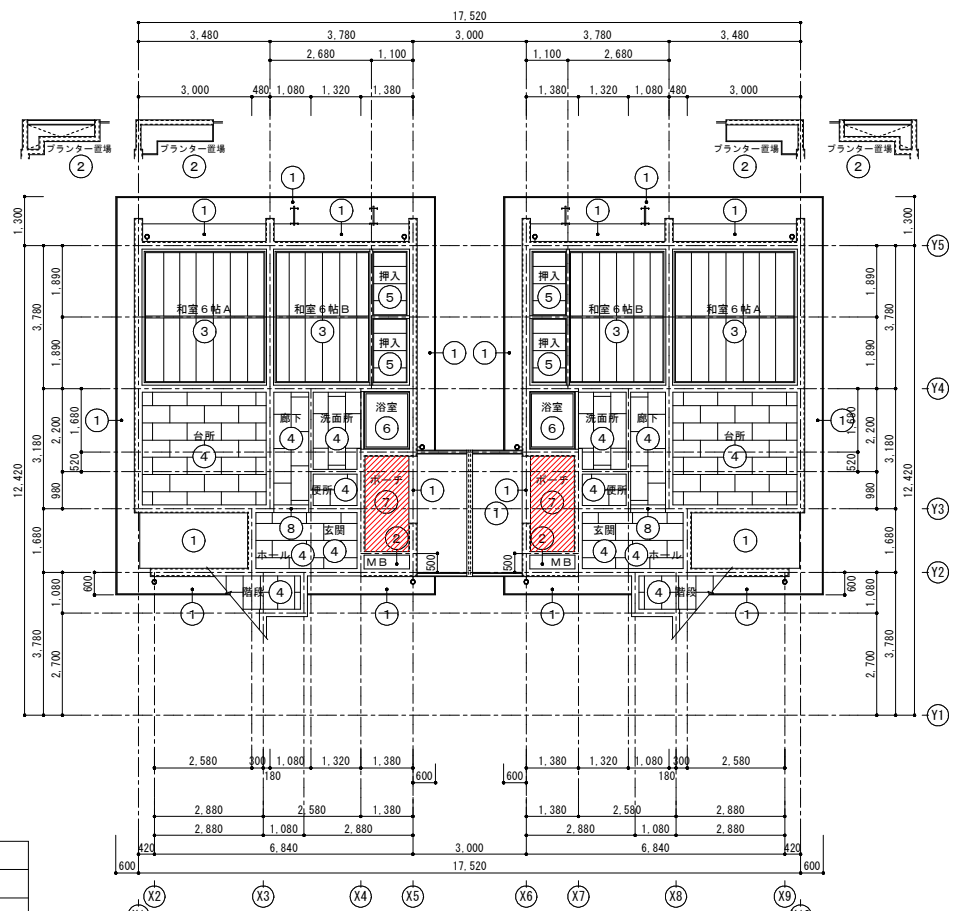


浴室	
床	
巾木	
壁	
天井	
備考	BL認定ユニットバス 1014 既存のまま



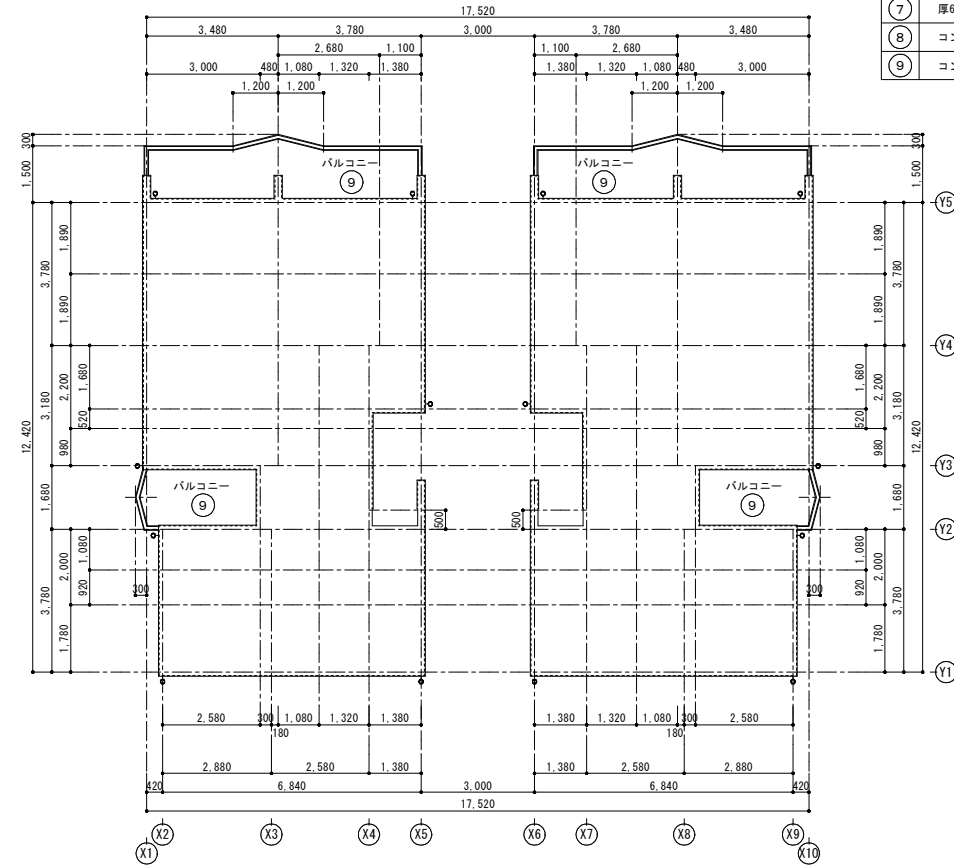


1階 改修後天井伏図 1:100

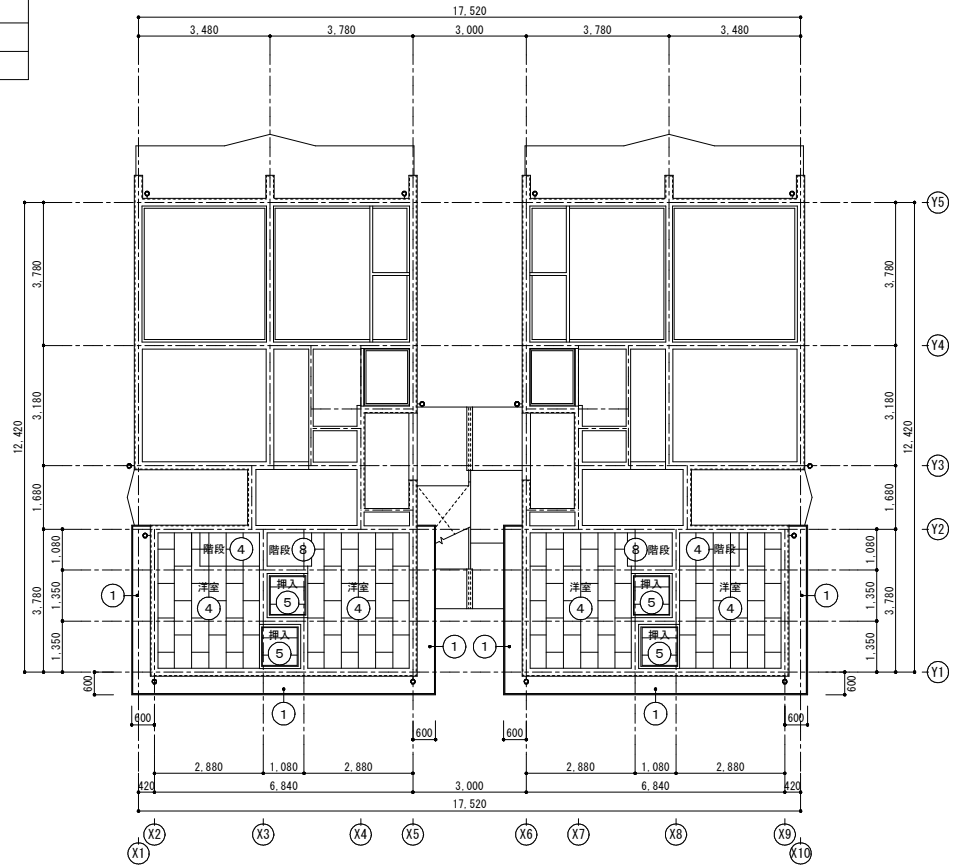


2階 改修後天井伏図 1:100

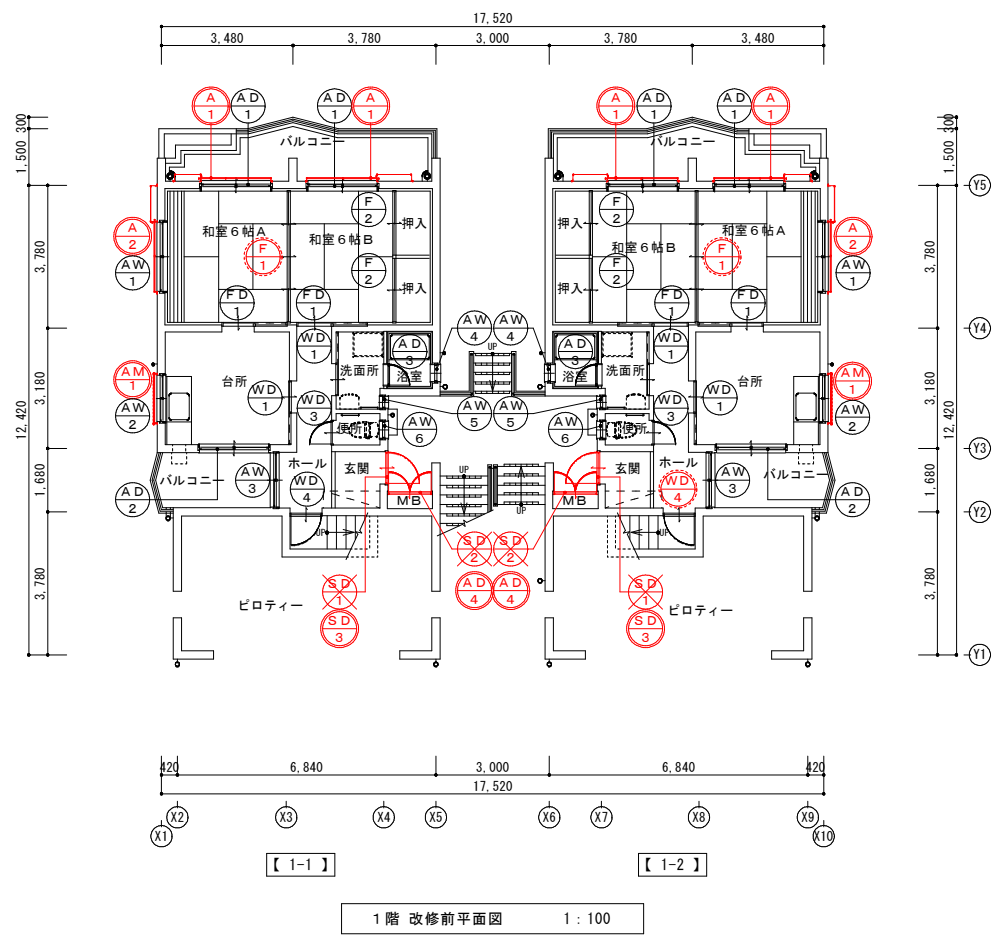
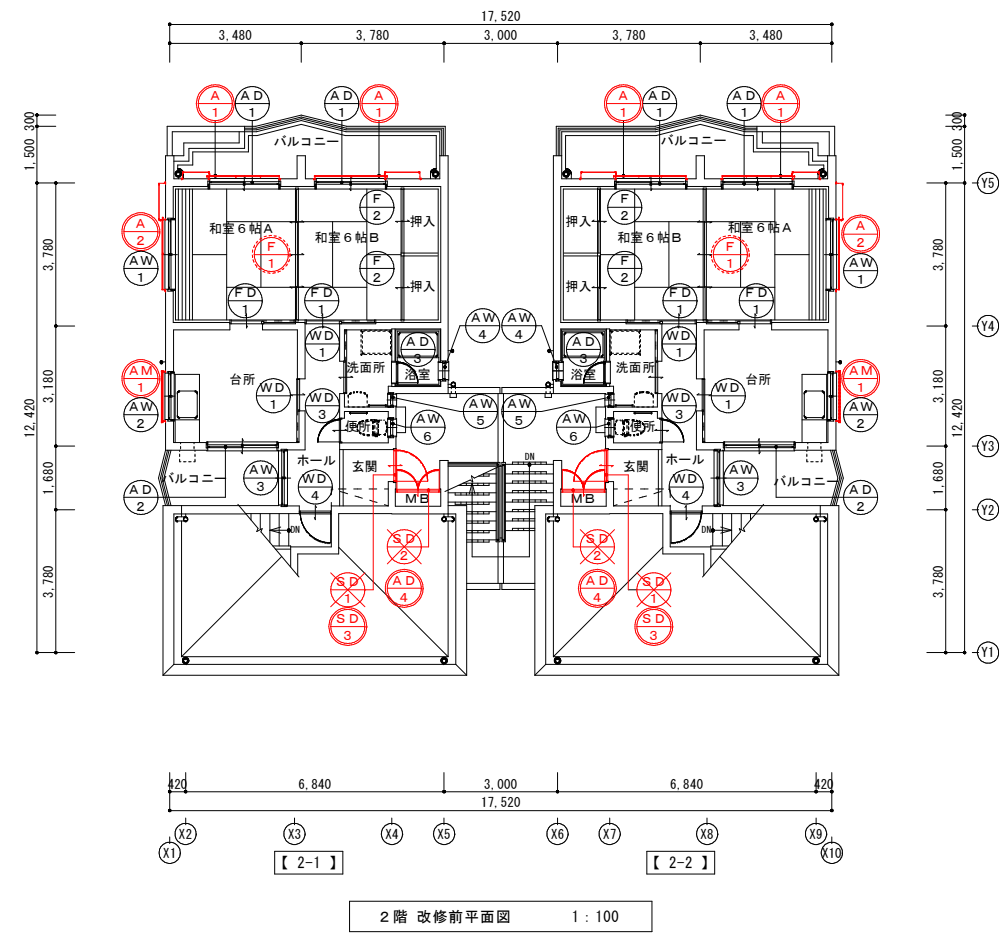
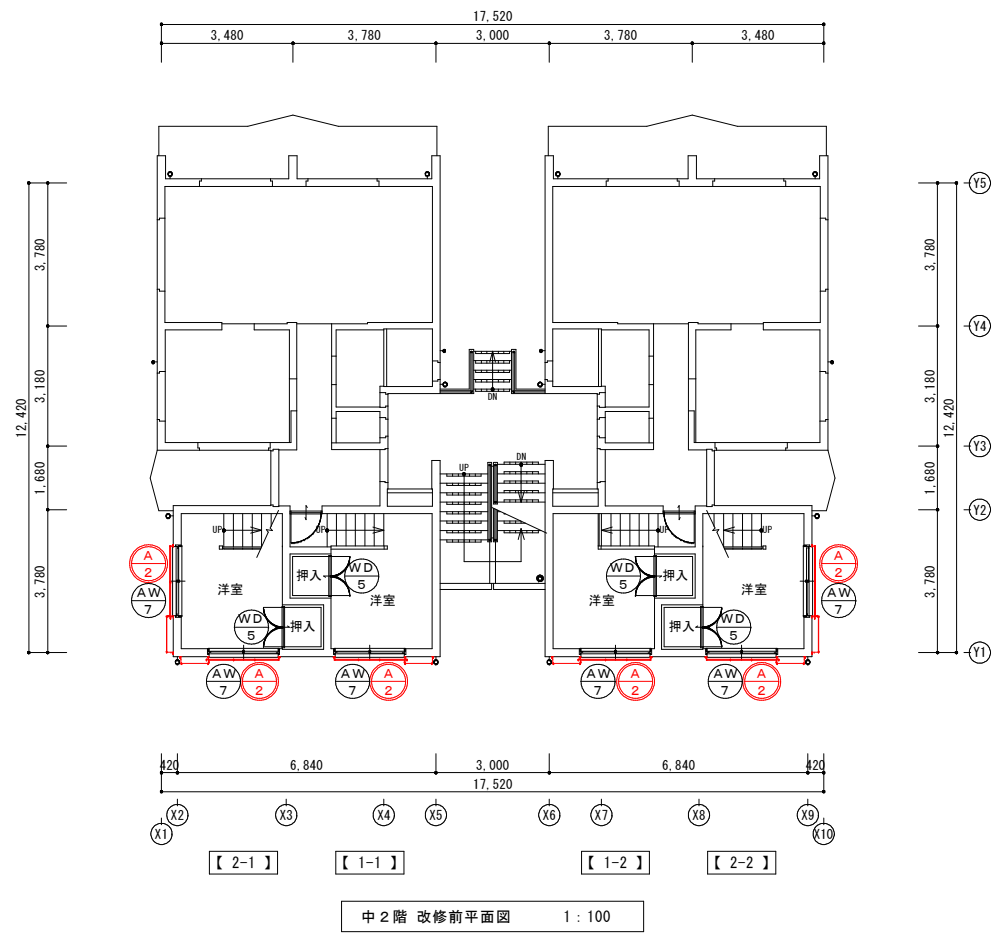
改修前仕上表	改修後仕上表
① コンクリート打放シの上 アクリル系リシン吹付	高圧水洗浄 (15MPa) の上外装薄塗材 E
② コンクリート打放シ	高圧水洗浄 (15MPa) のみ、MB: 既存のまま
③ 厚15プリント合板貼	既存のまま
④ 厚9.0化粧石膏ボード貼	既存のまま
⑤ II種 特殊ラワン合板貼	既存のまま
⑥ B.L認定ユニットバス 1014	既存のまま
⑦ 厚6ケイ酸カルシウム板 目選シ貼 EP	既存撤去(木下地共)、下地調整の上外装薄塗材 E
⑧ コンクリート打放シの上 EP	既存のまま
⑨ コンクリート打放シ(補修)	高圧水洗浄 (15MPa) のみ



1階下部 改修後見上げ図 1:100



中2階 改修後天井伏図 1:100



- 建具記号凡例**
- 既存建具
 - 撤去建具
 - 改修建具
 - 新設建具
- ※ 既存アルミサッシ ~ 日軽サッシ (B.L品)
- 防水工事**
- ・外部サッシ廻りシーリング 【打ち替え】 シーリング: 変成シリコン系 (MS-2) 10×10

改修後

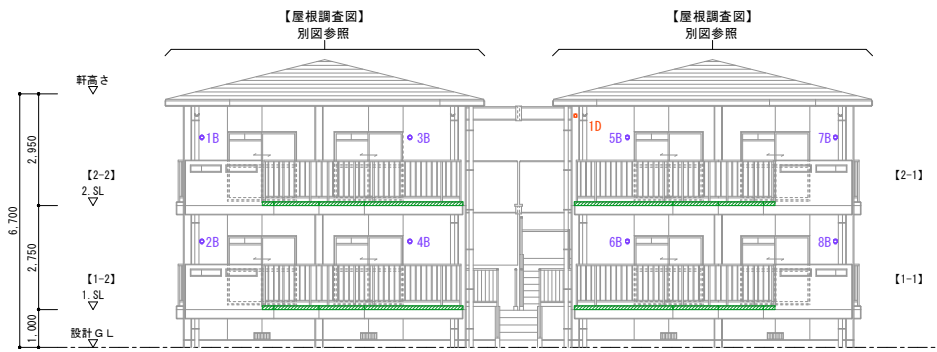
一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日	R7.09	工事名	町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事	図面番号	D-36
		縮尺	1:100 (A1) 1:200 (A3)	図面種類	改修後 建具符号図		

符号・場所	AD1 和室6帖A・B 【既存のまま】 8ヶ所	AD2 台所 【既存のまま】 4ヶ所	AD3 浴室 【既存のまま】 4ヶ所	AD4 MB 【新設】 4ヶ所																	
姿 図																					
形 式	引違い戸 小窓付き 【既存のまま】	引違い戸 小窓付き 【既存のまま】	片開き戸 【既存のまま】	両開きアルミフラッシュドア 【既存のまま】																	
材 質・見 込	アルミアルマイト処理 【既存のまま】	アルミアルマイト処理 【既存のまま】	アルミアルマイト処理 【既存のまま】	アルミアルマイト処理 【既存のまま】																	
仕 上																					
金 物	上：厚4強化ガラス、下：厚4型板強化ガラス【既存のまま】 クレセント、アングル(四方) 【既存のまま】 付属金物、網戸レール付 【既存のまま】	上：厚4強化ガラス、下：厚4型板強化ガラス【既存のまま】 クレセント、アングル(四方) 【既存のまま】 付属金物、網戸レール付 【既存のまま】	上：厚4型板強化ガラス、下：アルミポリエチレン複合板 【既存のまま】 付属金物 【既存のまま】 Bユニットバス一体型 【既存のまま】	ステンレスケースハンドル、ステンレス下番、スランス落し ステンツツリ、アームストッパー、戸当り、付属金物一式 【既存のまま】																	
符号・場所	AW1 和室6帖A 【既存のまま】 4ヶ所	AW2 台所 【既存のまま】 4ヶ所	AW3 ホール 【既存のまま】 4ヶ所	AW4 浴室 【既存のまま】 4ヶ所	AW5 洗面所 【既存のまま】 4ヶ所	AW6 便所 【既存のまま】 4ヶ所	AW7 洋室 【既存のまま】 6ヶ所														
姿 図																					
形 式	引違い窓 【既存のまま】	引違い窓 【既存のまま】	引違い窓 【既存のまま】	滑り出し窓 【既存のまま】	ガラスルーバー窓 【既存のまま】	滑り出し窓 【既存のまま】	引違い窓 小窓付き 【既存のまま】														
材 質・見 込	アルミアルマイト処理 【既存のまま】	アルミアルマイト処理 【既存のまま】	アルミアルマイト処理 【既存のまま】	アルミアルマイト処理 【既存のまま】	アルミアルマイト処理 【既存のまま】	アルミアルマイト処理 【既存のまま】	アルミアルマイト処理 【既存のまま】														
仕 上																					
金 物	厚4強化ガラス 【既存のまま】 クレセント、アングル(四方) 【既存のまま】 付属金物 【既存のまま】	厚4型板強化ガラス 【既存のまま】 クレセント、アングル(四方) 【既存のまま】 付属金物、アルミ額縁 【既存のまま】	厚4強化ガラス 【既存のまま】 クレセント、アングル(四方) 【既存のまま】 付属金物 【既存のまま】	厚4型板強化ガラス 【既存のまま】 付属金物 【既存のまま】 アルミ額縁 【既存のまま】	厚4型板強化ガラス 【既存のまま】 付属金物 【既存のまま】 ハンドル 調整器 【既存のまま】	厚4型板強化ガラス 【既存のまま】 付属金物 【既存のまま】	厚4型板強化ガラス 【既存のまま】 付属金物 【既存のまま】	厚4強化ガラス 【既存のまま】 クレセント、アングル(四方) 【既存のまま】 付属金物 【既存のまま】													
符号・場所	S2 玄関 【撤去、枠共】 4ヶ所	S2 MB 【撤去、枠共】 4ヶ所	S3 玄関 【新設】 4ヶ所																		
姿 図																					
形 式	片開き戸(BL-K型) 【撤去】	両開き戸 【撤去】	片開きフラッシュドア(ロックウール充填) BL-A仕様による 【新設】																		
材 質・見 込	厚1.6スチール 見込：100 【撤去】	厚1.0スチール 【撤去】	鋼製 見込：枠80 扉36 【新設】																		
仕 上	SOP 【撤去】	SOP 【撤去】	スチール(枠共) SOP 2回塗り 【新設】																		
金 物	リフト-錠(#A9-1式)、ドア90°(BL-1型)、SUS製丁番 番指SUS製、郵便受箱、ドアストッパー、防犯カメラ、防音ゴム、シリン 【撤去】	モノロック錠錠、SUS製丁番 牛乳受、付属金物 【撤去】	ドア90°(既規格II型、ストッパーなし)、戸当り、ドアストッパー、防犯カメラ 番指SUS製、新聞受、防音ゴム、レバー、錠前、既規格I型、シリン 【新設】																		
符号・場所	A1 和室6帖A・B 【新設】 8ヶ所	A2 和室6帖A・洋室 【新設】 10ヶ所	AM1 台所 【新設】 4ヶ所																		
姿 図	※現寸図を作成し承認後製作すること。 	※現寸図を作成し承認後製作すること。 	※現寸図を作成し承認後製作すること。 																		
形 式	アルミ雨戸(外付)鏡板付フタ付戸袋(参考：LIXIL雨戸一筋) 【新設】	アルミ雨戸(外付)鏡板付フタ付戸袋(参考：LIXIL雨戸一筋) 【新設】	アルミ面格子(高強度縦格子：壁付用)～LIXIL同等品以上 【新設】																		
材 質・見 込	アルミ押出型材 【新設】	アルミ押出型材 【新設】	アルミ押出型材 【新設】																		
仕 上	アルミカラー 【新設】	アルミカラー 【新設】	アルミカラー 【新設】																		
金 物	鏡板アルミヨコリブ メーカー仕様による 【新設】	鏡板アルミヨコリブ メーカー仕様による 【新設】	メーカー仕様による 【新設】																		

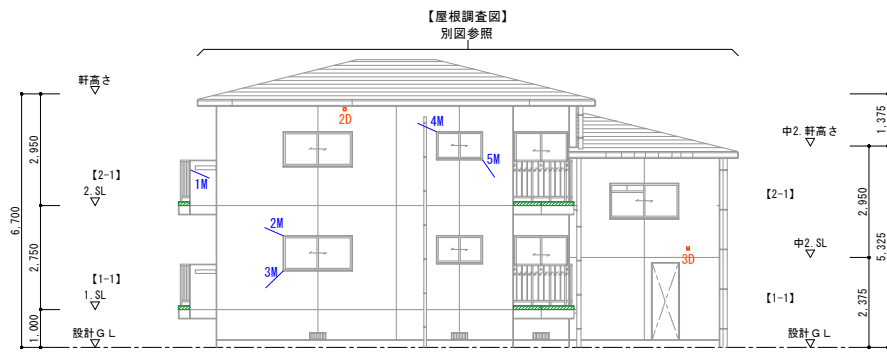
外壁・階段内壁（浮き部） 修繕工事		
現況	修繕イメージ	工事仕様
<p>外壁：モルタルの上吹付等</p> <p>モルタルが浮いてひび割れている</p> <p>構造体コンクリート</p>	<p>1. ピンニング孔の穿孔</p> <p>モルタル</p> <p>ドリル</p> <p>浮き</p>	<p>工事名称：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</p> <p>一般部：16本/m²</p> <p>見上げ面及び指定部：25本/m²</p> <p>狭幅部（笠木部）：5本/m 幅200mm程度</p>
	<p>2. アンカーピン固定用エポキシ樹脂注入</p> <p>注入器具</p> <p>エポキシ樹脂</p>	<p>工事内容：外壁モルタルの浮き部を、構造体コンクリートに全ネジ切りアンカーピンとエポキシ樹脂で固定し、かつ残存浮き部にエポキシ樹脂をほぼ全面に注入充填する。</p> <p>※現場の状況により、モルタル撤去後再度モルタル塗りもあり。</p>
	<p>3. ピンニング</p> <p>アンカーピン</p>	

外壁・階段内壁（ひび割れ部） 修繕工事		
現況	修繕イメージ	工事仕様
<p>外壁：コンクリート打放しの上吹付等</p> <p>外壁ひび割れ 0.2mm以上1.0mm以下</p>	<p>1. 自動式低圧エポキシ樹脂注入</p> <p>注入器具</p> <p>エポキシ樹脂注入</p>	<p>工事名称：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</p> <p>工事内容：外壁のひび割れ部に、低・中粘度のエポキシ樹脂を注入器具により自動的に低圧で注入する。</p> <p>注入間隔は200～300mmとする。</p>

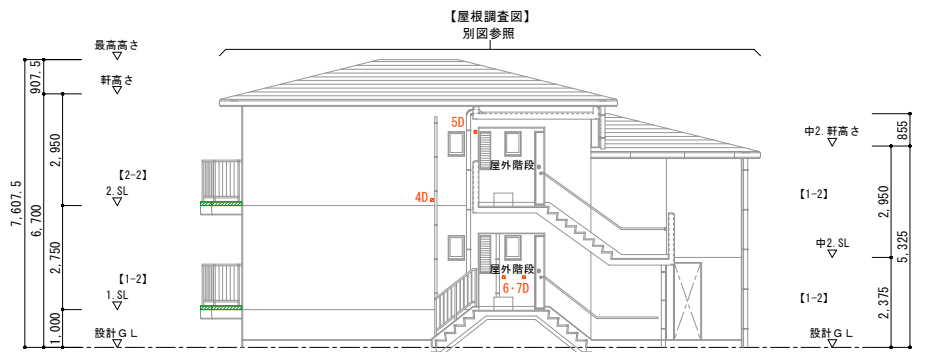
外壁・階段内壁及びあげ裏（爆裂・欠損部） 修繕工事			
現況	修繕イメージ	修繕イメージ（階段ササラ）	工事仕様
<p>外壁：コンクリート打放しの上吹付等</p> <p>鉄筋が錆びて、コンクリートが欠損している</p> <p>構造体コンクリート</p> <p>あげ裏：コンクリート打放しアクリルリシン吹付け</p> <p>鉄筋が錆びて、コンクリートが欠損している</p>	<p>1. コンクリート欠損部の撤去</p> <p>欠損部を撤去</p>	<p>1. 鉄筋錆び除去・防錆材塗布+下地処理</p> <p>鉄筋錆びを除去、錆止め塗装</p> <p>メンテペースト</p> <p>100</p> <p>2. ステンレスアンカーピン打+ステンレス線結束</p> <p>ステンレス線</p> <p>ステンレスアンカーピン</p> <p>3. ポリマーセメント充填</p> <p>ポリマーセメントモルタル</p>	<p>工事名称：ポリマーセメントモルタル充填工法</p> <p>工事内容：爆裂によるコンクリートの浮き上がり部分を撤去し、鉄筋の錆をスクレーパー等にて撤去。</p> <p>錆止め塗装を行う。</p> <p>撤去部分コンクリート面に適当な水湿しをし、メンテペーストを塗り込む。</p> <p>欠け部にポリマーセメントモルタルを充填する。</p> <p>但し、ポリマーセメントモルタルは1～3層に分け、各層の塗り厚さを7mm程度とする。</p> <p>※欠損部は錆落し、錆止め塗装の工程を省く。</p> <p>※階段ササラ部はステンレスアンカーピンを打ち、ステンレス線で繋いで補強する。</p> <p>（ピン打ち間隔、ステンレス線径等仕様は、採用工法の規定による。）</p>
	<p>2. 鉄筋錆び除去+下地処理</p> <p>鉄筋錆びを除去、錆止め塗装</p> <p>メンテペースト</p>		
	<p>3. ポリマーセメント充填</p> <p>ポリマーセメントモルタル</p>		



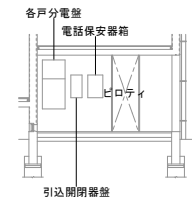
南側 改修前立面図 1:100



東側-1 改修前立面図 1:100



東側-2 改修前立面図 1:100



外壁 欠損部_B

番号	H x W		欠損部単位m		備考
	部位別	RC	タイル		
1	0.075	0.075	0.006		
2	0.075	0.075	0.006		
3	0.075	0.075	0.006		
4	0.075	0.075	0.006		
5	0.075	0.075	0.006		
6	0.075	0.075	0.006		
7	0.075	0.075	0.006		
8	0.075	0.075	0.006		
9	0.10	0.20	0.02		
10	0.20	0.20	0.04		
本表計			0.108	PKS	

外壁 爆裂部_D

番号	H x W		爆裂部単位m		備考
	部位別	RC	タイル		
1	0.07	0.07	0.005		
2	0.07	0.07	0.005		
3	0.07	0.07	0.005		
4	0.07	0.07	0.005		
5	0.07	0.07	0.005		
6	0.07	0.07	0.005		
7	0.07	0.07	0.005		
8	0.07	0.07	0.005		
9	0.07	0.07	0.005		
10	0.07	0.07	0.005		
11	0.07	0.07	0.005		
12	0.07	0.07	0.005		
13	0.07	0.07	0.005		
14	0.07	0.07	0.005		
本表計			0.070	PBL	

外壁 ひび割れ補修_M

番号	H x W		クラック部単位m		備考
	部位別	RC	タイル		
1			0.70		
2			0.60		
3			0.70		
4			0.60		
5			0.60		
6			0.70		
7			0.60		
8			1.00		
9			1.30		
10			1.30		
本表計			8.10	H	

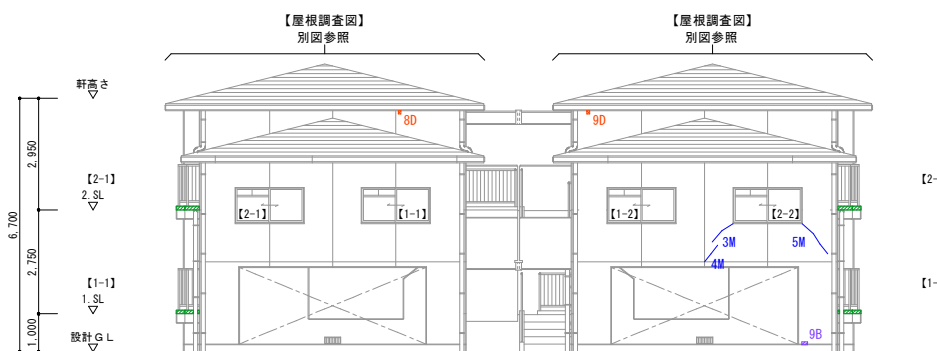
工法別集計表

工法	ポリマーセメントモルタル充填 (欠損・一般) PKS		ポリマーセメントモルタル充填 (爆裂・狭幅) PBLA	
	(m)	場所	(m)	場所
調査数量	-	外壁	-	-
設計数量	0.108	外壁	-	-
工法	ポリマーセメントモルタル充填 (爆裂・狭幅) PBL		ポリマーセメントモルタル充填 (欠損・狭幅) PKL	
調査数量	-	外壁	-	-
設計数量	0.07	外壁	-	-
工法	自動低圧エポキシ樹脂注入 (ひび割れ・見上) HA		自動低圧エポキシ樹脂注入 (ひび割れ) H	
調査数量	-	幅	-	幅
設計数量	0.2~1.0mm		8.10	0.2~1.0mm

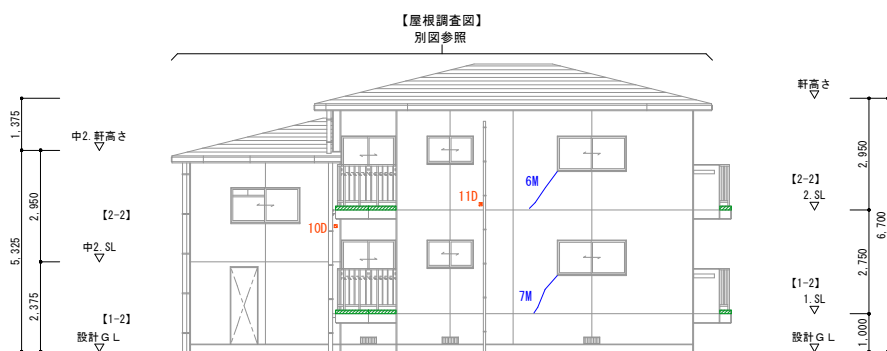
凡例

番号記号	工法記号	工法	表示記号
①	A	PBS	爆裂部改修(一般部)
	B	PKS	欠損部改修(一般部)
	C	PUS	浮き部改修
	D	PBL	爆裂部改修(狭幅部)
	E	PKL	欠損部改修(狭幅部)
△	F	SKS	欠損部改修
	G	SUS	浮き部改修
	H	BKS	欠損部改修
	I	BUS	浮き部改修
①	J	A25	浮き部改修(指定部)
	K	A16	浮き部改修(一般部)
	L	A5	浮き部改修(狭幅部)
	M	H	ヒビ割れ部改修
①	N	PAP	欠損部改修
			展開図表示位置
①		RC打ち直し	平面詳細図、矩計図、部分詳細図 参照 (位置・数量)

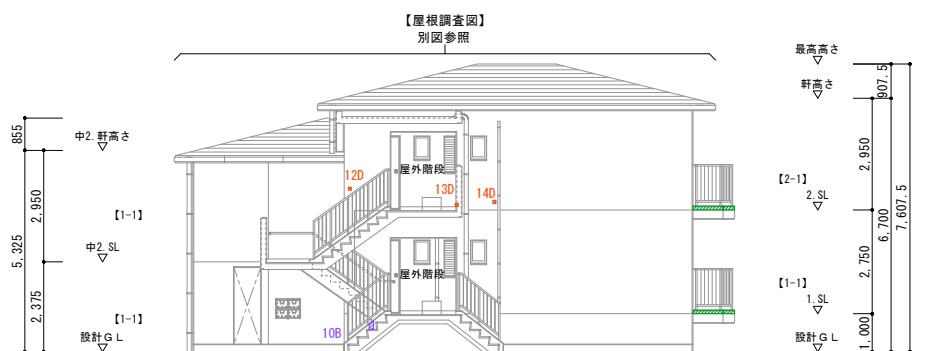
調査範囲: ひび割れ及び爆裂については、目視による全数調査。
 モルタル浮きについては、外壁仕上が打放しであることを確認した。
 設計数量: 設計数量は、調査数量より算出した目安の数値である。着工前に詳細な外壁調査を行うこと。
 既存仕上: 外壁塗装下地調整塗材にアスベストが含まれています。(調査結果より)『建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針』に基づき施工すること。
 ※爆裂のみを対象とする



北側 改修前立面図 1:100



西側-1 改修前立面図 1:100



西側-2 改修前立面図 1:100

アルミ手摺支柱撤去 改修前 1号棟

設計年月日	R7.09	工事名	町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事	図面番号	D-40
縮尺	1:100 (A1) 1:200 (A3)	図面種類	外壁等調査図-1 (立面図・数量表)		
管理技術者	主任技術者	製図	補助		
一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信					

凡 例			
番号記号	工法記号	工 法	表示記号
① ポリマーセメント	A	PBS	爆裂部改修(一般部)
	B	PKS	欠損部改修(一般部)
	C	PUS	浮き部改修
	D	PBL	爆裂部改修(狭幅部)
	E	PKL	欠損部改修(狭幅部)
1(番号のみ)	M	H	ヒビ割れ部改修

※軒裏の爆裂はほとんどがスペーサー設置部分である

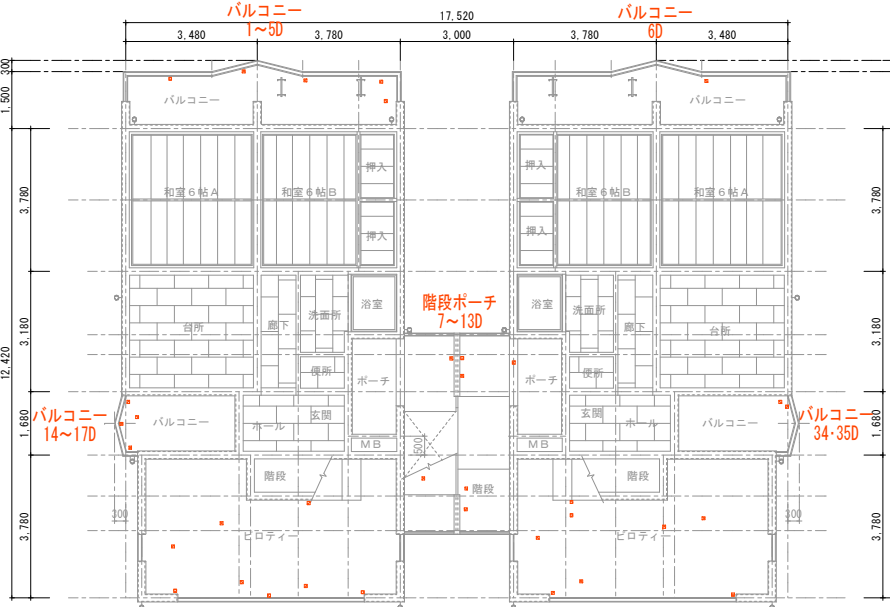
見上合計(1号棟) 爆裂部_D

番号	H x W		爆裂部 単位m
	部 位 別	RC	
2階			0.670
中2階			0.315
1階			0.175
本表計			1.160 PBL

工 法 別 集 計 表

工法	ポリマーセメントモルタル充填 (爆裂・一般)PBS		ポリマーセメントモルタル充填 (爆裂・狭幅)PBL	
	(㎡)	場所	(㎡)	場所
調査数量	-	見上	-	見上
設計数量	0.00	見上	1.160	見上

調査範囲： ひび割れ及び爆裂については、目視による全数調査。
モルタル浮きについては、外壁仕上が打放しであることを確認した。
設計数量は、調査数量より算出した目安の数値である。着工前に詳細な
外壁調査を行うこと。
既存仕上： 外壁塗装下地調整塗材にアスベストが含まれています。(調査結果より)
『建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉
じん飛散防止処理技術指針』に基づき施工すること。
※爆裂のみを対象とする



1階 改修前天井伏図 1:100

見上 (2階) 爆裂部_D

番号	H x W		爆裂部 単位m
	部 位 別	RC	
1	0.07	0.07	0.005
2	0.07	0.07	0.005
3	0.07	0.07	0.005
4	0.07	0.07	0.005
5	0.07	0.07	0.005
6	0.07	0.07	0.005
7	0.07	0.07	0.005
8	0.07	0.07	0.005
9	0.07	0.07	0.005
10	0.07	0.07	0.005
11	0.07	0.07	0.005
12	0.07	0.07	0.005
13	0.07	0.07	0.005
14	0.07	0.07	0.005
15	0.07	0.07	0.005
16	0.07	0.07	0.005
17	0.07	0.07	0.005
18	0.07	0.07	0.005
19	0.07	0.07	0.005
20	0.07	0.07	0.005
21	0.07	0.07	0.005
22	0.07	0.07	0.005
23	0.07	0.07	0.005
24	0.07	0.07	0.005
25	0.07	0.07	0.005
26	0.07	0.07	0.005
27	0.07	0.07	0.005
28	0.07	0.07	0.005
29	0.07	0.07	0.005
30	0.07	0.07	0.005
31	0.07	0.07	0.005
32	0.07	0.07	0.005
33	0.07	0.07	0.005
34	0.07	0.07	0.005

見上 (2階) 爆裂部_D

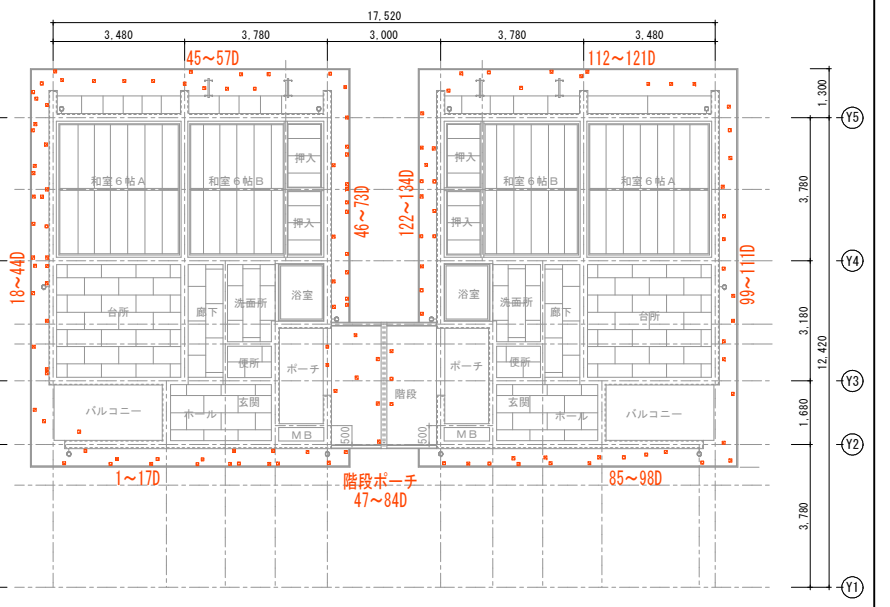
番号	H x W		爆裂部 単位m
	部 位 別	RC	
35	0.07	0.07	0.005
36	0.07	0.07	0.005
37	0.07	0.07	0.005
38	0.07	0.07	0.005
39	0.07	0.07	0.005
40	0.07	0.07	0.005
41	0.07	0.07	0.005
42	0.07	0.07	0.005
43	0.07	0.07	0.005
44	0.07	0.07	0.005
45	0.07	0.07	0.005
46	0.07	0.07	0.005
47	0.07	0.07	0.005
48	0.07	0.07	0.005
49	0.07	0.07	0.005
50	0.07	0.07	0.005
51	0.07	0.07	0.005
52	0.07	0.07	0.005
53	0.07	0.07	0.005
54	0.07	0.07	0.005
55	0.07	0.07	0.005
56	0.07	0.07	0.005
57	0.07	0.07	0.005
58	0.07	0.07	0.005
59	0.07	0.07	0.005
60	0.07	0.07	0.005
61	0.07	0.07	0.005
62	0.07	0.07	0.005
63	0.07	0.07	0.005
64	0.07	0.07	0.005
65	0.07	0.07	0.005
66	0.07	0.07	0.005
67	0.07	0.07	0.005
68	0.07	0.07	0.005

見上 (2階) 爆裂部_D

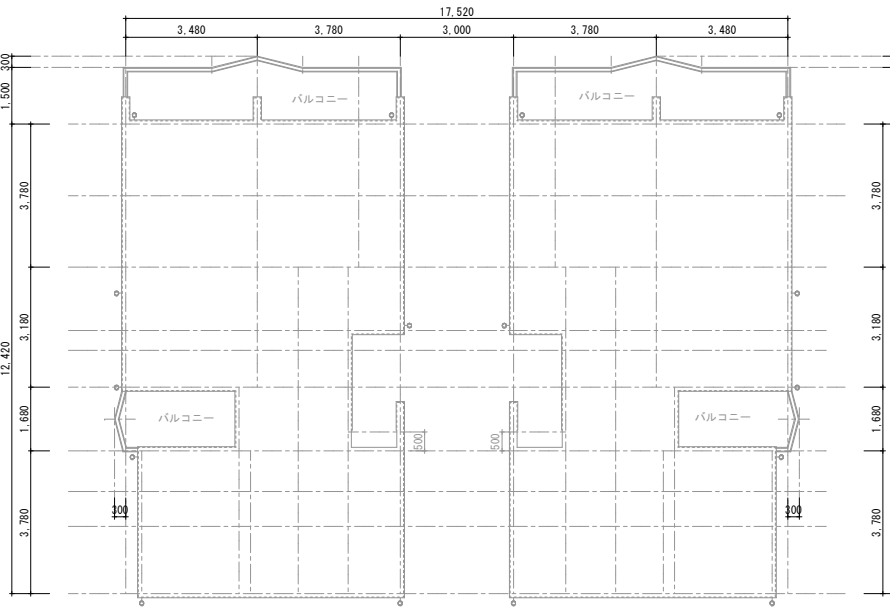
番号	H x W		爆裂部 単位m
	部 位 別	RC	
69	0.07	0.07	0.005
70	0.07	0.07	0.005
71	0.07	0.07	0.005
72	0.07	0.07	0.005
73	0.07	0.07	0.005
74	0.07	0.07	0.005
75	0.07	0.07	0.005
76	0.07	0.07	0.005
77	0.07	0.07	0.005
78	0.07	0.07	0.005
79	0.07	0.07	0.005
80	0.07	0.07	0.005
81	0.07	0.07	0.005
82	0.07	0.07	0.005
83	0.07	0.07	0.005
84	0.07	0.07	0.005
85	0.07	0.07	0.005
86	0.07	0.07	0.005
87	0.07	0.07	0.005
88	0.07	0.07	0.005
89	0.07	0.07	0.005
90	0.07	0.07	0.005
91	0.07	0.07	0.005
92	0.07	0.07	0.005
93	0.07	0.07	0.005
94	0.07	0.07	0.005
95	0.07	0.07	0.005
96	0.07	0.07	0.005
97	0.07	0.07	0.005
98	0.07	0.07	0.005
99	0.07	0.07	0.005
100	0.07	0.07	0.005
101	0.07	0.07	0.005
102	0.07	0.07	0.005

見上 (2階) 爆裂部_D

番号	H x W		爆裂部 単位m
	部 位 別	RC	
103	0.07	0.07	0.005
104	0.07	0.07	0.005
105	0.07	0.07	0.005
106	0.07	0.07	0.005
107	0.07	0.07	0.005
108	0.07	0.07	0.005
109	0.07	0.07	0.005
110	0.07	0.07	0.005
111	0.07	0.07	0.005
112	0.07	0.07	0.005
113	0.07	0.07	0.005
114	0.07	0.07	0.005
115	0.07	0.07	0.005
116	0.07	0.07	0.005
117	0.07	0.07	0.005
118	0.07	0.07	0.005
119	0.07	0.07	0.005
120	0.07	0.07	0.005
121	0.07	0.07	0.005
122	0.07	0.07	0.005
123	0.07	0.07	0.005
124	0.07	0.07	0.005
125	0.07	0.07	0.005
126	0.07	0.07	0.005
127	0.07	0.07	0.005
128	0.07	0.07	0.005
129	0.07	0.07	0.005
130	0.07	0.07	0.005
131	0.07	0.07	0.005
132	0.07	0.07	0.005
133	0.07	0.07	0.005
134	0.07	0.07	0.005



2階 改修前天井伏図 1:100



1階下部 改修前見上げ図 1:100

見上 (1階) 爆裂部_D

番号	H x W		爆裂部 単位m
	部 位 別	RC	
1	0.07	0.07	0.005
2	0.07	0.07	0.005
3	0.07	0.07	0.005
4	0.07	0.07	0.005
5	0.07	0.07	0.005
6	0.07	0.07	0.005
7	0.07	0.07	0.005
8	0.07	0.07	0.005
9	0.07	0.07	0.005
10	0.07	0.07	0.005
11	0.07	0.07	0.005
12	0.07	0.07	0.005
13	0.07	0.07	0.005
14	0.07	0.07	0.005
15	0.07	0.07	0.005
16	0.07	0.07	0.005
17	0.07	0.07	0.005
18	0.07	0.07	0.005

見上 (1階) 爆裂部_D

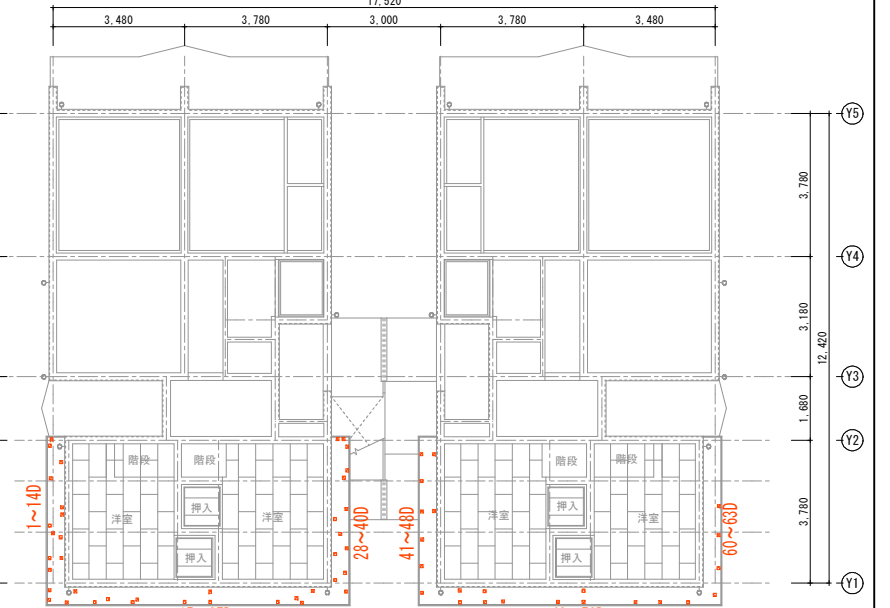
番号	H x W		爆裂部 単位m
	部 位 別	RC	
19	0.07	0.07	0.005
20	0.07	0.07	0.005
21	0.07	0.07	0.005
22	0.07	0.07	0.005
23	0.07	0.07	0.005
24	0.07	0.07	0.005
25	0.07	0.07	0.005
26	0.07	0.07	0.005
27	0.07	0.07	0.005
28	0.07	0.07	0.005
29	0.07	0.07	0.005
30	0.07	0.07	0.005
31	0.07	0.07	0.005
32	0.07	0.07	0.005
33	0.07	0.07	0.005
34	0.07	0.07	0.005
35	0.07	0.07	0.005

見上 (中2階) 爆裂部_D

番号	H x W		爆裂部 単位m
	部 位 別	RC	
1	0.07	0.07	0.005
2	0.07	0.07	0.005
3	0.07	0.07	0.005
4	0.07	0.07	0.005
5	0.07	0.07	0.005
6	0.07	0.07	0.005
7	0.07	0.07	0.005
8	0.07	0.07	0.005
9	0.07	0.07	0.005
10	0.07	0.07	0.005
11	0.07	0.07	0.005
12	0.07	0.07	0.005
13	0.07	0.07	0.005
14	0.07	0.07	0.005
15	0.07	0.07	0.005
16	0.07	0.07	0.005
17	0.07	0.07	0.005
18	0.07	0.07	0.005
19	0.07	0.07	0.005
20	0.07	0.07	0.005
21	0.07	0.07	0.005
22	0.07	0.07	0.005
23	0.07	0.07	0.005
24	0.07	0.07	0.005
25	0.07	0.07	0.005
26	0.07	0.07	0.005
27	0.07	0.07	0.005
28	0.07	0.07	0.005
29	0.07	0.07	0.005
30	0.07	0.07	0.005
31	0.07	0.07	0.005
32	0.07	0.07	0.005

見上 (中2階) 爆裂部_D

番号	H x W		爆裂部 単位m
	部 位 別	RC	
33	0.07	0.07	0.005
34	0.07	0.07	0.005
35	0.07	0.07	0.005
36	0.07	0.07	0.005
37	0.07	0.07	0.005
38	0.07	0.07	0.005
39	0.07	0.07	0.005
40	0.07	0.07	0.005
41	0.07	0.07	0.005
42	0.07	0.07	0.005
43	0.07	0.07	0.005
44	0.07	0.07	0.005
45	0.07	0.07	0.005
46	0.07	0.07	0.005
47	0.07	0.07	0.005
48	0.07	0.07	0.005
49	0.07	0.07	0.005
50	0.07	0.07	0.005
51	0.07	0.07	0.005
52	0.07	0.07	0.005
53	0.07	0.07	0.005
54	0.07	0.07	0.005
55	0.07	0.07	0.005
56	0.07	0.07	0.005
57	0.07	0.07	0.005
58	0.07	0.07	0.005
59	0.07	0.07	0.005
60	0.07	0.07	0.005
61	0.07	0.07	0.005
62	0.07	0.07	0.005
63	0.07	0.07	0.005



中2階 改修前天井伏図 1:100

改修前 1号棟

凡 例			
番号記号	工法記号	工 法	表示記号
① ポリマーセメント	A	PBS 爆裂部改修(一般部)	
	B	PKS 欠損部改修(一般部)	
	C	PUS 浮き部改修	
	D	PBL 爆裂部改修(狭幅部)	
△ 接着剤混入	E	PKL 欠損部改修(狭幅部)	
	F	SKS 欠損部改修	
▽ 防 水	G	SUS 浮き部改修	
	H	BKS 欠損部改修	
① アンカーピンニング	I	BUS 浮き部改修	
	J	A 25 浮き部改修(指定部)	
	K	A 16 浮き部改修(一般部)	
1(番号のみ)	L	A 5 浮き部改修(狭幅部)	
	M	H ヒビ割れ部改修	
① ポリマーセメント アンカーピンニング工法	N	PAP 欠損部改修	
防水モルタル剥がし	W	防水剤ケレン共	
		展開図表示位置	

工 法 別 集 計 表

工法	ポリマーセメントモルタル充填 (爆裂・一般) PBS		ポリマーセメントモルタル充填 (爆裂・狭幅) PBLA	
	(m ²)	場所	(m ²)	場所
調査数量		屋根		見上
設計数量		屋根		見上
工法	ポリマーセメントモルタル充填 (爆裂・狭幅) PBL		ポリマーセメントモルタル充填 (欠損・狭幅) PKS	
	(m ²)	場所	(m ²)	場所
調査数量	0.00	外壁	-	屋根
設計数量	0.00	外壁	10.13	屋根
工法	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入 (浮き部) A16		自動低圧エポキシ樹脂注入 (ひび割れ) H	
	(m ²)	場所	(m ²)	幅
調査数量	-	屋根		0.2~1.0mm
設計数量	0.40	屋根		0.2~1.0mm

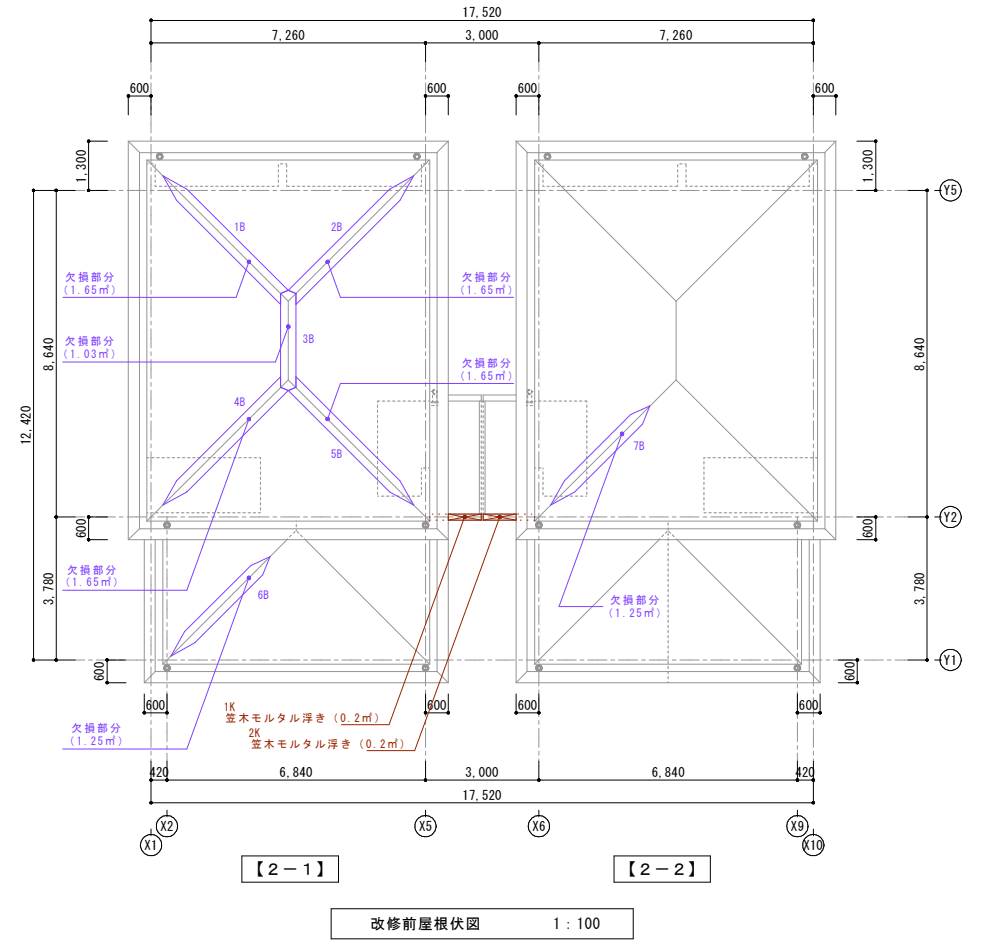
調査範囲： ひび割れ及び爆裂については、目視による全数調査。
 モルタル浮きについては、外壁仕上が打放しであることを確認した。
 設計数量： 設計数量は、調査数量より算出した目安の数値である。着工前に詳細な
 外壁調査を行うこと。
 既存仕上： 外壁塗装下地調整塗材にアスベストが含まれています。(調査結果より)
 『建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉
 じん飛散防止処理技術指針』に基づき施工すること。
 ※爆裂のみを対象とする

屋根 欠損部_B

番号	H x W		欠損部 単位m ²		備 考
	部 位 別	RC	RC	タイル	
1	-	-	1.65		
2	-	-	1.65		
3	-	-	1.03		
4	-	-	1.65		
5	-	-	1.65		
6	-	-	1.25		
7	-	-	1.25		
本 表 計			10.13	PKS	

屋根 浮き部_K

番号	H x W		欠損部 単位m ²		備 考
	部 位 別	RC	RC	タイル	
1	-	-	0.20		
2	-	-	0.20		
本 表 計			0.40	A16	



改修前 1号棟

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者 主任技術者 製 図 補 助	設計年月日	工 事 名 町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事	図面番号	
		設計年		図 面 種 類 外壁等調査図-3 (屋根伏図・数量表)	D-42
		縮 尺 1:100 (A1) 1:200 (A3)			

—— 公営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事 ——

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
D-01	表紙・図面リスト	-	D-26	改修前・後 平面詳細図【1-2】	1/30	E-01	電気設備特記仕様書	-	M-01	機械設備特記仕様書	-
D-02	建築改修工事特記仕様書-1	-	D-27	改修前 展開図【1-2】	1/50	E-02	改修後 1階 2階電気設備平面図	1/100	M-02	配置図,凡例表,衛生器具表,特記事項	1/100
D-03	建築改修工事特記仕様書-2	-	D-28	改修後 展開図【1-2】	1/50	E-03	改修前 1階 2階電気設備平面図	1/100	M-03	改修後 設備平面図	1/100
D-04	建築改修工事特記仕様書-3	-	D-29	改修前・後 平面詳細図【2-1】	1/30				M-04	改修前 設備平面図	1/100
D-05	建築改修工事特記仕様書-4	-	D-30	改修前 展開図【2-1】	1/50				M-05	改修前・後 1階平面詳細図(給排水設備)	1/50
D-06	建築改修工事特記仕様書-5	-	D-31	改修後 展開図【2-1】	1/50				M-06	改修前・後 1階平面詳細図(給排水設備)	1/50
D-07	建築改修工事特記仕様書-6	-	D-32	改修前・後 平面詳細図【2-2】	1/30				M-07	改修前・後 2階平面詳細図(給排水設備)	1/50
D-08	建築改修工事特記仕様書-7	-	D-33	改修前 展開図【2-2】	1/50				M-08	改修前・後 2階平面詳細図(給排水設備)	1/50
D-09	建築改修工事特記仕様書-8	-	D-34	改修後 展開図【2-2】	1/50				M-09	換気機器表・詳細図	1/50
D-10	建築改修工事特記仕様書-9	-	D-35	改修後 天井伏図	1/100				M-10	改修前 1階平面詳細図(換気設備)	1/50
D-11	設計概要,附近見取図,配置図	1/100	D-36	改修後 建具符号図	1/100				M-11	改修前 1階平面詳細図(換気設備)	1/50
D-12	仕上表,内部改修一覧表	-	D-37	改修後 建具表-1	1/50				M-12	改修前 2階平面詳細図(換気設備)	1/50
D-13	敷地・建物 求積図・求積表	1/100, 1/200	D-38	改修後 建具表-2	1/50				M-13	改修前 2階平面詳細図(換気設備)	1/50
D-14	改修前 平面図・屋根伏図	1/100	D-39	外壁改修仕様書	-						
D-15	改修後 平面図・屋根伏図	1/100	D-40	外壁等調査図(立面図)	1/100						
D-16	改修後 立面図	1/100	D-41	外壁等調査図(揚裏図)	1/100						
D-17	改修後 断面図	1/100	D-42	外壁等調査図(屋根伏図)	1/100						
D-18	改修前 矩計図【1-1】【2-1】	1/30									
D-19	改修後 矩計図【1-1】【2-1】	1/30									
D-20	改修前 矩計図【1-2】【2-2】	1/30									
D-21	改修後 矩計図【1-2】【2-2】	1/30									
D-22	改修後 階段詳細図	1/30									
D-23	改修前・後 平面詳細図【1-1】	1/30									
D-24	改修前 展開図【1-1】	1/50									
D-25	改修後 展開図【1-1】	1/50									

管種区分一覧表

名称	記号	管種	保温・防露仕様	使用区分
給水管	— — — —	保温材付架橋ポリエチレン管 PE	樹脂カバ-	屋外架空、屋内露出 屋内一般
給湯管	— — — —	保温材付架橋ポリエチレン管 PE	"	屋外架空、屋内露出 屋内一般
排水管	— — — —	硬質ポリ塩化ビニル管 VP	-	屋外架空、屋内一般
通気管	— — — —	硬質ポリ塩化ビニル管 VP	-	屋外架空、屋内一般
ガス管	— G — —	内外面硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD	-	屋外架空、屋内一般

機器仕様一覧表

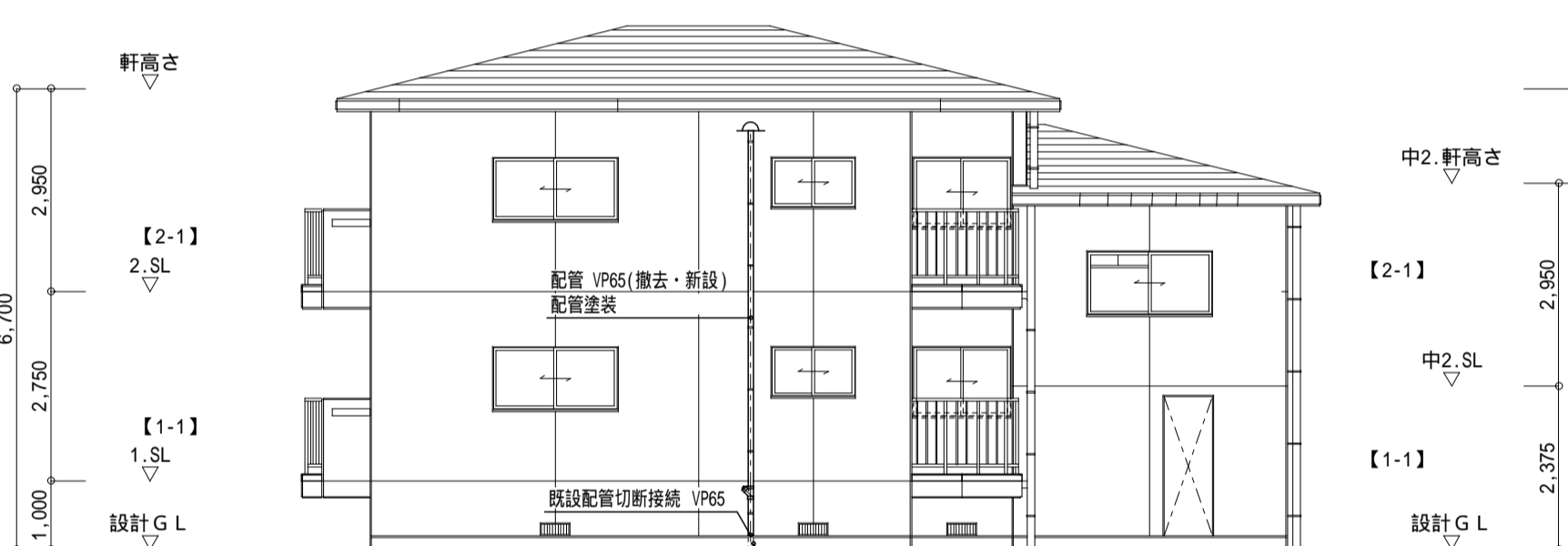
記号	品名	仕様	電気特性				組数
			V	kWh	種別		
IHG 1	ガス給湯器	形式：潜熱改修型	1	100	0.08	-	4
		標準能力号数：16号 給湯ガス消費量：29.4kWh 参考寸法：690 x 464 x 240 付属品：リモコン、逆止弁付きボール止水栓 20A、接続フレキ					

衛生器具一覧表

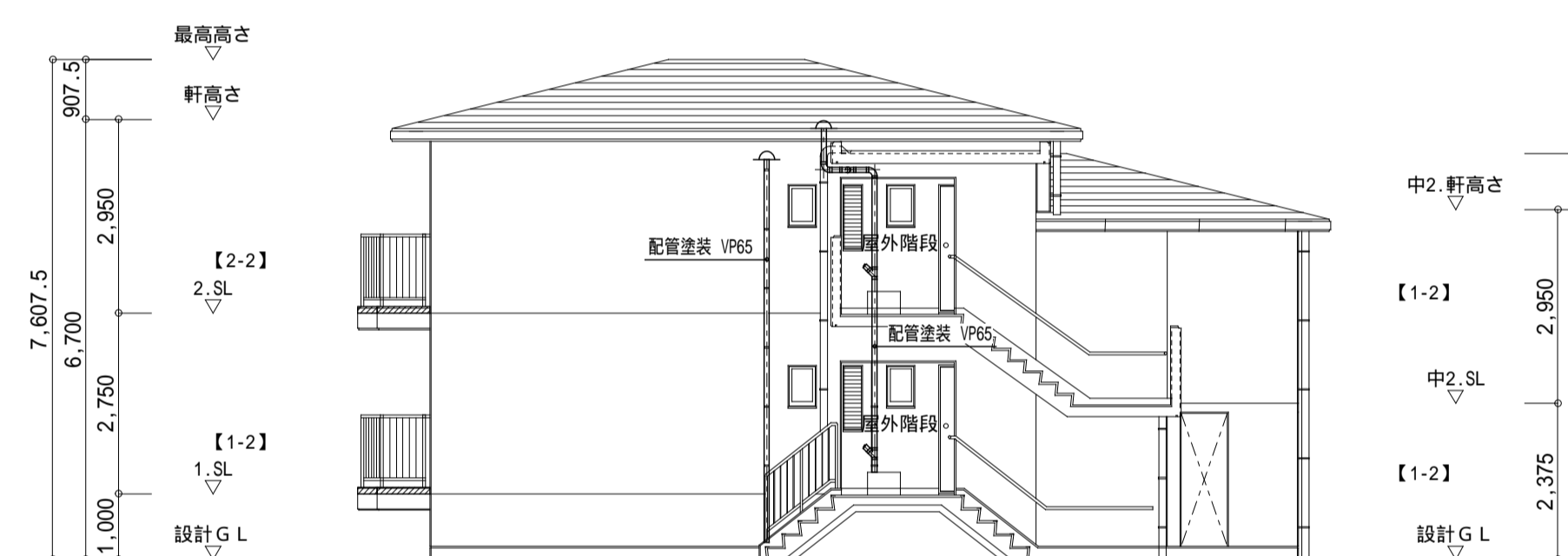
名称	参考型番		1号棟				合計数量	備考
	TOTO	LIXIL	1号棟 1-1	1号棟 1-2	1号棟 2-1	1号棟 2-2		
洋風大便器	CS3256PR+SH3348A+TC300WSC1	YBC-Z30PM+DT-Z350PM+CF-37AT	1	1	1	1	4	床給水、壁排水
混合水栓(洗面)	TL430R	LF-B350SY	1	1	1	1	4	シングルレバー、台付き
混合水栓(流し)	TK431RA	SF-H8430SYA	1	1	1	1	4	シングルレバー、台付き
洗濯水栓	TIW11GR	LF-IU38RHQA	1	1	1	1	4	緊急止水弁付
洗濯パン	PIW640N2H+PJ2009NII	PF-6464AC/FI11+TP-51/FI1	1	1	1	1	4	排水トラップ
洗面化粧台			(1)	(1)	(1)	(1)	(4)	建築工事
流し台			(1)	(1)	(1)	(1)	(4)	建築工事



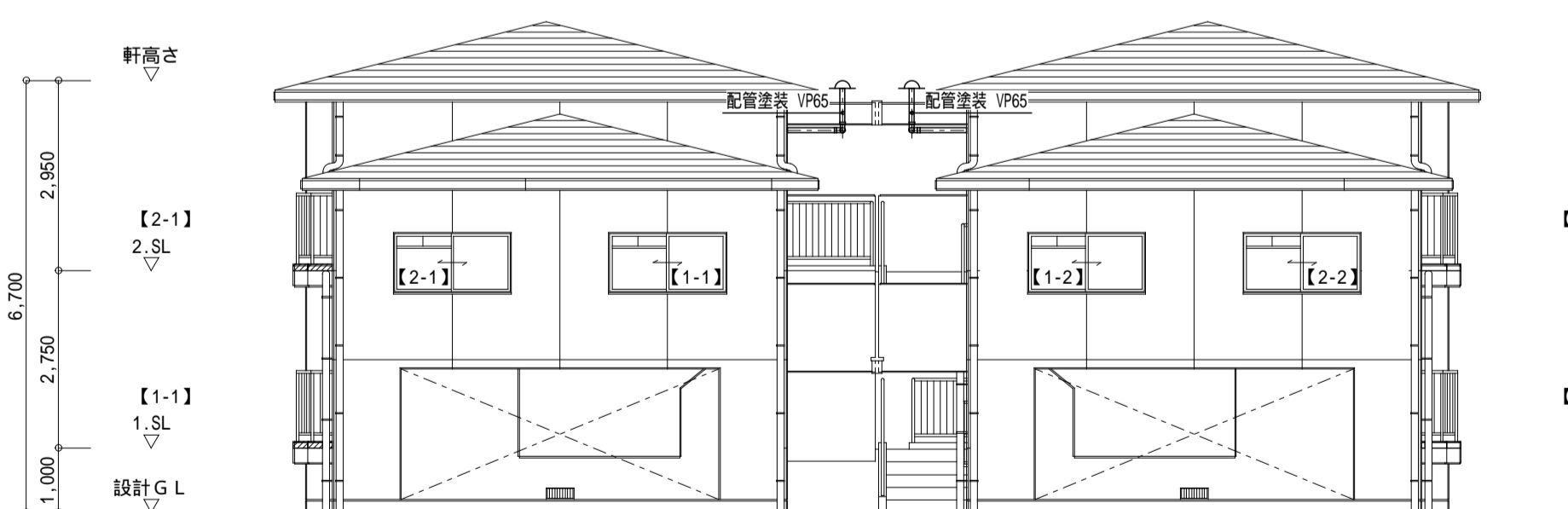
南側 改修前立面図 1:100



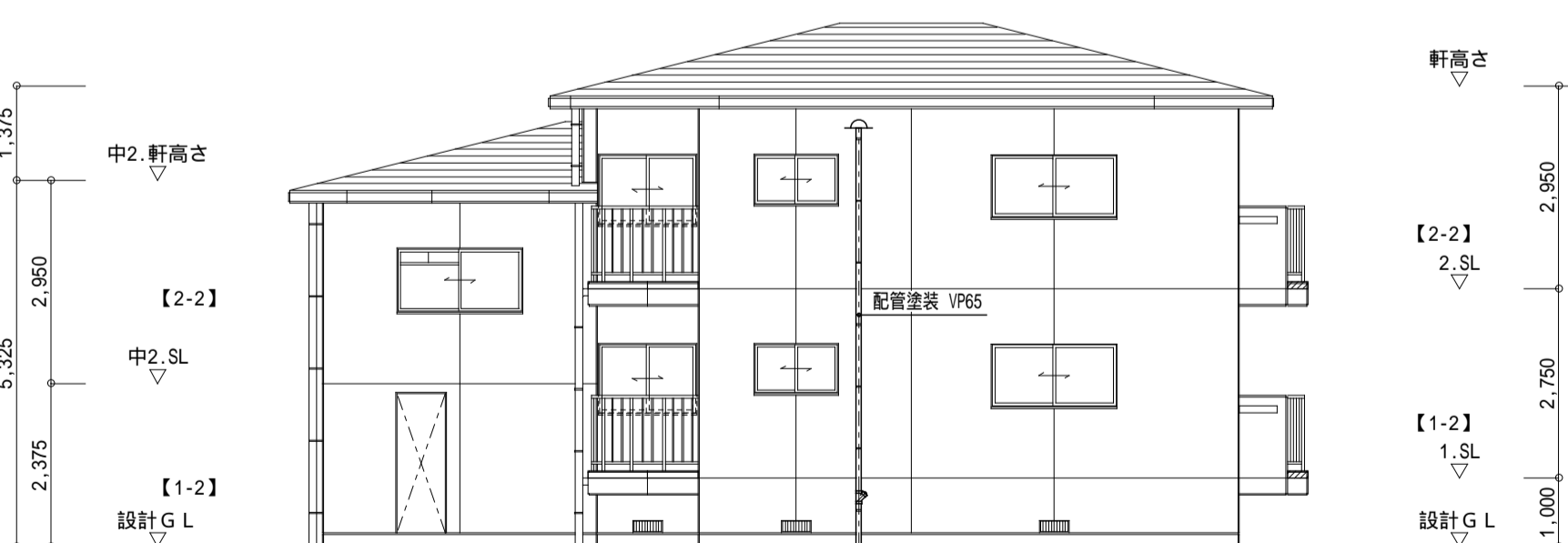
東側 - 1 改修前立面図 1:100



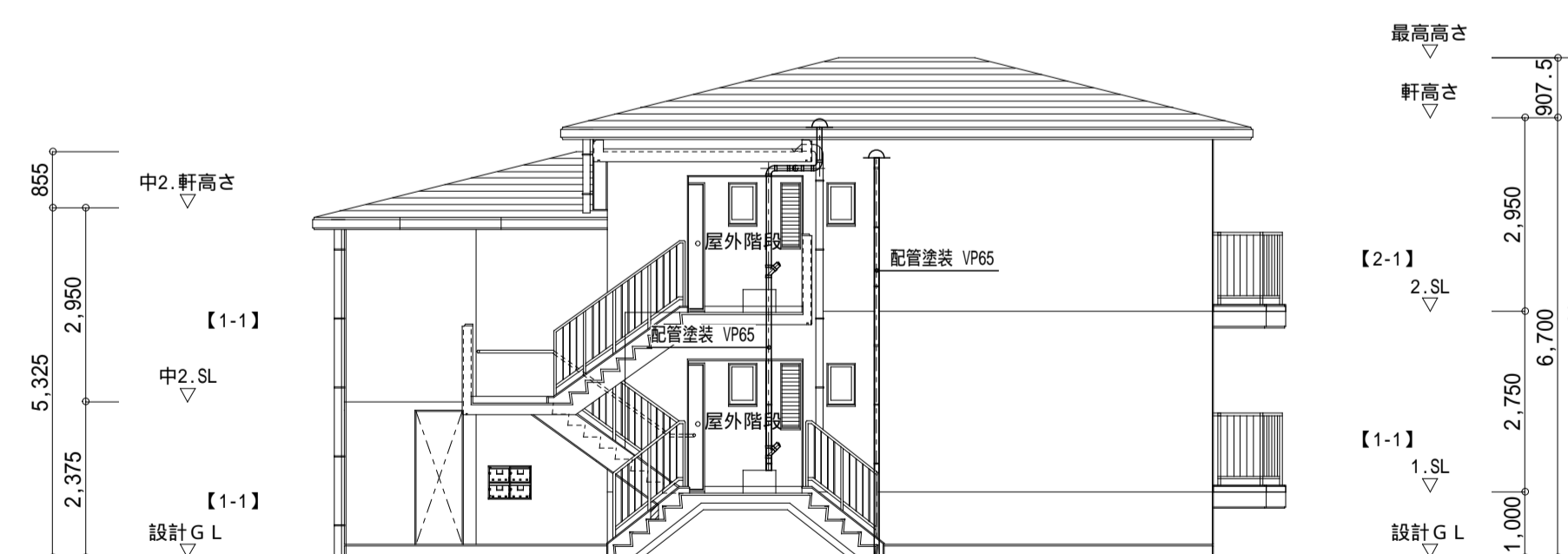
東側 - 2 改修前立面図 1:100



北側 改修前立面図 1:100



西側 - 1 改修前立面図 1:100



西側 - 2 改修前立面図 1:100

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号

永園設計株式会社
管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信

管理技術者

主任技術者

製図

補助

設計年月日

工事名

縮尺

1:100 (A1)

1:200 (A3)

図面種類

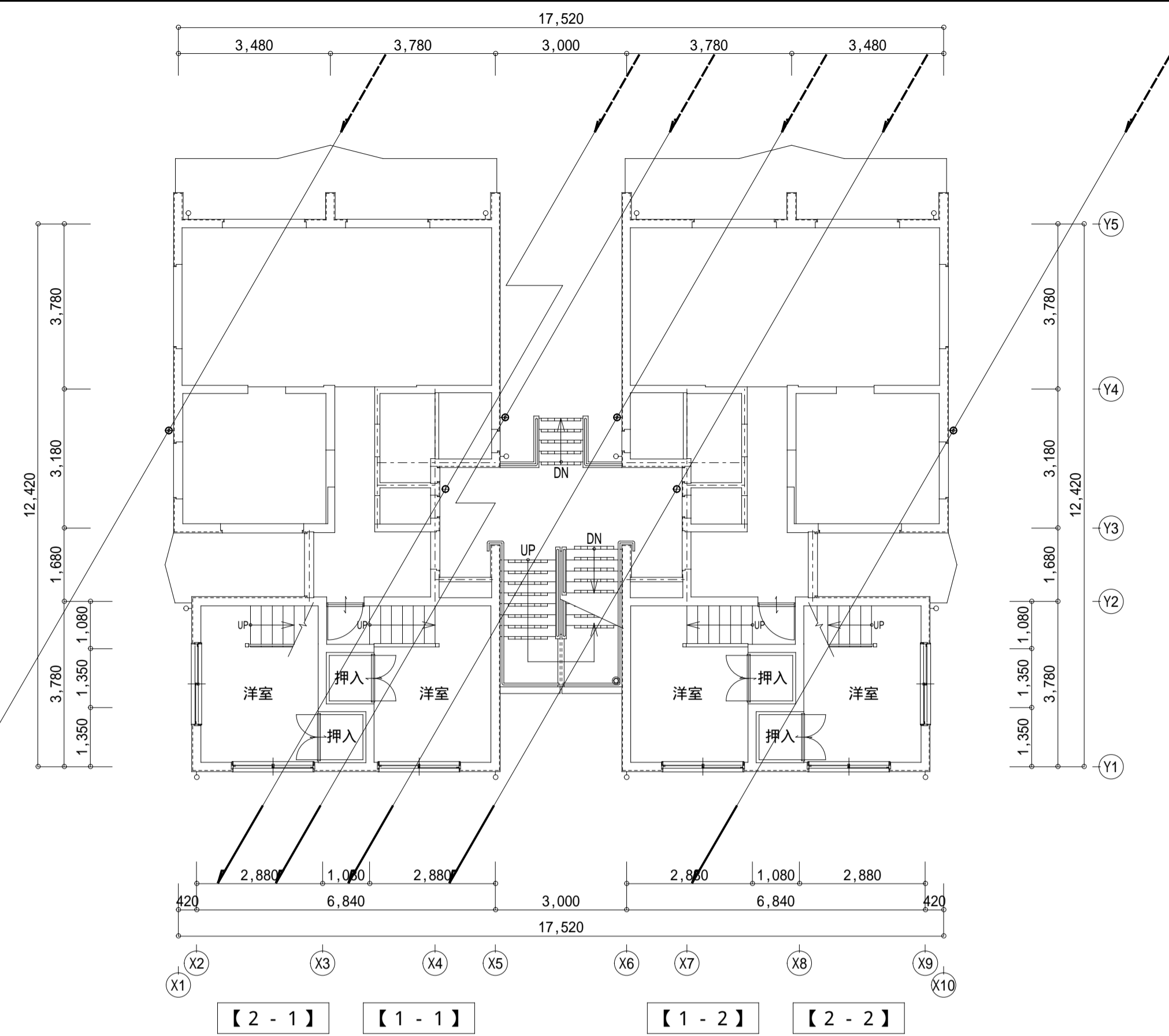
公営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事

機器仕様一覧表・衛生器具一覧表・立面図

(撤去)

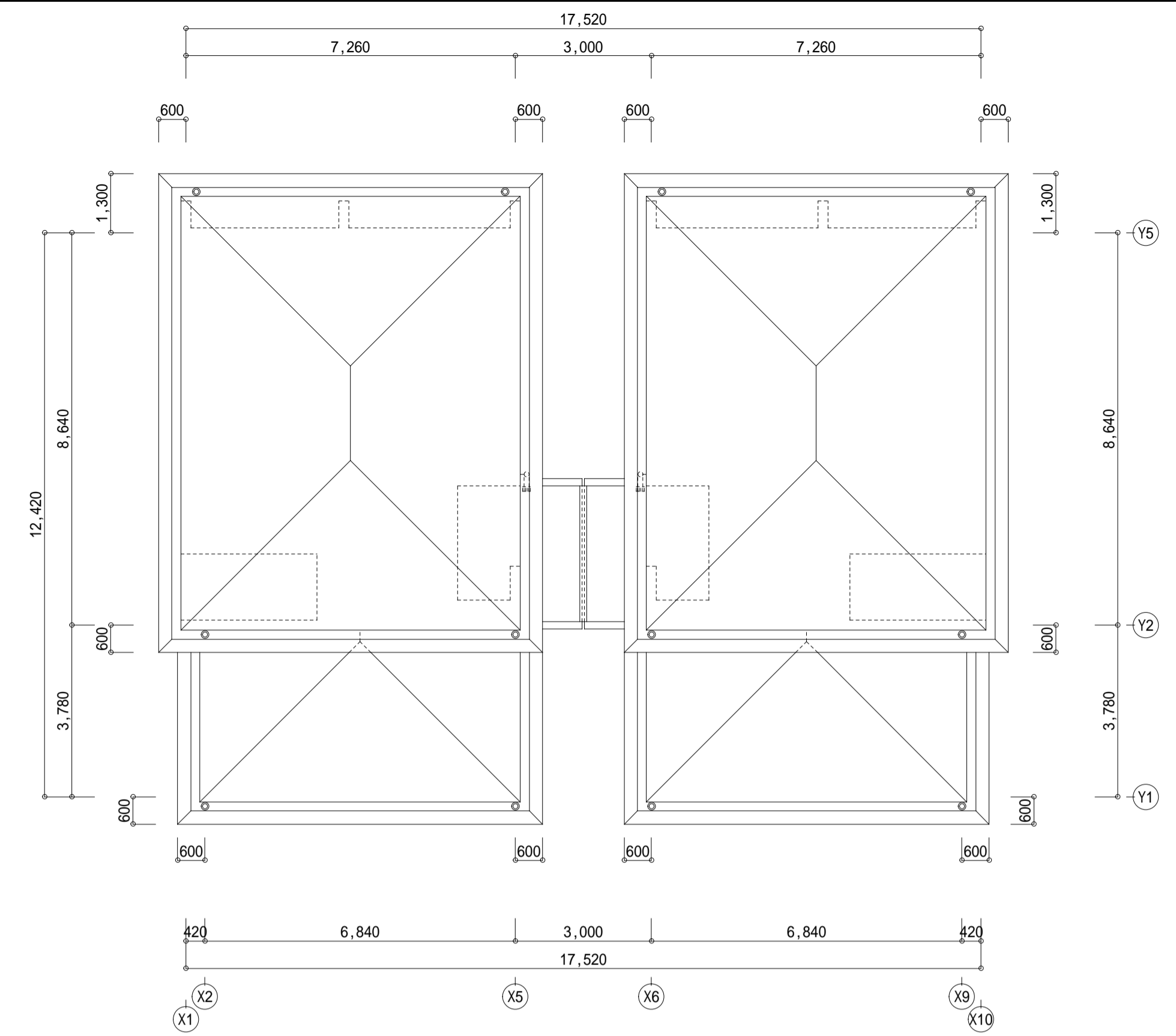
図面番号

M-002

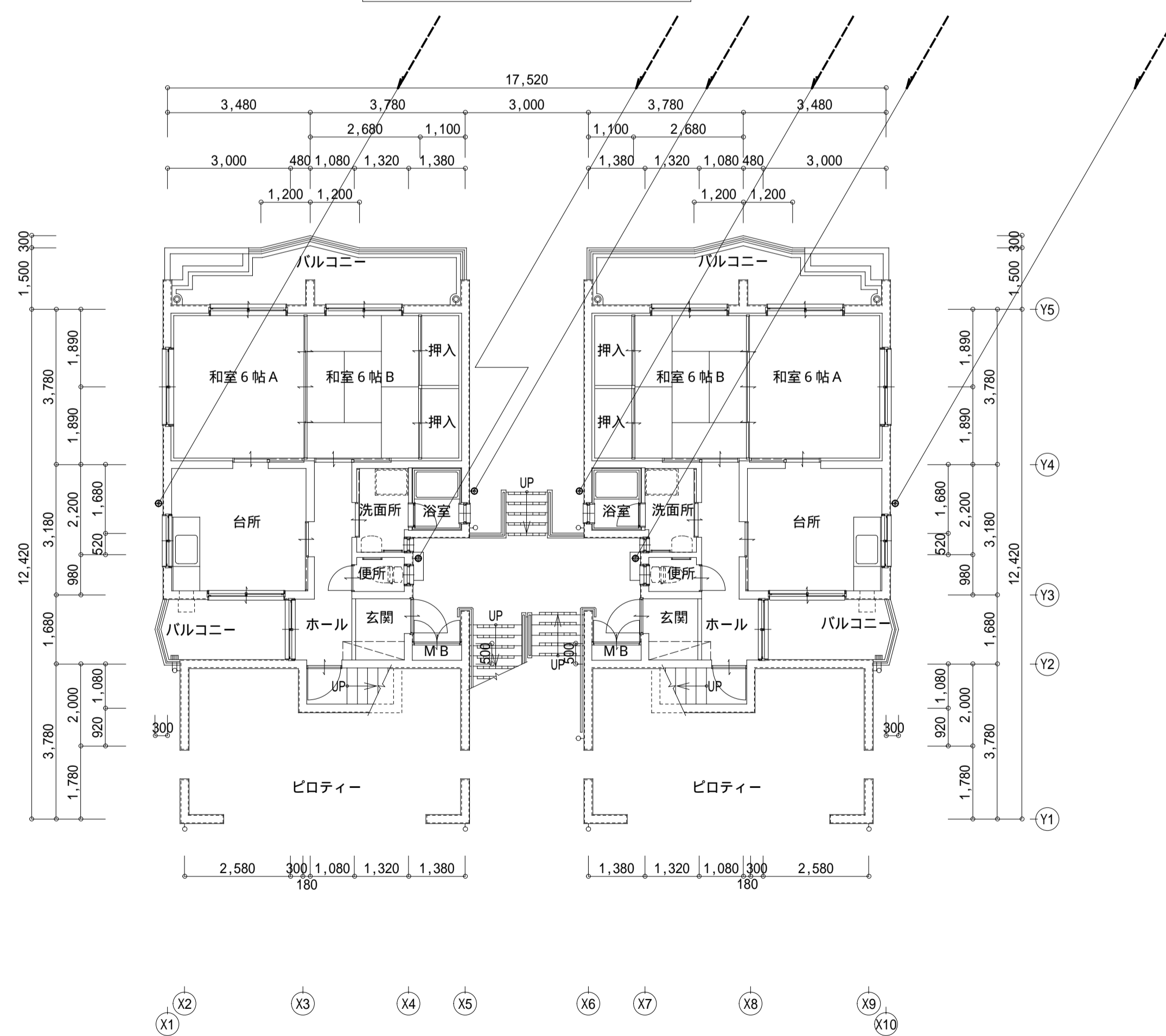


【2-1】 【1-1】 【1-2】 【2-2】

中2階 改修前平面図 1:100

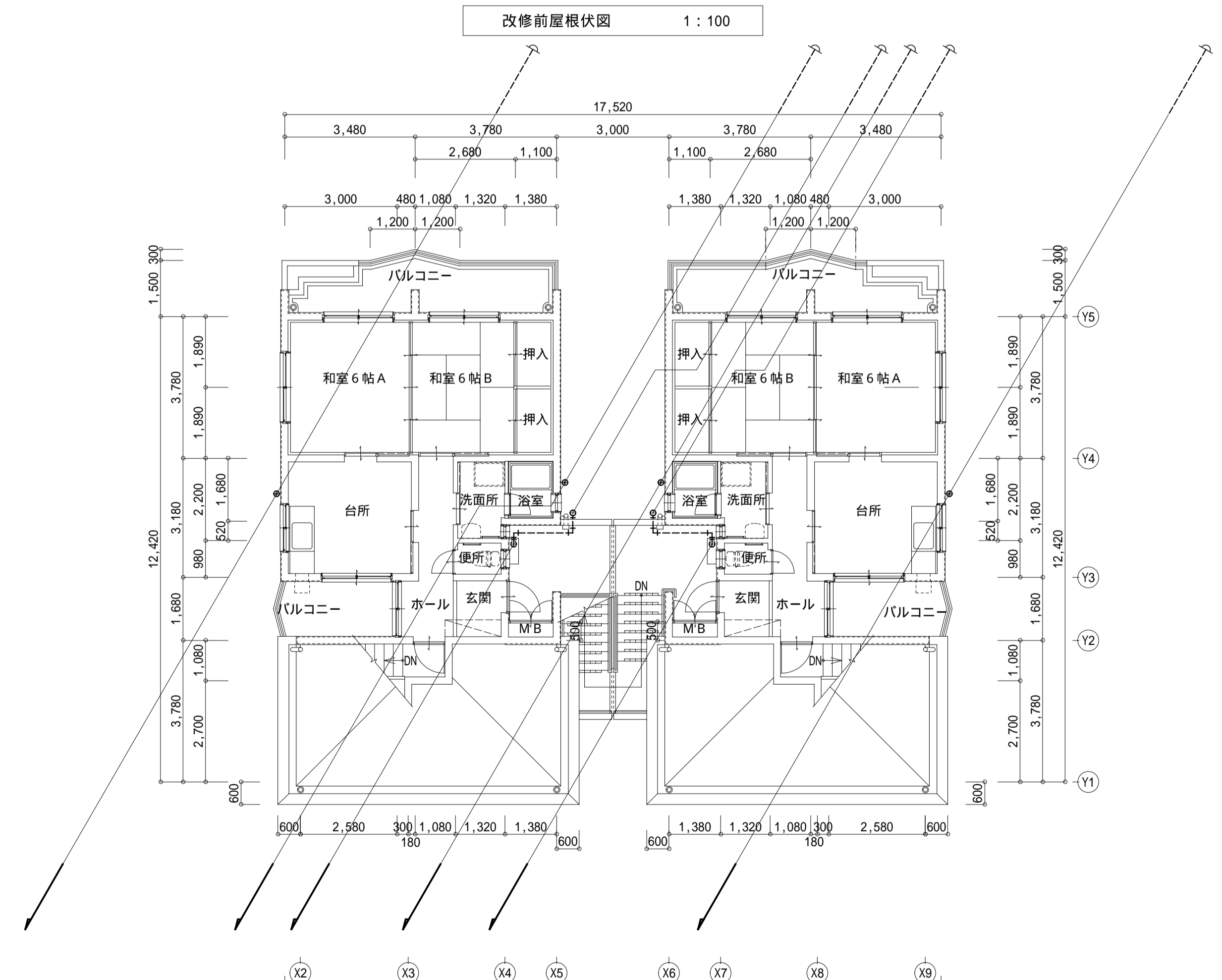


改修前屋根伏図 1:100



【1-1】 【1-2】

1階 改修前平面図 1:100

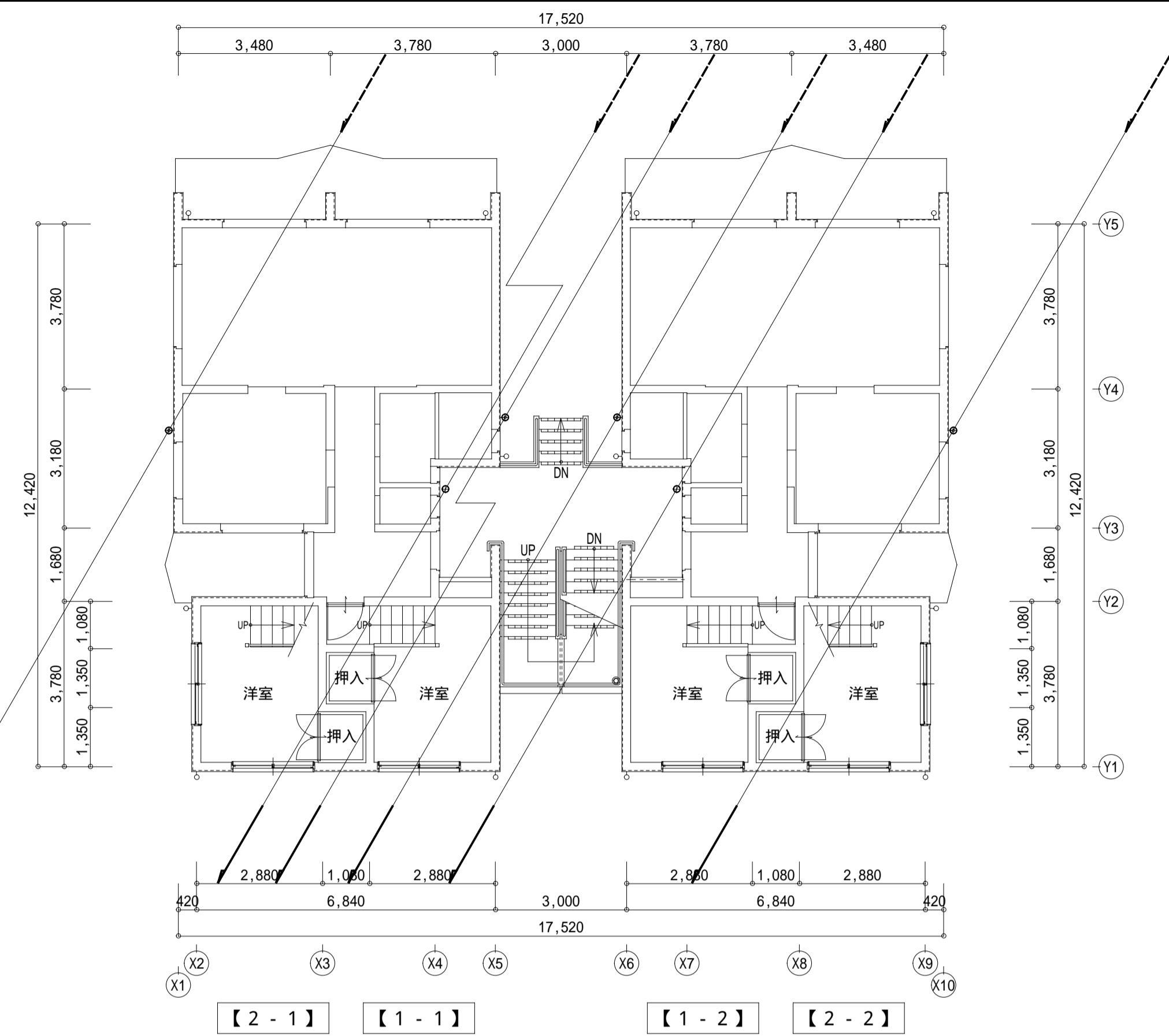


【2-1】 【2-2】

2階 改修前平面図 1:100

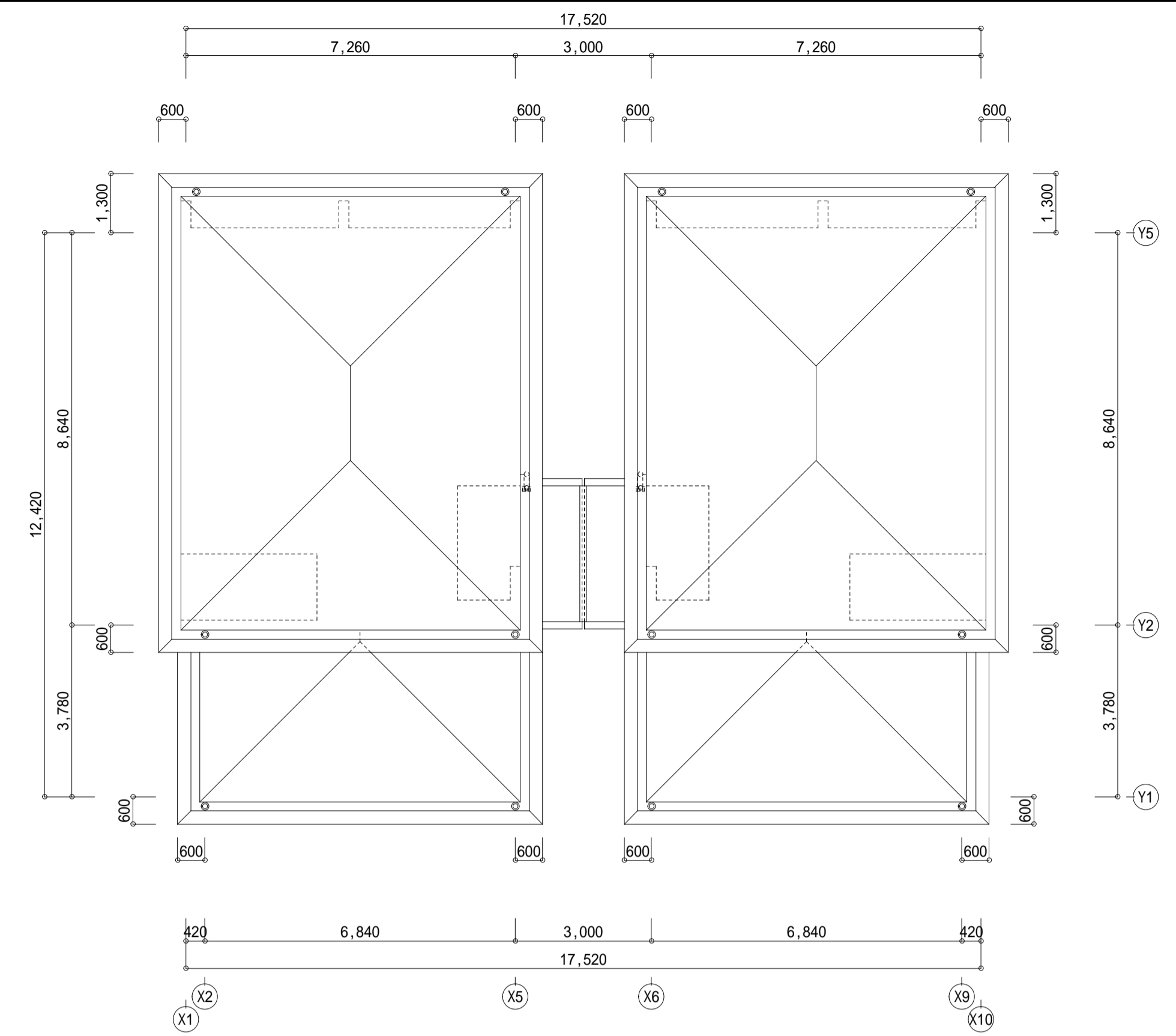
改修後

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日	工事名	図面番号
		縮尺	図面種類	M-003
		1:100 (A1) 1:200 (A3)	1号棟 平面図 (改修後)	



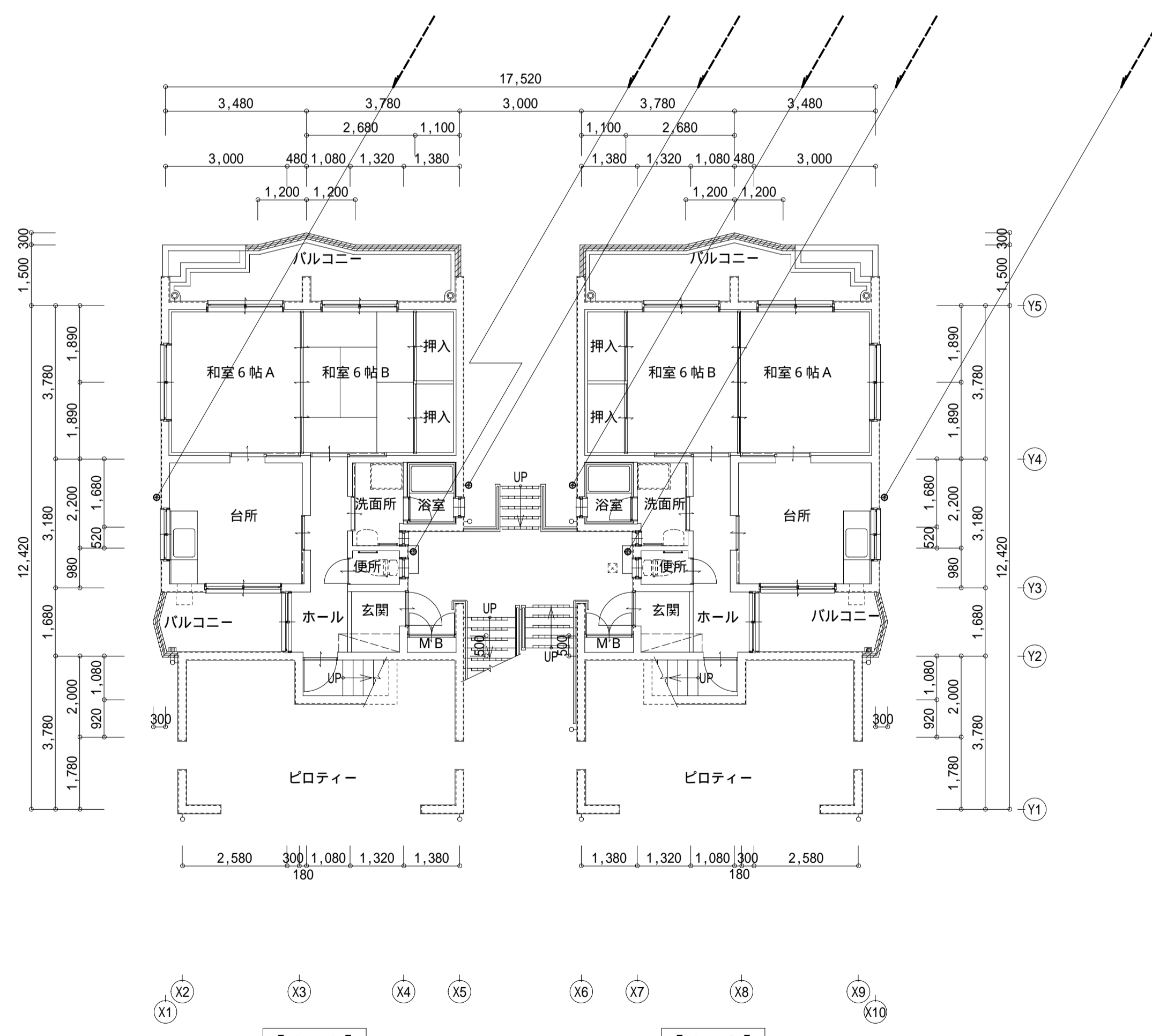
【2-1】 【1-1】 【1-2】 【2-2】

中2階 平面図 (撤去) S=1/100



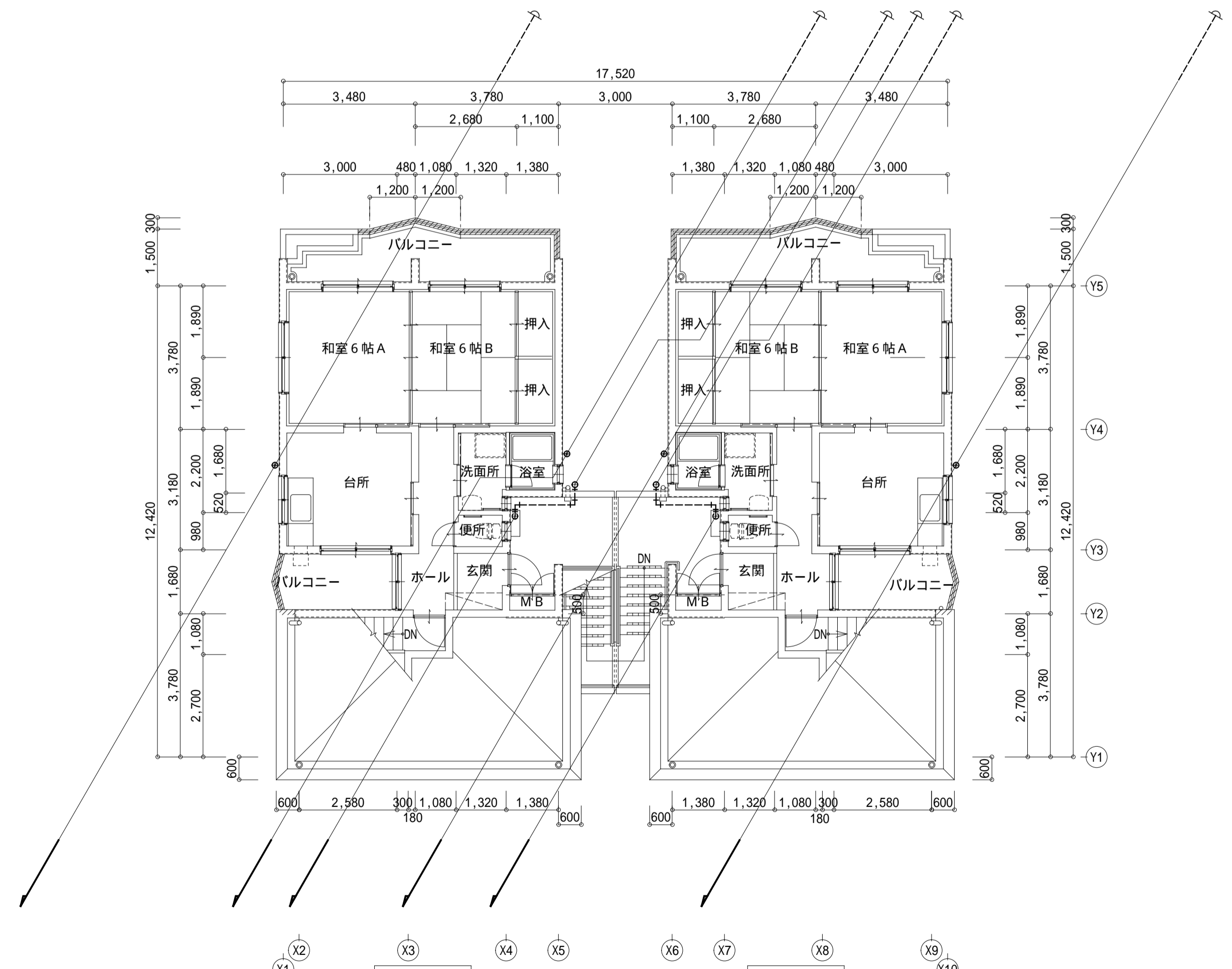
【2-1】 【2-2】

R2階 平面図 (撤去) S=1/100



【1-1】 【1-2】

1階 平面図 (撤去) S=1/100



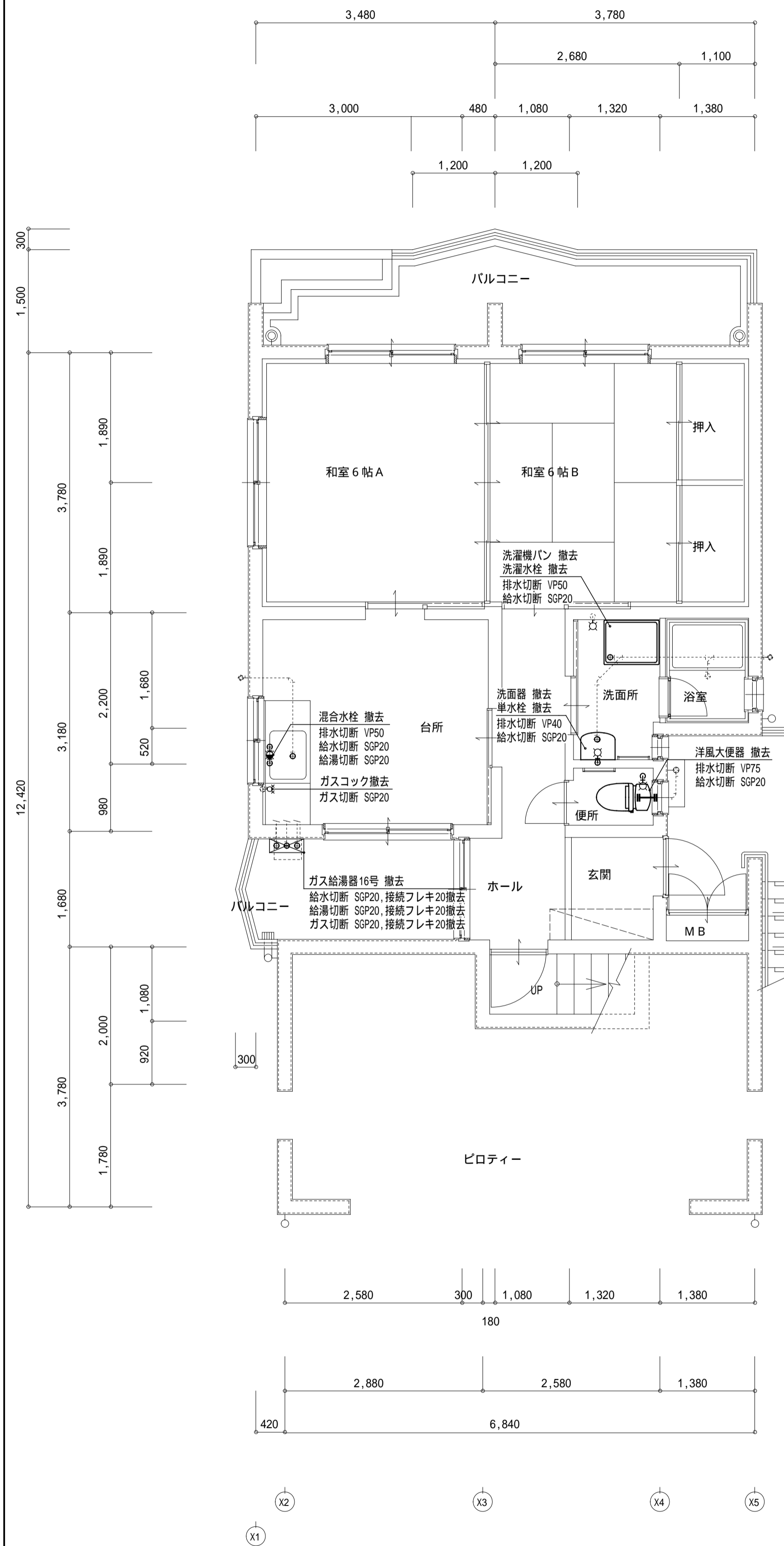
【2-1】 【2-2】

2階 平面図 (撤去) S=1/100

改修前

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信		管理技術者 主任技術者	製図 補助	設計年月日 縮尺 1:100 (A1) 1:200 (A3)	工事名 公営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事 図面種類 1号棟 平面図 (撤去)	図面番号 M-004
--	--	----------------	----------	---	--	----------------------

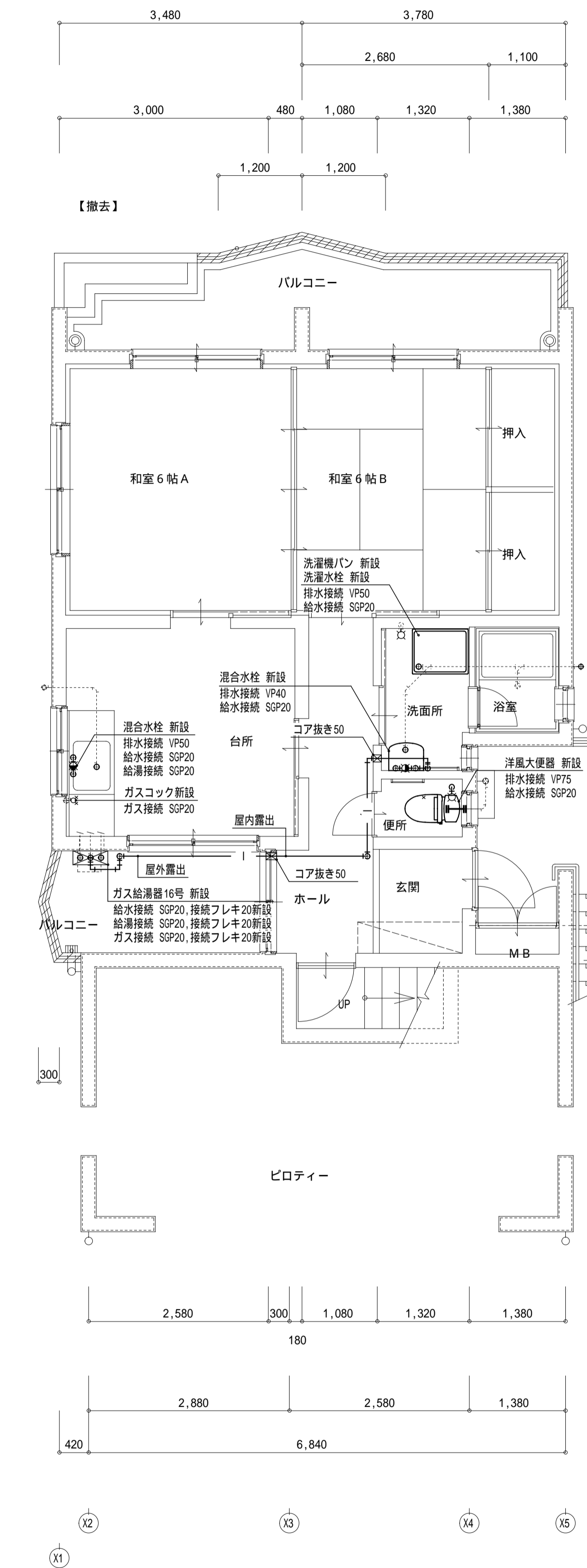
1号棟1-1 (撤去)



平面詳細図 1-1 (撤去・給排水設備) S=1/50

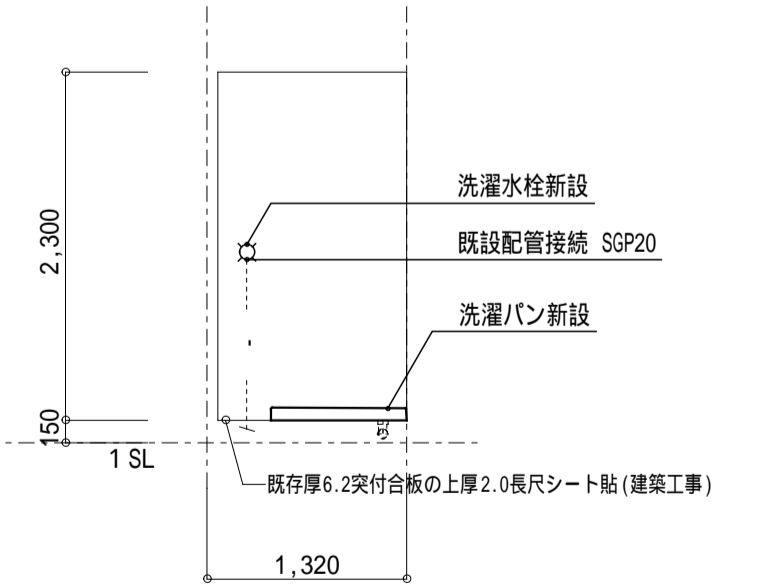
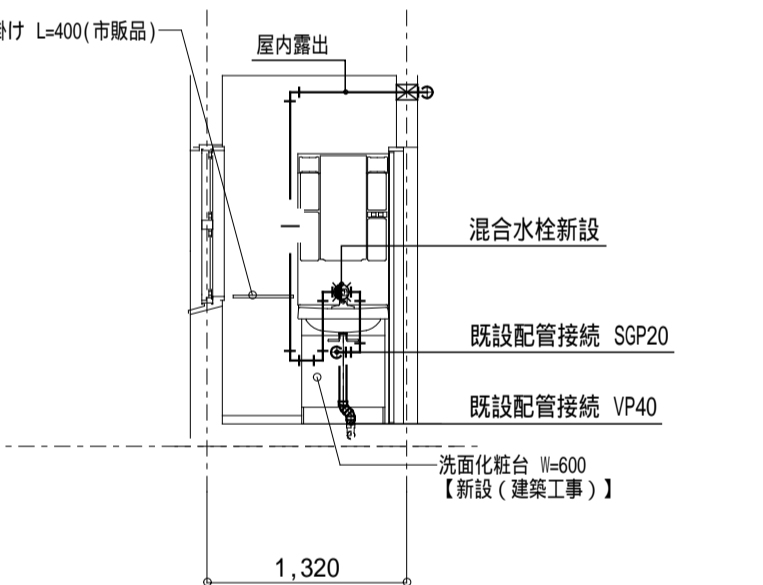
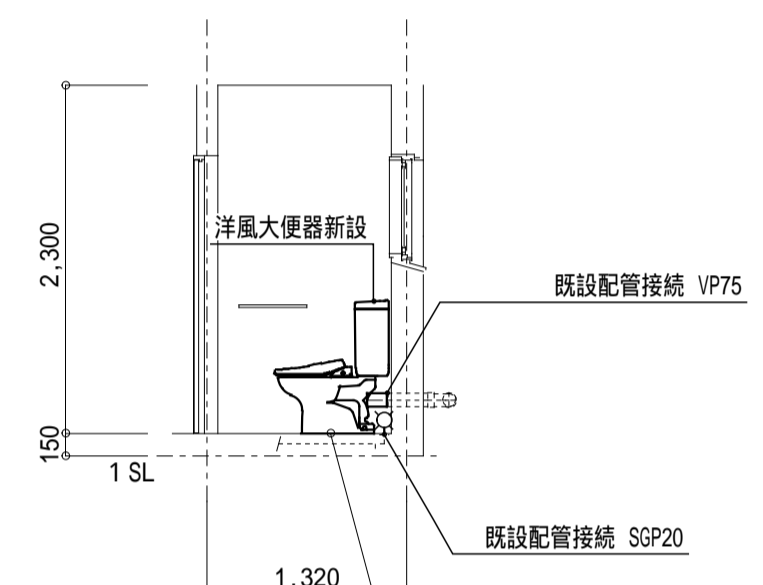
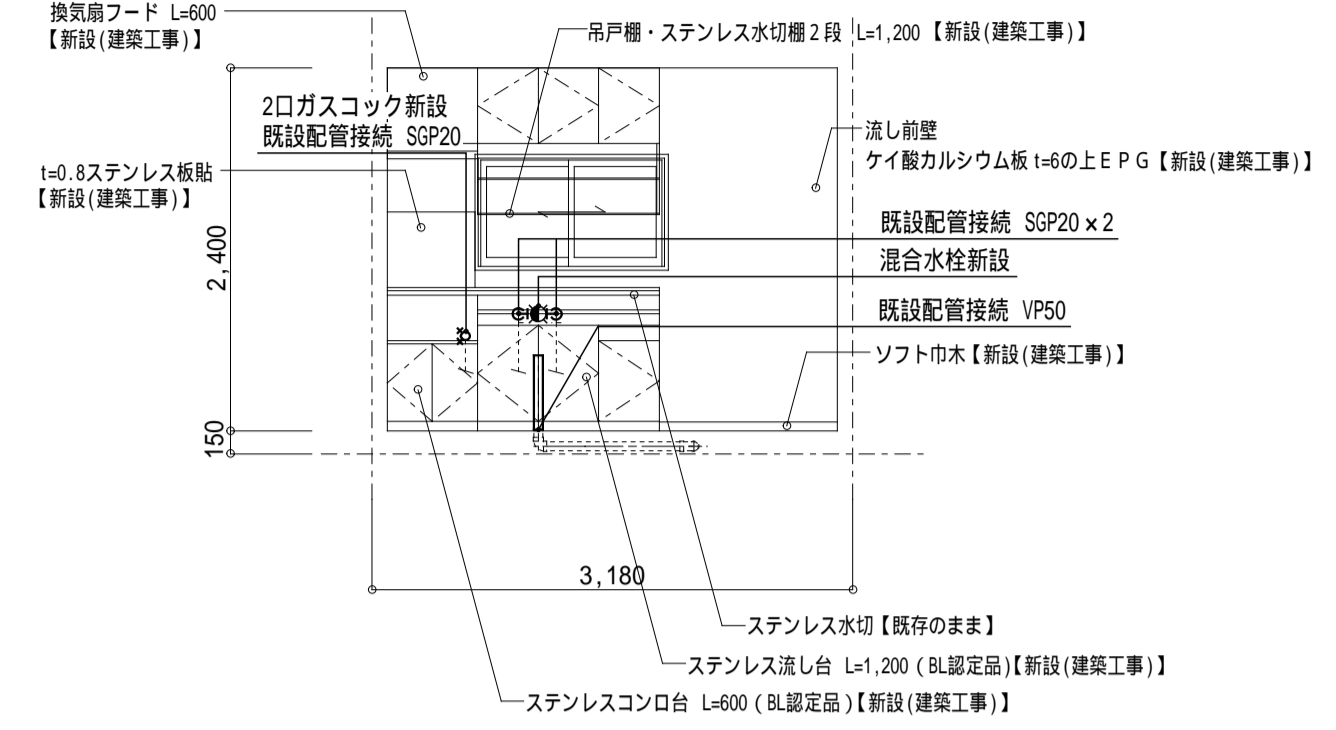
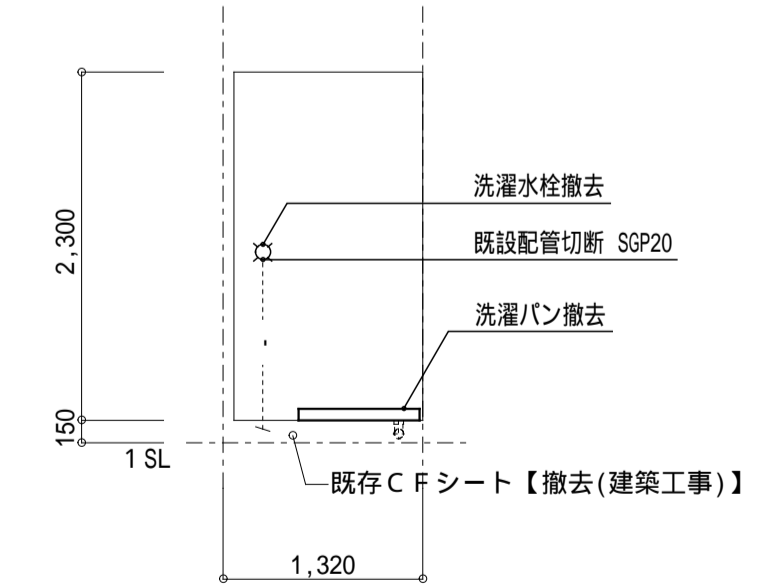
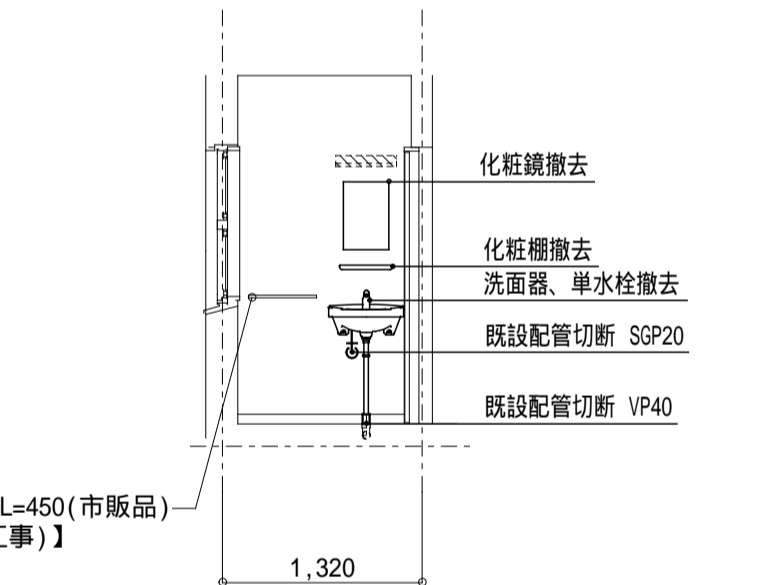
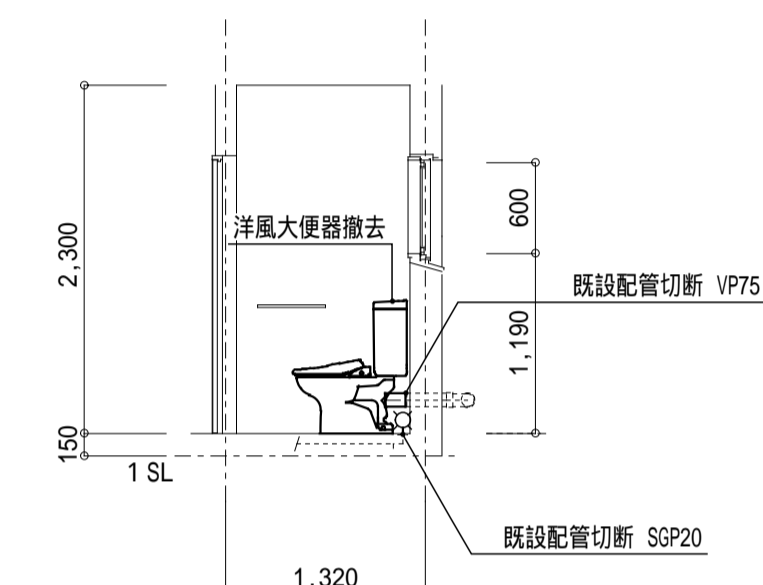
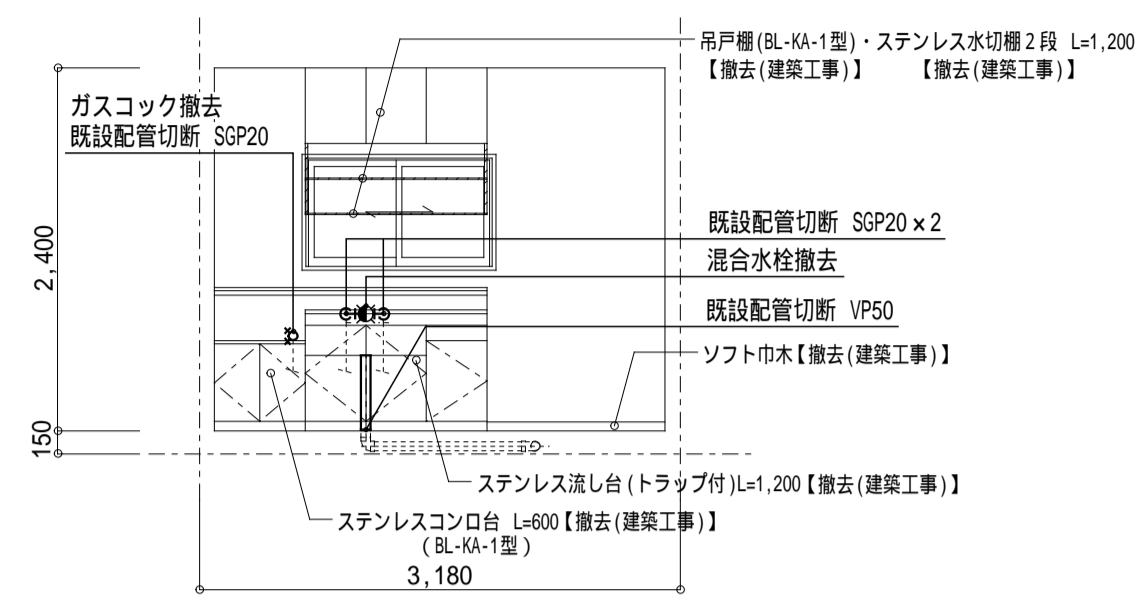
図中 — は、撤去 (配管・器具類) を示す。
 図中 - - - は、既設 (配管・器具類) を示す。

1号棟1-1 (改修後)



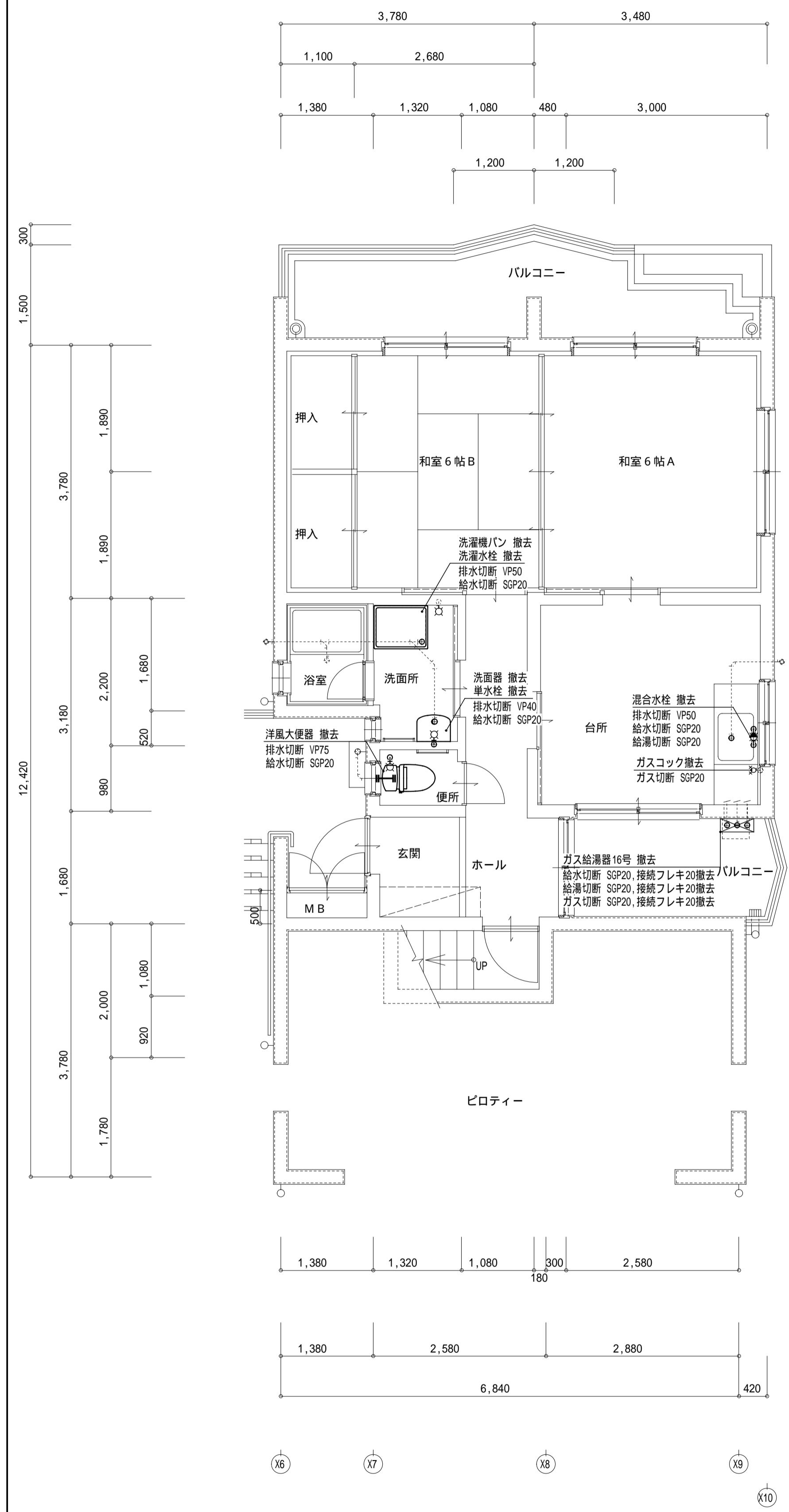
平面詳細図 1-1 (改修後・給排水設備) S=1/50

図中 — は、新設 (配管・器具類) を示す。
 図中 - - - は、既設 (配管・器具類) を示す。



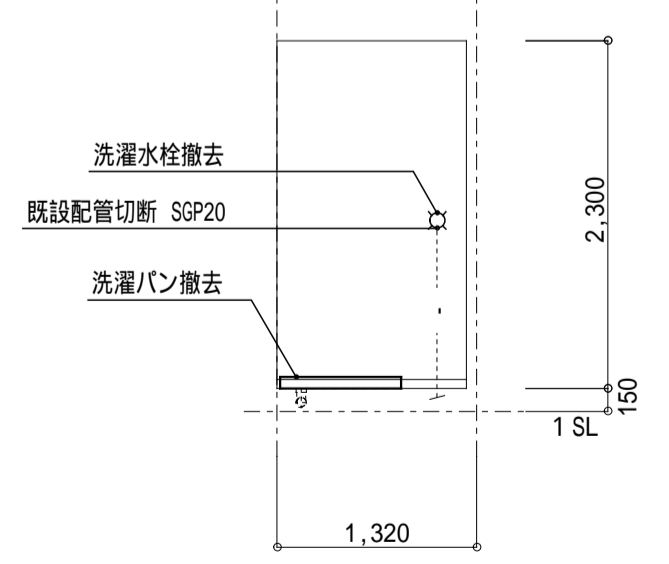
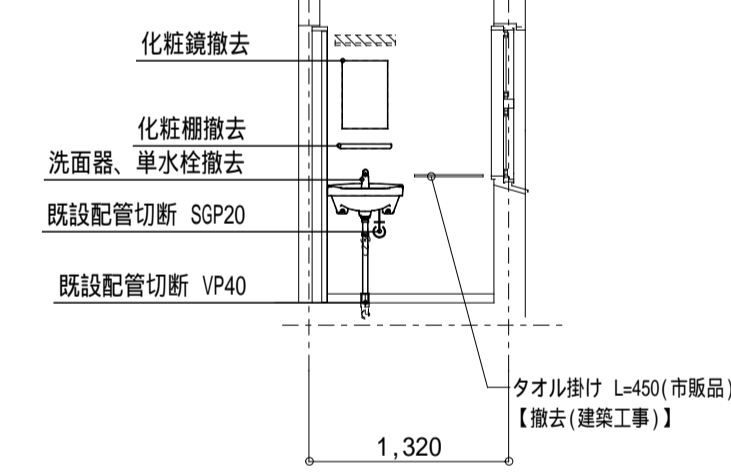
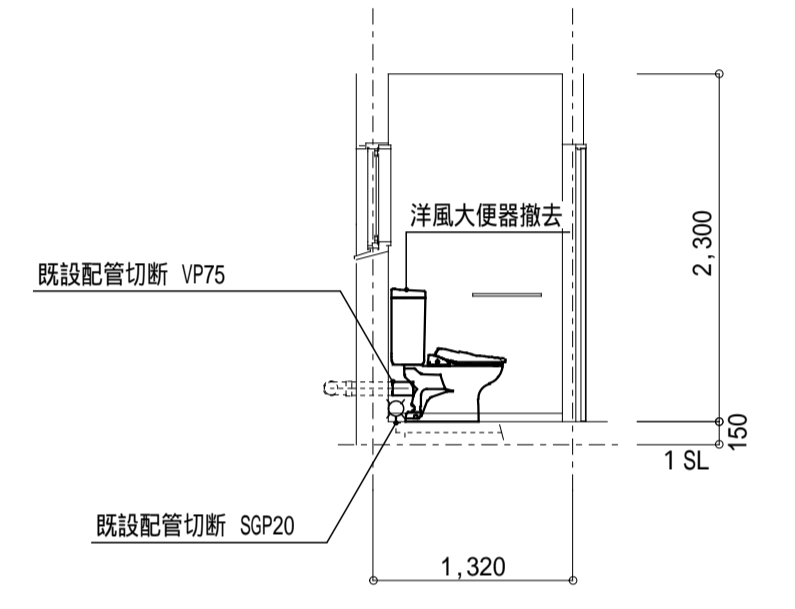
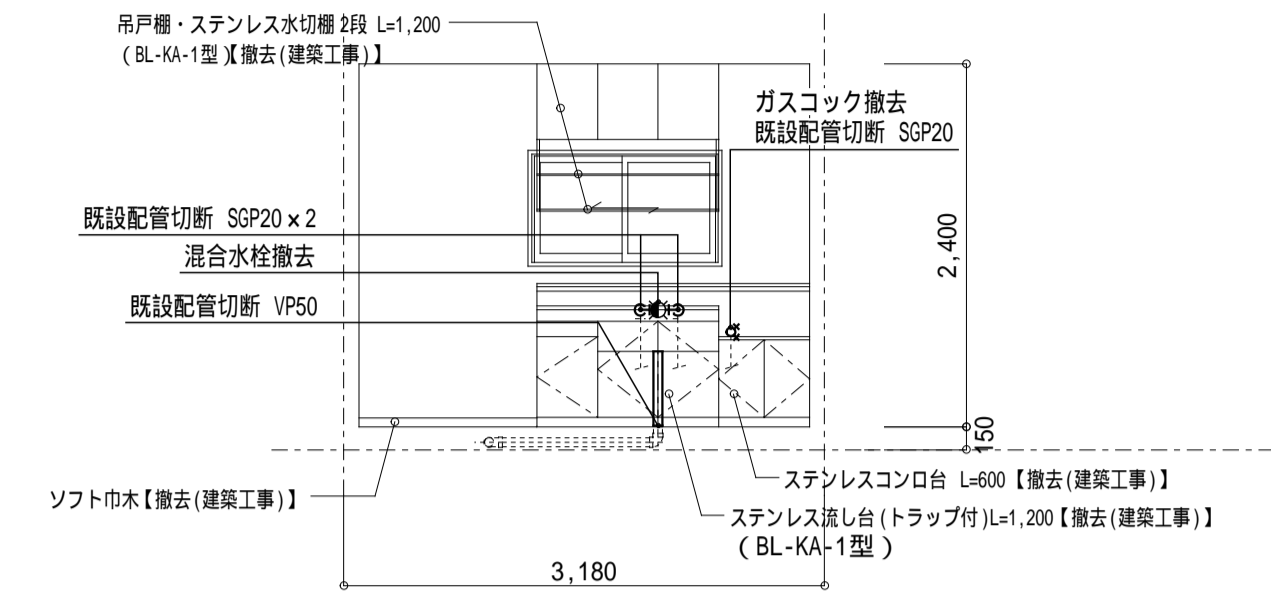
設計年月日	工事名	図面番号
縮尺	公営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事	M-005
1:50 (A1)	図面種類	1号棟1-1 平面詳細図 (給排水設備)
1:100 (A3)		
一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号	管理技術者	主任技術者
永園設計株式会社	製図	補助
管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信		

1号棟1-2 (撤去)

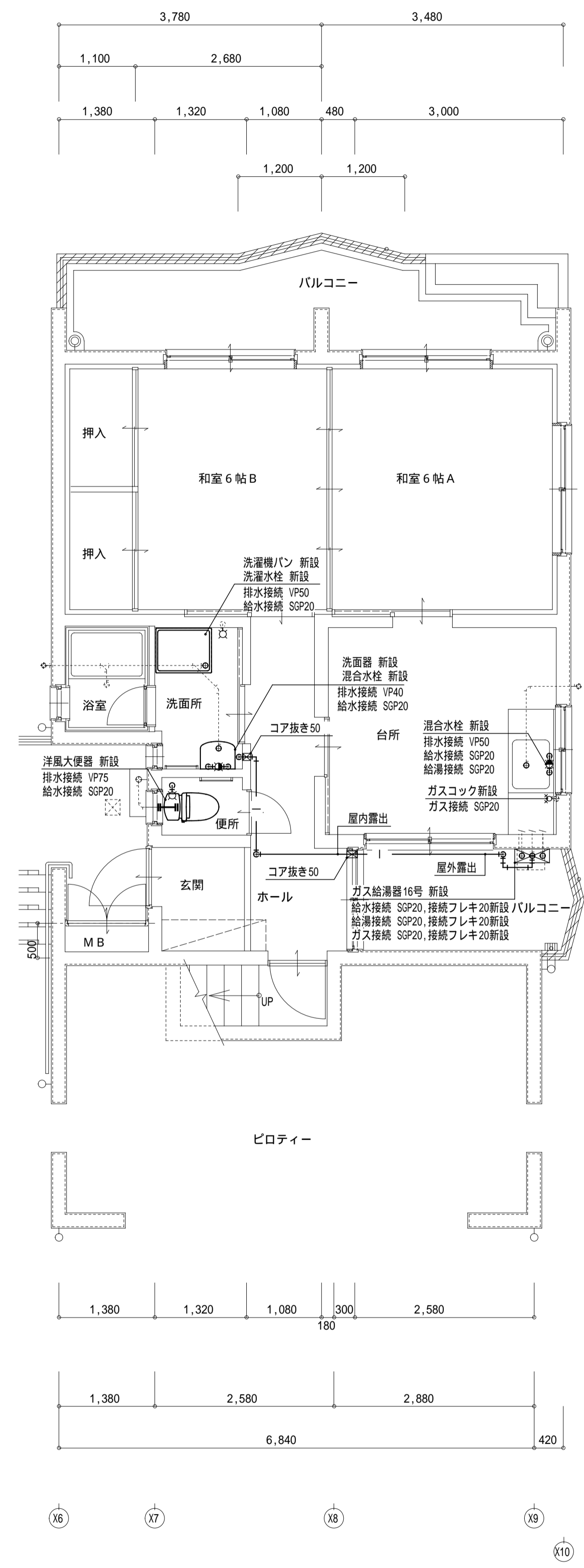


平面詳細図 1-2 (撤去・給排水設備) S=1/50

図中 — は、撤去 (配管・器具類) を示す。
 図中 - - - は、既設 (配管・器具類) を示す。

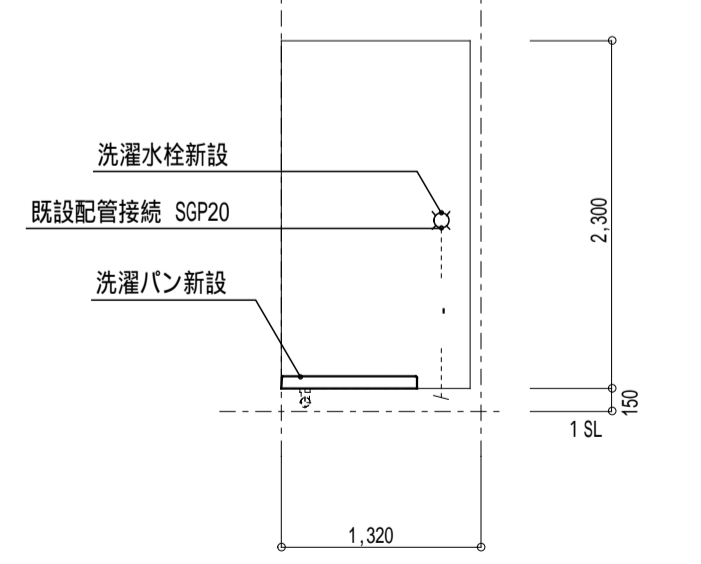
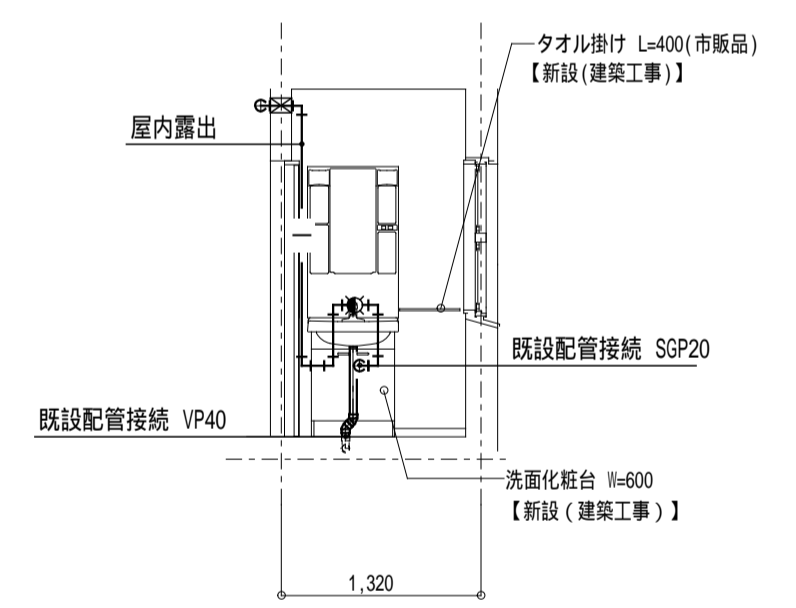
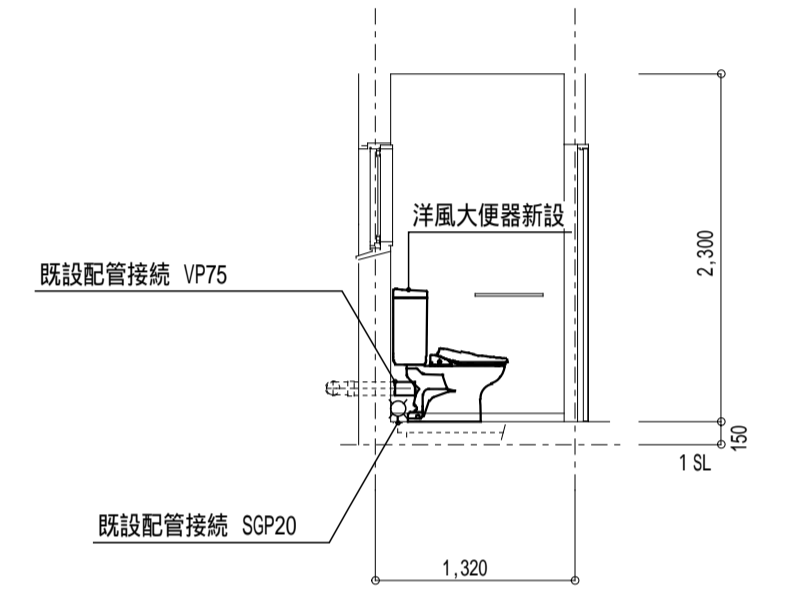
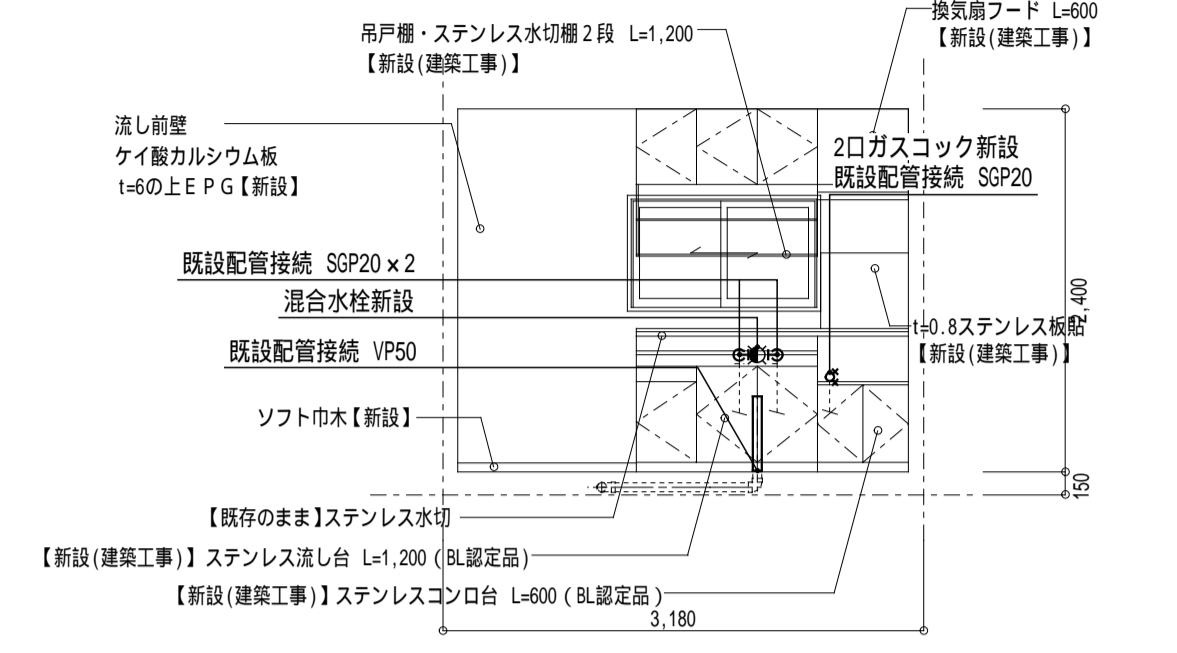


1号棟1-2 (改修後)

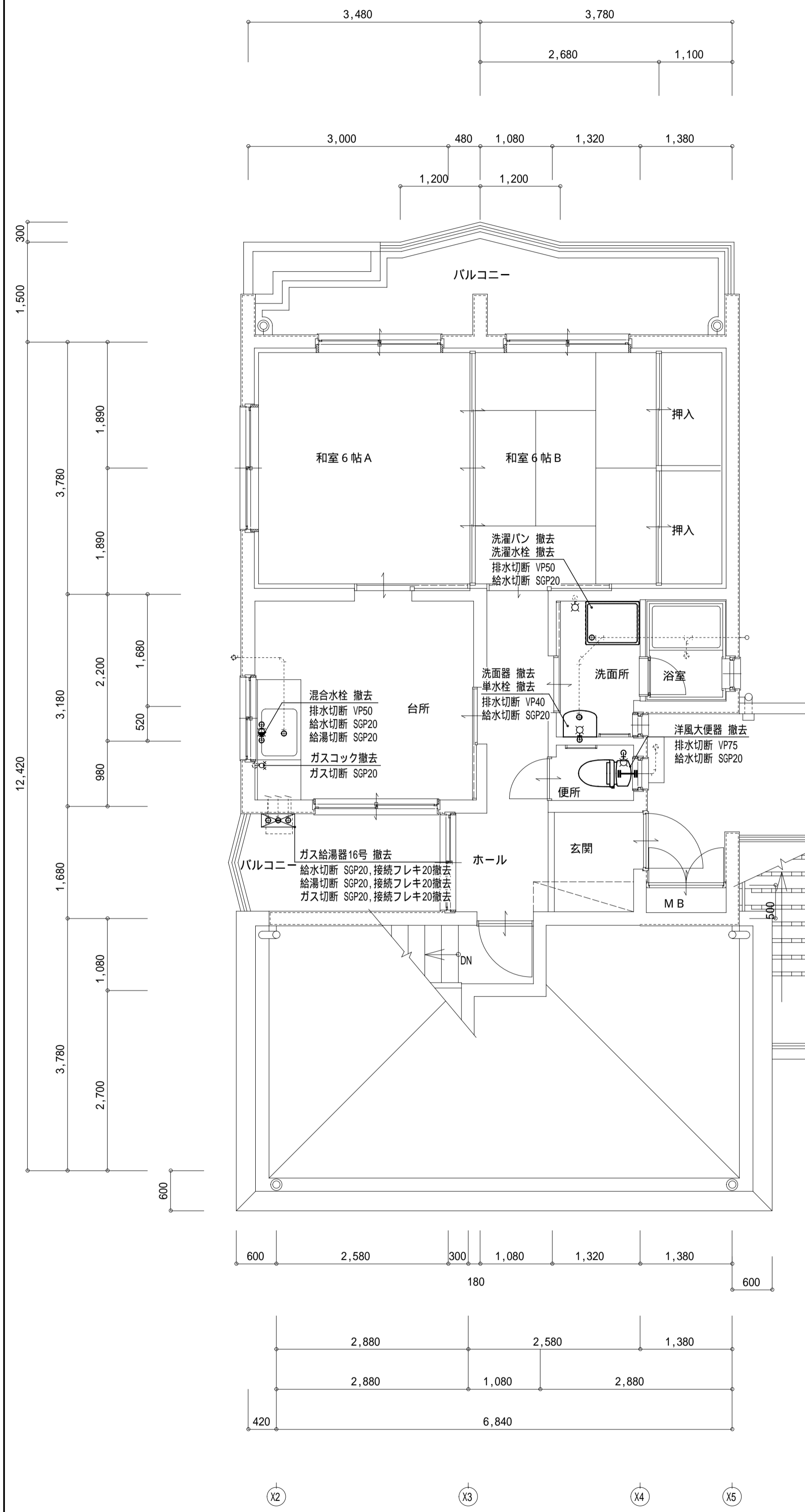


平面詳細図 1-2 (改修後・給排水設備) S=1/50

図中 — は、新設 (配管・器具類) を示す。
 図中 - - - は、既設 (配管・器具類) を示す。



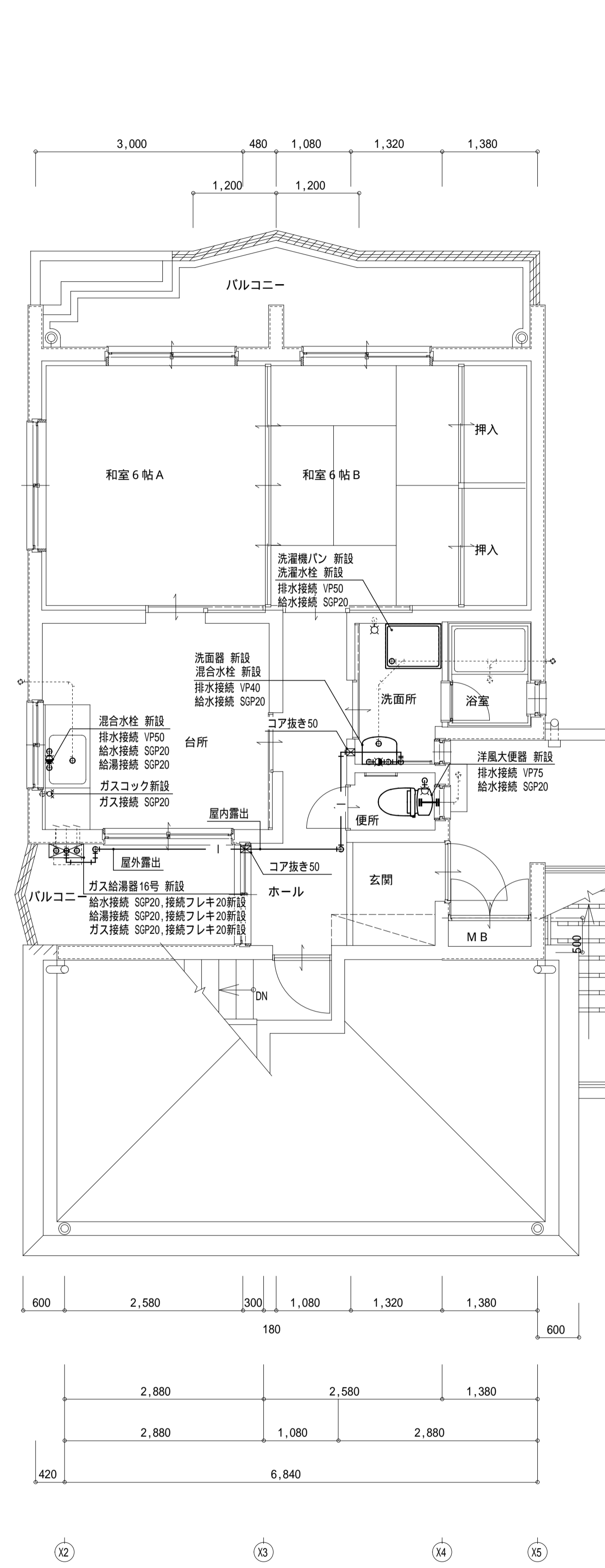
1号棟2-1 (撤去)



平面詳細図 2-1 (撤去・給排水設備) S=1/50

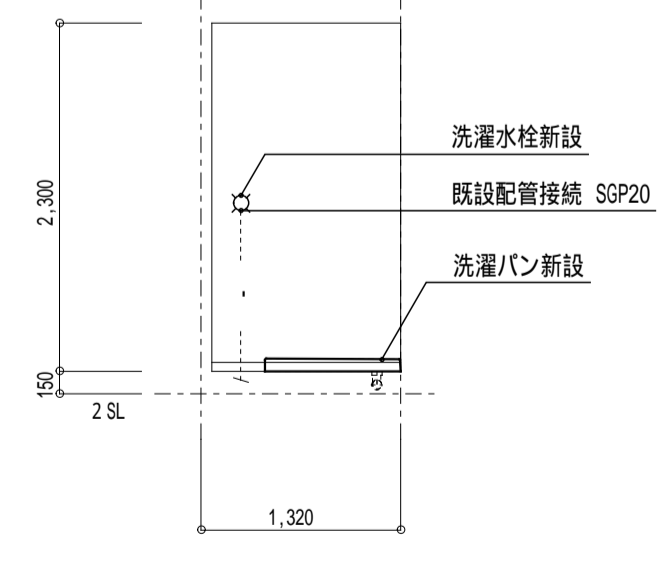
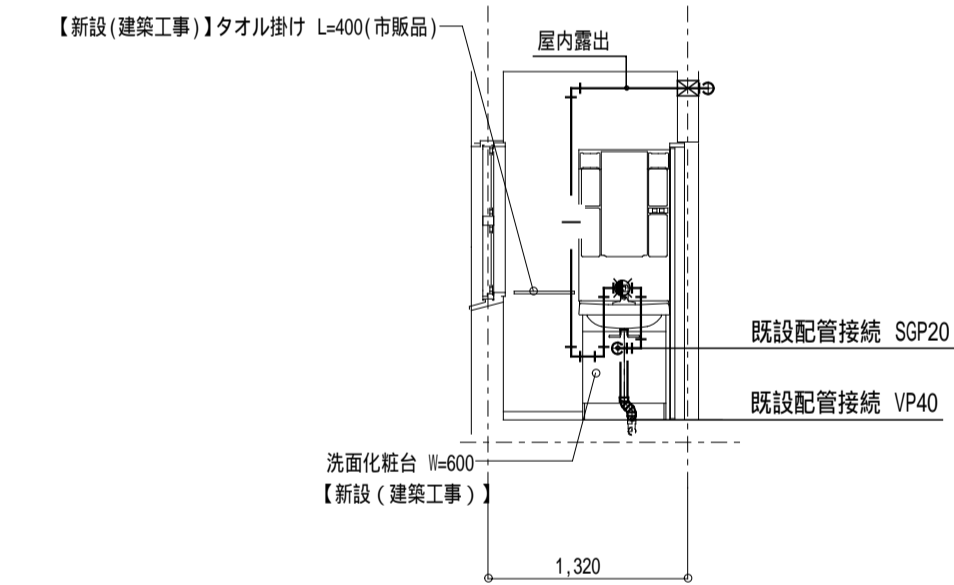
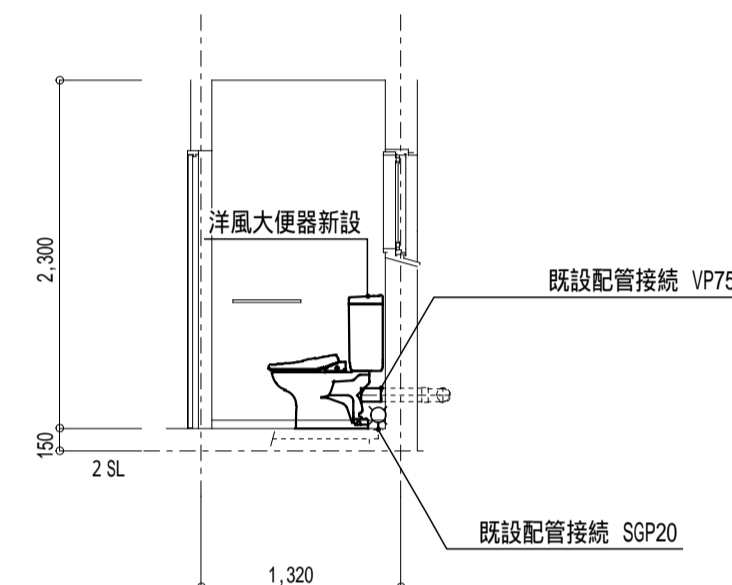
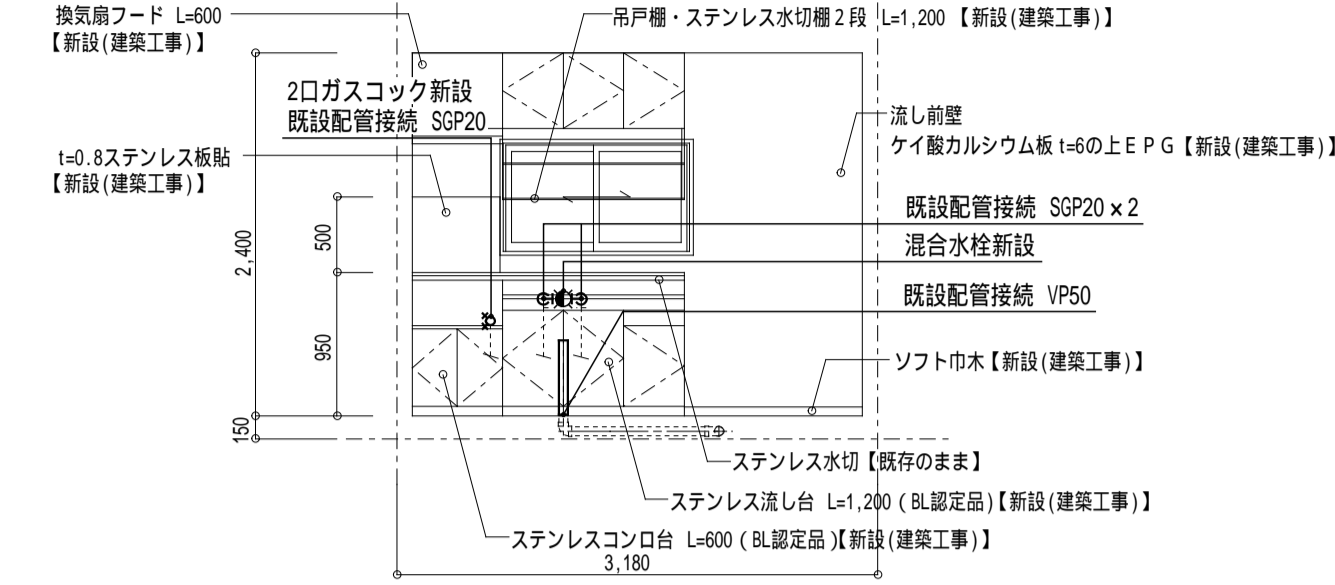
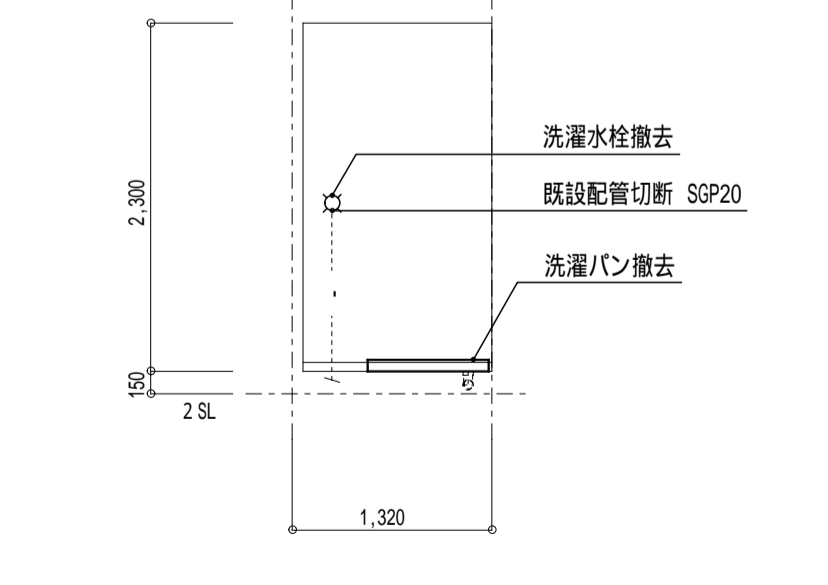
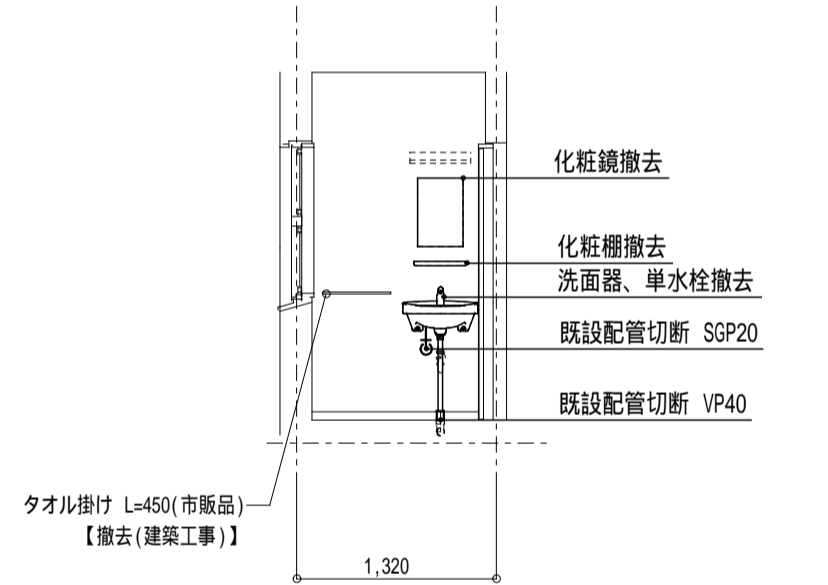
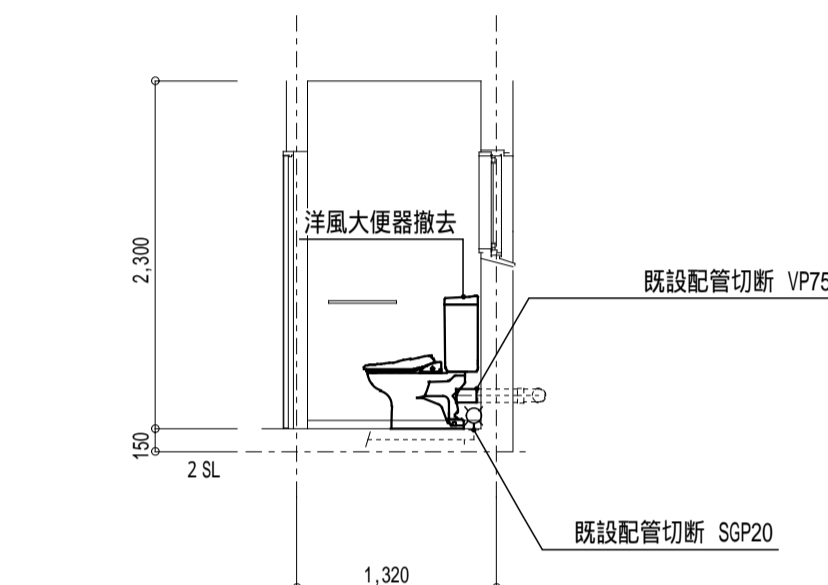
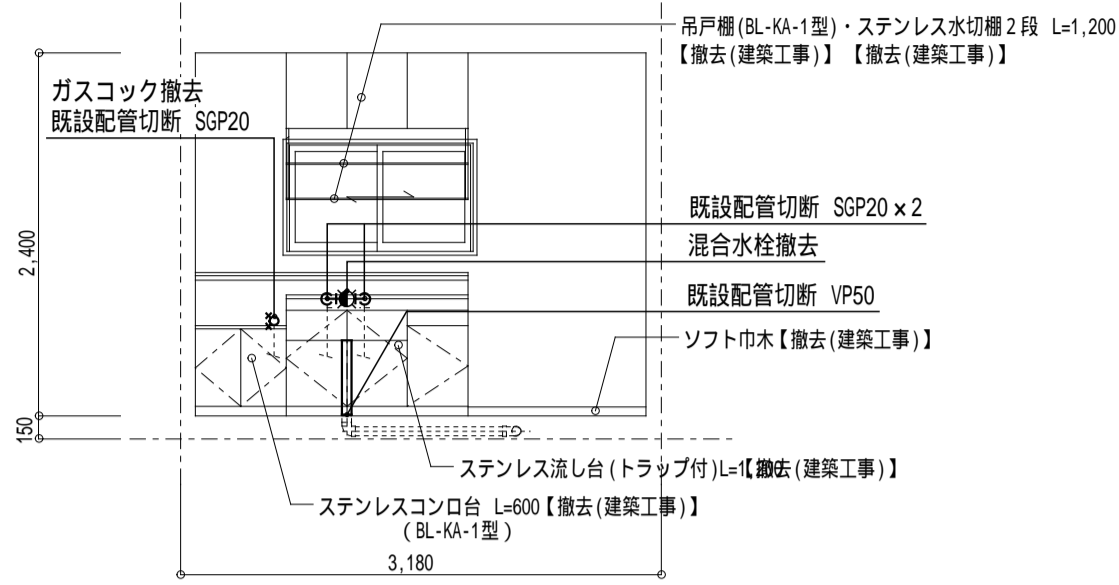
図中 — は、撤去 (配管・器具類) を示す。
 図中 - - - は、既設 (配管・器具類) を示す。

1号棟2-1 (改修後)



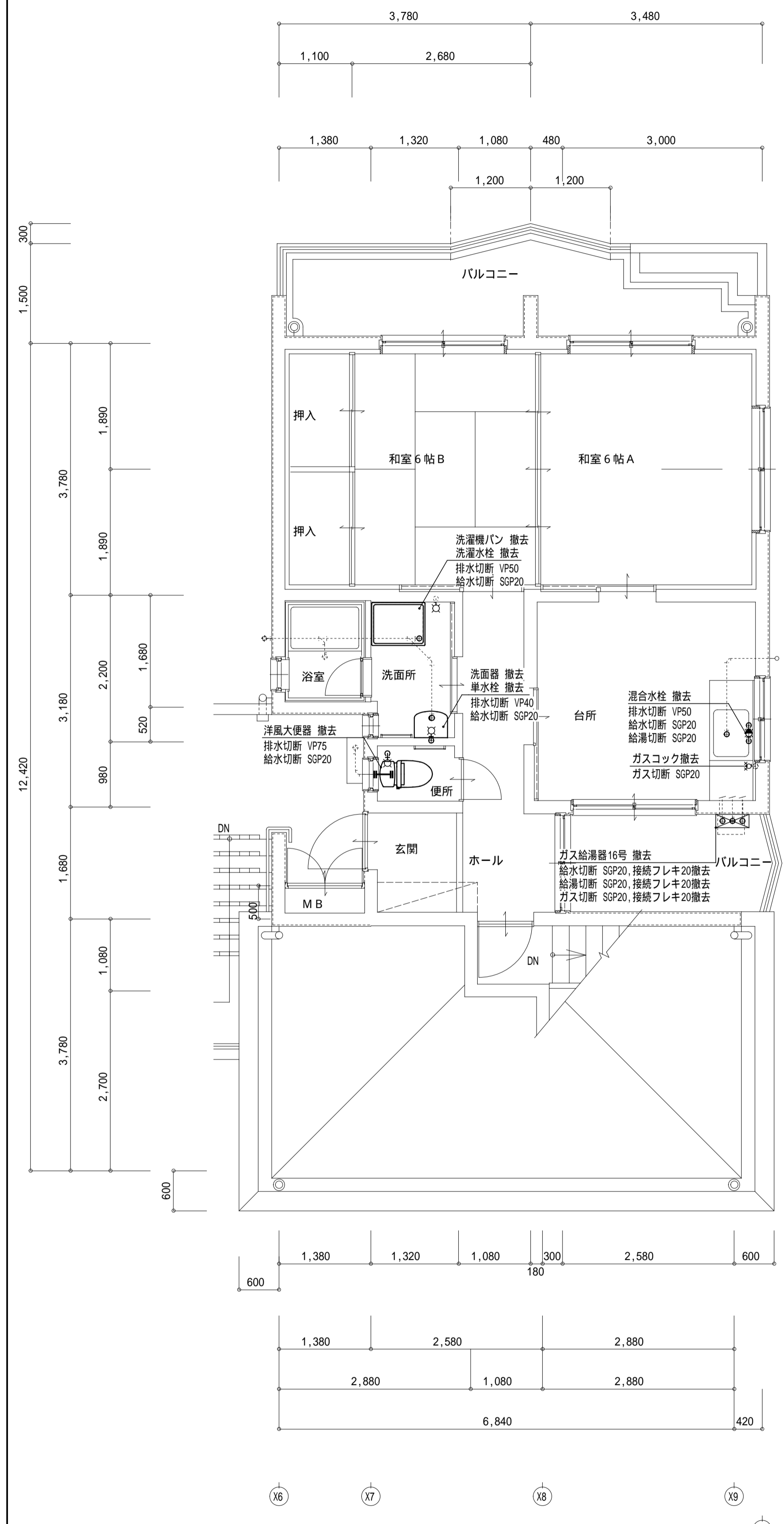
平面詳細図 2-1 (改修後・給排水設備) S=1/50

図中 — は、新設 (配管・器具類) を示す。
 図中 - - - は、既設 (配管・器具類) を示す。



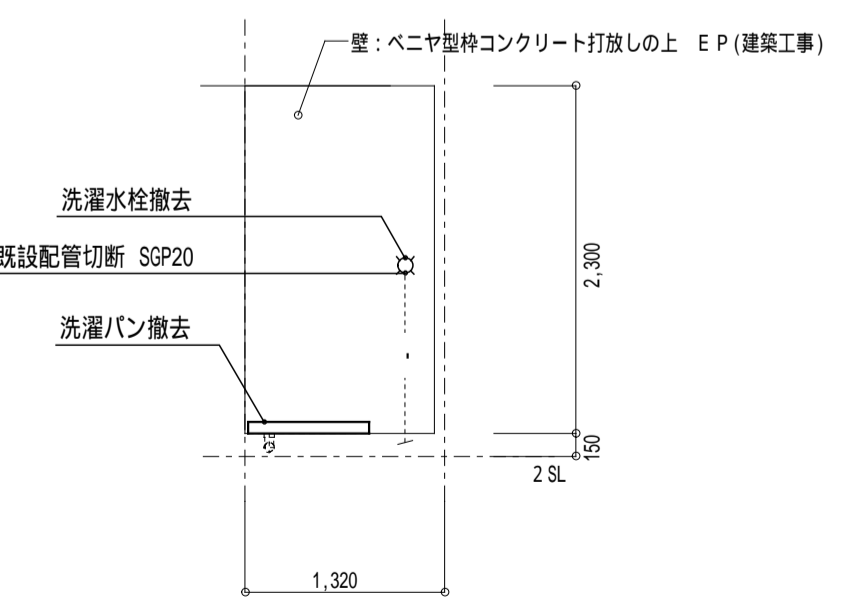
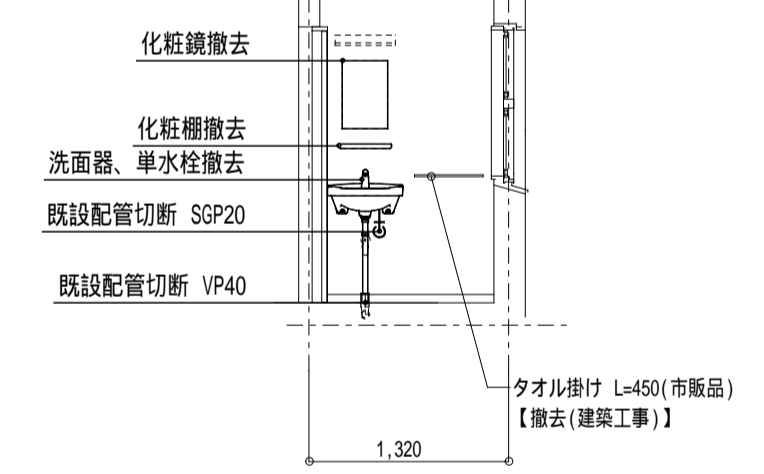
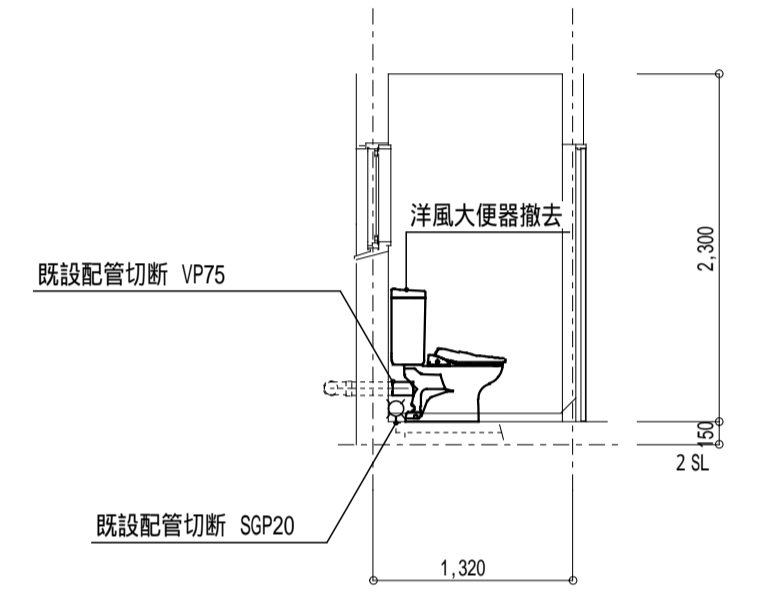
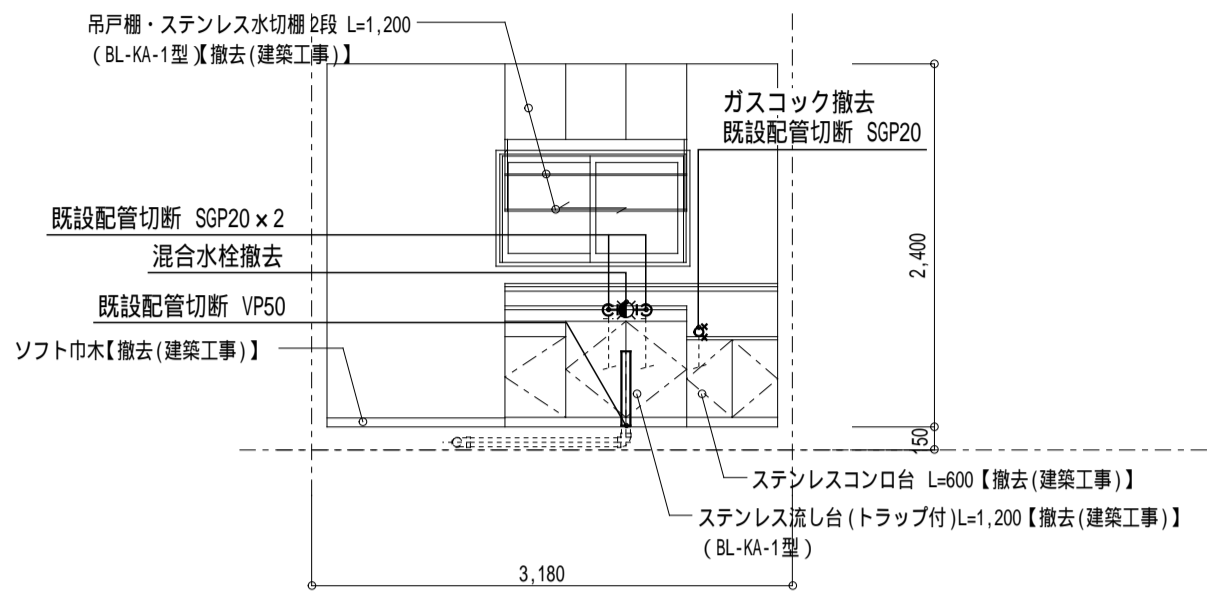
一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号	管理技術者	主任技術者	製図	補助	設計年月日	工事名	公営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事	図面番号
永園設計株式会社					縮尺	図面種類	1号棟2-1 平面詳細図 (給排水設備)	M-007
管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信					1:50 (A1) 1:100 (A3)			

1号棟2-2 (撤去)

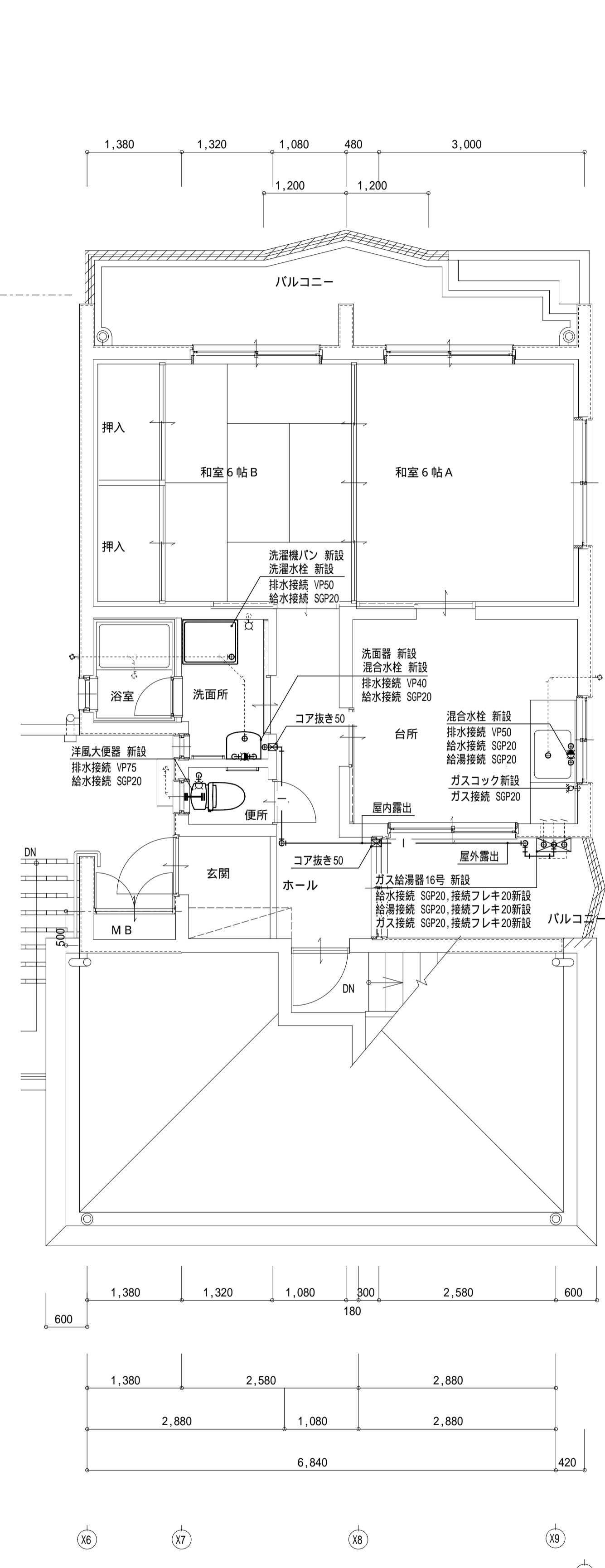


平面詳細図 2-2 (撤去・給排水設備) S=1/50

図中 — は、撤去 (配管・器具類) を示す。
 図中 - - - は、既設 (配管・器具類) を示す。

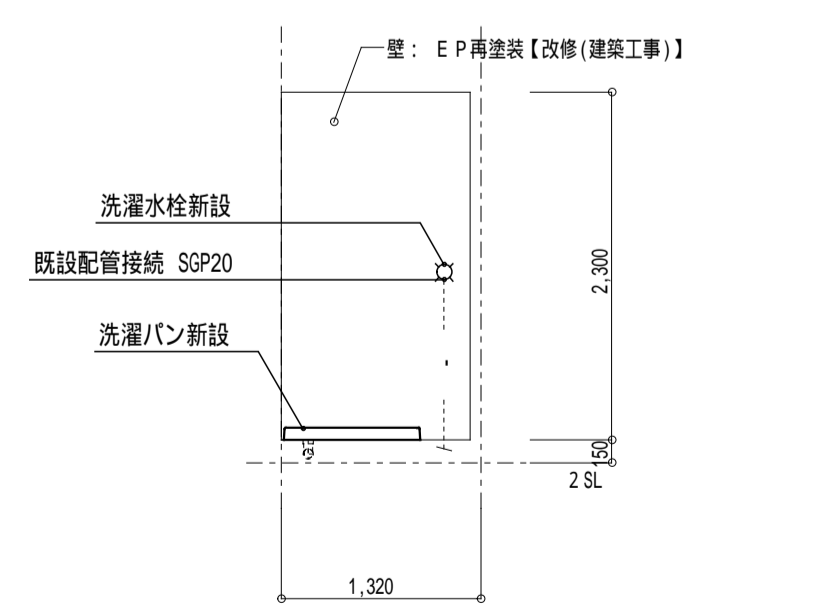
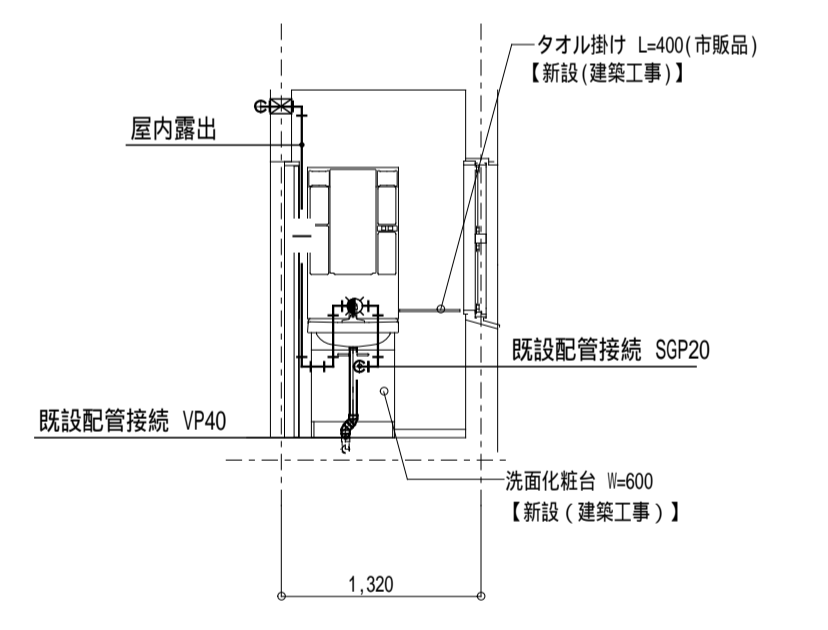
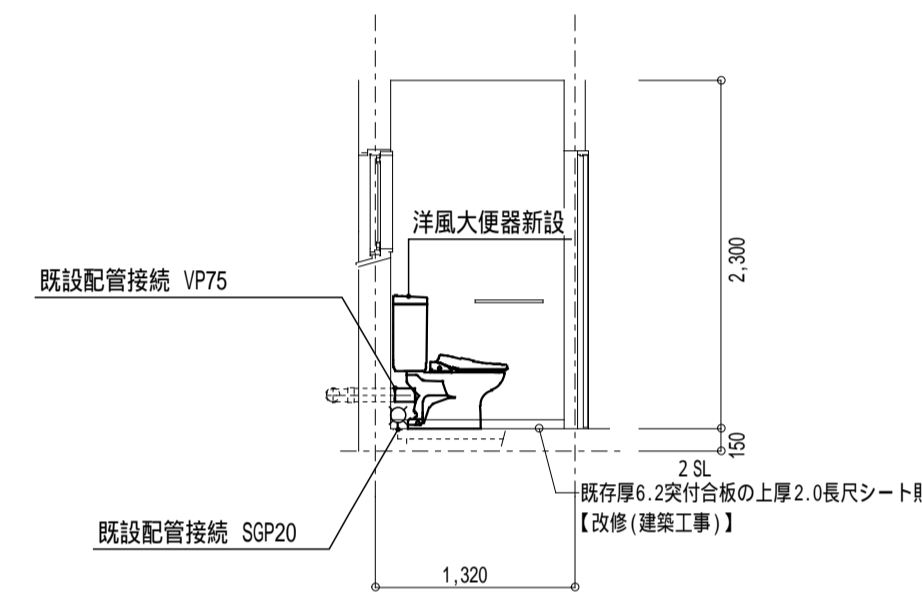
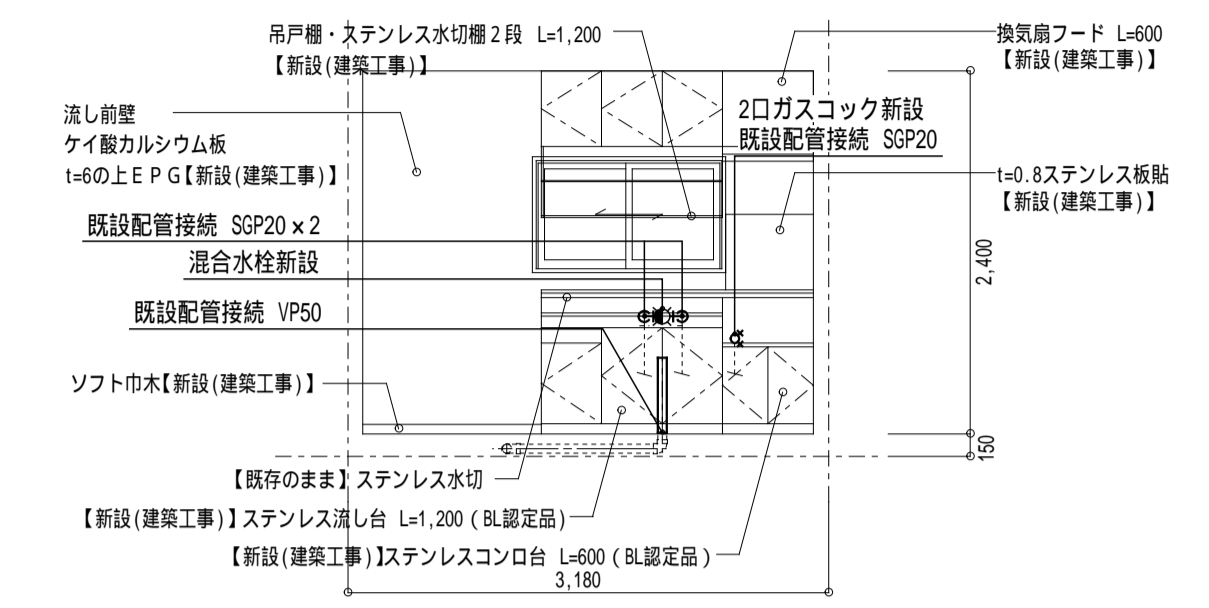


1号棟2-2 (改修後)



平面詳細図 2-2 (改修後・給排水設備) S=1/50

図中 — は、新設 (配管・器具類) を示す。
 図中 - - - は、既設 (配管・器具類) を示す。



一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号	管理技術者	主任技術者	製図	補助	設計年月日	工事名	図面番号
永園設計株式会社					縮尺	公営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事	M-008
管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信					1:50 (A1) 1:100 (A3)	1号棟2-2 平面詳細図 (給排水設備)	

管種使用区分表

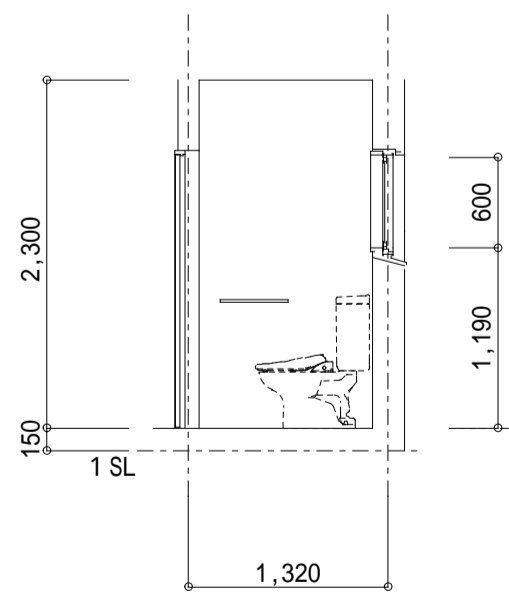
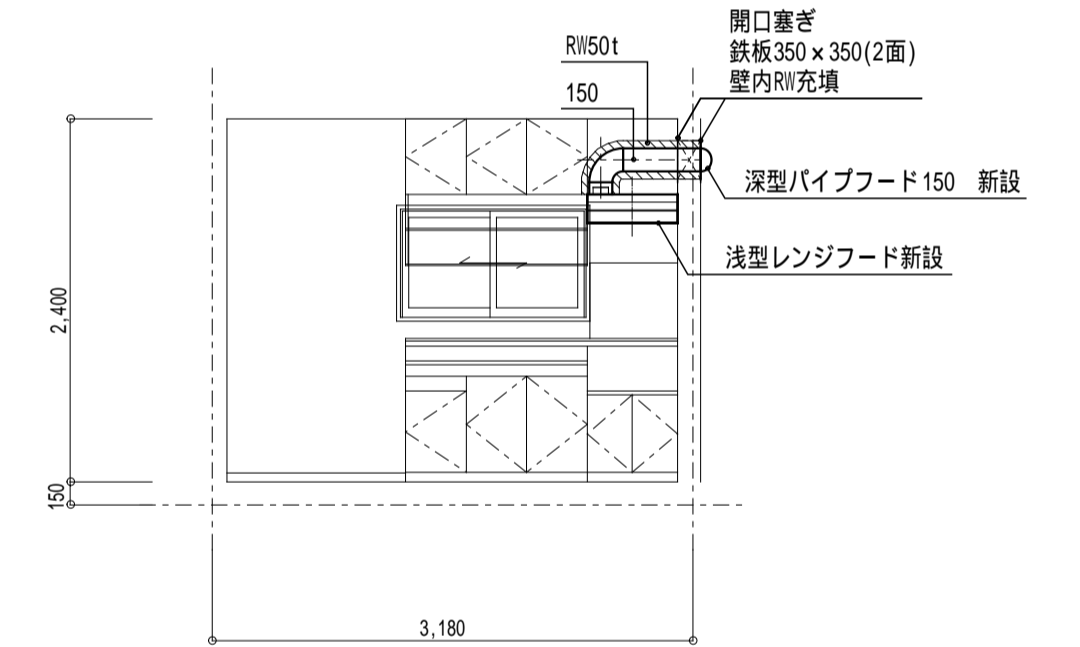
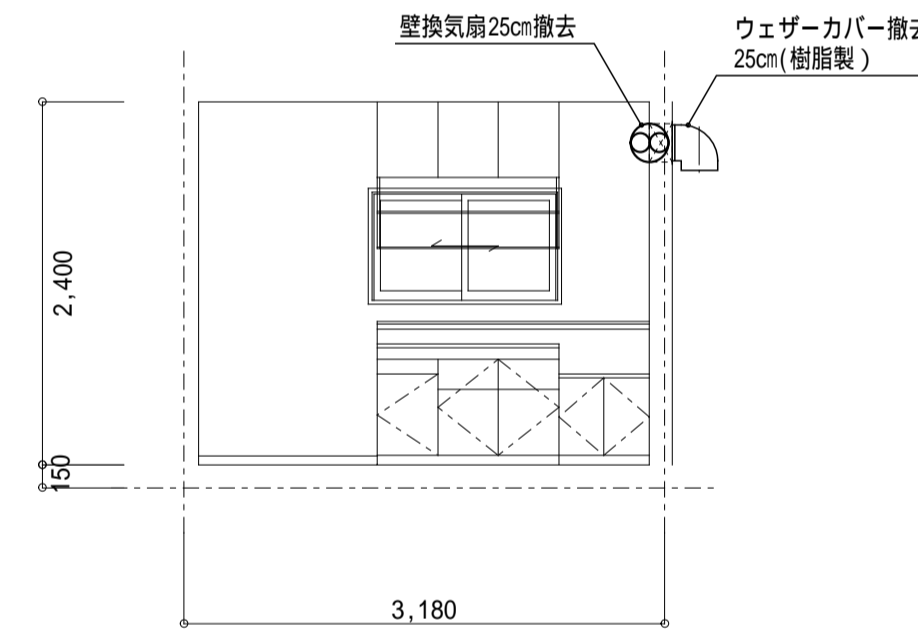
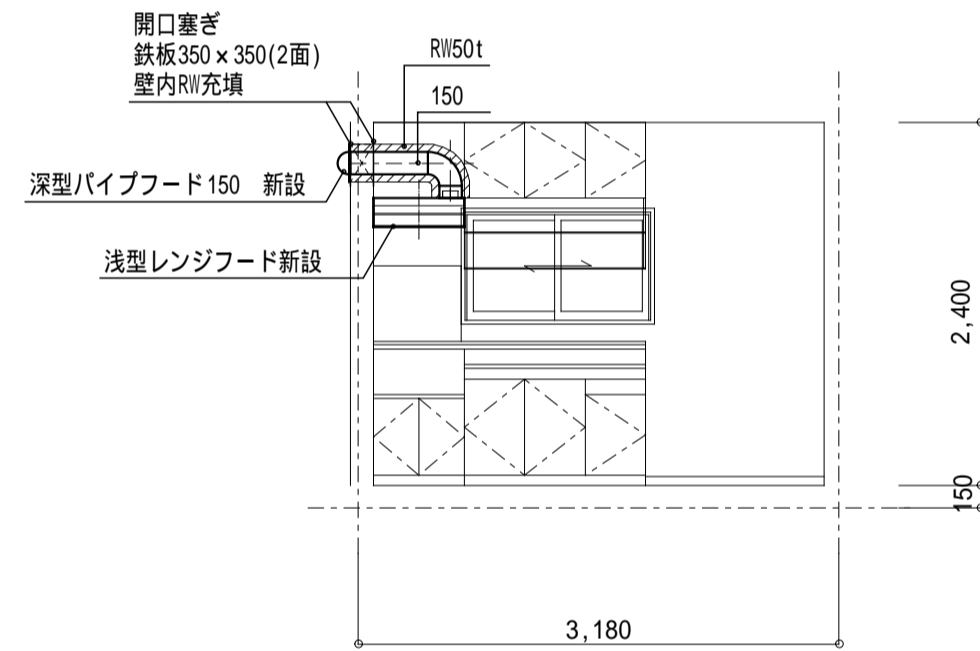
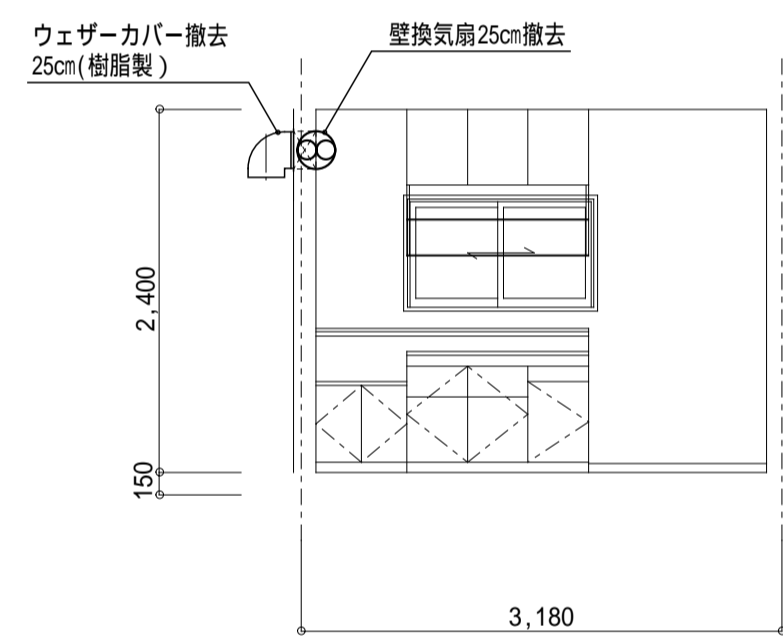
名称	記号	管種
換気管	—	スパイラルダクト 機器接続部：鉄フレキ

防露・保温仕様

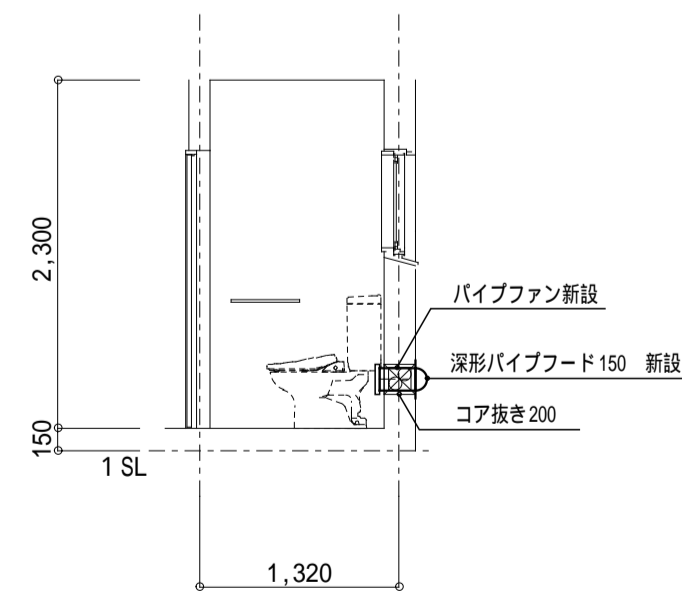
名称	屋内隠蔽
換気管	RW50t (レンジフード系統)

機器仕様一覧表

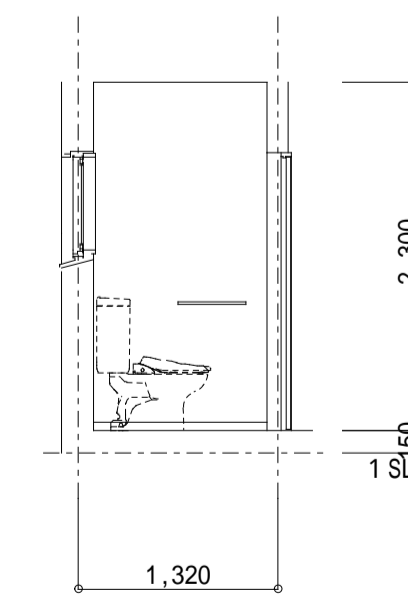
機器番号	室名称	室名称	台数 (台)	機器風量 (m ³ /h)	機外静圧 (Pa)	電源 ()	電圧 (V)	消費電力 (w)	備考
FE-1	1号棟 台所	レンジフードファン ・浅形・標準タイプ ・シャッター付	4	400	50	1	100	125	ステンレス製深型パイプフード 150 (指定色塗装)
FE-2	1号棟 便所	パイプファン ・樹脂製 ・角格子形	4	50	20	1	100	10	ステンレス製深型パイプフード 150 (指定色塗装)



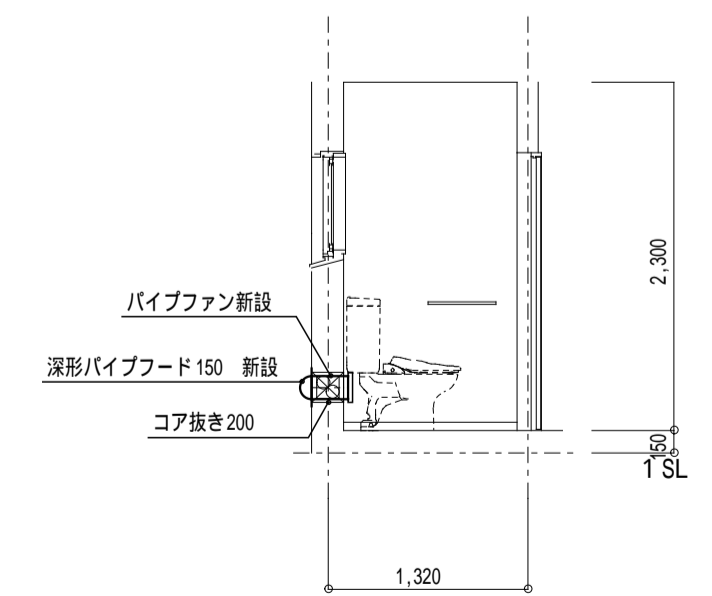
詳細図 (撤去) S=1/50



詳細図 (新設) S=1/50



詳細図 (撤去) S=1/50



詳細図 (新設) S=1/50

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号
永園設計株式会社
 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信

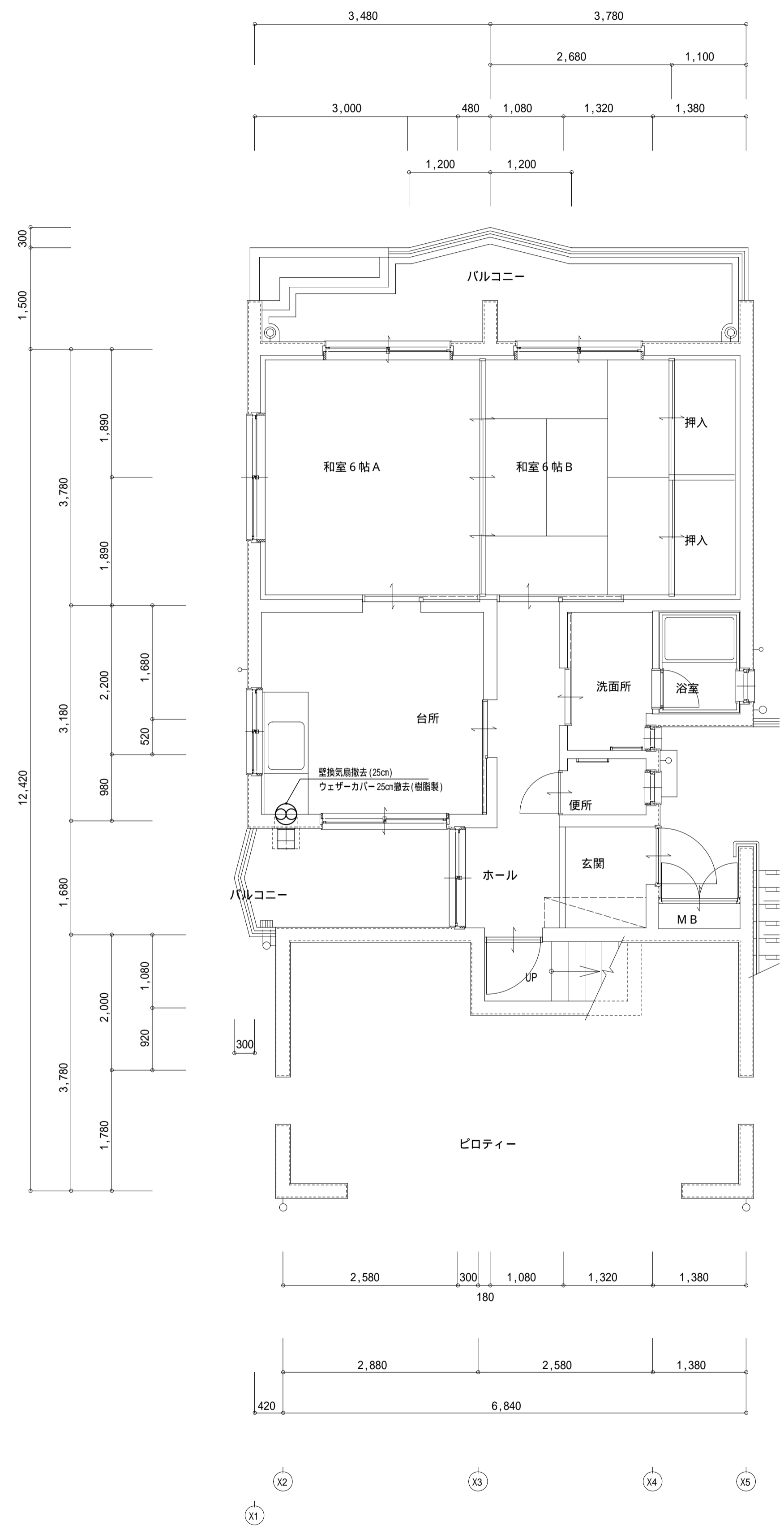
管理技術者 主任技術者 製図 補助

設計年月日
 縮尺
 1:50 (A1)
 1:100 (A3)

工事名 公営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事
 図面種類 換気設備機器仕様一覧表・詳細図

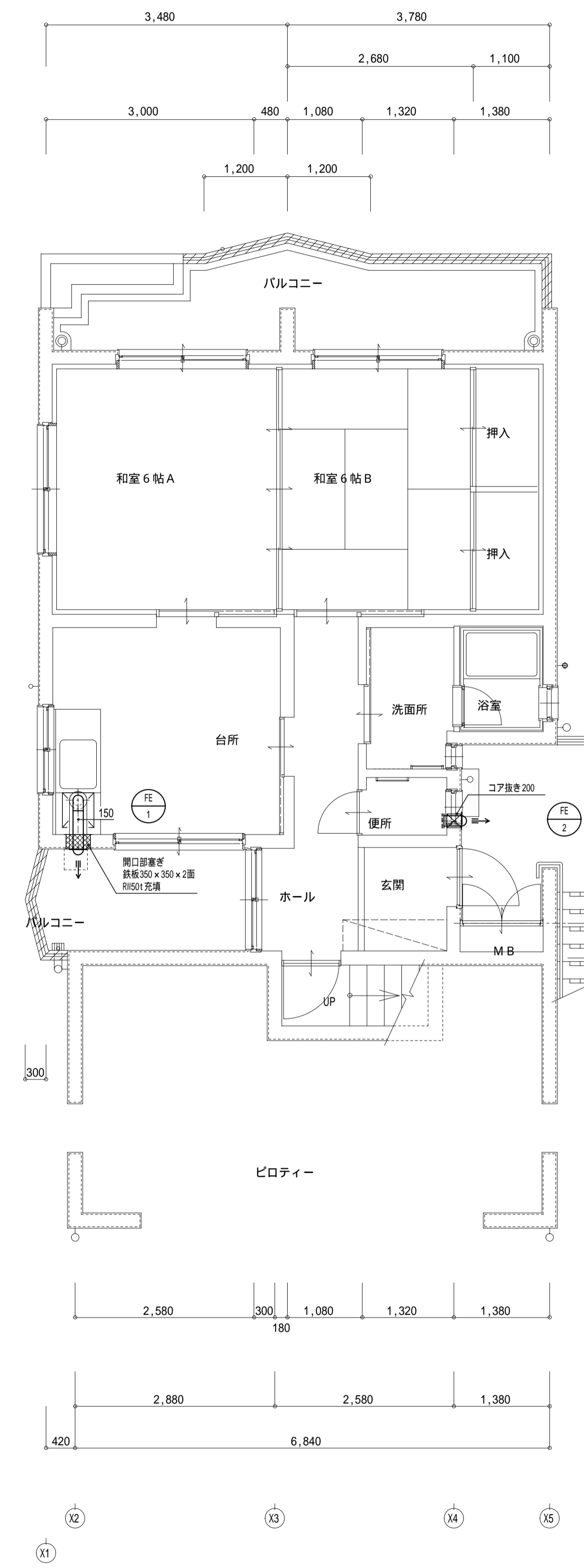
図面番号
M-009

1号棟1-1 (撤去)



平面詳細図 1-1 (撤去・換気設備) S=1/50

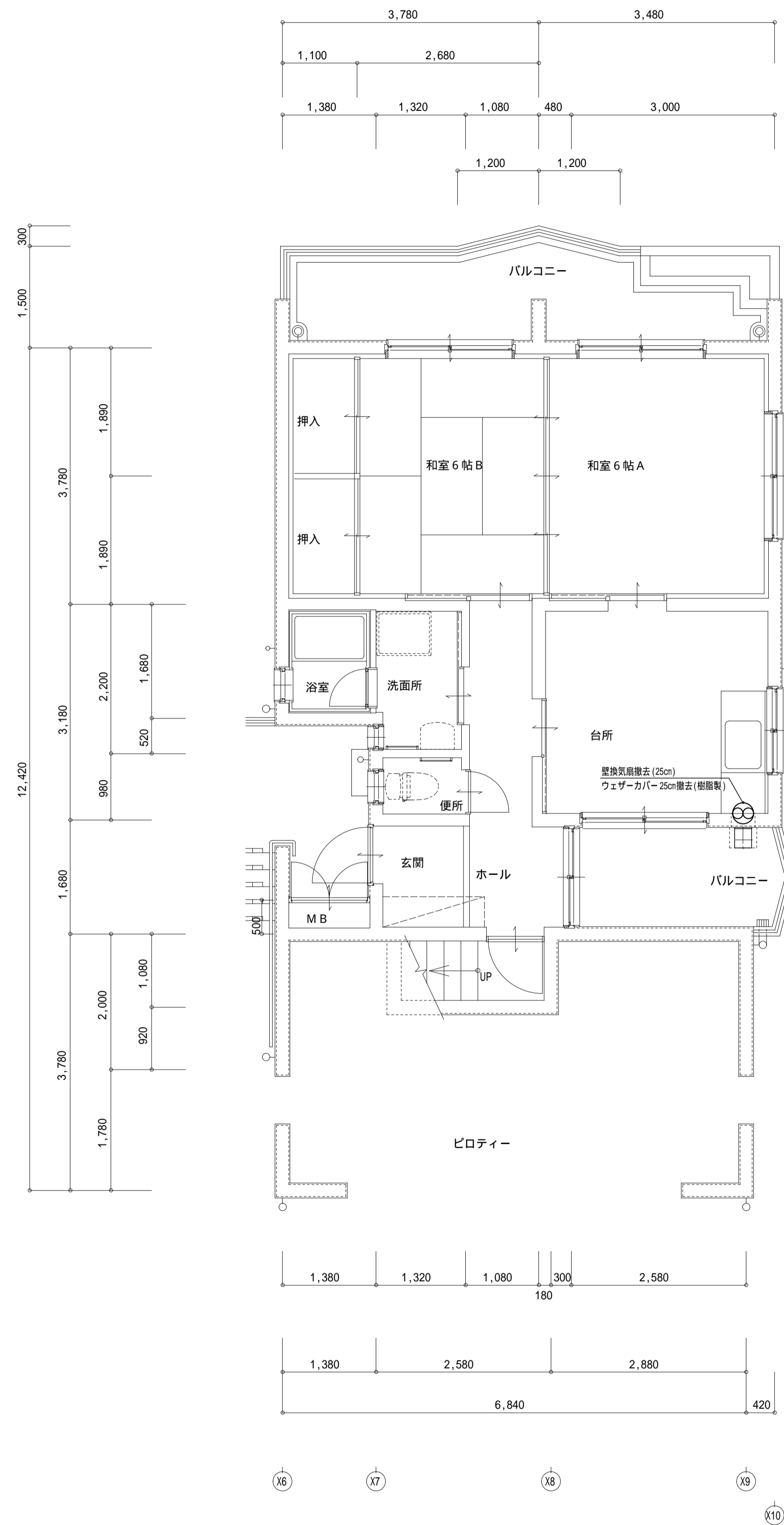
1号棟1-1 (改修後)



平面詳細図 1-1 (改修後・換気設備) S=1/50

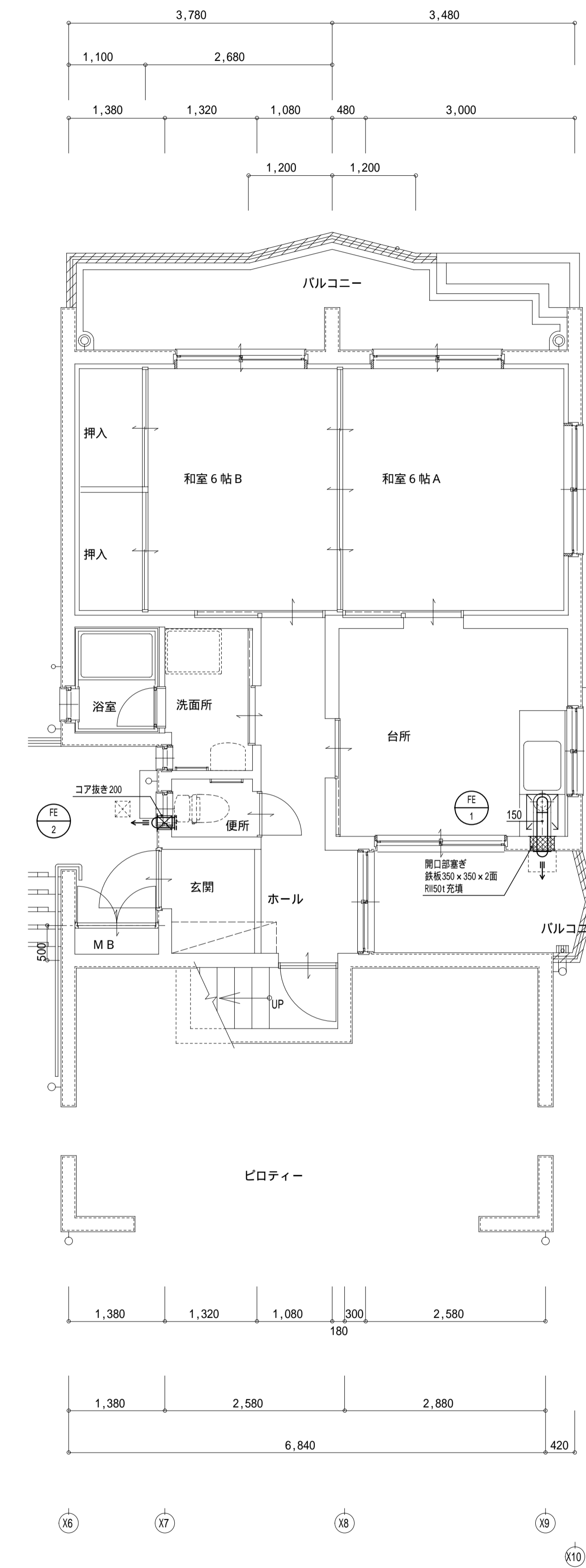
一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者	主任技術者	製図	補助	設計年月日	工事名	図面番号
					縮尺	公営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事	M-010
					1:50 (A1) 1:100 (A3)	1号棟1-1 平面詳細図 (換気設備)	

1号棟1-2 (撤去)



平面詳細図 1-2 (撤去・換気設備) S=1/50

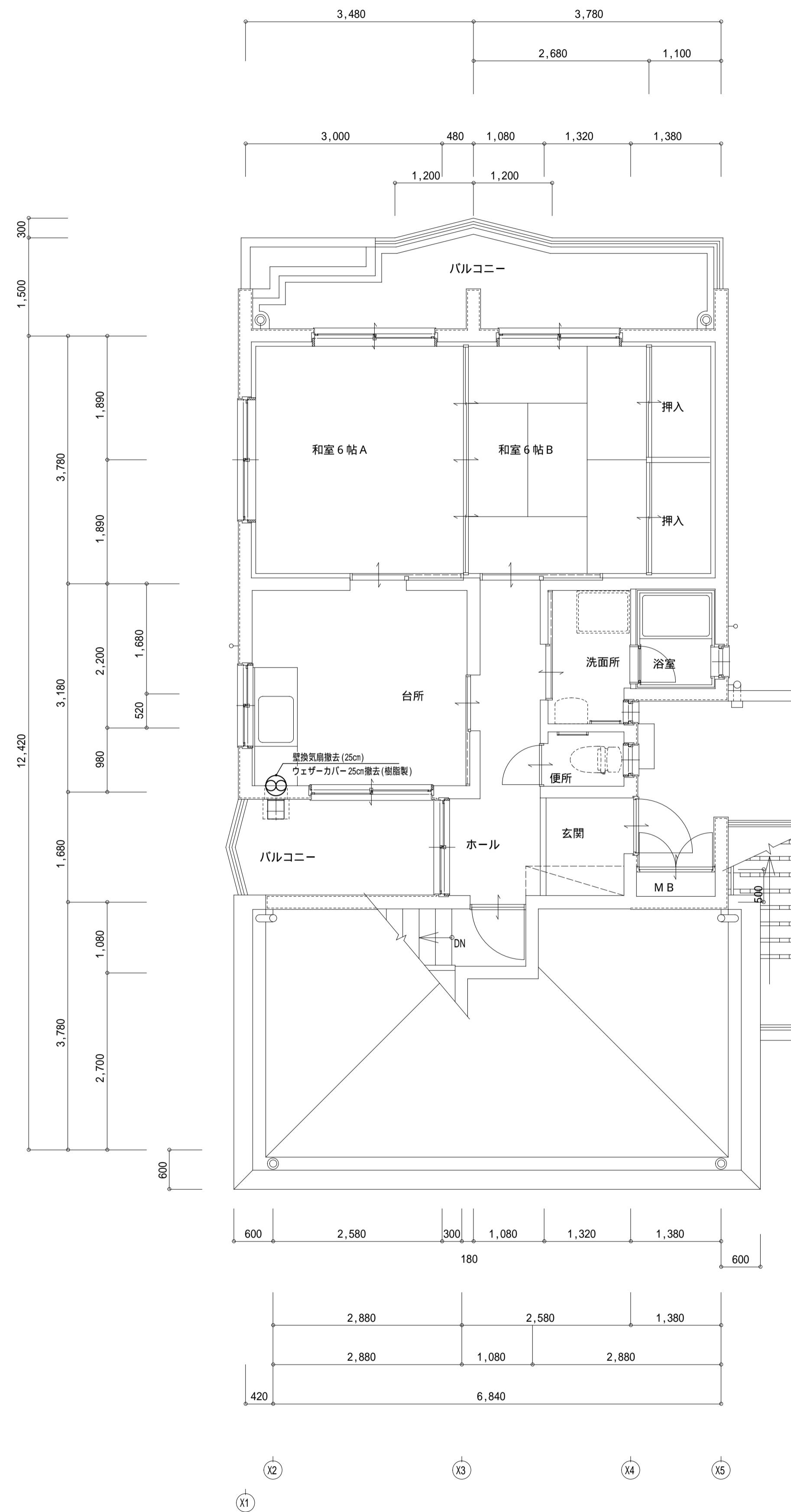
1号棟1-2 (改修後)



平面詳細図 1-2 (改修後・換気設備) S=1/50

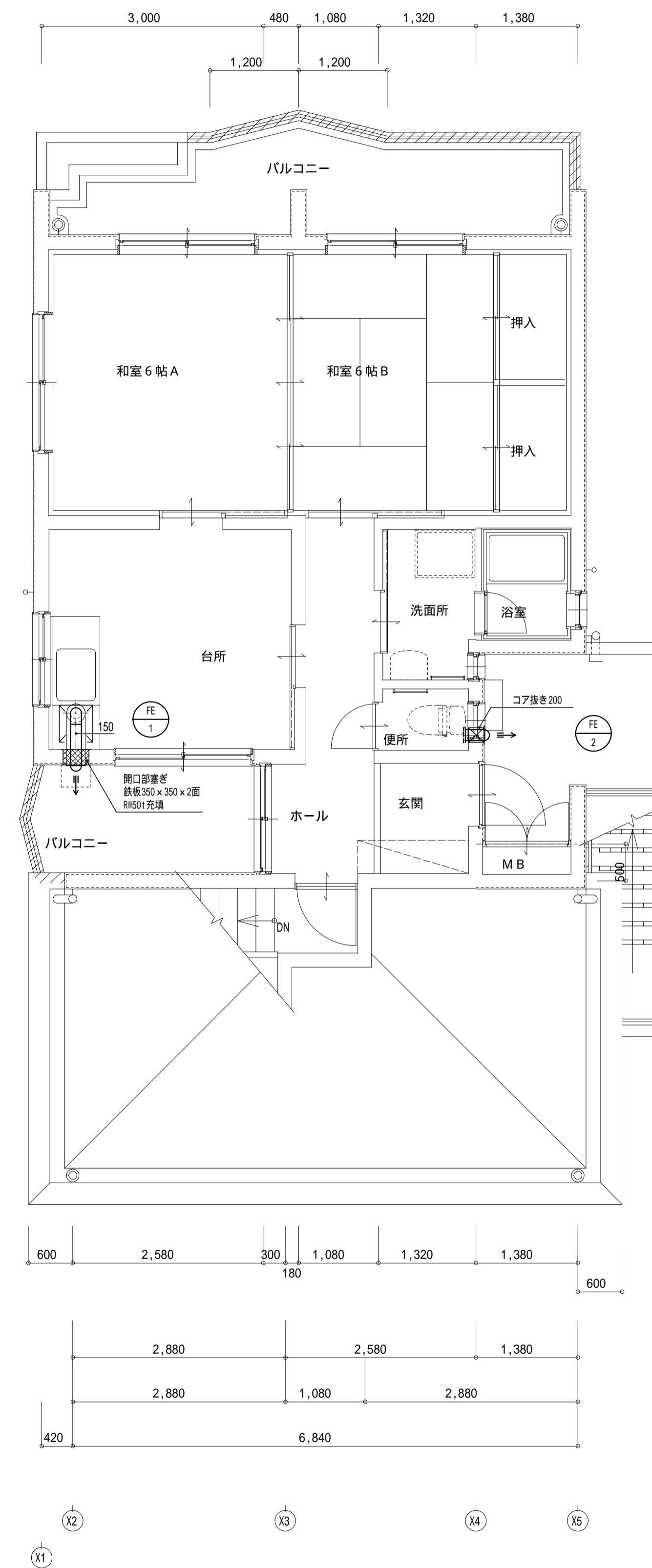
一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者	主任技術者	製図	補助	設計年月日	工事名	図面番号
					縮尺	公営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事	M-011
					1:50 (A1) 1:100 (A3)	1号棟1-2 平面詳細図 (換気設備)	

1号棟2-1 (撤去)



平面詳細図 2-1 (撤去・換気設備) S=1/50

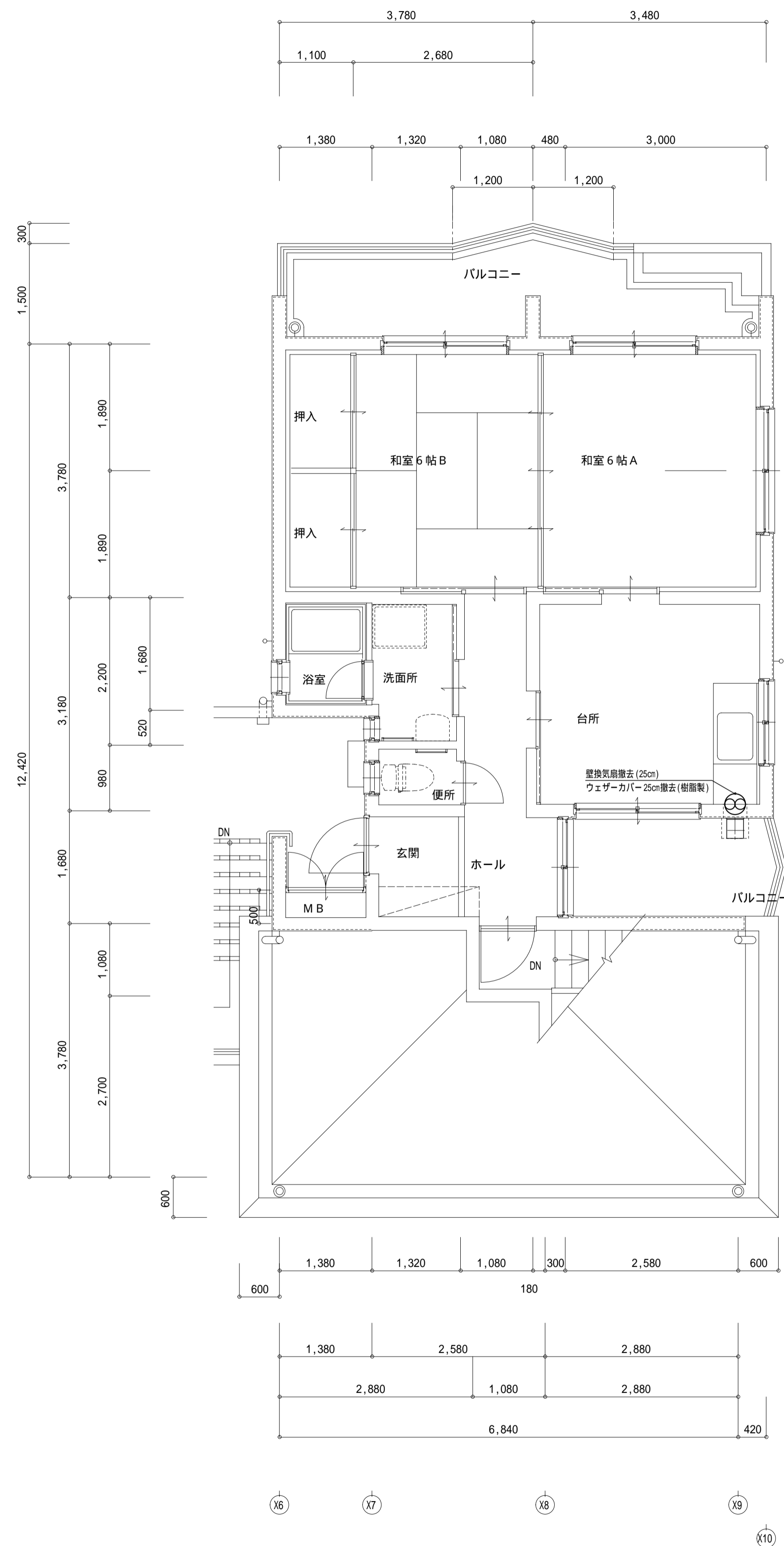
1号棟2-1 (改修後)



平面詳細図 2-1 (改修後・換気設備) S=1/50

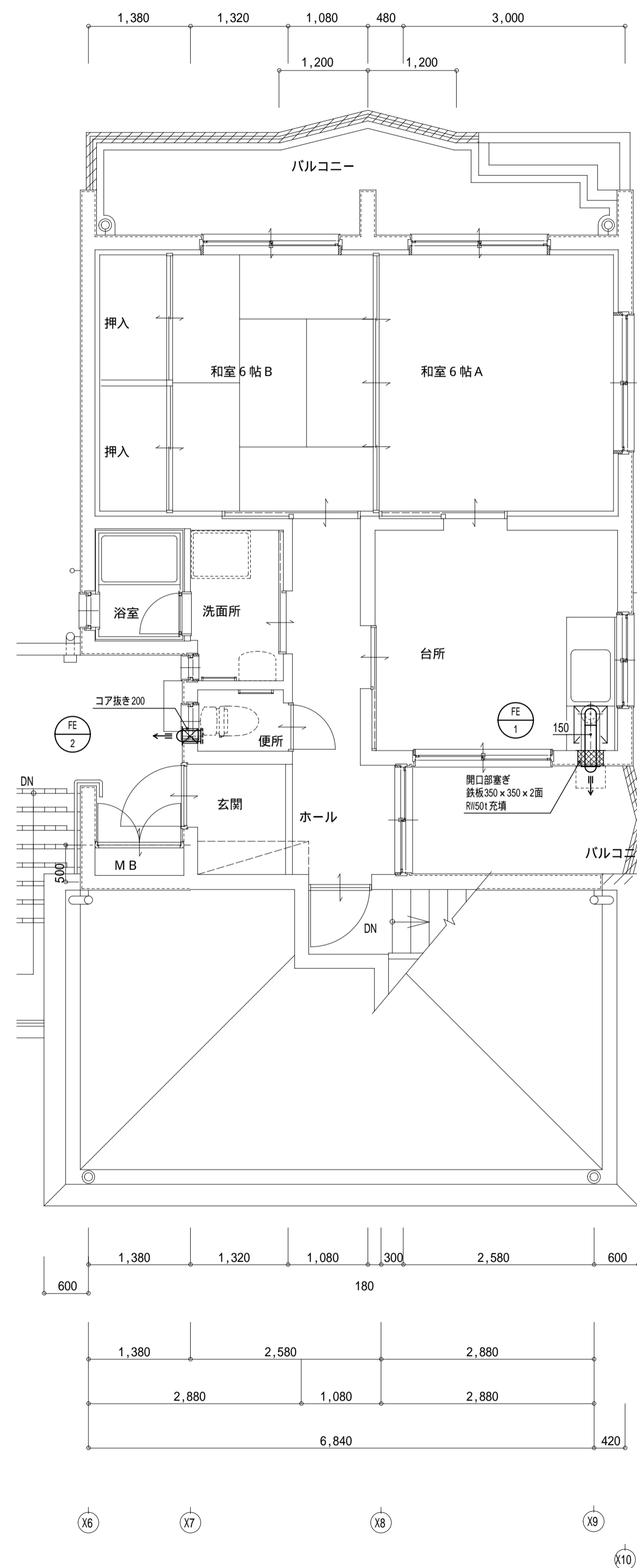
一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日	工事名	図面番号
		縮尺	図面種類	M-012
		1:50 (A1) 1:100 (A3)	1号棟2-1 平面詳細図 (換気設備)	

1号棟2-2 (撤去)



平面詳細図 2-2 (撤去・換気設備) S=1/50

1号棟2-2 (改修後)

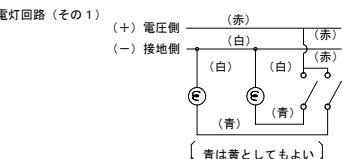
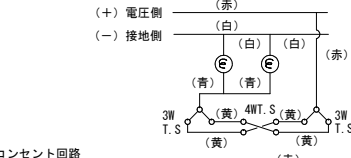
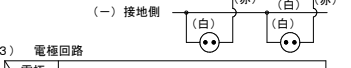


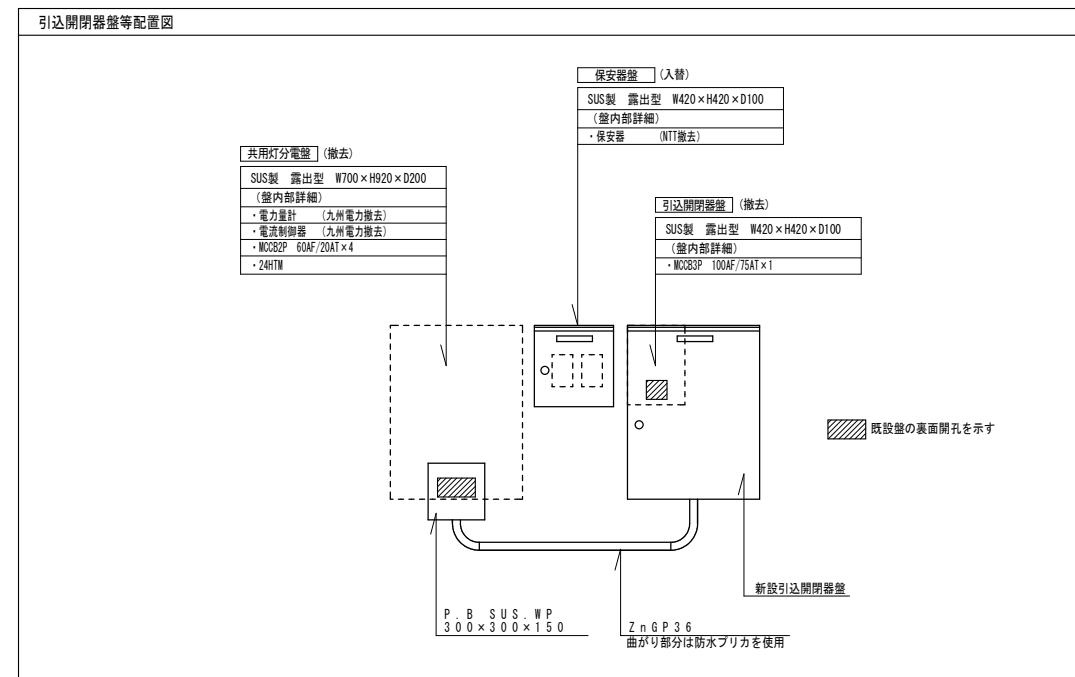
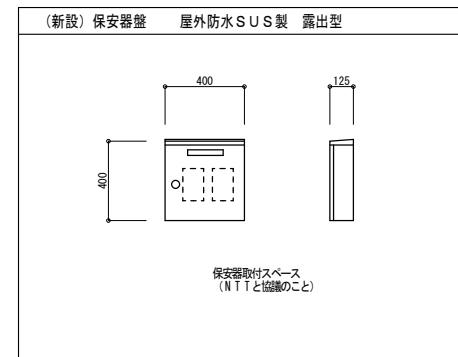
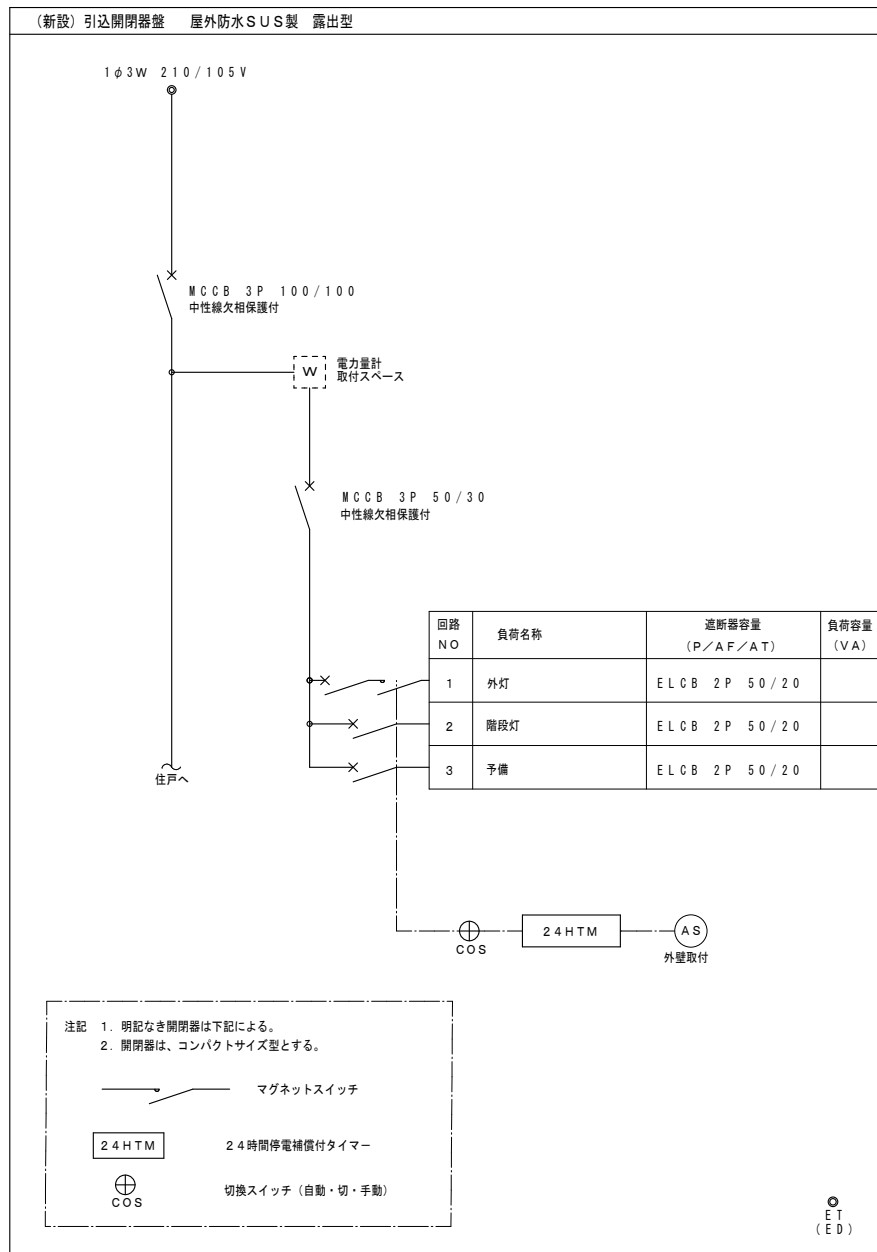
平面詳細図 2-2 (改修後・換気設備) S=1/50

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者	主任技術者	製図	補助	設計年月日	工事名	図面番号
					縮尺	公営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事	M-013
					1:50 (A1) 1:100 (A3)	1号棟2-2 平面詳細図 (換気設備)	

— 公営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事 —

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
D-01	表紙・図面リスト	—	D-26	改修前・後 平面詳細図【1-2】	1/30	E-01	電気設備特記仕様書	—	M-01	機械設備特記仕様書	—
D-02	建築改修工事特記仕様書-1	—	D-27	改修前 展開図【1-2】	1/50	E-02	引込開閉器盤 結線図	—	M-02	配置図, 凡例表, 衛生器具表, 特記事項	1/100
D-03	建築改修工事特記仕様書-2	—	D-28	改修後 展開図【1-2】	1/50	E-03	改修後 1階 2階電気設備平面図	1/100	M-03	改修後 設備平面図	1/100
D-04	建築改修工事特記仕様書-3	—	D-29	改修前・後 平面詳細図【2-1】	1/30	E-04	改修前 1階 2階電気設備平面図	1/100	M-04	改修前 設備平面図	1/100
D-05	建築改修工事特記仕様書-4	—	D-30	改修前 展開図【2-1】	1/50				M-05	改修前・後 1階平面詳細図(給排水設備)	1/50
D-06	建築改修工事特記仕様書-5	—	D-31	改修後 展開図【2-1】	1/50				M-06	改修前・後 1階平面詳細図(給排水設備)	1/50
D-07	建築改修工事特記仕様書-6	—	D-32	改修前・後 平面詳細図【2-2】	1/30				M-07	改修前・後 2階平面詳細図(給排水設備)	1/50
D-08	建築改修工事特記仕様書-7	—	D-33	改修前 展開図【2-2】	1/50				M-08	改修前・後 2階平面詳細図(給排水設備)	1/50
D-09	建築改修工事特記仕様書-8	—	D-34	改修後 展開図【2-2】	1/50				M-09	換気機器表・詳細図	1/50
D-10	建築改修工事特記仕様書-9	—	D-35	改修後 天井伏図	1/100				M-10	改修前 1階平面詳細図(換気設備)	1/50
D-11	設計概要, 附近見取図, 配置図	1/100	D-36	改修後 建具符号図	1/100				M-11	改修前 1階平面詳細図(換気設備)	1/50
D-12	仕上表, 内部改修一覧表	—	D-37	改修後 建具表-1	1/50				M-12	改修前 2階平面詳細図(換気設備)	1/50
D-13	敷地・建物 求積図・求積表	1/100, 1/200	D-38	改修後 建具表-2	1/50				M-13	改修前 2階平面詳細図(換気設備)	1/50
D-14	改修前 平面図・屋根伏図	1/100	D-39	外壁改修仕様書	—						
D-15	改修後 平面図・屋根伏図	1/100	D-40	外壁等調査図(立面図)	1/100						
D-16	改修後 立面図	1/100	D-41	外壁等調査図(揚裏図)	1/100						
D-17	改修後 断面図	1/100	D-42	外壁等調査図(屋根伏図)	1/100						
D-18	改修前 矩計図【1-1】【2-1】	1/30									
D-19	改修後 矩計図【1-1】【2-1】	1/30									
D-20	改修前 矩計図【1-2】【2-2】	1/30									
D-21	改修後 矩計図【1-2】【2-2】	1/30									
D-22	改修後 階段詳細図	1/30									
D-23	改修前・後 平面詳細図【1-1】	1/30									
D-24	改修前 展開図【1-1】	1/50									
D-25	改修後 展開図【1-1】	1/50									

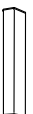




特記仕様書		区分	項目	特記事項	区分	項目	特記事項	区分	項目	特記事項	区分	項目	特記事項																																																																																						
I 工事概要	町営住宅第3区頭団地1号棟改修工事	1	1. 工事場所	鹿児島県大島郡泊町区頭3088-1	1	① プレート	配線器具等のプレートは下記による。(●を適用) ●樹脂 ○新金属 OWP ○ステンレス	3	③ 照明器具の取付	(1) 原則として、照明器具は、スラブその他構体面に呼び径9mm以上の吊りボルト等を取付ける。 (2) 野線受けにより支持する場合は、監督員の承諾を得ること。 (3) 吊りボルトは垂直に器具を吊るものとし、インサート位置の芯出し誤差は5mm以内とする。5mmを超える誤差を生じたときはインサート調整金具等により吊りボルト位置の調整をする。 (4) 監督員の指示あるときは、取付詳細図は、提出し、承諾を得ること。	発 電 設 備 工 事	1. 発電装置	図面仕様によるほか下記による。(●を適用) (1) 発電機 通風方式 ●自通風式 ○強制風冷式 (2) ディーゼル機関、タービン機関 共通床式で防護装置付とする。 始動方式 ●電気式 ○圧縮空気式 (3) 充電池装置 充電池は自動充電装置および過充電防止装置付とする。																																																																																						
	2. 建築物概要		構造RC OSRC OS OW 階上2階 面積269.99㎡ 建築基準法別表第一-〇項 消防法施行令別表第一-〇項 用途耐震安全性の分類○特定の施設 ○一般の施設 地域係数●1.0 ○	1.8 配管の塗装		塗装の素地ごしらえは、汚れ、付着物及び油膜の除去すること。 (鉄鋼はフヤコシラ、サンド等および落しを行う。)。 塗装は、素地ごしらえの後に、合成樹脂顔料ペイント2回の塗装を行うこと。 なお、さび止めペイントは、素地ごしらえ後「一般形水性エポキシ樹脂及び止むペイント」「炭化エポキシ樹脂プライマーおよび弱溶剤系水性エポキシ樹脂プライマー」とする。	4. 電極棒の長さ		機械設備工事と協議すること。また、別に定める「電極棒の長さの設定基準」による。	2. 電線の色別		本特記仕様書電力設備工事の1項による。 消防法等による非常電源としての発電設備は、消防法及び建築基準法に適合したものである。 1. 電線の色別は下表による。																																																																																							
II 一般事項	1. 本工事は、本特記仕様書によるほか、国土交通省大臣官房官庁幹部設備の公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和7年版)、国土交通省大臣官房官庁幹部設備・環境課監修の公共建築改修工事標準図(電気設備工事編)(令和7年版)(以下標準仕様書という)による。	2	2. 機械設備工事及び建築改修工事を含む場合、機械設備工事及び建築改修工事はそれぞれの工事標準仕様書を採用する。	3. 耐震施工は、「建築設備耐震設計 施工指針2014年版(国土交通省国土技術政策総合研究所監修)による。	3	② ケーブル配線	ケーブルの配線は、産業廃棄物を損傷しないよう支持して布設すること。	4	⑤ 配線器具	図面に特記ないかぎり大径用埋込型とする。	通信 情 報 設 備 工 事	2. 端子盤	(2) 通線線の色別は、青・黄・緑・赤の順とする。																																																																																						
	4. 本工事の使用資材の品質、規格、種別等は特記事項に○印をつけたものを適用すること。		5. 施工計画書は、着工に先立ち、別に定める様式により作成し、監督員に提出する。	6. 本工事の施工に必要な官公庁等への手続きに要する費用は、契約金額の範囲内とする。		7. 本工事の受発注の日から完成引渡(手直し完了まで)の旨まで特記された電気設備材料は契約金額の範囲内とする。ただし、発注の取り扱いは、別途、協議を監督員と行うこと。	8. 本工事で、特記事項に定める「立会い検査を要する施工工程」に達するときは、事前に監督員へ書面にて連絡して、立会い検査もしくは指示に従うこと。(標p14.1.5.5)		9. 設計図面に明記なくとも機械の機能上当然必要となるものについては原則としては原則として発注者の範囲内で施工する。ただし、軽微なものに限るものとする。	10. 発注者の範囲内においては、関係法令に基づき、適正に処理すること。(標p11.1.3.9)		11. 各工種の施工に当たっては、関係法令に定められた有資格者を配置すること。	12. 前払金について。(●を適用) ○契約金額の40%の範囲内で請求することができる。 ○出来高予定額の10%の範囲内で請求することができる。 ○建設工事請負契約書第4条第3項を適用し、契約金年度に要する前払金も含めて契約金額の40%の範囲内で請求することができる。	13. 中間前払い	1. 本工事において、中間前払い又は部分払いはいずれかを選択するものとする。 1) 中間前払い ●中間前払いを選択した場合、部分払いは行わない。 ○中間前払いを選択した場合、契約金年度末には出来高予定額に応じた部分払いを受けることができる。(契約金年度出来高予定率%) 2) 部分払い 本工事で前払金を支払ったものについては2回、支払いがなされないものについては3回を超えて部分払いをすることはできない。	14. 「工事カルテ」の作成が必要がある場合(工事費換金が500万円以上)には、工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員に提出し承諾を得た後に、(財)日本建設情報総合センターに登録するものも同時に登録する(登録内容確認)の旨を監督員に提出すること。ただし、期間については契約締結後、土、日、祝日を除く10日以内とする。(標p5.1.1.4)受注済、変更済、完成済	15. 下請工事における管内(県内)建設業者の優先利用について 1) 受注者は、工事の一部を下請に付する場合は、施工地を管轄する地域振興局等の管内に主たる営業所を有する業者を選定することとする。 2) 受注者は、前項で定めた建設業者を活用しない場合は、施工計画書の提出と併せて「下請工事における管内建設業者等不活用状況報告書」を監督職員に提出すること。 3) 監督職員から指示された場合、下請業者を使用実績報告書」を監督職員に提出すること。	16. 県産資材等の優先利用について 1) 工事に使用する資材については、県内で産出、生産または製造されたもの(以下「県産資材」という。)の優先使用に努めることとし、さらに、県産資材以外の資材等についても、県内に本店を置く資材業者等から調達するよう努めることとする。 2) 受注者は、「県産資材等不活用状況報告書」において県産資材の使用の有無を記載するとともに、以下の記載する「指定資材」の中で県産資材を使用しない場合「県産資材等不活用状況報告書」を監督職員に提出し、承諾を得なければならない。 (指定主要資材(7品目) 生コン(レディミクスコンクリート)、コンクリート二次製品、石材類、スチール材、木材、樹木、野芝 3) 前項の「県産資材等不活用状況報告書」において、第1項の資材業者等から調達しない場合は、その理由を記載すること。 4) 受注者は、工事完成時及び監督職員から指示された場合、「建設資材使用実績報告書」の電子(Excel)データを提供する旨を監督職員に提出すること。	① 工事報告	工事報告は、別に定める工事出来高報告書により毎月末の見込み出来高を当月の20日までに監督員に提出する。 (監督員が指示した場合、工事写真添付のこと) (●A-4版1部、●A-3縮小版2部、○A-1サイズ 部)	② 試験成績書	下記事項の試験成績書1部を、出来高確認時に監督員に提出する。 (1) 絶縁抵抗測定結果表 (電線相互間及び電線と大地間) (2) 接地抵抗測定結果表 (接地箇所、接地抵抗ごと) (3) 高圧保護継電器性能試験結果表 (4) 高圧機器及び高圧ケーブル絶縁試験成績書 上記(1)～(4)については、測定年月日、天候、温度、湿度、測定者氏名及び測定器具番号種別を記入する。 (5) テリ共同受信電界強度測定結果表 (6) 消防法関係設備合格証明書 (7) 回路試験結果表 (8) その他監督員の指示するもの。 上記については該当なきは不要とする。	③ 申請書類	本工事の施工に必要な官公署等への申請書類はその写しを2部ずつ作成し、完成図と一緒に提出する。	④ 完成図書	本工事について設備の概要、機器取扱い要領及び保守に関する説明書、試験成績書等(保守指導書内書)を2部作成し、完成図と一緒に提出する。	1.5. 接地標示及びケーブル埋設	(1) 接地標示 ア 標示方法・・・標示板 イ 標示位置・・・標示位置とすることが必要ときは接地極直近の屋外の見やすい位置。 ウ 標示板の寸法等は下表の数値以上とする。 <table border="1"><thead><tr><th colspan="2">標示板</th></tr><tr><th>材</th><th>寸法(mm)</th></tr></thead><tbody><tr><td>A, B, C, D種</td><td>黄銅板 90×140×1.0以上</td></tr></tbody></table> (2) ケーブル埋設標示 ア 標示方法 原則として標示板、標柱、標示ピン、及びケーブルシートによる。 イ 標示位置 ケーブルシートは、全ての地中配管に布設する。ケーブルシートは、管路の深さの2分の1の深さで管路の直上に布設し、管路の埋設幅以上の幅を有すること。標示板は、ケーブルが地中へはいる位置で屋外の見やすい位置に設置すること。標柱は、地中線路の曲折箇所、道路横断箇所、直線30m毎に1個設置する。また、矢印には黒色の塗料を塗り、GLより若干高めに仕上げること。 ウ 標示板及び標柱の寸法等は下記の数値以上とする。 <table border="1"><thead><tr><th>材</th><th>質</th><th>寸法(mm)</th></tr></thead><tbody><tr><td>標示板</td><td>黄銅板</td><td>90×140×1.0以上</td></tr><tr><td>標柱</td><td>コンクリート</td><td>80×80×300</td></tr></tbody></table> 別に定める「標示基準」による。	標示板		材	寸法(mm)	A, B, C, D種	黄銅板 90×140×1.0以上	材	質	寸法(mm)	標示板	黄銅板	90×140×1.0以上	標柱	コンクリート	80×80×300	① 電線の色別	(1) 幹線及び分岐回路 <table border="1"><thead><tr><th>電圧方式</th><th>近辺の別</th><th>赤</th><th>白</th><th>黒</th><th>青</th><th>白</th></tr></thead><tbody><tr><td>三相</td><td>左から近しい方</td><td>第1相</td><td>接地側 第2相</td><td>非接地側 第3相</td><td>第3相</td><td>-</td></tr><tr><td>三相4線</td><td>〃</td><td>第1相</td><td>-</td><td>第2相</td><td>第3相</td><td>中性相</td></tr><tr><td>三相2線</td><td>〃</td><td>第1相</td><td>接地側 第2相</td><td>非接地側 第2相</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>三相3線</td><td>〃</td><td>第1相</td><td>中性相</td><td>第2相</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>直流</td><td>右から近しい方</td><td>正極</td><td>-</td><td>-</td><td>負極</td><td>-</td></tr></tbody></table> 注記 1. 左右、遠近の別は、正面から見た状態とする。 2. 分岐回路の色別は、分岐前と同一とする。 (異相2線式の第1相が、黒色となる場合がある) 3. 発電機回路の非接地側第2相は、接続される商用回路の第2相の色別とする。 4. 単相2線式と直流2線式の切替回路2次側は、直流2線式の配置と色別による。 (2) 電灯、コンセント回路(電圧側が赤の場合) 電灯回路(その1)  電灯回路(その2)  コンセント回路  (3) 電極棒	電圧方式	近辺の別	赤	白	黒	青	白	三相	左から近しい方	第1相	接地側 第2相	非接地側 第3相	第3相	-	三相4線	〃	第1相	-	第2相	第3相	中性相	三相2線	〃	第1相	接地側 第2相	非接地側 第2相	-	-	三相3線	〃	第1相	中性相	第2相	-	-	直流	右から近しい方	正極	-	-	負極	-	② 絶縁抵抗値	回路の絶縁抵抗値は下記による。(●を適用) (1) 低圧の屋内、屋外配線、架空及び地中電線回路 閉閉器で接続することのできる電路ごとに5MΩ以上とする。また、既設回路に新設配線を接続する場合は、必ず接続前に既設回路部分の絶縁抵抗測定を行い5MΩ以下の場合は、監督員へ報告すること。 (2) 高圧の電線回路 線間、対地間及び高圧と低圧間は200MΩ以上とする。ただし、新設部分については、おおむね2,000MΩ以上とする。 (3) 絶縁抵抗の測定電圧 <table border="1"><thead><tr><th>電路の使用電圧</th><th>一般</th><th>機器の損傷が予想される場合</th></tr></thead><tbody><tr><td>1.0V級</td><td>-</td><td>1.25V</td></tr><tr><td>2.0V級</td><td>5.0V</td><td>2.50V</td></tr><tr><td>4.0V級</td><td>-</td><td>5.00V</td></tr><tr><td>6.0V級</td><td>1.00V</td><td>-</td></tr></tbody></table>	電路の使用電圧	一般	機器の損傷が予想される場合	1.0V級	-	1.25V	2.0V級	5.0V	2.50V	4.0V級
標示板																																																																																																			
材	寸法(mm)																																																																																																		
A, B, C, D種	黄銅板 90×140×1.0以上																																																																																																		
材	質	寸法(mm)																																																																																																	
標示板	黄銅板	90×140×1.0以上																																																																																																	
標柱	コンクリート	80×80×300																																																																																																	
電圧方式	近辺の別	赤	白	黒	青	白																																																																																													
三相	左から近しい方	第1相	接地側 第2相	非接地側 第3相	第3相	-																																																																																													
三相4線	〃	第1相	-	第2相	第3相	中性相																																																																																													
三相2線	〃	第1相	接地側 第2相	非接地側 第2相	-	-																																																																																													
三相3線	〃	第1相	中性相	第2相	-	-																																																																																													
直流	右から近しい方	正極	-	-	負極	-																																																																																													
電路の使用電圧	一般	機器の損傷が予想される場合																																																																																																	
1.0V級	-	1.25V																																																																																																	
2.0V級	5.0V	2.50V																																																																																																	
4.0V級	-	5.00V																																																																																																	
6.0V級	1.00V	-																																																																																																	
III 区分	特記事項	区分	項目	特記事項	区分	項目	特記事項	区分	項目	特記事項	区分	項目	特記事項																																																																																						
I 1	① 使用資材の製造所	1	① 使用資材の製造所	設計図書等に記載されているものについては特記による。特記されていないものについては、建築基準法制定の電気用機材リストに記載されている製造所または同等以上の製造所とする。	2	② 特殊な材料と工法	標準仕様書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は監督員の承諾を得ること。特殊な材料による施工は当該製品の指定工法による。	3	③ 建築工事との取合	壁面、天井面等に機器取付のための開口部等を設ける場合の施工の範囲は、特に監督員の指示する場合以外は、建築工事仕様書による。	4	④ 別契約の関係工事	別契約の関係工事については、当該工事関係者と協力し、工事の円滑な進捗を期するものとし、疑問が生じた場合は監督員の指示によること。	5	⑤ 施工過程における調整	工事現場進行の過程における調整については、監督員ならびに支庁、地域振興局建築担当職員と充分に打合せを行い、指導を受けること。	6	⑥ 工事写真	工事写真は、工程写真と完成写真とする。工程写真は、工事工程に応じ撮影し、工事前に撮影したものを受注者にて保管する。なお、工程写真の提出を監督員が指示した場合は、出来高報告書と共に提出し、確認を受けること。完成写真は、工事完成時に撮影し、提出する。(但し、改修工事の場合は、着工前写真を添付すること)写真はカラー写真とする。原則として電子媒体(デジタルカメラ)による写真を使用する。なお、次の条件を満たしたものであること。 (1) デジタルカメラの有効画素数100万画素数以上、プリンターは、フルカラー300dpi以上の機能と有する機種とし、インク、用紙等は通常の使用条件のもとで3年間程度に顕著な劣化が生じないものとする。 (2) 「現行のカラー写真」と「電子媒体による写真」の混合管理は原則として行わないこと。 (3) 現行のカラー写真とする場合は、監督員の承諾を受けること。 (4) 受注者は、完成検査若しくは工事的引渡し完了するまで写真管理に利用した電子媒体を保管すること。	7	① 塗装	壁、プルボックス、配管等の塗装の仕上りについては、美観を考慮の上決定し、建物壁面と同等の色系とする。ただし、建築美観その他の理由で不適と認められるときは、監督員の指示による。 標準色：屋内 2.5Y9/1 屋外 5Y7/1 なお、壁・プルボックスについては、十分なさび止め処理を施し、アクリル塗料を塗り付け又は、粉体塗装を行うこと。 塗料、その他の化学製品の取り扱いに当たっては、当該製品の製造者が作成した化学物質等安全データシート(SDS)を常備し、記載内容の周知徹底を図り、作業者の健康、安全の確保及び環境保全に努める。	8	② 化学物質を放散する建築材料等	塗料、接着剤等の材料については、原則としてホルムアルデヒド等揮発性有機化合物の放散量が小さく建築基準法の規制対象外である「F☆☆☆☆」の材料を使用すること。 (例) 壁紙、床材の設置に伴う天井改修部分の配管、配線に伴って、貫通する内壁・外壁の部分その他施工に伴い撤去・改修を行う部分	9	③ 解体作業における石綿対策	資料が必要となる場合は、下記によるものとする。 (1) 調査範囲は原則として施工範囲の各工部位とする。 (2) 調査は、点検口の設置に伴う天井改修部分の配管、配線に伴って、貫通する内壁・外壁の部分その他施工に伴い撤去・改修を行う部分	10	④ 機器及び材料	図面に示す環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に定めるところにより、環境負荷を低減できる材料を選択するよう努める。	11	5. 改訂日	RO60502	12	① 塗装	壁、プルボックス、配管等の塗装の仕上りについては、美観を考慮の上決定し、建物壁面と同等の色系とする。ただし、建築美観その他の理由で不適と認められるときは、監督員の指示による。 標準色：屋内 2.5Y9/1 屋外 5Y7/1 なお、壁・プルボックスについては、十分なさび止め処理を施し、アクリル塗料を塗り付け又は、粉体塗装を行うこと。 塗料、その他の化学製品の取り扱いに当たっては、当該製品の製造者が作成した化学物質等安全データシート(SDS)を常備し、記載内容の周知徹底を図り、作業者の健康、安全の確保及び環境保全に努める。	13	② 化学物質を放散する建築材料等	塗料、接着剤等の材料については、原則としてホルムアルデヒド等揮発性有機化合物の放散量が小さく建築基準法の規制対象外である「F☆☆☆☆」の材料を使用すること。 (例) 壁紙、床材の設置に伴う天井改修部分の配管、配線に伴って、貫通する内壁・外壁の部分その他施工に伴い撤去・改修を行う部分	14	③ 解体作業における石綿対策	資料が必要となる場合は、下記によるものとする。 (1) 調査範囲は原則として施工範囲の各工部位とする。 (2) 調査は、点検口の設置に伴う天井改修部分の配管、配線に伴って、貫通する内壁・外壁の部分その他施工に伴い撤去・改修を行う部分	15	④ 機器及び材料	図面に示す環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に定めるところにより、環境負荷を低減できる材料を選択するよう努める。	16	5. 改訂日	RO60502																																																		
	II 1		① 使用資材の製造所	① 使用資材の製造所		設計図書等に記載されているものについては特記による。特記されていないものについては、建築基準法制定の電気用機材リストに記載されている製造所または同等以上の製造所とする。	② 特殊な材料と工法		標準仕様書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は監督員の承諾を得ること。特殊な材料による施工は当該製品の指定工法による。	③ 建築工事との取合		壁面、天井面等に機器取付のための開口部等を設ける場合の施工の範囲は、特に監督員の指示する場合以外は、建築工事仕様書による。	④ 別契約の関係工事		別契約の関係工事については、当該工事関係者と協力し、工事の円滑な進捗を期するものとし、疑問が生じた場合は監督員の指示によること。	⑤ 施工過程における調整		工事現場進行の過程における調整については、監督員ならびに支庁、地域振興局建築担当職員と充分に打合せを行い、指導を受けること。	⑥ 工事写真		工事写真は、工程写真と完成写真とする。工程写真は、工事工程に応じ撮影し、工事前に撮影したものを受注者にて保管する。なお、工程写真の提出を監督員が指示した場合は、出来高報告書と共に提出し、確認を受けること。完成写真は、工事完成時に撮影し、提出する。(但し、改修工事の場合は、着工前写真を添付すること)写真はカラー写真とする。原則として電子媒体(デジタルカメラ)による写真を使用する。なお、次の条件を満たしたものであること。 (1) デジタルカメラの有効画素数100万画素数以上、プリンターは、フルカラー300dpi以上の機能と有する機種とし、インク、用紙等は通常の使用条件のもとで3年間程度に顕著な劣化が生じないものとする。 (2) 「現行のカラー写真」と「電子媒体による写真」の混合管理は原則として行わないこと。 (3) 現行のカラー写真とする場合は、監督員の承諾を受けること。 (4) 受注者は、完成検査若しくは工事的引渡し完了するまで写真管理に利用した電子媒体を保管すること。	① 塗装		壁、プルボックス、配管等の塗装の仕上りについては、美観を考慮の上決定し、建物壁面と同等の色系とする。ただし、建築美観その他の理由で不適と認められるときは、監督員の指示による。 標準色：屋内 2.5Y9/1 屋外 5Y7/1 なお、壁・プルボックスについては、十分なさび止め処理を施し、アクリル塗料を塗り付け又は、粉体塗装を行うこと。 塗料、その他の化学製品の取り扱いに当たっては、当該製品の製造者が作成した化学物質等安全データシート(SDS)を常備し、記載内容の周知徹底を図り、作業者の健康、安全の確保及び環境保全に努める。	② 化学物質を放散する建築材料等		塗料、接着剤等の材料については、原則としてホルムアルデヒド等揮発性有機化合物の放散量が小さく建築基準法の規制対象外である「F☆☆☆☆」の材料を使用すること。 (例) 壁紙、床材の設置に伴う天井改修部分の配管、配線に伴って、貫通する内壁・外壁の部分その他施工に伴い撤去・改修を行う部分	③ 解体作業における石綿対策		資料が必要となる場合は、下記によるものとする。 (1) 調査範囲は原則として施工範囲の各工部位とする。 (2) 調査は、点検口の設置に伴う天井改修部分の配管、配線に伴って、貫通する内壁・外壁の部分その他施工に伴い撤去・改修を行う部分	④ 機器及び材料		図面に示す環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に定めるところにより、環境負荷を低減できる材料を選択するよう努める。	5. 改訂日		RO60502																																																															
III 区分	特記事項	区分	項目	特記事項	区分	項目	特記事項	区分	項目	特記事項	区分	項目	特記事項																																																																																						
I 1	① 使用資材の製造所	1	① 使用資材の製造所	設計図書等に記載されているものについては特記による。特記されていないものについては、建築基準法制定の電気用機材リストに記載されている製造所または同等以上の製造所とする。	2	② 特殊な材料と工法	標準仕様書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は監督員の承諾を得ること。特殊な材料による施工は当該製品の指定工法による。	3	③ 建築工事との取合	壁面、天井面等に機器取付のための開口部等を設ける場合の施工の範囲は、特に監督員の指示する場合以外は、建築工事仕様書による。	4	④ 別契約の関係工事	別契約の関係工事については、当該工事関係者と協力し、工事の円滑な進捗を期するものとし、疑問が生じた場合は監督員の指示によること。	5	⑤ 施工過程における調整	工事現場進行の過程における調整については、監督員ならびに支庁、地域振興局建築担当職員と充分に打合せを行い、指導を受けること。	6	⑥ 工事写真	工事写真は、工程写真と完成写真とする。工程写真は、工事工程に応じ撮影し、工事前に撮影したものを受注者にて保管する。なお、工程写真の提出を監督員が指示した場合は、出来高報告書と共に提出し、確認を受けること。完成写真は、工事完成時に撮影し、提出する。(但し、改修工事の場合は、着工前写真を添付すること)写真はカラー写真とする。原則として電子媒体(デジタルカメラ)による写真を使用する。なお、次の条件を満たしたものであること。 (1) デジタルカメラの有効画素数100万画素数以上、プリンターは、フルカラー300dpi以上の機能と有する機種とし、インク、用紙等は通常の使用条件のもとで3年間程度に顕著な劣化が生じないものとする。 (2) 「現行のカラー写真」と「電子媒体による写真」の混合管理は原則として行わないこと。 (3) 現行のカラー写真とする場合は、監督員の承諾を受けること。 (4) 受注者は、完成検査若しくは工事的引渡し完了するまで写真管理に利用した電子媒体を保管すること。	7	① 塗装	壁、プルボックス、配管等の塗装の仕上りについては、美観を考慮の上決定し、建物壁面と同等の色系とする。ただし、建築美観その他の理由で不適と認められるときは、監督員の指示による。 標準色：屋内 2.5Y9/1 屋外 5Y7/1 なお、壁・プルボックスについては、十分なさび止め処理を施し、アクリル塗料を塗り付け又は、粉体塗装を行うこと。 塗料、その他の化学製品の取り扱いに当たっては、当該製品の製造者が作成した化学物質等安全データシート(SDS)を常備し、記載内容の周知徹底を図り、作業者の健康、安全の確保及び環境保全に努める。	8	② 化学物質を放散する建築材料等	塗料、接着剤等の材料については、原則としてホルムアルデヒド等揮発性有機化合物の放散量が小さく建築基準法の規制対象外である「F☆☆☆☆」の材料を使用すること。 (例) 壁紙、床材の設置に伴う天井改修部分の配管、配線に伴って、貫通する内壁・外壁の部分その他施工に伴い撤去・改修を行う部分	9	③ 解体作業における石綿対策	資料が必要となる場合は、下記によるものとする。 (1) 調査範囲は原則として施工範囲の各工部位とする。 (2) 調査は、点検口の設置に伴う天井改修部分の配管、配線に伴って、貫通する内壁・外壁の部分その他施工に伴い撤去・改修を行う部分	10	④ 機器及び材料	図面に示す環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に定めるところにより、環境負荷を低減できる材料を選択するよう努める。	11	5. 改訂日	RO60502																																																																	
	II 1		① 使用資材の製造所	① 使用資材の製造所		設計図書等に記載されているものについては特記による。特記されていないものについては、建築基準法制定の電気用機材リストに記載されている製造所または同等以上の製造所とする。	② 特殊な材料と工法		標準仕様書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は監督員の承諾を得ること。特殊な材料による施工は当該製品の指定工法による。	③ 建築工事との取合		壁面、天井面等に機器取付のための開口部等を設ける場合の施工の範囲は、特に監督員の指示する場合以外は、建築工事仕様書による。	④ 別契約の関係工事		別契約の関係工事については、当該工事関係者と協力し、工事の円滑な進捗を期するものとし、疑問が生じた場合は監督員の指示によること。	⑤ 施工過程における調整		工事現場進行の過程における調整については、監督員ならびに支庁、地域振興局建築担当職員と充分に打合せを行い、指導を受けること。	⑥ 工事写真		工事写真は、工程写真と完成写真とする。工程写真は、工事工程に応じ撮影し、工事前に撮影したものを受注者にて保管する。なお、工程写真の提出を監督員が指示した場合は、出来高報告書と共に提出し、確認を受けること。完成写真は、工事完成時に撮影し、提出する。(但し、改修工事の場合は、着工前写真を添付すること)写真はカラー写真とする。原則として電子媒体(デジタルカメラ)による写真を使用する。なお、次の条件を満たしたものであること。 (1) デジタルカメラの有効画素数100万画素数以上、プリンターは、フルカラー300dpi以上の機能と有する機種とし、インク、用紙等は通常の使用条件のもとで3年間程度に顕著な劣化が生じないものとする。 (2) 「現行のカラー写真」と「電子媒体による写真」の混合管理は原則として行わないこと。 (3) 現行のカラー写真とする場合は、監督員の承諾を受けること。 (4) 受注者は、完成検査若しくは工事的引渡し完了するまで写真管理に利用した電子媒体を保管すること。	① 塗装		壁、プルボックス、配管等の塗装の仕上りについては、美観を考慮の上決定し、建物壁面と同等の色系とする。ただし、建築美観その他の理由で不適と認められるときは、監督員の指示による。 標準色：屋内 2.5Y9/1 屋外 5Y7/1 なお、壁・プルボックスについては、十分なさび止め処理を施し、アクリル塗料を塗り付け又は、粉体塗装を行うこと。 塗料、その他の化学製品の取り扱いに当たっては、当該製品の製造者が作成した化学物質等安全データシート(SDS)を常備し、記載内容の周知徹底を図り、作業者の健康、安全の確保及び環境保全に努める。	② 化学物質を放散する建築材料等		塗料、接着剤等の材料については、原則としてホルムアルデヒド等揮発性有機化合物の放散量が小さく建築基準法の規制対象外である「F☆☆☆☆」の材料を使用すること。 (例) 壁紙、床材の設置に伴う天井改修部分の配管、配線に伴って、貫通する内壁・外壁の部分その他施工に伴い撤去・改修を行う部分	③ 解体作業における石綿対策		資料が必要となる場合は、下記によるものとする。 (1) 調査範囲は原則として施工範囲の各工部位とする。 (2) 調査は、点検口の設置に伴う天井改修部分の配管、配線に伴って、貫通する内壁・外壁の部分その他施工に伴い撤去・改修を行う部分	④ 機器及び材料		図面に示す環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に定めるところにより、環境負荷を低減できる材料を選択するよう努める。	5. 改訂日	RO60502																																																																
III 区分	特記事項	区分	項目	特記事項	区分	項目	特記事項	区分	項目	特記事項	区分	項目	特記事項																																																																																						
I 1	① 使用資材の製造所	1	① 使用資材の製造所	設計図書等に記載されているものについては特記による。特記されていないものについては、建築基準法制定の電気用機材リストに記載されている製造所または同等以上の製造所とする。	2	② 特殊な材料と工法	標準仕様書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は監督員の承諾を得ること。特殊な材料による施工は当該製品の指定工法による。	3	③ 建築工事との取合	壁面、天井面等に機器取付のための開口部等を設ける場合の施工の範囲は、特に監督員の指示する場合以外は、建築工事仕様書による。	4	④ 別契約の関係工事	別契約の関係工事については、当該工事関係者と協力し、工事の円滑な進捗を期するものとし、疑問が生じた場合は監督員の指示によること。	5	⑤ 施工過程における調整	工事現場進行の過程における調整については、監督員ならびに支庁、地域振興局建築担当職員と充分に打合せを行い、指導を受けること。	6	⑥ 工事写真	工事写真は、工程写真と完成写真とする。工程写真は、工事工程に応じ撮影し、工事前に撮影したものを受注者にて保管する。なお、工程写真の提出を監督員が指示した場合は、出来高報告書と共に提出し、確認を受けること。完成写真は、工事完成時に撮影し、提出する。(但し、改修工事の場合は、着工前写真を添付すること)写真はカラー写真とする。原則として電子媒体(デジタルカメラ)による写真を使用する。なお、次の条件を満たしたものであること。 (1) デジタルカメラの有効画素数100万画素数以上、プリンターは、フルカラー300dpi以上の機能と有する機種とし、インク、用紙等は通常の使用条件のもとで3年間程度に顕著な劣化が生じないものとする。 (2) 「現行のカラー写真」と「電子媒体による写真」の混合管理は原則として行わないこと。 (3) 現行のカラー写真とする場合は、監督員の承諾を受けること。 (4) 受注者は、完成検査若しくは工事的引渡し完了するまで写真管理に利用した電子媒体を保管すること。	7	① 塗装	壁、プルボックス、配管等の塗装の仕上りについては、美観を考慮の上決定し、建物壁面と同等の色系とする。ただし、建築美観その他の理由で不適と認められるときは、監督員の指示による。 標準色：屋内 2.5Y9/1 屋外 5Y7/1 なお、壁・プルボックスについては、十分なさび止め処理を施し、アクリル塗料を塗り付け又は、粉体塗装を行うこと。 塗料、その他の化学製品の取り扱いに当たっては、当該製品の製造者が作成した化学物質等安全データシート(SDS)を常備し、記載内容の周知徹底を図り、作業者の健康、安全の確保及び環境保全に努める。	8	② 化学物質を放散する建築材料等	塗料、接着剤等の材料については、原則としてホルムアルデヒド等揮発性有機化合物の放散量が小さく建築基準法の規制対象外である「F☆☆☆☆」の材料を使用すること。 (例) 壁紙、床材の設置に伴う天井改修部分の配管、配線に伴って、貫通する内壁・外壁の部分その他施工に伴い撤去・改修を行う部分	9	③ 解体作業における石綿対策	資料が必要となる場合は、下記によるものとする。 (1) 調査範囲は原則として施工範囲の各工部位とする。 (2) 調査は、点検口の設置に伴う天井改修部分の配管、配線に伴って、貫通する内壁・外壁の部分その他施工に伴い撤去・改修を行う部分	10	④ 機器及び材料	図面に示す環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に定めるところにより、環境負荷を低減できる材料を選択するよう努める。	11	5. 改訂日	RO60502																																																																	
	II 1		① 使用資材の製造所	① 使用資材の製造所		設計図書等に記載されているものについては特記による。特記されていないものについては、建築基準法制定の電気用機材リストに記載されている製造所または同等以上の製造所とする。	② 特殊な材料と工法		標準仕様書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は監督員の承諾を得ること。特殊な材料による施工は当該製品の指定工法による。	③ 建築工事との取合		壁面、天井面等に機器取付のための開口部等を設ける場合の施工の範囲は、特に監督員の指示する場合以外は、建築工事仕様書による。	④ 別契約の関係工事		別契約の関係工事については、当該工事関係者と協力し、工事の円滑な進捗を期するものとし、疑問が生じた場合は監督員の指示によること。	⑤ 施工過程における調整		工事現場進行の過程における調整については、監督員ならびに支庁、地域振興局建築担当職員と充分に打合せを行い、指導を受けること。	⑥ 工事写真		工事写真は、工程写真と完成写真とする。工程写真は、工事工程に応じ撮影し、工事前に撮影したものを受注者にて保管する。なお、工程写真の提出を監督員が指示した場合は、出来高報告書と共に提出し、確認を受けること。完成写真は、工事完成時に撮影し、提出する。(但し、改修工事の場合は、着工前写真を添付すること)写真はカラー写真とする。原則として電子媒体(デジタルカメラ)による写真を使用する。なお、次の条件を満たしたものであること。 (1) デジタルカメラの有効画素数100万画素数以上、プリンターは、フルカラー300dpi以上の機能と有する機種とし、インク、用紙等は通常の使用条件のもとで3年間程度に顕著な劣化が生じないものとする。 (2) 「現行のカラー写真」と「電子媒体による写真」の混合管理は原則として行わないこと。 (3) 現行のカラー写真とする場合は、監督員の承諾を受けること。 (4) 受注者は、完成検査若しくは工事的引渡し完了するまで写真管理に利用した電子媒体を保管すること。	① 塗装		壁、プルボックス、配管等の塗装の仕上りについては、美観を考慮の上決定し、建物壁面と同等の色系とする。ただし、建築美観その他の理由で不適と認められるときは、監督員の指示による。 標準色：屋内 2.5Y9/1 屋外 5Y7/1 なお、壁・プルボックスについては、十分なさび止め処理を施し、アクリル塗料を塗り付け又は、粉体塗装を行うこと。 塗料、その他の化学製品の取り扱いに当たっては、当該製品の製造者が作成した化学物質等安全データシート(SDS)を常備し、記載内容の周知徹底を図り、作業者の健康、安全の確保及び環境保全に努める。	② 化学物質を放散する建築材料等		塗料、接着剤等の材料については、原則としてホルムアルデヒド等揮発性有機化合物の放散量が小さく建築基準法の規制対象外である「F☆☆☆☆」の材料を使用すること。 (例) 壁紙、床材の設置に伴う天井改修部分の配管、配線に伴って、貫通する内壁・外壁の部分その他施工に伴い撤去・改修を行う部分	③ 解体作業における石綿対策		資料が必要となる場合は、下記によるものとする。 (1) 調査範囲は原則として施工範囲の各工部位とする。 (2) 調査は、点検口の設置に伴う天井改修部分の配管、配線に伴って、貫通する内壁・外壁の部分その他施工に伴い撤去・改修を行う部分	④ 機器及び材料		図面に示す環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に定めるところにより、環境負荷を低減できる材料を選択するよう努める。	5. 改訂日	RO60502																																																																
III 区分	特記事項	区分	項目	特記事項	区分	項目	特記事項	区分	項目	特記事項	区分	項目	特記事項																																																																																						
I 1	① 使用資材の製造所	1	① 使用資材の製造所	設計図書等に記載されているものについては特記による。特記されていないものについては、建築基準法制定の電気用機材リストに記載されている製造所または同等以上の製造所とする。	2	② 特殊な材料と工法	標準仕様書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は監督員の承諾を得ること。特殊な材料による施工は当該製品の指定工法による。	3	③ 建築工事との取合	壁面、天井面等に機器取付のための開口部等を設ける場合の施工の範囲は、特に監督員の指示する場合以外は、建築工事仕様書による。	4	④ 別契約の関係工事	別契約の関係工事については、当該工事関係者と協力し、工事の円滑な進捗を期するものとし、疑問が生じた場合は監督員の指示によること。	5	⑤ 施工過程における調整	工事現場進行の過程における調整については、監督員ならびに支庁、地域振興局建築担当職員と充分に打合せを行い、指導を受けること。	6	⑥ 工事写真	工事写真は、工程写真と完成写真とする。工程写真は、工事工程に応じ撮影し、工事前に撮影したものを受注者にて保管する。なお、工程写真の提出を監督員が指示した場合は、出来高報告書と共に提出し、確認を受けること。完成写真は、工事完成時に撮影し、提出する。(但し、改修工事の場合は、着工前写真を添付すること)写真はカラー写真とする。原則として電子媒体(デジタルカメラ)による写真を使用する。なお、次の条件を満たしたものであること。 (1) デジタルカメラの有効画素数100万画素数以上、プリンターは、フルカラー300dpi以上の機能と有する機種とし、インク、用紙等は通常の使用条件のもとで3年間程度に顕著な劣化が生じないものとする。 (2) 「現行のカラー写真」と「電子媒体による写真」の混合管理は原則として行わないこと。 (3) 現行のカラー写真とする場合は、監督員の承諾を受けること。 (4) 受注者は、完成検査若しくは工事的引渡し完了するまで写真管理に利用した電子媒体を保管すること。	7	① 塗装	壁、プルボックス、配管等の塗装の仕上りについては、美観を考慮の上決定し、建物壁面と同等の色系とする。ただし、建築美観その他の理由で不適と認められるときは、監督員の指示による。 標準色：屋内 2.5Y9/1 屋外 5Y7/1 なお、壁・プルボックスについては、十分なさび止め処理を施し、アクリル塗料を塗り付け又は、粉体塗装を行うこと。 塗料、その他の化学製品の取り扱いに当たっては、当該製品の製造者が作成した化学物質等安全データシート(SDS)を常備し、記載内容の周知徹底を図																																																																													



【1号棟】

				一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日 縮尺 N.S (A1) N.S (A3)	工事名 町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事 図面種類 引込開閉器盤 結線図	図面番号 E-02
--	--	--	--	--	----------------------------	-------------------------------------	--	--------------

照明器具要図

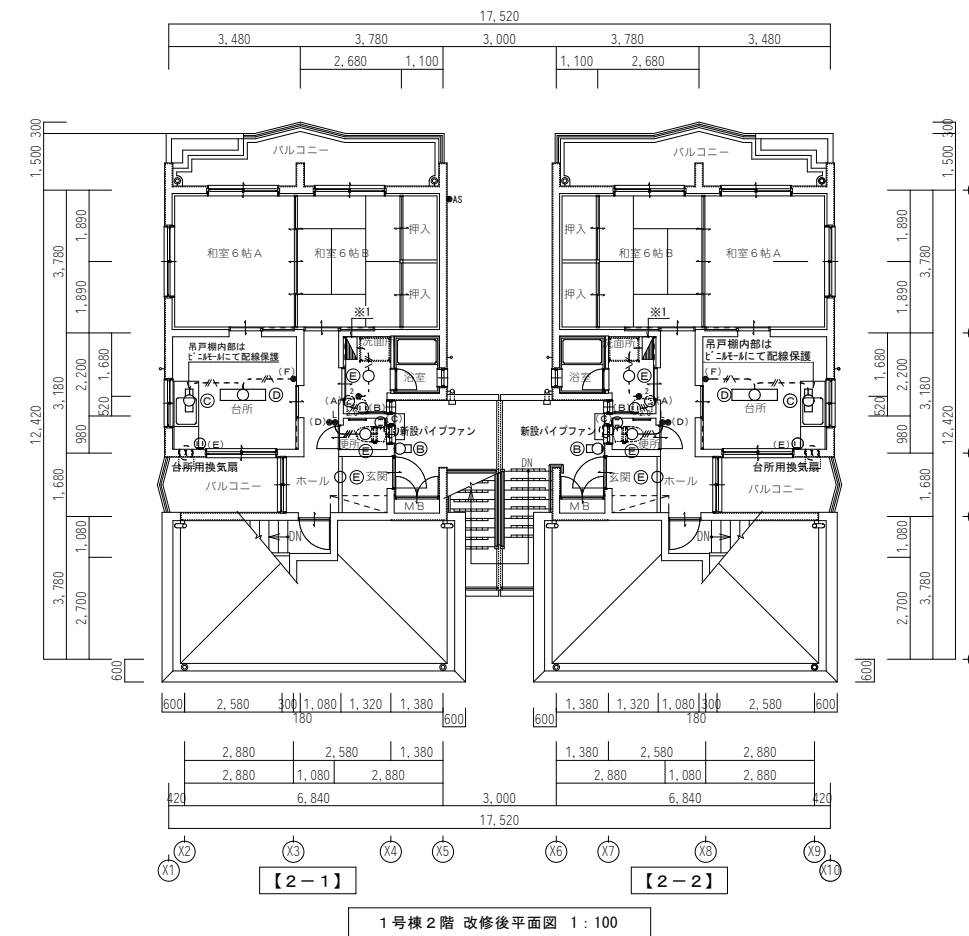
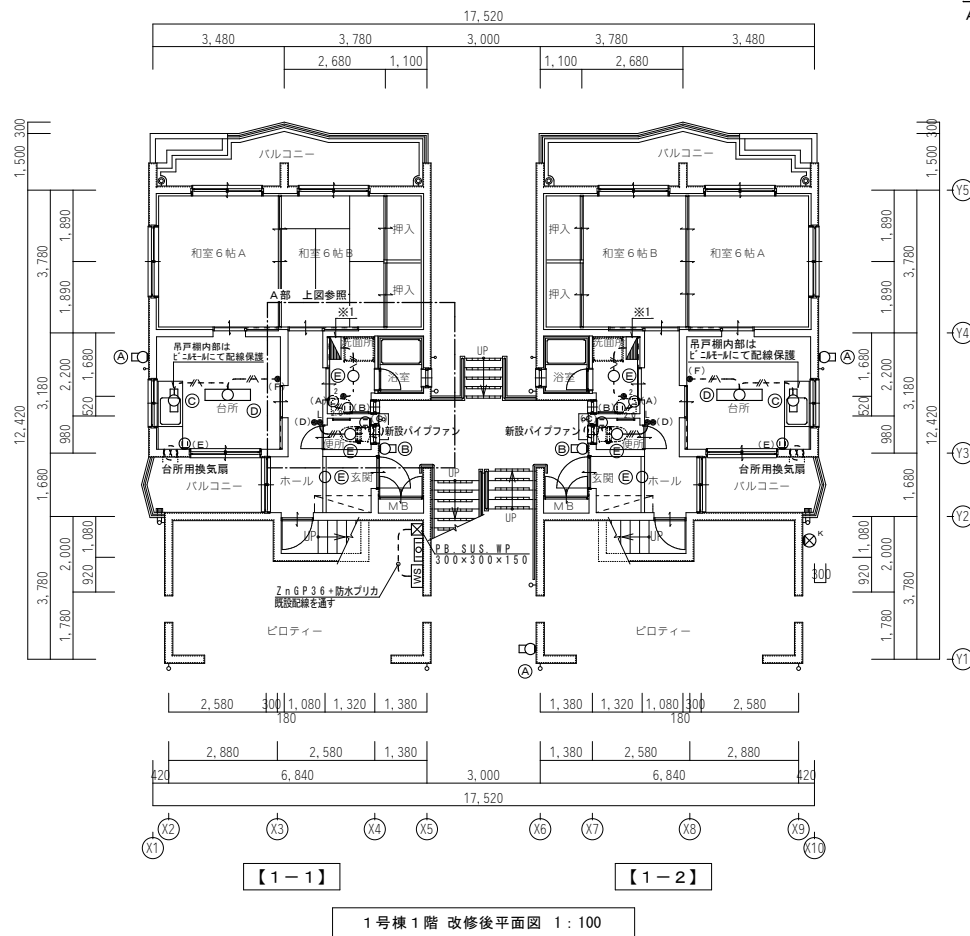
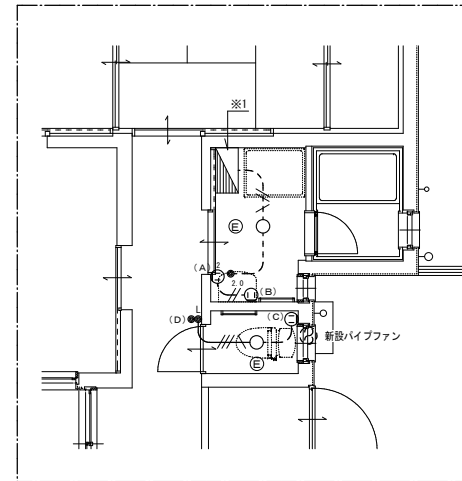
<p>Ⓐ LEDウォールライト 20形 防湿・防雨型 公共施設型番：LBF3MP/RP-2-13</p>  <p>一般タイプ、定格出力型、電圧100~242V 5000K、Ra83、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 天井直付型・壁面付型、保護等級：IP23</p>	<p>Ⓑ LEDウォールライト 20形 防湿・防雨型 公共施設型番：LBF3MP/RP-2-06</p>  <p>一般タイプ、定格出力型、電圧100~242V 5000K、Ra83、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 天井直付型・壁面付型、保護等級：IP23</p>	<p>Ⓒ LEDキッチンライト 20形</p>  <p>昼白色（5000K）、Ra83 器具光束1100lm、消費電力12W、電圧100V 器具タイプ、スイッチ付 カバー：プラスチック（乳白）</p>	<p>Ⓓ LEDベースライト 40形2灯用相当</p>  <p>昼白色（5000K）、Ra83 器具光束4000lm、消費電力25W、電圧100V ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）</p>	<p>Ⓔ LEDシーリングライト 100型1灯用相当</p>  <p>昼白色（5000K）、Ra83 器具光束865lm、消費電力7.9、電圧100V カバー：プラスチック（ホワイト） 逆り用端子台付</p>
--	--	--	--	---

改修内容


- 共用電灯分電盤撤去、保安器撤去、引込開閉器撤去
 - 照明器具及び自動点滅器撤去（器具のみ）
 - 防水コンセント撤去後、カバープレート取付
 - 住戸内改修：下記（A）～（F）
- （A）洗面所：既設コンセントを埋込コンセント2P15A×2 露出スイッチボックス（A型）に取替
（B）洗面所：新設洗面化粧台用電源 露出コンセント2P15A×1
※（A）～（B）をEM-EEF2.0-2C（MM:A）にて接続
（C）便所：新設パイプファン用電源 埋込コンセント2P15A×1 露出スイッチボックス（A型）取付
※（C）～照明器具EをEM-EEF1.6-2C（MM:A）にて接続
（D）便所：既設照明スイッチを撤去し、換気扇スイッチとともに新設（既設配管・ボックス使用）
（E）台所：換気扇用既設コンセントは新設レンジフードに干渉しない位置へ移動（高さプレート取付）
露出スイッチボックス（A型）取付付、EM-EEF2.0-2C（MM:A）にて接続
※レンジフードと旧コンセントが干渉する場合はワイヤー等で対処すること（建築工事）
（F）台所：照明器具電源 埋込タンブラースイッチ大角通用1P15A×1 露出スイッチボックス（A型）取付
※（F）～照明器具D・CをEM-EEF1.6-3C（1C:E）（MM:A）にて接続（吊戸棚内部はビニルモールにて保護）
- ※1：既設住戸分電盤は、既設3番回路二次側に洗面所照明電源を接続のこと。
・住戸によって器具の位置が異なる為、既設を十分に調査し、支障なき様注意して施工の事。
・薄線は既設を示す。

凡例 特記なきものは下記による。

図記号	名称・仕様
	住宅用分電盤（既設）
[WS]	引込開閉器盤
[□]	保安器盤
	照明器具 要図参照
	照明器具 要図参照
	照明器具 要図参照
	照明器具 要図参照
●	埋込タンブラースイッチ 大角通用 1P15A×1 樹脂製
●L	埋込タンブラースイッチ 大角通用 1P15A×1、確認表示灯付 樹脂製
●AS	自動点滅器 埋込型 AC100V3A 樹脂製
ⓐ	埋込コンセント 左記改修内容参照 樹脂製
ⓧ	カバープレート 金属製
電線・ケーブル	保護管
----	EM-EEF1.6-2C (MM:A)
---	EM-EEF1.6-3C(1C:E) (MM:A)
---	EM-EEF2.0-2C (MM:A)
---	EM-IE1.6×3.E1.6 (既設配管)
----	露出配管配線
---	隠ぺい配管



【1号棟】

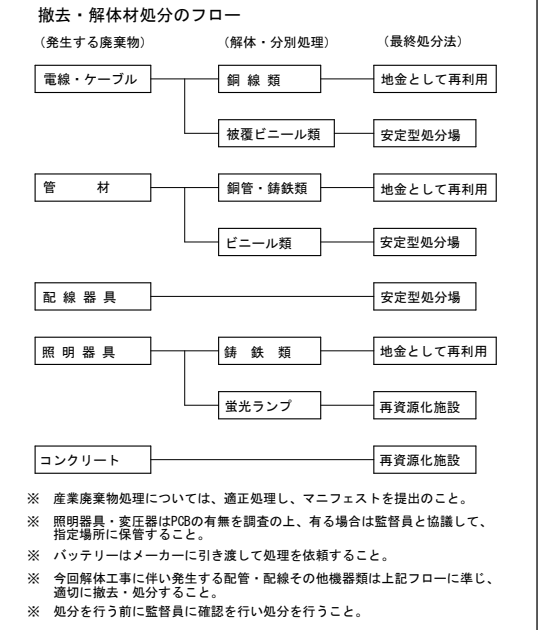
<p>一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号  永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正徳</p>	<p>管理技術者</p>	<p>主任技術者</p>	<p>製図</p>	<p>補助</p>	設計年月日	<p>工事名 町営住宅第3区頭団地 1号棟 改修工事</p>	<p>図面番号 E-03</p>
					<p>設計年月日 縮尺 1:100 (A1) 1:200 (A3)</p>		

凡例表 以下は全て撤去とする

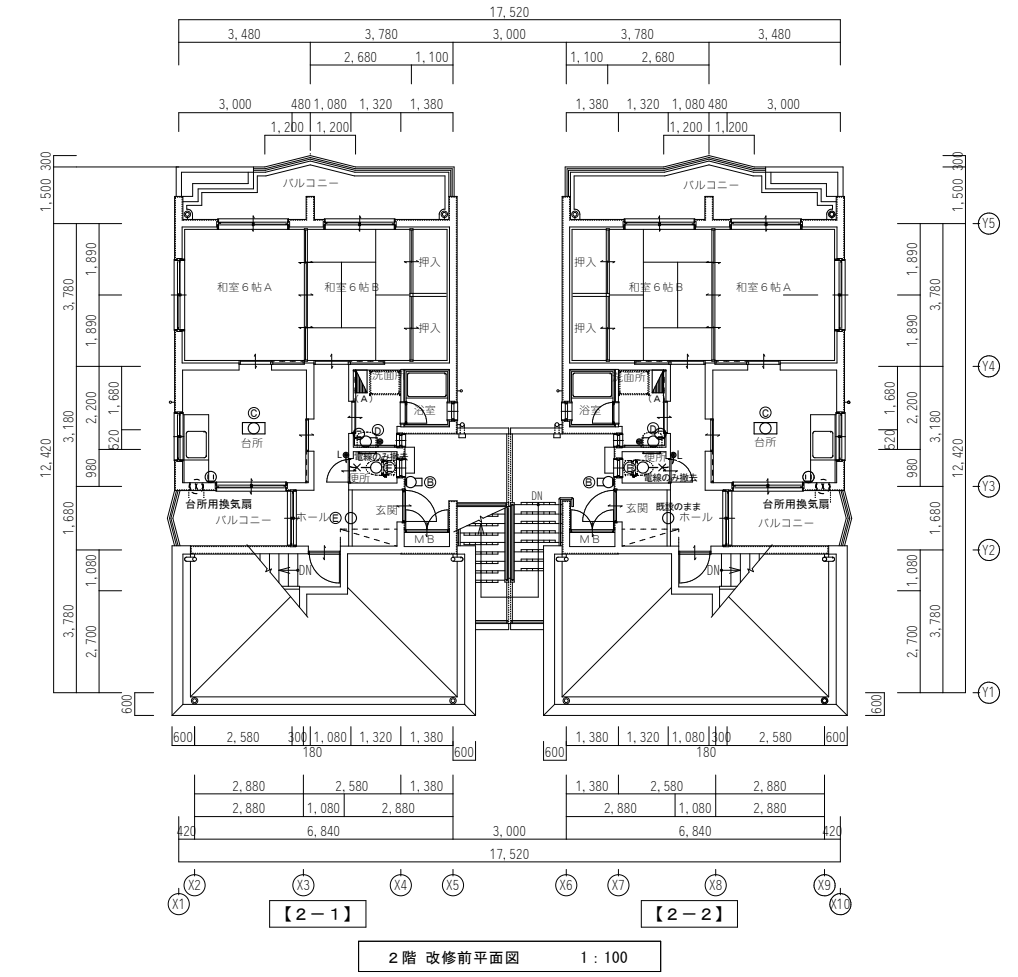
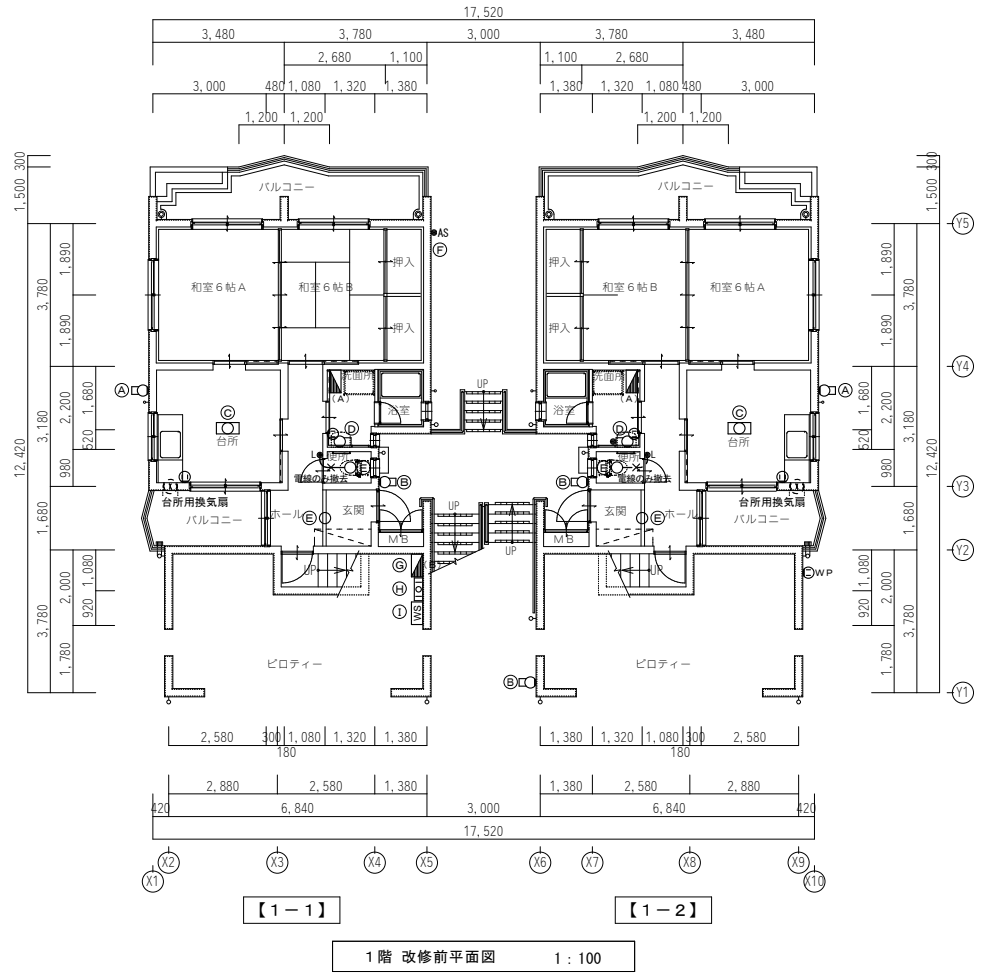
記号	仕様
Ⓐ	ウォールライト FL20W×1 防水型
Ⓑ	ウォールライト FL10W×1 防水型
Ⓒ	シーリングライト FL20W×2
Ⓓ	ミラーライト FL20W×1
Ⓔ	シーリングライト IL60W×1
Ⓕ	自動点滅器
Ⓖ	共用電灯分電盤
Ⓗ	保安器盤
Ⓘ	引込開閉器盤

凡例 特記無きものは下記による。

図記号	名称・仕様
Ⓐ	住宅用分電盤
Ⓑ	共用灯分電盤
WS	引込開閉器盤
BS	保安器盤
○	照明器具
○	照明器具
○	照明器具
●L	埋込タンブラススイッチ 大角連用 1P15A×1、確認表示灯付
●AS	自動点滅器 埋込型 AC100V3A
⓪	埋込コンセント



図面に明記無くとも不要な配管・配線・機器類は撤去・処分を行うこと。
 現状の配線等を十分調査し監督員と協議し施工のこと。



【1号棟】

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信		管理技術者 主任技術者 製 図 補 助	設計年月日 工 事 名 町営住宅第3国頭団地 1号棟 改修工事	図面番号 E-04
		図面種類 改修前 1階2階電気設備平面図	縮 尺 1:100 (A1) 1:200 (A3)	